長岡市子育て・育ち“あい”プラン
策定に関するニーズ調査
報　告　書

平成 31 年 3 月

長岡市教育委員会

目　次

Ⅰ　調査の概要 ・・・

Ⅲ－７．お子さんが病気の時の対応について…… 132
Ⅲ－８．お子さんの一時預かりについて…… 136
Ⅲ－９．子育て支援について…… 142
Ⅲ－１０．成人式について…… 145
Ⅲ－１１．長岡市の子育て支援について…… 146
Ⅳ　調査結果【中学生・高校生本人】…… 147
Ⅳ－１．回答者について…… 147
Ⅳ－２．日常生活について…… 149
Ⅳ－３．考えや意識について…… 156
Ⅳ－４．未来のあなたについて…… 162
Ⅳ－５．成人式について…… 167
Ⅴ　考察…… 170
はじめに…… 170
Ⅰ　教育・保育施設及び地域子育て支援事業…… 170
Ⅱ　次代の親の育成、子どもの健やかな成長支援…… 171
Ⅲ　子育て支援の充実…… 172
Ⅳ　まとめ…… 173
Ⅵ　調査票…… 174
Ⅰ　就学前児童保護者用…… 174
Ⅱ　小学校児童保護者用…… 187
Ⅲ　中学生・高校生用…… 195

Ⅰ　調査の概要

Ⅰ－１．調査の目的と実施概要

１．調査の目的

本調査は、平成 27 年度に策定した「長岡市子育て・育ち“あい”プラン」が平成 31 年度に最終年度を迎えることから、次期計画の策定にあたり、子育て家庭の実態や教育保育事業、子育て支援施策などに対するニーズを把握し、参考資料とするために実施したものです。

２．実施概要

○ 調査対象：市内在住の未就学児及び小学生のいる家庭の保護者

：市内の中学校・高校に通学する中高生本人

○ 調査期間：平成 30 年 11 月 21 日 ～ 平成 30 年 12 月 10 日

○ 調査方法：

種別		調査方法
未就学児保護者	0～2 歳	郵送配付・郵送回収（無作為抽出）
	3～5 歳	通園している各施設にて配布・回収（クラス指定）
小学生保護者		各学校を通して配布・回収（クラス指定）
中高生本人	中学生	各学校にて配布・回収（クラス指定）
	高校生	各学校にて配布・郵送回収（クラス指定）

○ 配布・回収：

種別	配付数	回収数	回収率
未就学児保護者	1,495 票	967 票	64.7%
小学生保護者	1,546 票	1,427 票	92.3%
中高生本人	656 票	428 票	65.2%

３．報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

○ 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。

○ 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。

○ 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがあります。

○ 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。

○ 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。

○ 母数が 100 未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。

○ 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。

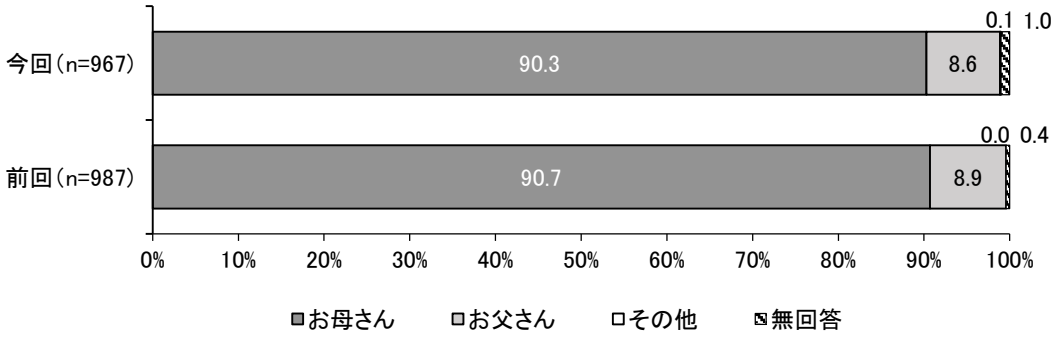
○ 図表中の「前回」とは、平成 25 年度に実施した「長岡市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査」の調査結果です。

Ⅱ　調査結果【未就学児保護者】

Ⅱ－１．回答者について

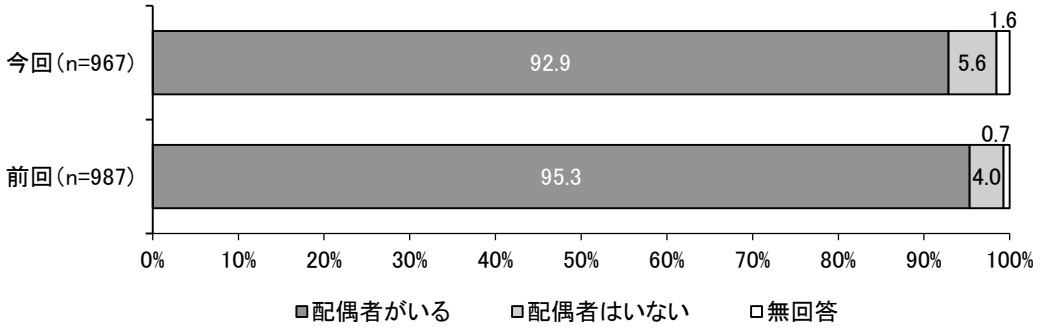
問1 ご回答いただく方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。
（○は１つ）

○ 本調査の回答者は、「お母さん」が 90.3%、「お父さん」が 8.6%、「その他」が 0.1%となっています。



問2 配偶関係についてお答えください。（○は１つ）

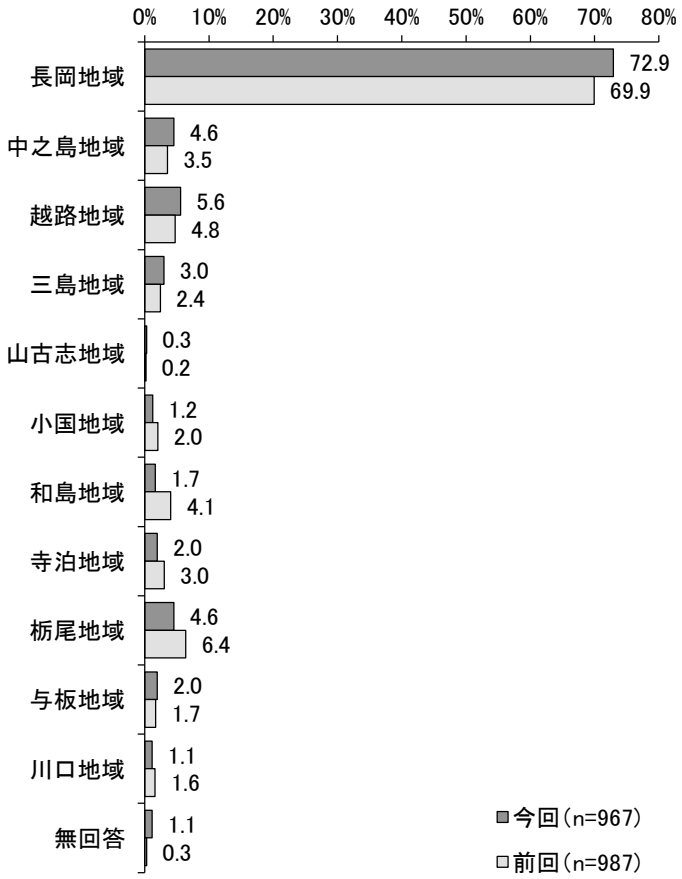
○ 回答者の配偶者の有無について、「配偶者がいる」が 92.9%、「配偶者はいない」が 5.6%となっています。



Ⅱ-２．宛名のお子さんとご家族の状況について

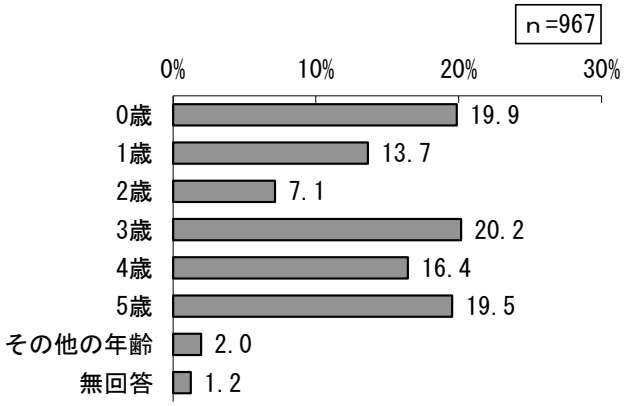
問3 現在宛名のお子さんが住んでいる地域はどちらですか。（○は１つ）

○ 居住地区について、「長岡地域」が 72.9%で全体の 7 割以上を占めています。



問4 宛名のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

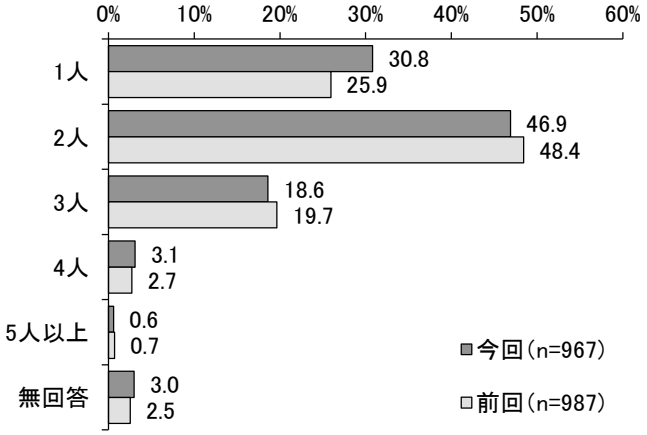
○ 子どもの年齢について、「3 歳（平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月生まれ）」が 20.2%で最も高く、次いで「0 歳（平成 29 年 4 月以降生まれ）」（19.9%）、「5 歳（平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月生まれ）」（19.5%）と続いています。



問5 お子さんの兄弟姉妹について、お子さん本人を含んだ人数をご記入ください。お 2 人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生まれた年と月をご記入ください。

○ 兄弟姉妹の人数について、「2 人」が 46.9%で最も高く、次いで「1 人」（30.8%）、「3 人」（18.6%）と続いています。

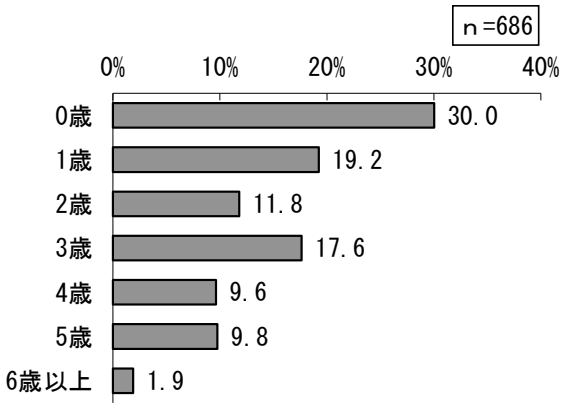
○ 平成 25 年に実施したニーズ調査（以下、前回調査という）の結果と比較すると、「1 人」の割合が増加しています。



	兄弟姉妹の人数
平均	1.96 人
最大値	5.00 人
最小値	1.00 人

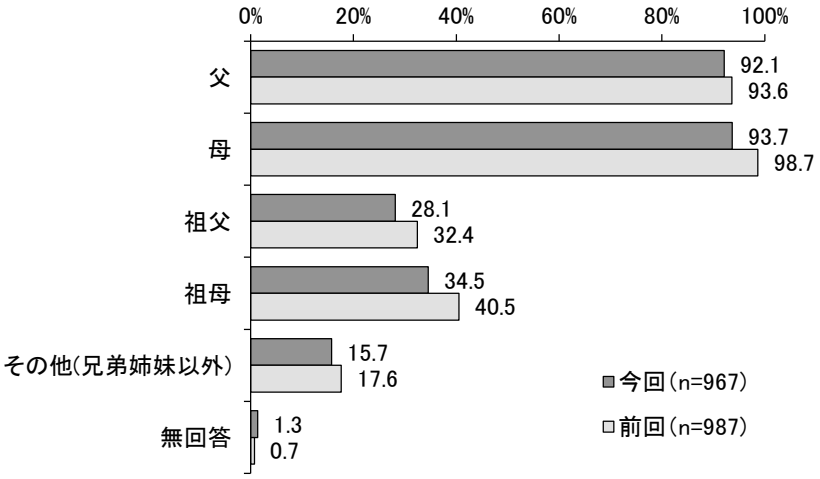
【末子の年齢】

○ 末子の年齢について、「0 歳」が 30.0%で最も高く、次いで「1 歳」（19.2%）、「3 歳」（17.6%）と続いています。



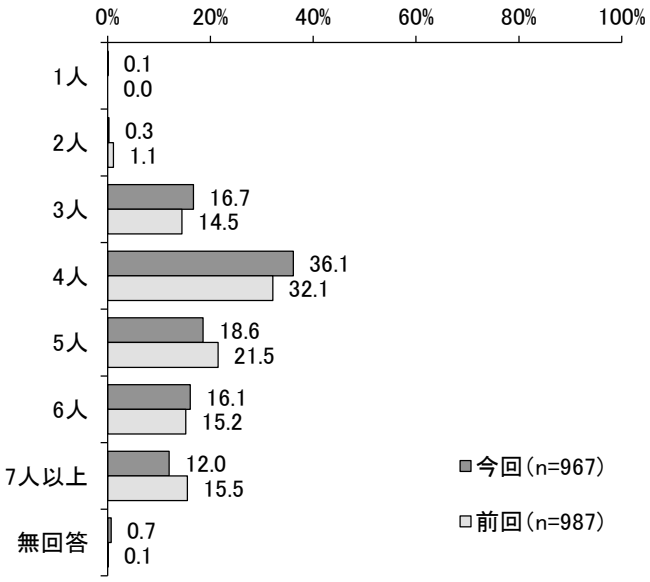
問6 宛名のお子さんと同居している方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。（○はいくつでも）

○ 同居している人について、「母」が 93.7%、「父」が 92.1%、「祖母」が 34.5%、「祖父」が 28.1%となっています。



問7 宛名のお子さんも含み、同居しているご家族は全員で何人ですか。

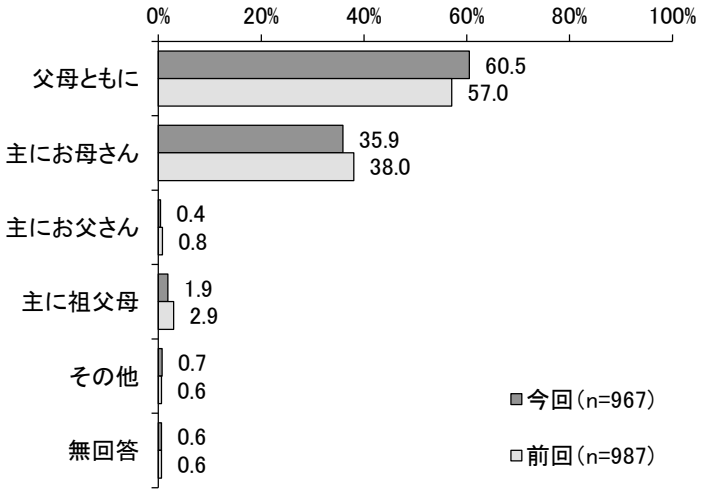
○ 同居している家族の人数は、「4 人」が 36.1%で最も高く、次いで「5 人」（18.6%）、「3 人」（16.7%）と続いています。



	同居している家族の人数
平均	4.76 人
最大値	13.00 人
最小値	1.00 人

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）の役割を担っている方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。（○は１つ）

○ 子育て（教育を含む）の役割を担っている人について、「父母ともに」が 60.5%、「主にお母さん」が 35.9%となっています。



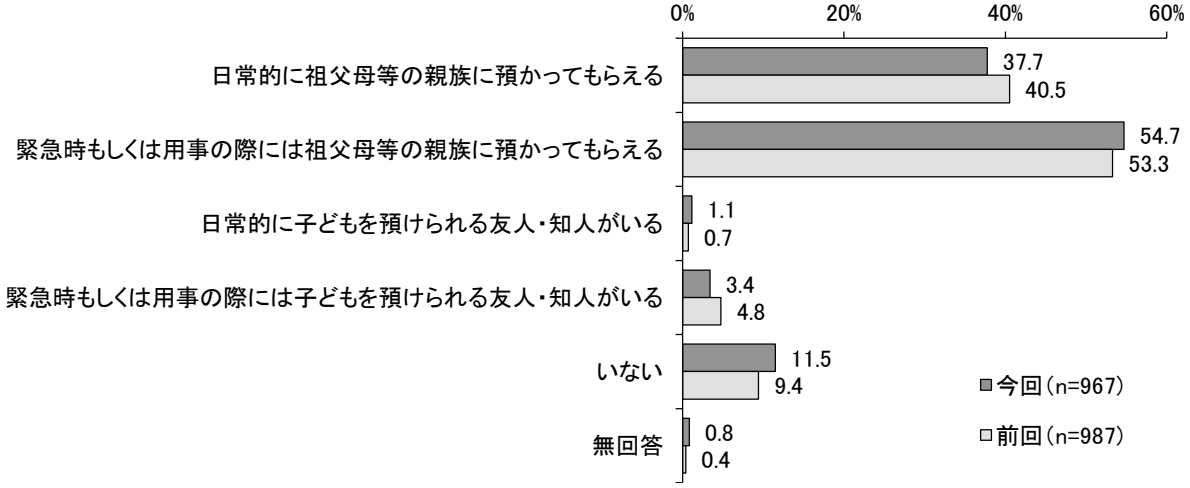
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全体	967	60.5	35.9	0.4	1.9	0.7	0.6
0歳	192	54.2	43.8	0.0	2.1	0.0	0.0
1歳	132	61.4	35.6	0.0	0.8	0.8	1.5
2歳	69	65.2	24.6	0.0	5.8	4.3	0.0
3歳	195	59.5	38.5	0.5	0.5	0.5	0.5
4歳	159	62.9	32.1	1.3	3.1	0.0	0.6
5歳	189	63.0	33.9	0.5	1.6	1.1	0.0

問9 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。（○はいくつでも）

○ 日頃、子どもを預かってもらえる人の有無について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が 54.7%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」（37.7%）、「いない」（11.5%）と続いています。

○ 年齢別にみると、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」の割合が、0 歳で低く 5 歳で高くなっています。

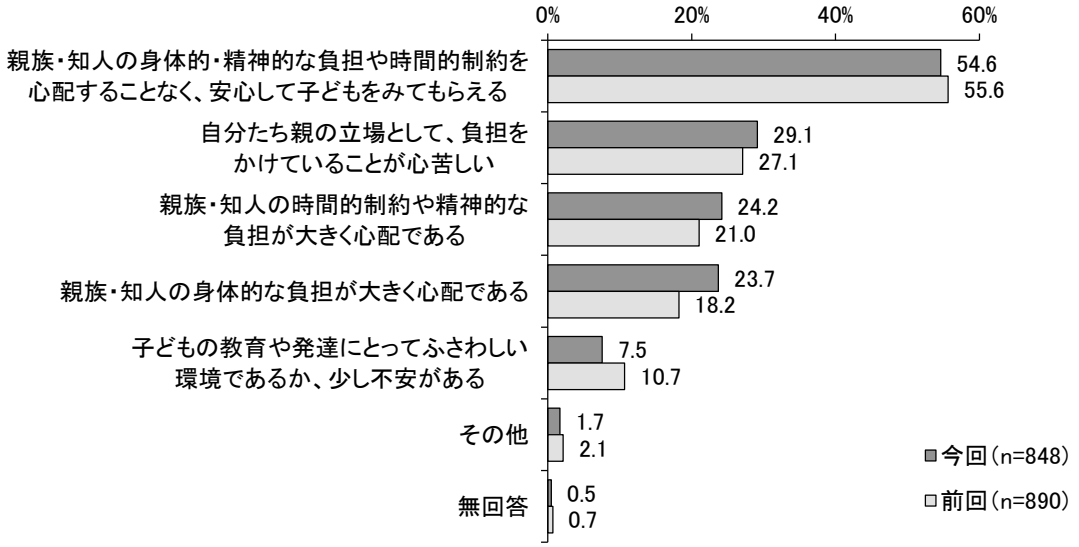


■年齢別　　単位：n（人）、項目（%）

	（n）	日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	いない	無回答
全体	967	37.7	54.7	1.1	3.4	11.5	0.8
0歳	192	28.1	59.9	1.6	1.0	14.6	0.0
1歳	132	39.4	55.3	0.0	3.0	10.6	0.8
2歳	69	34.8	56.5	0.0	1.4	14.5	2.9
3歳	195	34.9	52.8	0.5	3.6	14.9	1.0
4歳	159	42.8	52.8	2.5	6.9	8.8	0.6
5歳	189	47.1	53.4	1.6	2.6	5.3	0.0

問10 問９で「1.」～「4.」（預かってもらえる人がいる）と答えた方にお聞きします。
お子さんを預かってもらう状況についてお答えください。（○はいくつでも）

○ 子どもを預かってもらえる親族・知人がいる人に、預かってもらう状況についてうかがったところ、「親族・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 54.6%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（29.1%）、「親族・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」（24.2%）と続いています。

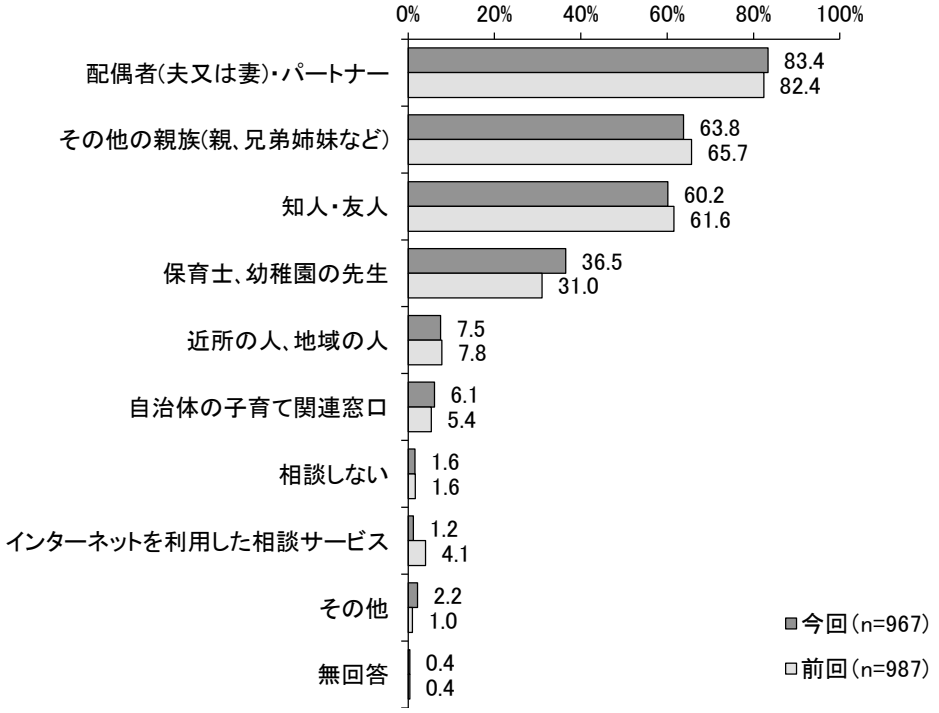


■年齢別　　単位：n（人）、項目（%）

	（n）	親族・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	親族・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	親族・知人の身体的な負担が大きく心配である	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
全体	848	54.6	29.1	24.2	23.7	7.5	1.7	0.5
0歳	164	53.0	23.8	25.0	25.0	4.9	3.0	0.0
1歳	117	53.0	36.8	29.1	29.9	10.3	2.6	0.9
2歳	57	70.2	19.3	17.5	17.5	10.5	1.8	0.0
3歳	164	51.8	28.7	29.9	26.2	8.5	0.6	0.0
4歳	144	54.2	34.7	19.4	18.1	6.9	1.4	0.7
5歳	179	53.6	29.6	22.3	23.5	7.8	1.1	1.1

問11 子育てに関する悩みや不安を誰に相談していますか。（○はいくつでも）

○ 子育てに関する悩みや不安の相談相手について、「配偶者・パートナー」が 83.4%で最も高く、次いで「その他の親族」（63.8%）、「知人・友人」（60.2%）と続いています。
○ 前回調査の結果と比較すると、「保育士、幼稚園の先生」の割合がやや増加しています。
○ 年齢別にみると、0 歳で「その他の親族」の割合が他の年齢に比べて高くなっています。



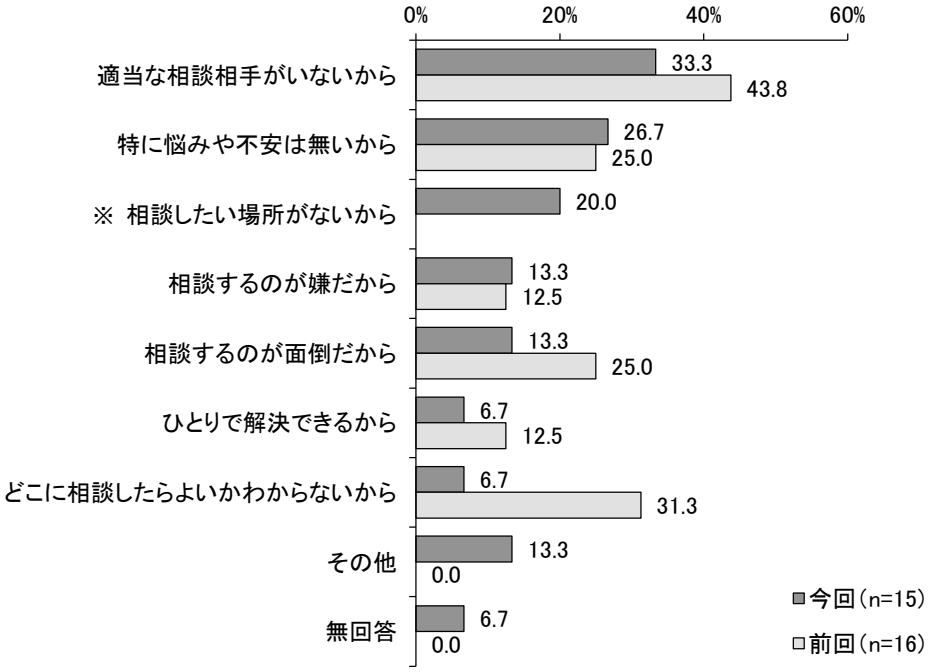
■年齢別　　単位：n（人）、項目（%）

	（n）	配偶者（夫又は妻）・パートナー	その他の親族（親、兄弟姉妹など）	知人・友人	保育士、幼稚園の先生	近所の人、地域の人	自治体の子育て関連窓口	インターネットを利用した相談サービス	相談しない	その他	無回答
全体	967	83.4	63.8	60.2	36.5	7.5	6.1	1.2	1.6	2.2	0.4
0歳	192	83.9	74.5	58.3	26.0	8.3	10.9	3.6	1.0	4.2	0.0
1歳	132	84.8	68.9	54.5	30.3	6.1	4.5	0.0	1.5	0.8	0.0
2歳	69	88.4	58.0	58.0	43.5	8.7	5.8	1.4	1.4	4.3	0.0
3歳	195	84.1	60.5	60.5	40.0	7.7	4.1	0.0	2.6	1.0	0.5
4歳	159	81.1	61.0	60.4	42.1	6.3	8.8	1.3	0.6	2.5	0.0
5歳	189	81.5	60.3	66.7	39.2	8.5	3.2	1.1	2.1	0.5	0.5

問12 問 11 で「8.」（相談しない）と答えた方にお聞きします。
→それ以外の方は問 14 へ
相談しないのはなぜですか。（○はいくつでも）

○ 子育てに関する悩みや不安を「相談しない」と回答した人に、その理由をうかがったところ、「適当な相談相手がいないから」が 33.3%で最も高く、次いで「特に悩みや不安は無いから」（26.7%）、「相談したい場所がないから」（20.0%）と続いています。

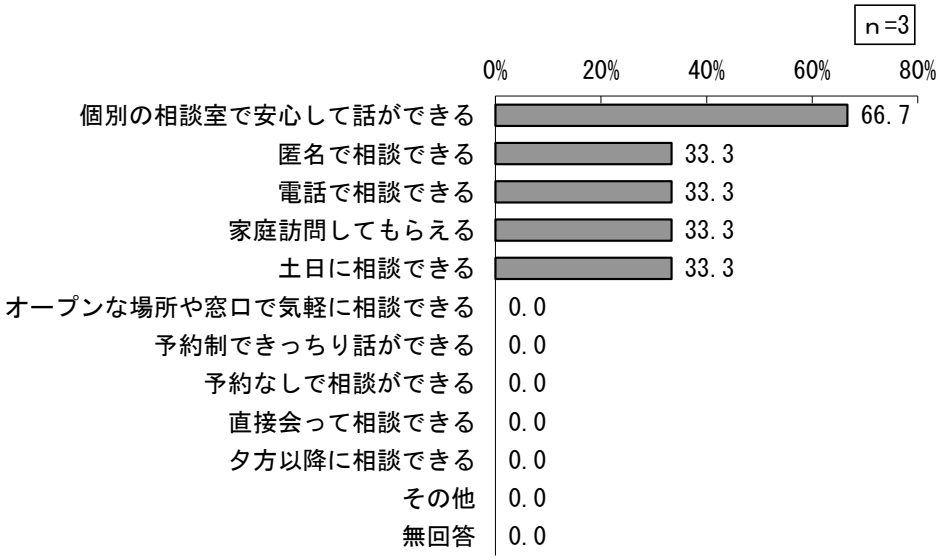
○ 前回調査の結果と比較すると、「どこに相談したらよいかわからないから」の割合が大きく減少し、前回調査では選択肢になかった「相談したい場所がないから」が 20.0%となっています。また、「相談するのが面倒だから」、「適当な相談相手がいないから」の割合も減少しています。



※前回調査には選択肢なし

問13 問 12 で「7.」（相談したい場所がない）と答えた方にお聞きします。
→それ以外の方は問 14 へ
どのような所だったら、相談しやすいと思いますか。（○は 3 つまで）

○ 子育てに関する悩みや不安を「相談したい場所がない」と回答した人に、相談しやすい所についてうかがったところ、以下のとおりとなっています。



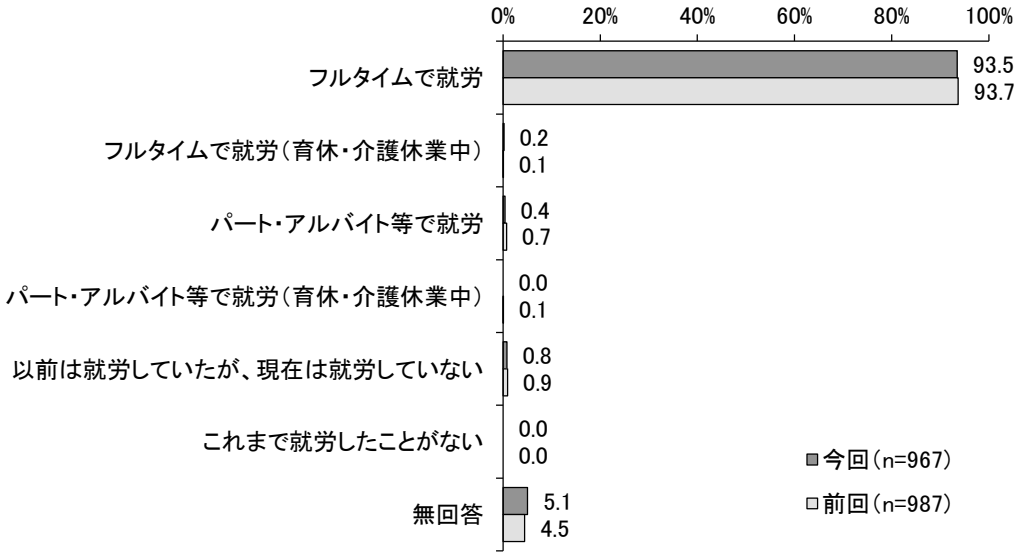
Ⅱ-３．就労状況について

※お父さん又はお母さんがいない場合は、それぞれへの質問にはお答えいただく必要はありません。

問14 （1） 宛名のお子さんの、ご両親の就労についての状況をおたずねします。
（1 つに○）

①父親

○ 父親の就労状況について、「フルタイムで就労」が 93.5%となっています。



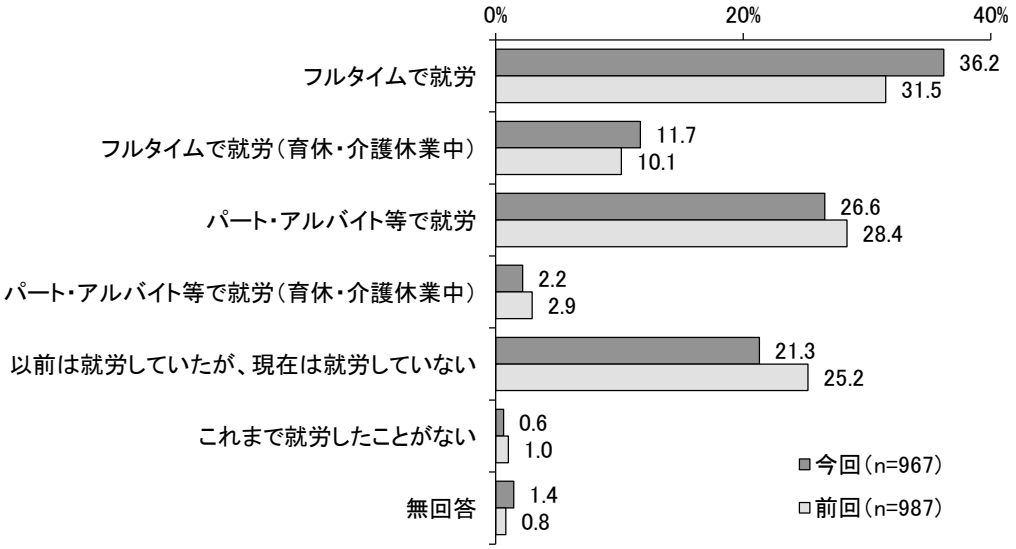
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	フルタイムで就労	フルタイムで就労（育休・介護休業中）	パート・アルバイト等で就労	パート・アルバイト等（育休・介護休業中）	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	967	93.5	0.2	0.4	0.0	0.8	0.0	5.1
0歳	192	94.3	1.0	1.0	0.0	0.5	0.0	3.1
1歳	132	96.2	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	3.0
2歳	69	97.1	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4
3歳	195	93.3	0.0	0.5	0.0	1.0	0.0	5.1
4歳	159	89.3	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	8.8
5歳	189	94.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	5.3

②母親

○ 母親の就労状況について、「フルタイムで就労」が 36.2%で最も高く、育休・介護休業中と合わせると 5 割弱が『フルタイム』となっています。「パート・アルバイト等で就労」が 26.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 21.3%となっています。

○ 年齢別にみると、0 歳では、フルタイムもしくはパートタイムで就労している人（育休・介護休業中除く）は合わせて 27.1%、育休・介護休業中の人は 39.6%となっています。



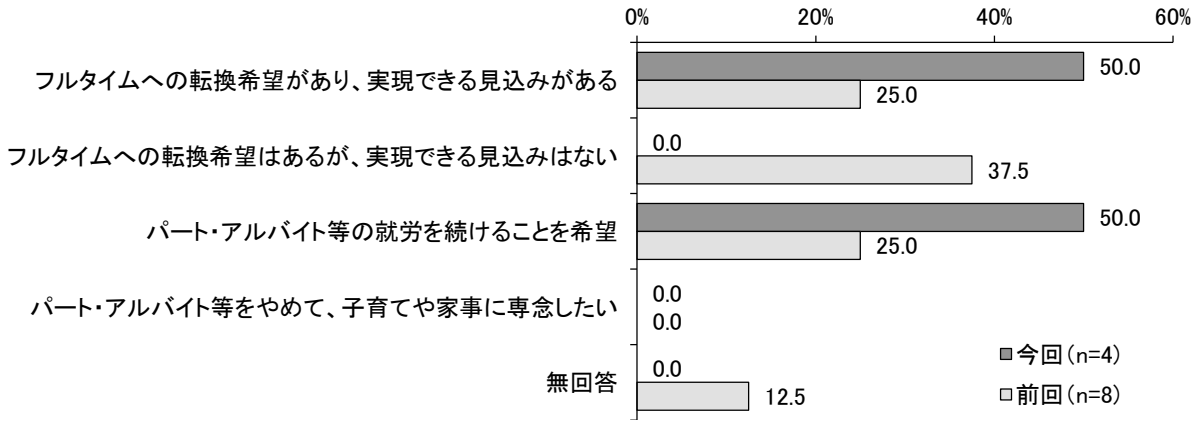
■年齢別　　単位：n（人）、項目（%）

	（n）	フルタイムで就労	フルタイムで就労（育休・介護休業中）	パート・アルバイト等で就労	パート・アルバイト等（育休・介護休業中）	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	967	36.2	11.7	26.6	2.2	21.3	0.6	1.4
0歳	192	17.7	33.9	9.4	5.7	33.3	0.0	0.0
1歳	132	42.4	8.3	24.2	0.0	25.0	0.0	0.0
2歳	69	37.7	15.9	21.7	1.4	23.2	0.0	0.0
3歳	195	39.5	4.6	36.4	0.0	16.4	0.5	2.6
4歳	159	34.6	5.0	40.3	1.9	14.5	1.3	2.5
5歳	189	47.6	3.7	25.9	2.1	18.0	1.1	1.6

問 14 付問（2）　（1）で「3.」、「4.」（パート・アルバイト等で就労している）と答えた方にお聞きします。
フルタイムへの転換希望はありますか。（○は該当するそれぞれに１つ）

①父親

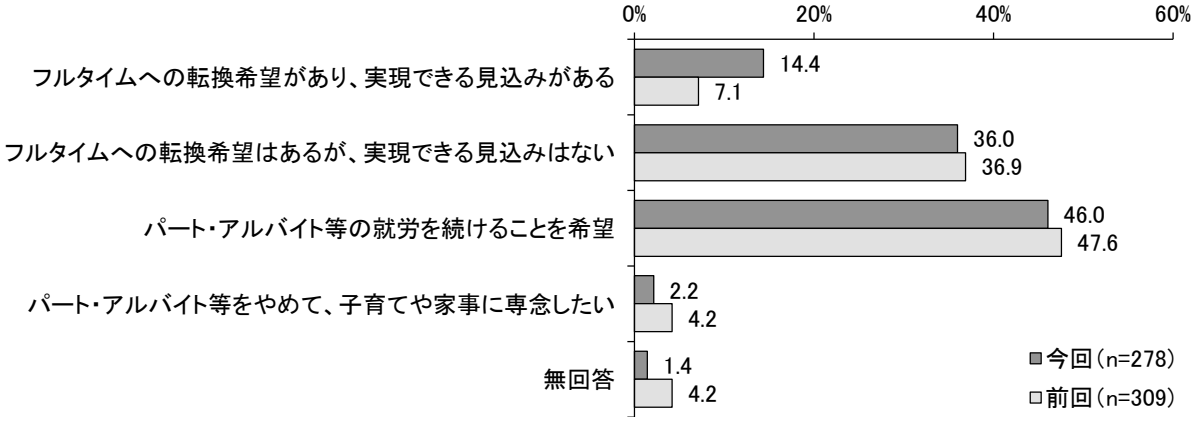
○ パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、以下のとおりとなっています。



②母親

○ パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望について、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 46.0％で最も高く、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（36.0％）、「転換希望があり、実現できる見込みがある」（14.4％）と続いています。

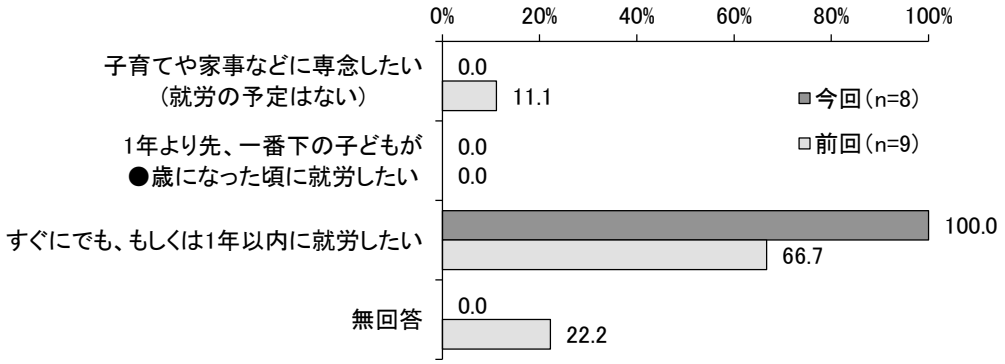
○ 前回調査と比較すると、「転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が増加しています。



問15 問14(1)で「5.」「6.」（現在またはこれまで就労していない）と答えた方にお聞きします。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

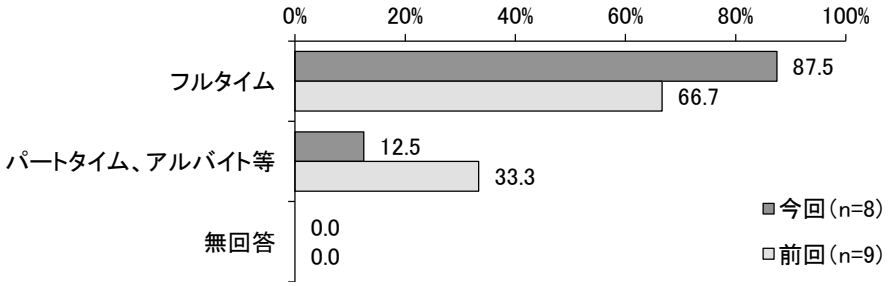
①父親

○ 現在就労していない父親の就労意向について、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 100.0％となっています。



【希望する就労形態】

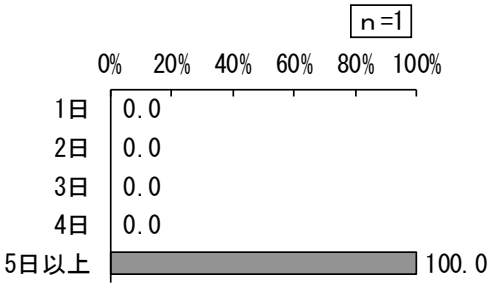
○ 「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」と回答した人に、希望する就労形態をうかがったところ、「フルタイム」が 87.5％となっています。



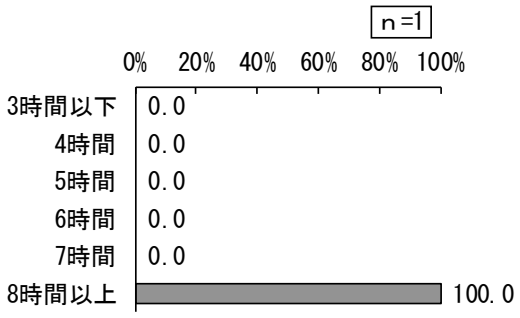
【パートタイム、アルバイト等の日数・時間】

○ 「パートタイム、アルバイト等」での就労を希望する人に、希望する日数、時間をうかがったところ、以下のとおりとなっています。

＜1 週当たり日数＞



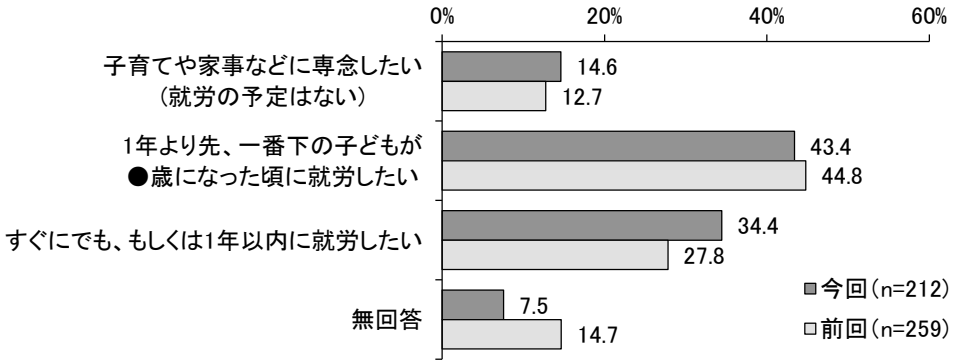
＜1 日当たり時間＞



	1 週あたり日数	1 日あたり時間
平均	5.00 日	8.00 時間
最大値	5.00 日	8.00 時間
最小値	5.00 日	8.00 時間

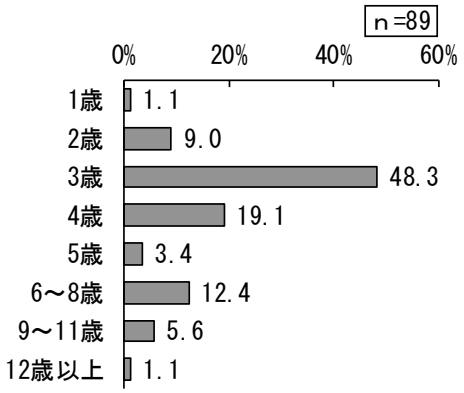
②母親

○ 現在就労していない父親の就労意向について、「1 年より先、一番下の子どもが●歳になった頃に就労したい」が 43.4%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」（34.4%）、「子育てや家事などに専念したい」（14.6%）と続いています。



【「子どもが●歳」の子どもの年齢】

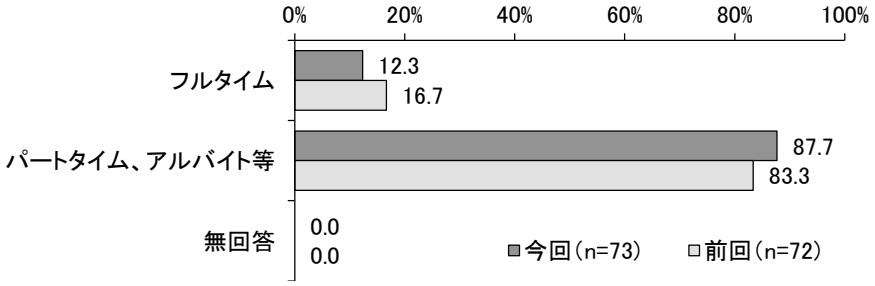
○ 「1 年より先、一番下の子どもが●歳になった頃に就労したい」場合の子どもの年齢について、「3 歳」が 48.3%で最も高く、次いで「4 歳」（19.1%）、「6～8 歳」（12.4%）と続いています。



	子どもの年齢
平均	4.04 歳
最大値	12.00 歳
最小値	1.00 歳

【希望する就労形態】

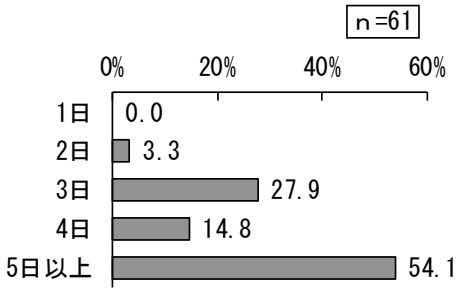
○ 「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」と回答した人に、希望する就労形態をうかがったところ、「パートタイム、アルバイト等」が 87.7%、「フルタイム」が 12.3%となっています。



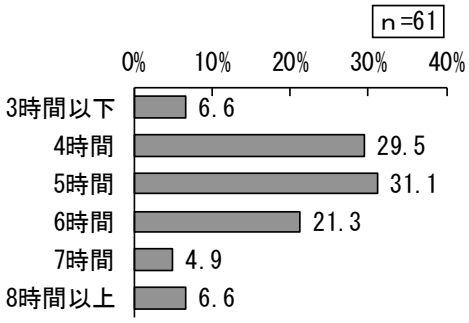
【パートタイム、アルバイト等の１週・１日あたりの日数・時間】

○ 「パートタイム、アルバイト等」での就労を希望する人に、希望する日数、時間をうかがったところ、週当たり日数は「5 日以上」、1 日当たり時間は「5 時間」が最も高くなっています。

＜1 週当たり日数＞



＜1 日当たり時間＞

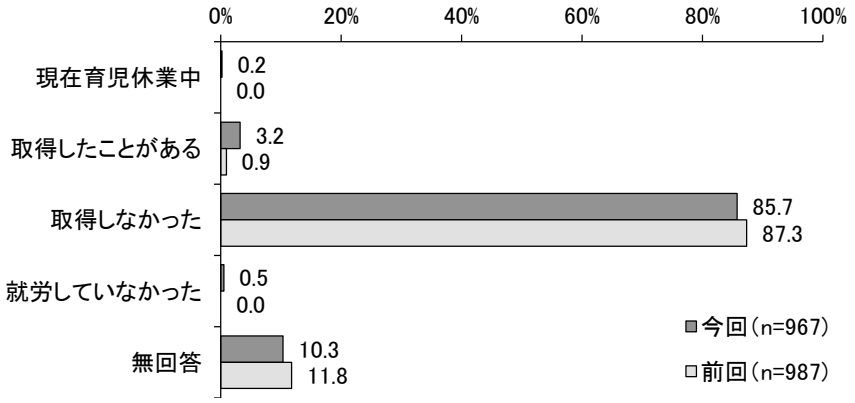


	1 週あたり日数	1 日あたり時間
平均	4.20 日	5.08 時間
最大値	5.00 日	8.00 時間
最小値	2.00 日	3.00 時間

問16 これまでに育児休業を取得したことがありますか。（○はそれぞれに１つ）

①父親

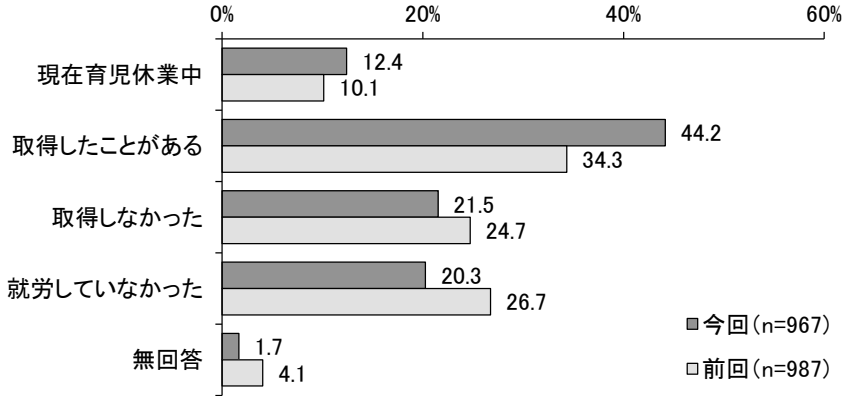
○ 父親の育児休業の取得状況について、「取得しなかった」が 85.7%、「取得したことがある」が 3.2%となっています。



②母親

○ 母親の育児休業の取得状況について、「取得したことがある」が 44.2%で最も高く、次いで「取得しなかった」（21.5%）、「就労していなかった」（20.3%）となっています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「取得したことがある」の割合が増加しています。

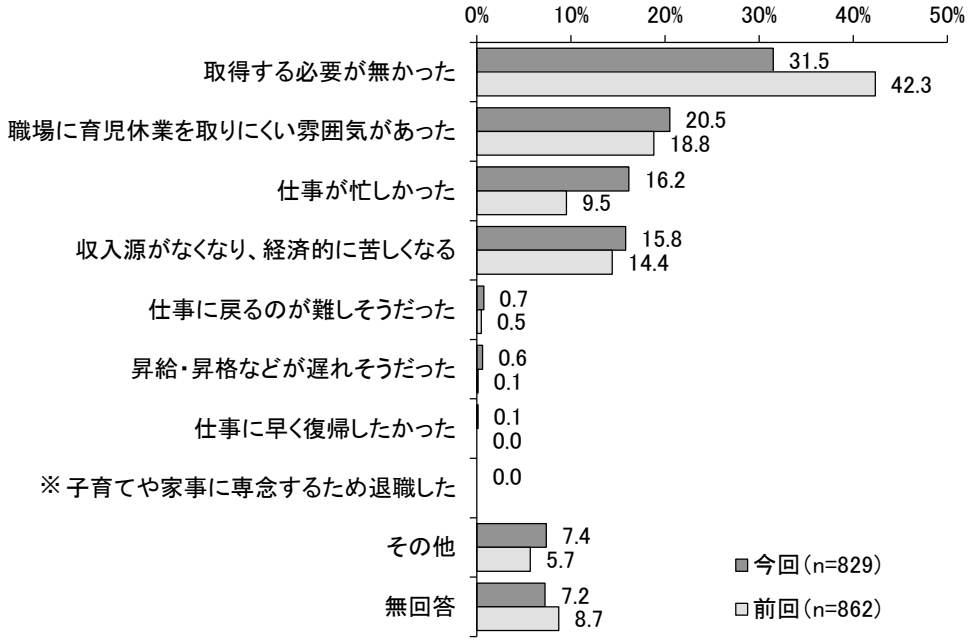


問17 問16で「3.」（取得しなかった）と答えた方にお聞きします。
取得しなかった理由は何ですか。　（○は該当するそれぞれに１つ）

①父親

○ 父親が育児休業を取得しなかった理由について、「取得する必要が無かった」が31.5%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（20.5%）、「仕事が忙しかった」（16.2%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「取得する必要がなかった」の割合が減少しています。

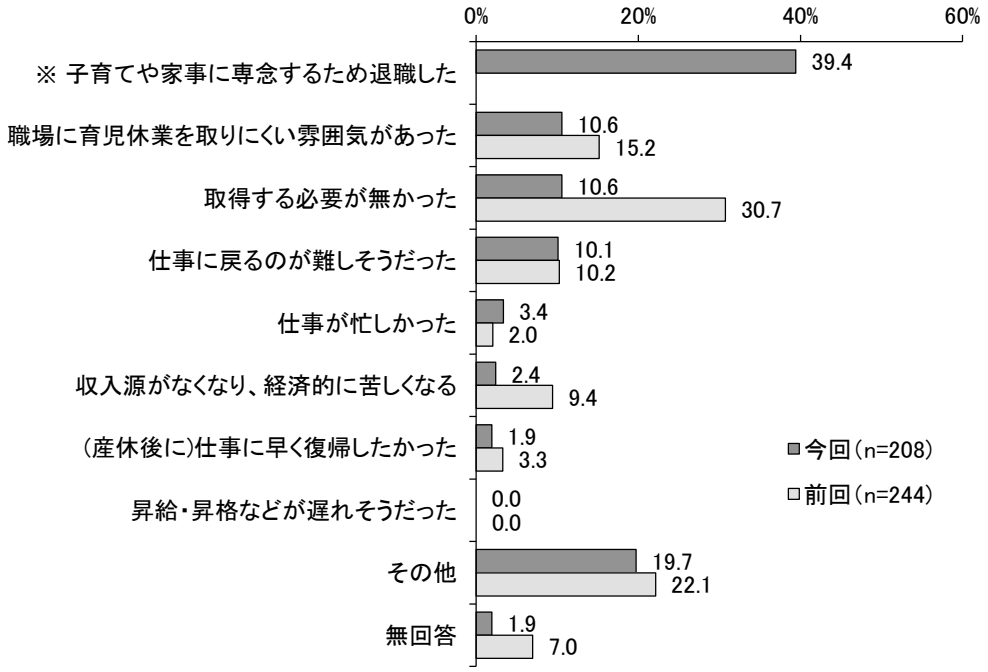


※前回調査には選択肢なし

②母親

○ 母親が育児休業を取得しなかった理由について、「子育てや家事に専念するため退職した」が 39.4%で最も高く、次いで「その他」（19.7%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「取得する必要が無かった」（各 10.6%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、今回調査で新たに追加された「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が高く、「取得する必要が無かった」の割合が大きく減少しています。

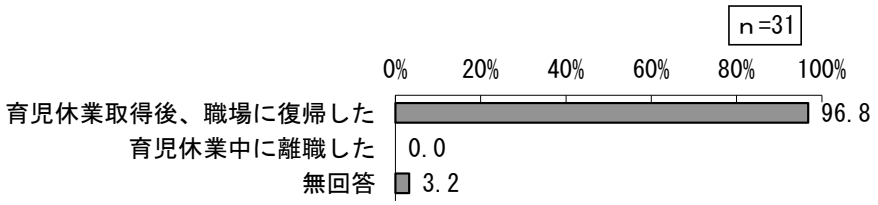


※前回調査には選択肢なし

問18 問16で「2.」（取得したことがある）と答えた方にお聞きします。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は該当するそれぞれに１つ）

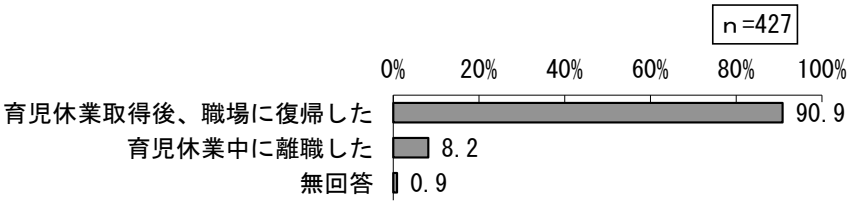
①父親

○ 育児休業を取得したことがある父親の職場復帰について、「育児休業取得後、職場に復帰した」が96.8%となっています。



②母親

○ 育児休業を取得したことがある母親の職場復帰について、「育児休業取得後、職場に復帰した」が90.9%、「育児休業中に離職した」が8.2%となっています。

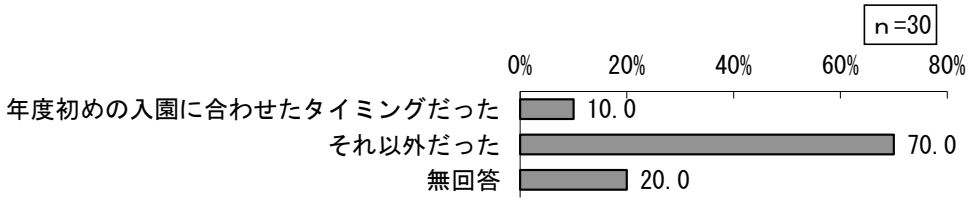


問 19～問 21 は、問 18 で「1. 」（育児休業取得後、職場に復帰した）と答えた方にお聞きします。

問19 育児休業から職場に復帰したのは、保育園等の年度初めの入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（○は該当するそれぞれに１つ）

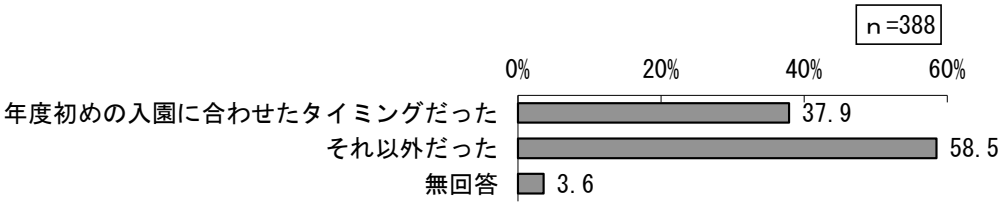
①父親

○ 育児休業取得後に職場復帰したタイミングについて、「それ（年度初めの入園に合わせたタイミング）以外だった」が 70.0%となっています。



【母親】

○ 育児休業取得後に職場復帰したタイミングについて、「それ（年度初めの入園に合わせたタイミング）以外だった」が 58.5%、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が 37.9%となっています。

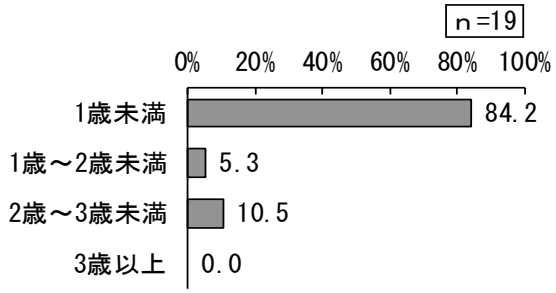


問20 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

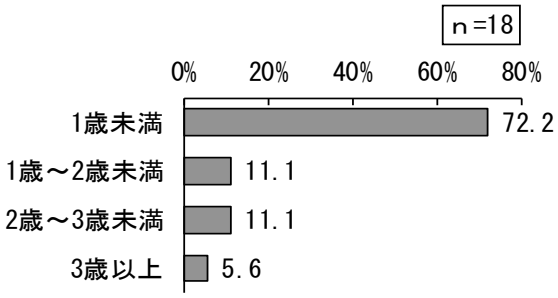
①父親

○ 職場復帰の際の子どもの年齢について、「実際」の年齢と「希望」の年齢は以下のとおりです。

＜実　際＞



＜希　望＞

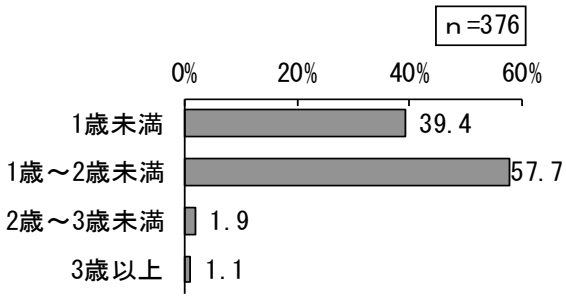


	実際	希望
平均	0 歳 5 か月	0 歳 8 か月
最大値	2 歳 9 か月	3 歳
最小値	0 歳	0 歳

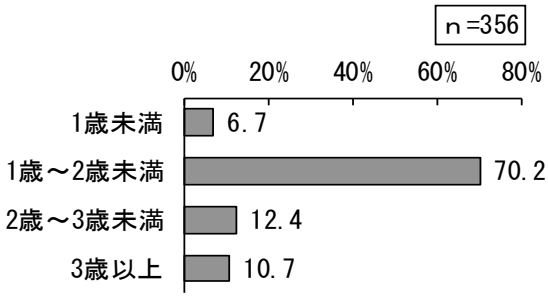
②母親

○ 職場復帰の際の子どもの年齢について、「実際」のほうが「希望」に比べて「1 歳未満」の割合が高くなっています。

＜実　際＞



＜希　望＞



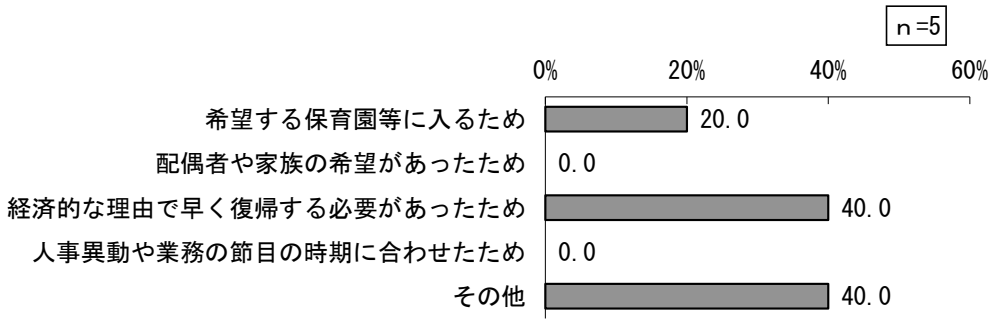
	実際	希望
平均	1 歳	1 歳 5 か月
最大値	4 歳 10 か月	5 歳 5 か月
最小値	0 歳 2 か月	0 歳 2 か月

問21 問 20 で、実際の復帰と希望が異なる方にお聞きします。
希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。（○は該当するそれぞれに１つ）

（1）希望より「早く」復帰した方

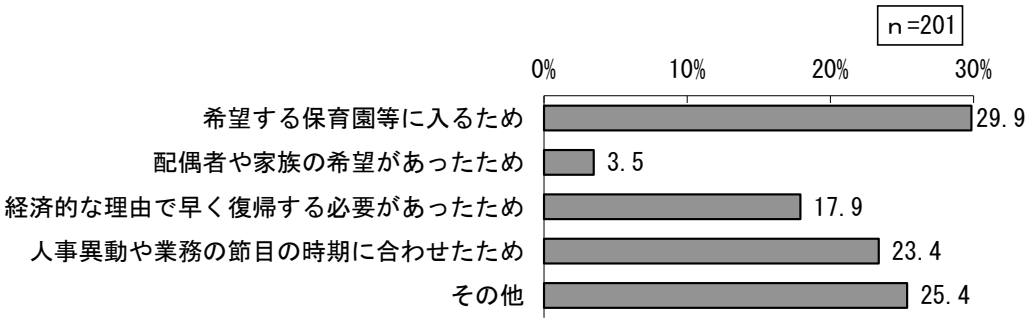
①父親

○ 父親が希望より早く職場復帰した理由は、以下のとおりとなっています。



②母親

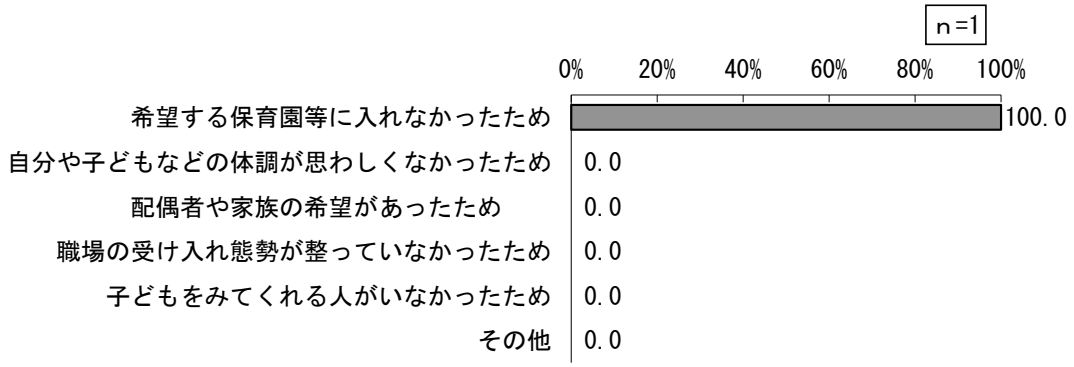
○ 母親が希望より早く職場復帰した理由について、「希望する保育園等に入るため」が29.9%で最も高く、次いで「その他」（25.4%）、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」（23.4%）と続いています。



(2) 希望より「遅く」復帰した方

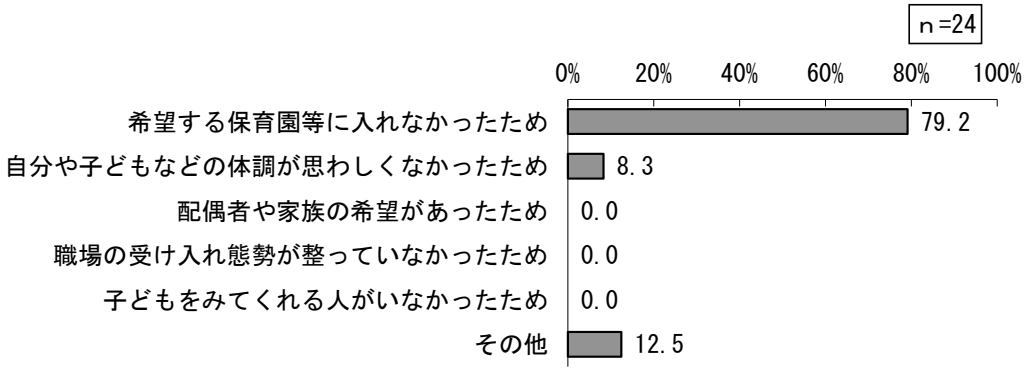
①父親

○ 父親が希望より遅く職場復帰した理由は、以下のとおりとなっています。



②母親

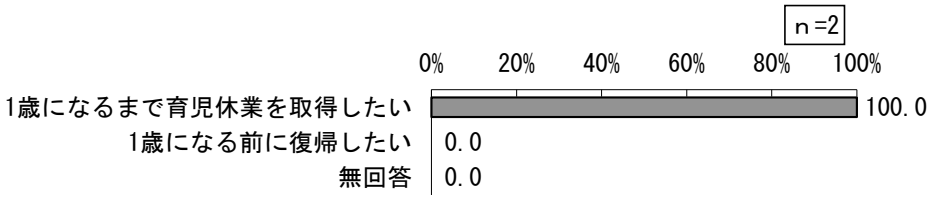
○ 母親が希望より遅く職場復帰した理由について、「希望する保育園等に入れなかったため」が 79.2%で最も高く、次いで「その他」（12.5%）、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」（8.3%）となっています。



問22 問16で「1. 」（現在育児休業中）と答えた方にお聞きします。
お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育園等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育園等があっても1歳になる前に復帰しますか。（○は該当するそれぞれに1つ）

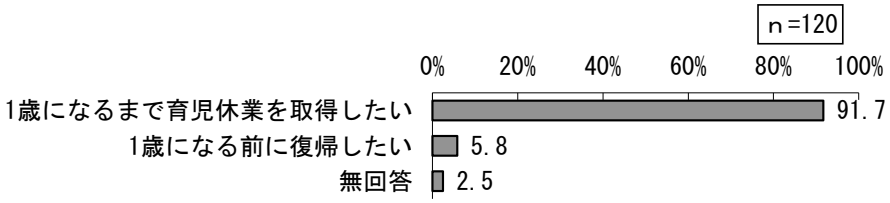
①父親

○ 現在育児休業中の父親の、子どもが1歳になったときに保育園等が必ず利用できる場合の復帰時期は、以下のとおりとなっています。



②母親

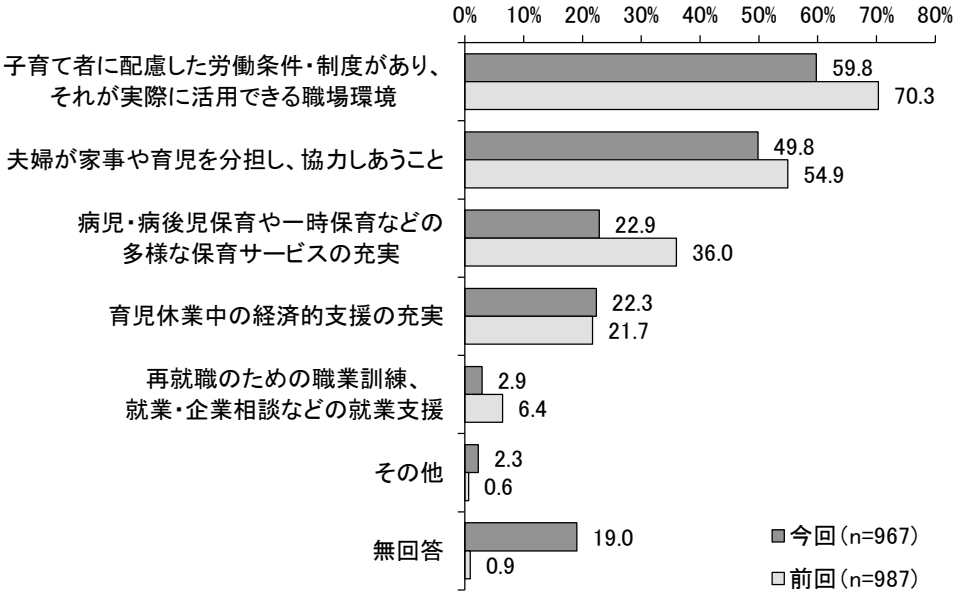
○ 現在育児休業中の母親の、子どもが1歳になったときに保育園等が必ず利用できる場合の復帰時期について、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が91.7%となっています。



問23 保護者にとって、子どもを育てながら働くために、特にどんなことが必要だと思いますか。現在就労していない方もお答えください。（○は２つまで）

○ 子どもを育てながら働くために必要なことについて、「子育て者に配慮した労働条件・制度があり、それが実際に活用できる職場環境」が 59.8％で最も高く、次いで「夫婦が家事や育児を分担し、協力しあうこと」（49.8％）、「病児・病後児保育や一時保育などの多様な保育サービスの充実」（22.9％）と続いています。

○ 前回調査の結果と比べると、「病児・病後児保育や一時保育などの多様な保育サービスの充実」、「子育て者に配慮した労働条件・制度があり、それが実際に活用できる職場環境」の割合が減少しています。

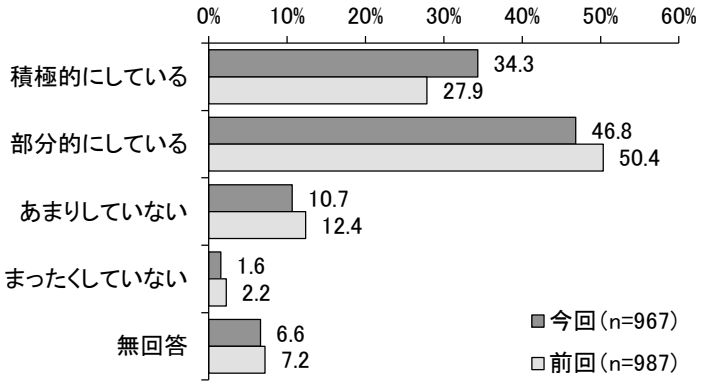


Ⅱ-４．父親の家事・育児について

※問 24～25 に関しては、必ずお父さんの考えをお書きください。
お父さんがいない場合は、お答えいただく必要はありません。

問24 お父さんは、どのように家事・育児をしていますか。（○は１つ）

○ 父親の家事・育児の状況について、「部分的にしている」が 46.8%で最も高く、次いで「積極的にしている」（34.3%）、「あまりしていない」（10.7%）と続いています。
○ 前回調査の結果と比較すると、「積極的にしている」の割合が増加しています。

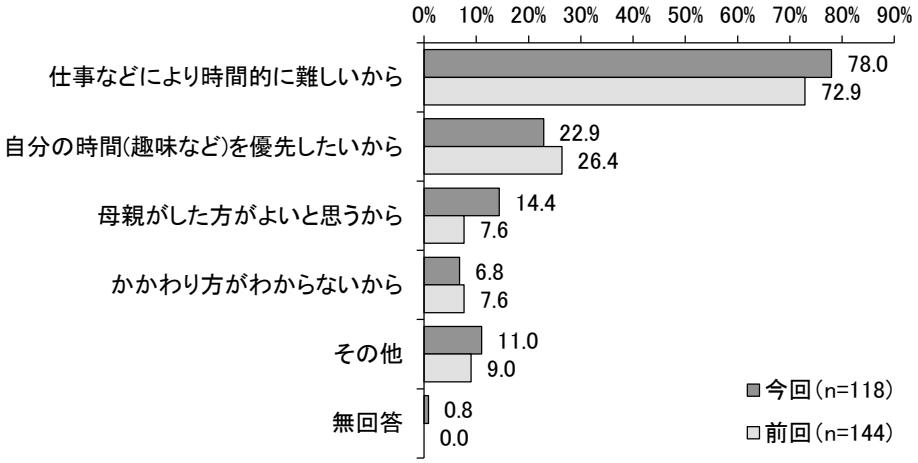


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	積極的にしている	部分的にしている	あまりしていない	まったくしていない	無回答
全体	967	34.3	46.8	10.7	1.6	6.6
0歳	192	33.3	51.0	9.9	2.1	3.6
1歳	132	37.1	48.5	7.6	1.5	5.3
2歳	69	31.9	55.1	11.6	1.4	0.0
3歳	195	36.4	44.6	11.3	2.1	5.6
4歳	159	39.0	33.3	14.5	1.9	11.3
5歳	189	31.2	50.3	9.5	0.5	8.5

問25 問24で「3.」、「4.」（家事・育児を（あまり）していない）と答えた方にお聞きします。
お父さんが家事・育児を（あまり）していないのはなぜですか。（○はいくつでも）

○ 父親が家事を（あまり）していないと回答した人に、その理由をうかがったところ、「仕事などにより時間的に難しいから」が78.0％で最も高く、次いで「自分の時間（趣味など）を優先したいから」（22.9％）、「母親がした方がよいと思うから」（14.4％）と続いています。



Ⅱ-５．「生活」の中のバランスについて

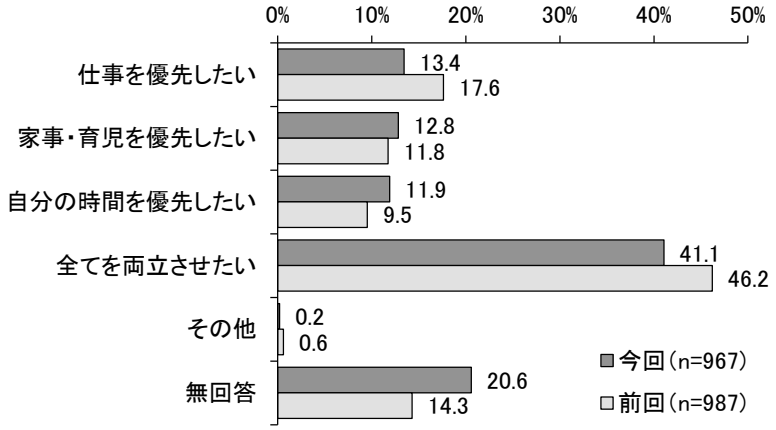
※お父さん又はお母さんがいない場合は、それぞれへの質問にはお答えいただく必要はありません。

問26 生活の中での「仕事」「家事・育児」「自分の時間（趣味など）」について、希望する優先度、現実の優先度、それぞれ一番近いものはどれですか。（○はそれぞれに１つ）

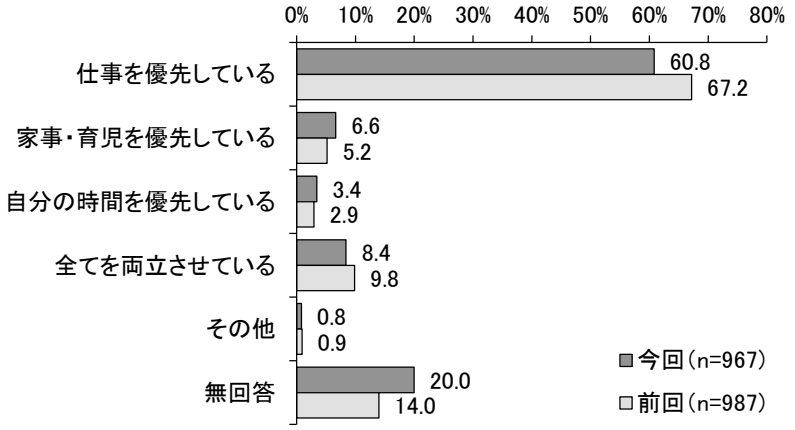
①父親

○ 父親の仕事、家事・育児、自分の時間の優先順位について、希望では「全てを両立させたい」が 41.1%で最も高く、現実では「仕事を優先している」が 60.8%で最も高くなっています。

＜希望＞



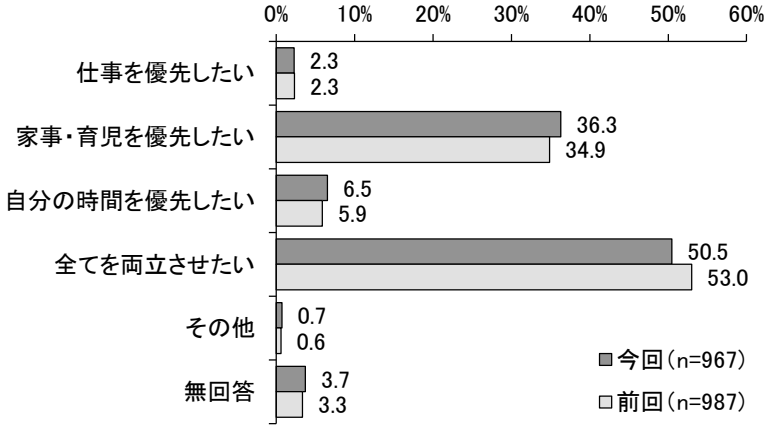
＜現実＞



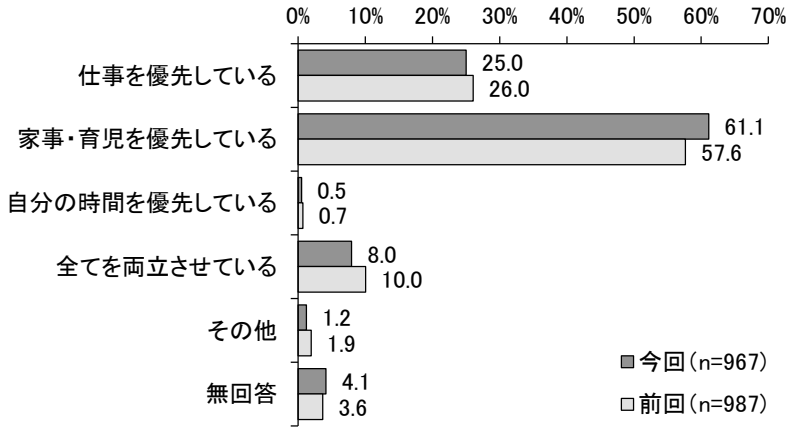
②母親

○ 母親の仕事、家事・育児、自分の時間の優先順位について、希望では「全てを両立させたい」が 50.5%で最も高く、現実では「家事・育児を優先している」が 61.1%で最も高くなっています。

＜希望＞

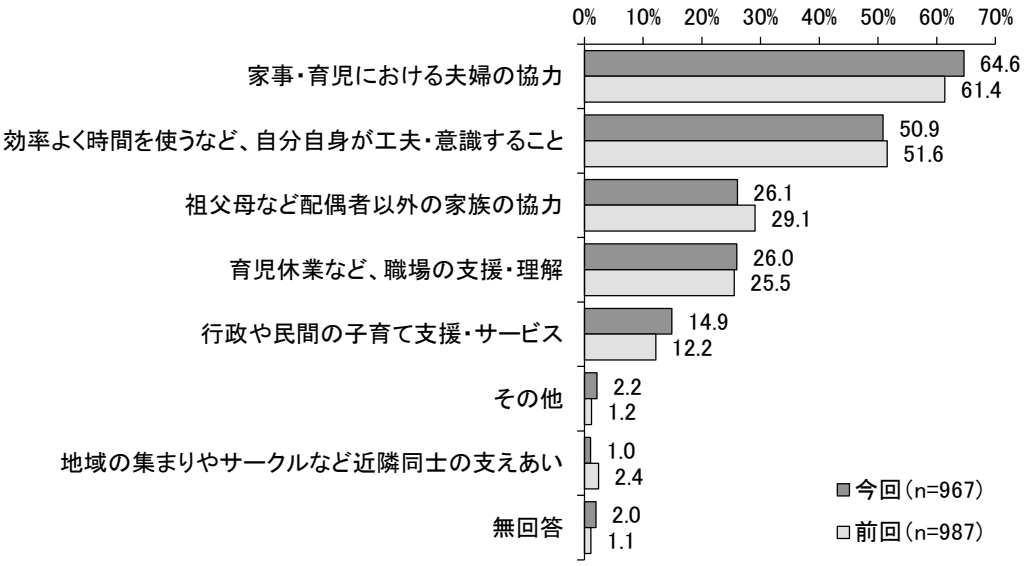


＜現実＞



問27 現在の生活において、「仕事」「家事・育児」「自分の時間（趣味など）」のバランスをうまくとるために必要なことは何だと思いますか。（○は主なものを 2 つまで）

○ 仕事、家事・育児、自分の時間のバランスをうまくとるために必要なことについて、「家事・育児における夫婦の協力」が 64.6%で最も高く、次いで「効率よく時間を使うなど、自分自身が工夫・意識すること」（50.9%）、「祖父母など配偶者以外の家族の協力」（26.1%）と続いています。



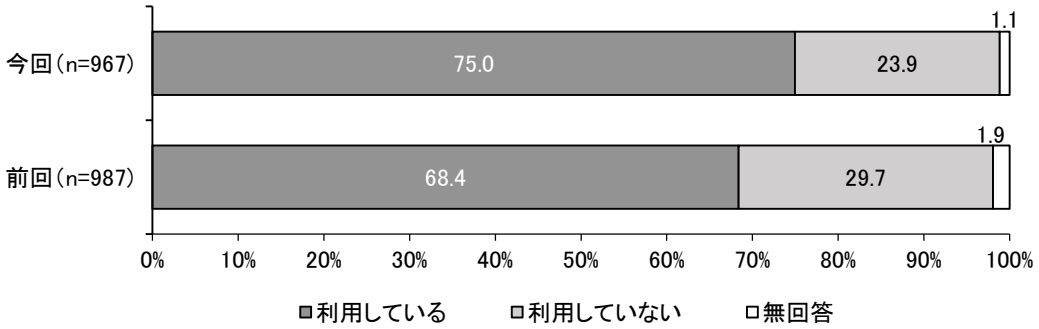
Ⅱ-６．平日の保育・教育状況の現状について

問28 （1）宛名のお子さんは現在、保育園や幼稚園などの「定期的な保育・教育事業」を利用されていますか。 （○は１つ）

○ 定期的な保育・教育事業の利用について、「利用している」が 75.0%、「利用していない」が 23.9%となっています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。

○ 年齢別にみると、「利用している」の割合が、0 歳で 19.3%、1、2 歳で約 60%、3 歳以上でほぼ 100%となっています。

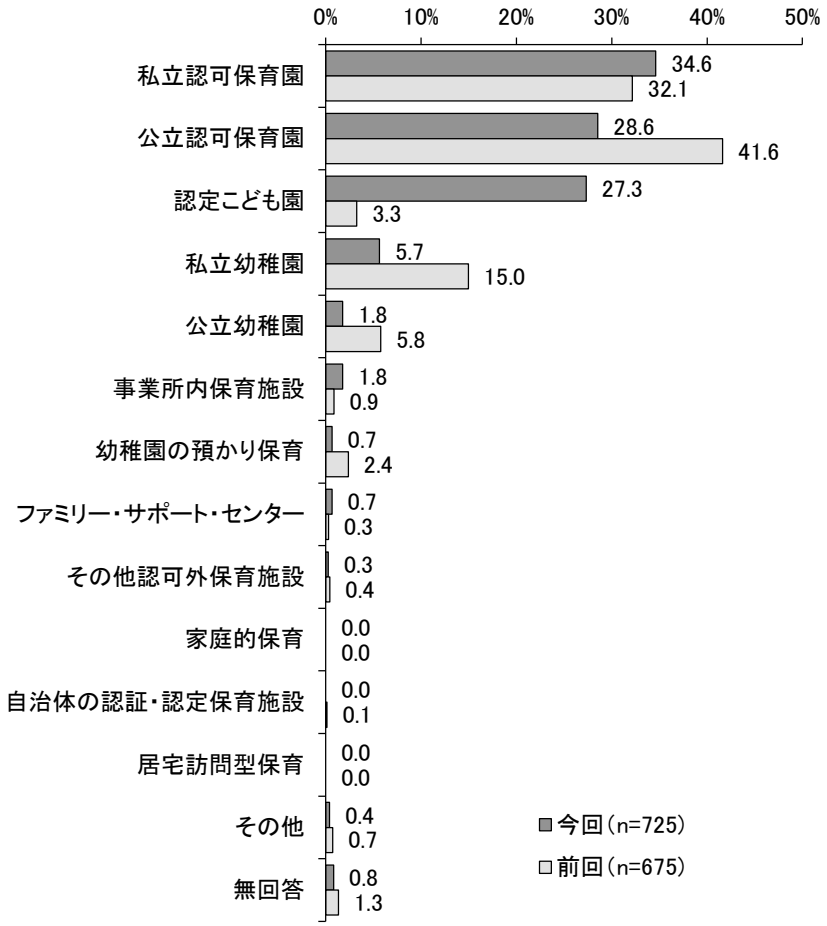


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	利用している	利用していない	無回答
全体	967	75.0	23.9	1.1
0歳	192	19.3	79.2	1.6
1歳	132	60.6	38.6	0.8
2歳	69	62.3	36.2	1.4
3歳	195	99.5	0.0	0.5
4歳	159	98.7	0.6	0.6
5歳	189	98.9	0.0	1.1

問 28 付問（2）　問 28（1）で「1.」（利用している）と答えた方にお聞きします。
宛名のお子さんは、平日どのような保育・教育事業を利用していますか。年間を通じて、「定期的に」利用している事業をお答えください。（○はいくつでも）

○ 利用している保育・教育事業について、「私立認可保育園」が 34.6%で最も高く、次いで「公立認可保育園」（28.6%）、「認定こども園」（27.3%）と続いています。
○ 前回調査の結果と比較すると、「認定こども園」の割合が大きく増加し、「公立認可保育園」、「私立幼稚園」の割合が減少しています。



■年齢別

単位：ｎ（人）、項目（%）

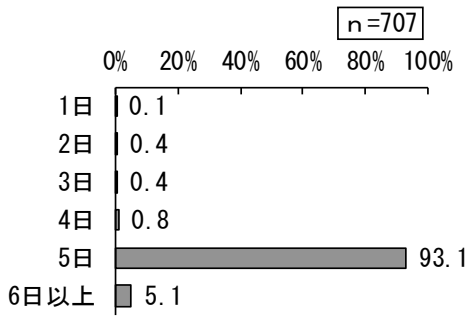
	（ｎ）	私立認可保育園	公立認可保育園	認定こども園	私立幼稚園	公立幼稚園	事業所内保育施設	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	その他認可外保育施設	家庭的保育	自治体の認証・認定保育施設	居宅訪問型保育	その他	無回答
全体	725	34.6	28.6	27.3	5.7	1.8	1.8	0.7	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8
0歳	37	40.5	10.8	32.4	2.7	0.0	10.8	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1歳	80	53.8	18.8	13.8	1.3	0.0	8.8	1.3	2.5	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0
2歳	43	46.5	39.5	9.3	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0
3歳	194	30.4	26.8	35.1	7.7	1.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
4歳	157	29.9	31.8	24.8	12.1	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.9
5歳	187	31.6	32.1	29.4	1.6	5.3	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5

問 28 付問（3）　平日に定期的に利用している保育・教育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

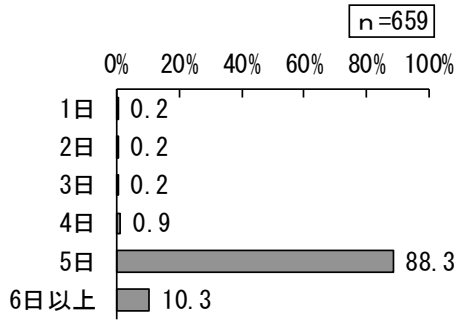
【週当たり日数】

○ 定期的に保育・教育事業を利用している人に、週当たり利用日数の現状及び希望をうかがったところ、現状、希望とも「5 日」が最も高く、9 割前後を占めています。

＜現　状＞



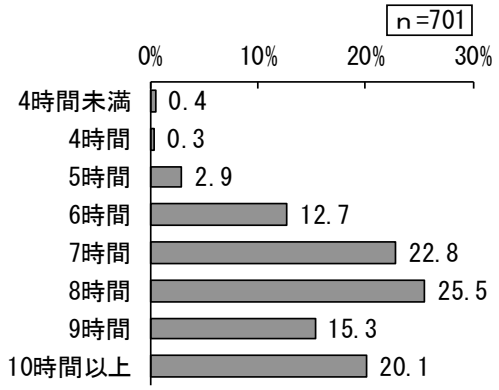
＜希　望＞



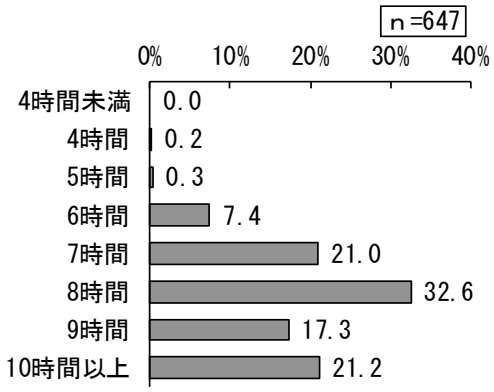
【1 日当たり時間】

○ 定期的に保育・教育事業を利用している人に、1 日当たり利用時間の現状及び希望をうかがったところ、現状、希望とも「8 時間」が最も高くなっています。

＜現　状＞



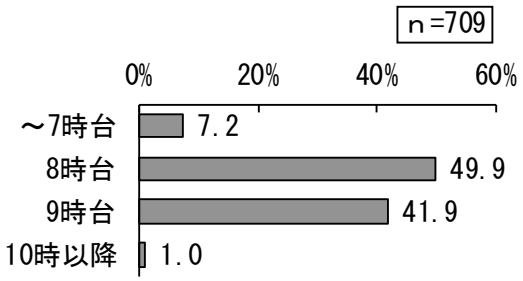
＜希　望＞



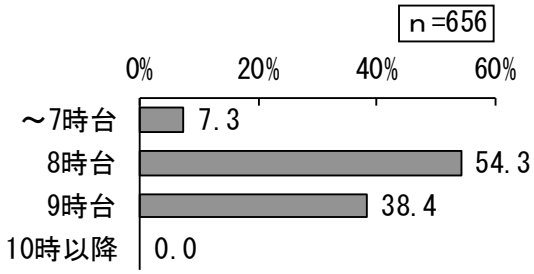
【開始時間（何時から）】

○ 保育・教育事業の利用開始時間の現状及び希望について、現状、希望とも「8 時台」が最も高くなっています。

＜現　状＞



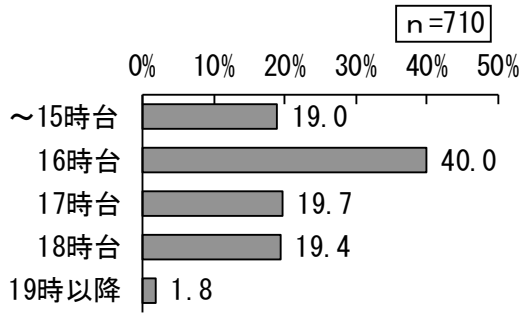
＜希　望＞



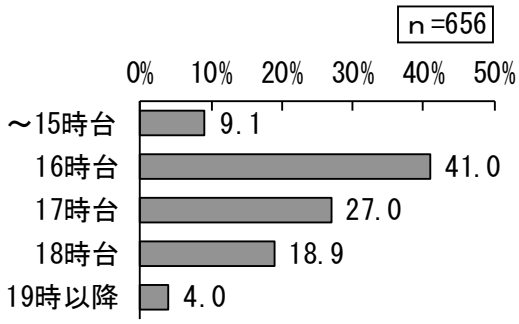
【終了時間（何時まで）】

○ 保育・教育事業の利用終了時間の現状及び希望について、現状、希望とも「16 時台」が最も高くなっています。現状に比べて希望のほうが「17 時台」の割合が高く、「～15 時台」の割合が低くなっています。

＜現　状＞



＜希　望＞



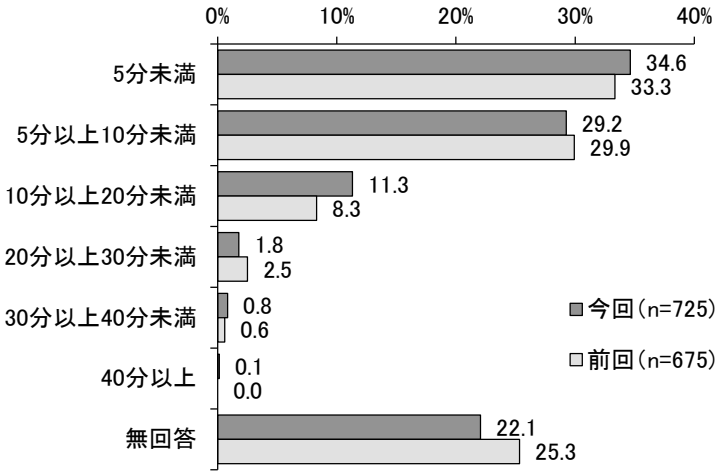
	現　状				希　望			
	1週当たり日数	1日当たり時間	何時から	何時まで	1週当たり日数	1日当たり時間	何時から	何時まで
平均	5.01 日	8.00 時間	8：23	16：25	5.08 日	8.31 時間	8：19	16：40
最大値	6.00 日	12.00 時間	17：00	23：00	7.00 日	18.00 時間	9：00	19：00
最小値	0.00 日	1.00 時間	5：00	12：00	0.00 日	0.00 時間	5：00	13：00

問 28 付問（4） 利用している保育・教育事業の実施場所はどこですか。（○は１つ）

○ 利用している保育・教育事業の実施場所は、以下のとおりとなっています。

問29 通園バスを利用されていない方にお聞きします。
自宅からの片道の通園時間はどのくらいですか。（○は１つ）

○ 通園バスを利用していない人の通園時間について、「5 分未満」が 34.6%で最も高く、次いで「5 分以上 10 分未満」（29.2%）、「10 分以上 20 分未満」（11.3%）と続いています。



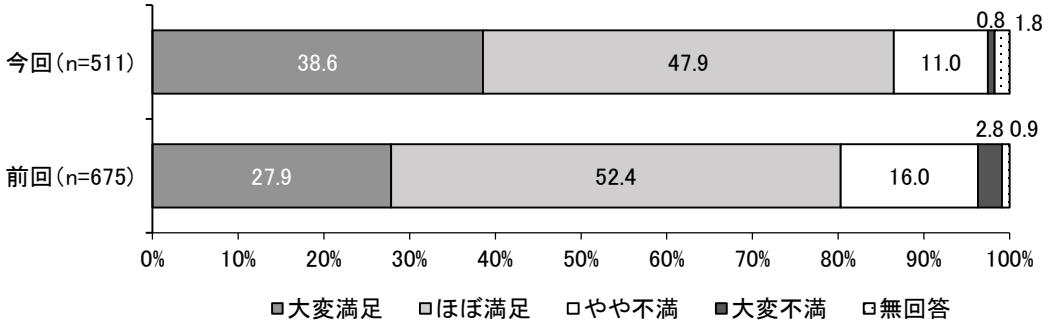
問30 現在、お子さんが保育園、幼稚園に通っている方にお聞きします。
宛名のお子さんが通う保育園、幼稚園に対してどのように感じていますか。
（○は 1～13 のそれぞれに１つ）

○ 保育園、幼稚園に通園している人にその満足度についてうかがったところ、「大変満足」の割合が高い項目は、「食事」（60.7%）、「子どもへの接し方・日常の遊び（保育内容）」（47.0%）、「病気やけがの時の対応」（45.4%）となっています。

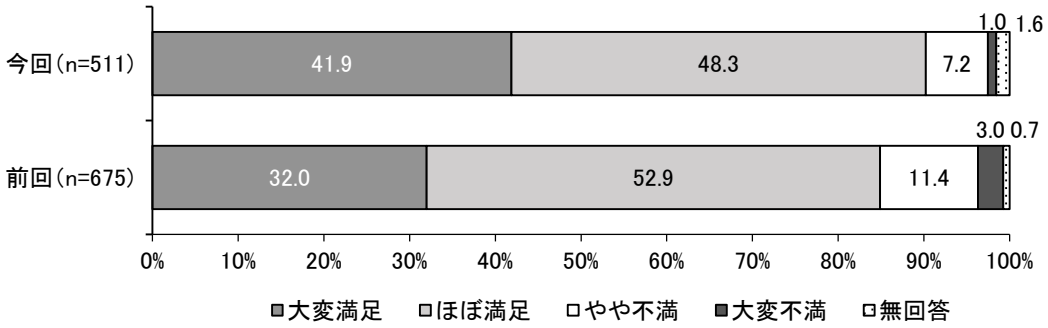
○ 一方、「やや不満」と「大変不満」を合わせた『不満』の割合が高い項目は、「保育料または授業料」（29.0%）、「利用者間のネットワークづくり」（17.6%）、「保護者への情報伝達」（16.3%）となっています。

○ 前回調査の結果と比較すると、多くの項目で「大変満足」の割合が増加し、特に「病気やけがの時の対応」、「施設・環境（園舎・園庭、玩具など）」、「保育士（教諭）の配置状況（人員体制）」の割合が増加しています。

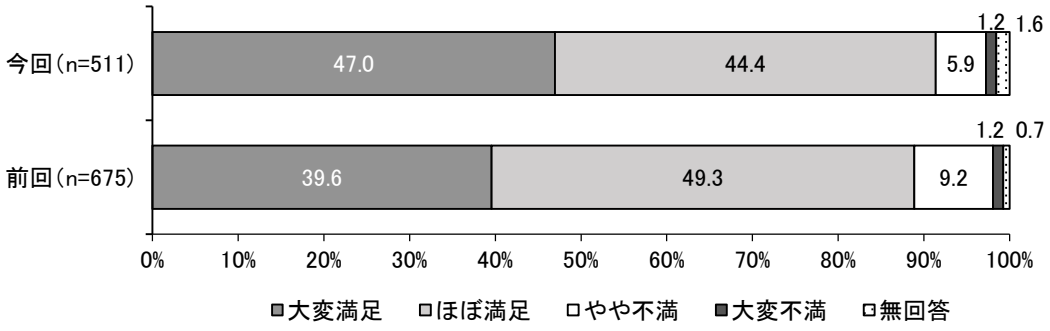
①施設・環境（園舎・園庭、玩具など）



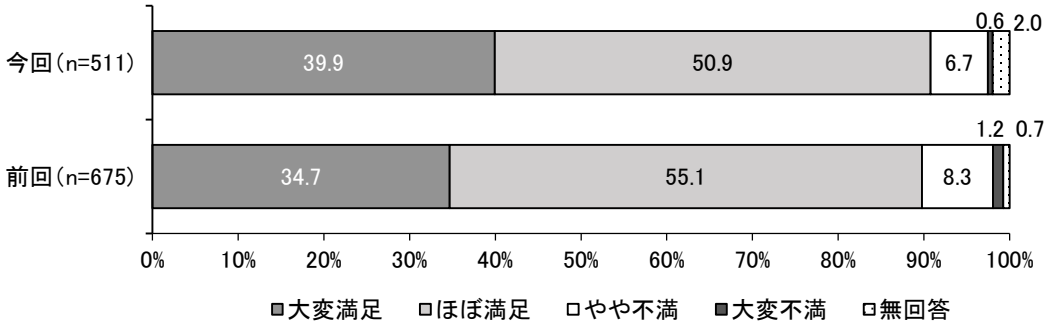
②保育士（教諭）の配置状況（人員体制）



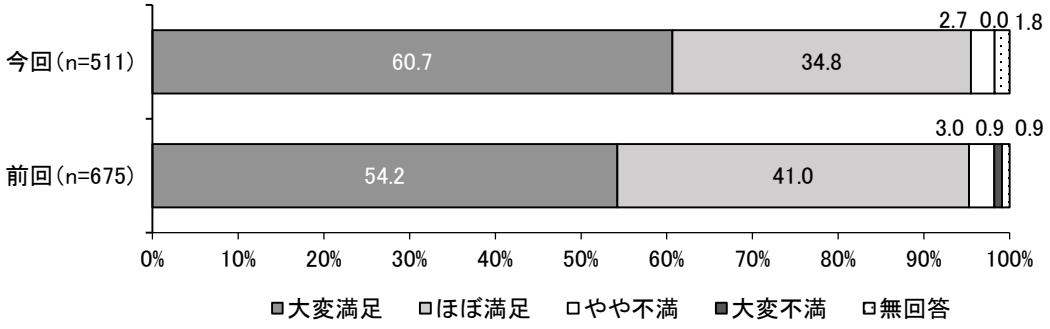
③子どもへの接し方・日常の遊び（保育内容）



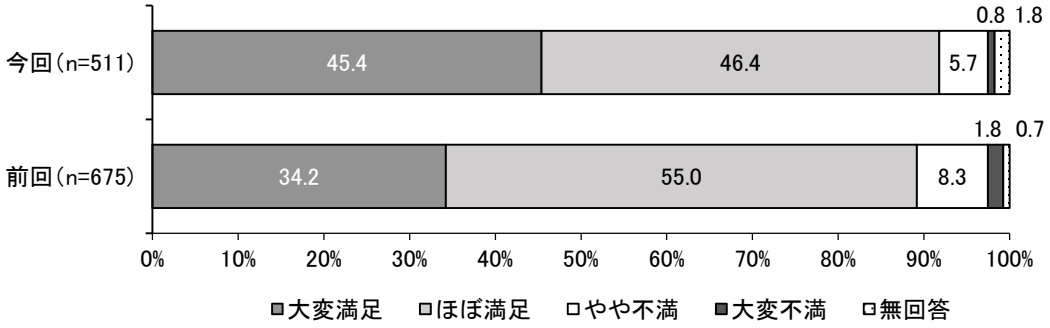
④行事（保育参観や運動会など）



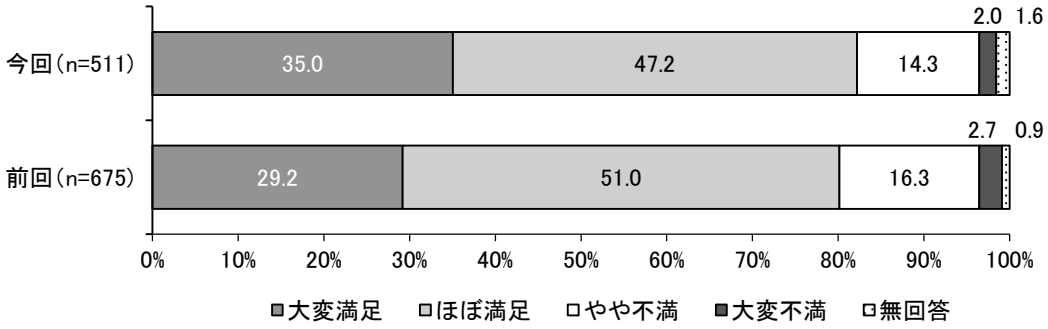
⑤食事



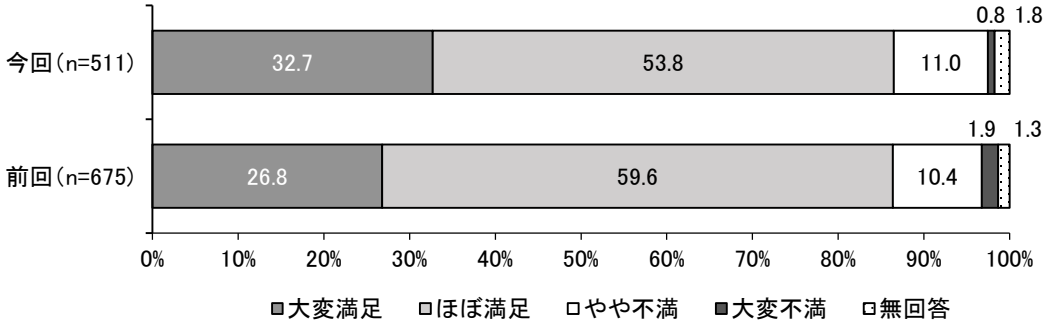
⑥病気やけがの時の対応



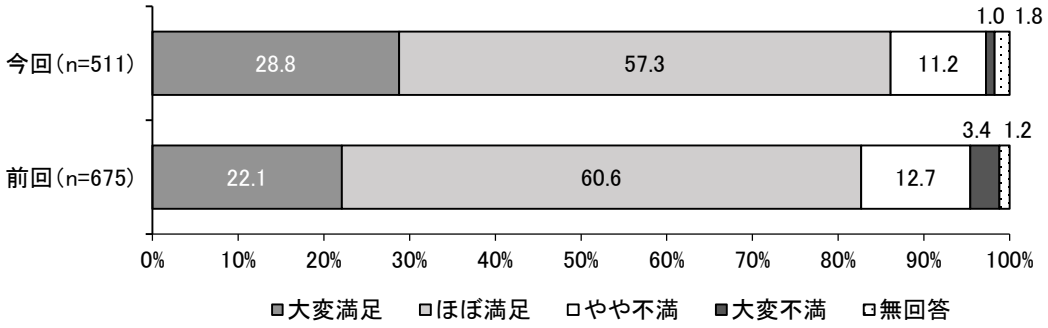
⑦保護者への情報伝達



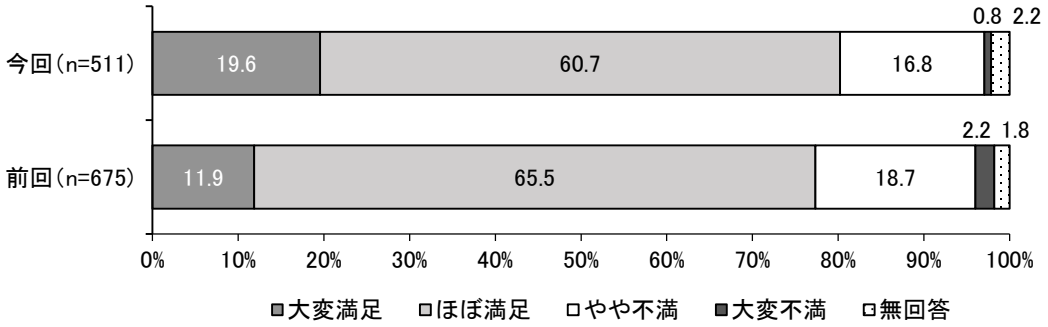
⑧悩みごとなどへの相談対応



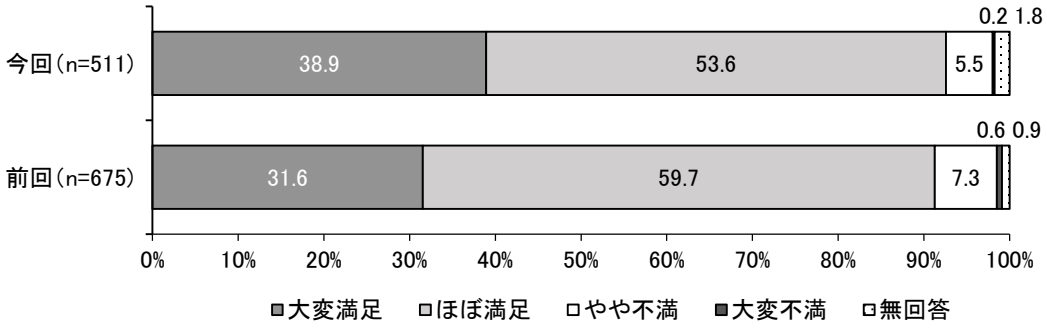
⑨保護者の要望・意見への対応



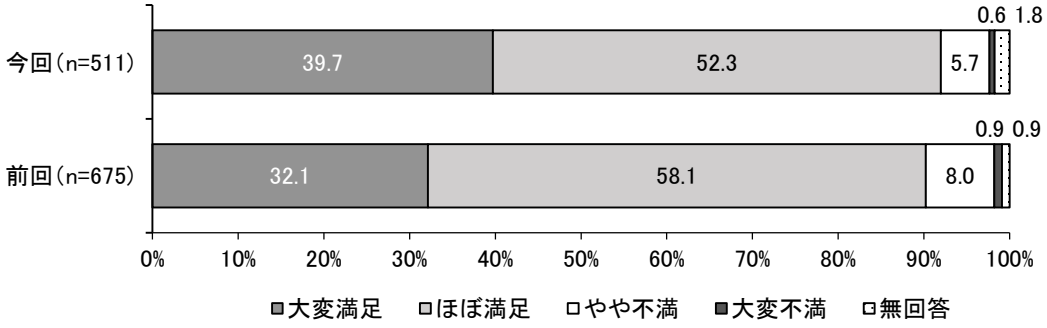
⑩利用者間のネットワークづくり



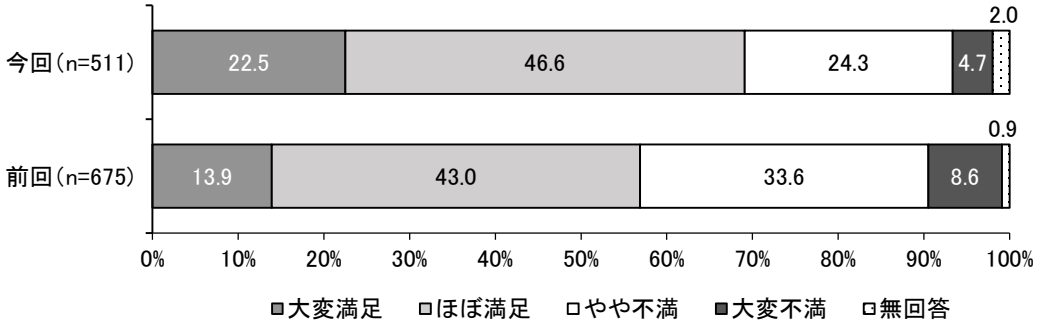
⑪安全対策



⑫衛生対策



⑬保育料または授業料

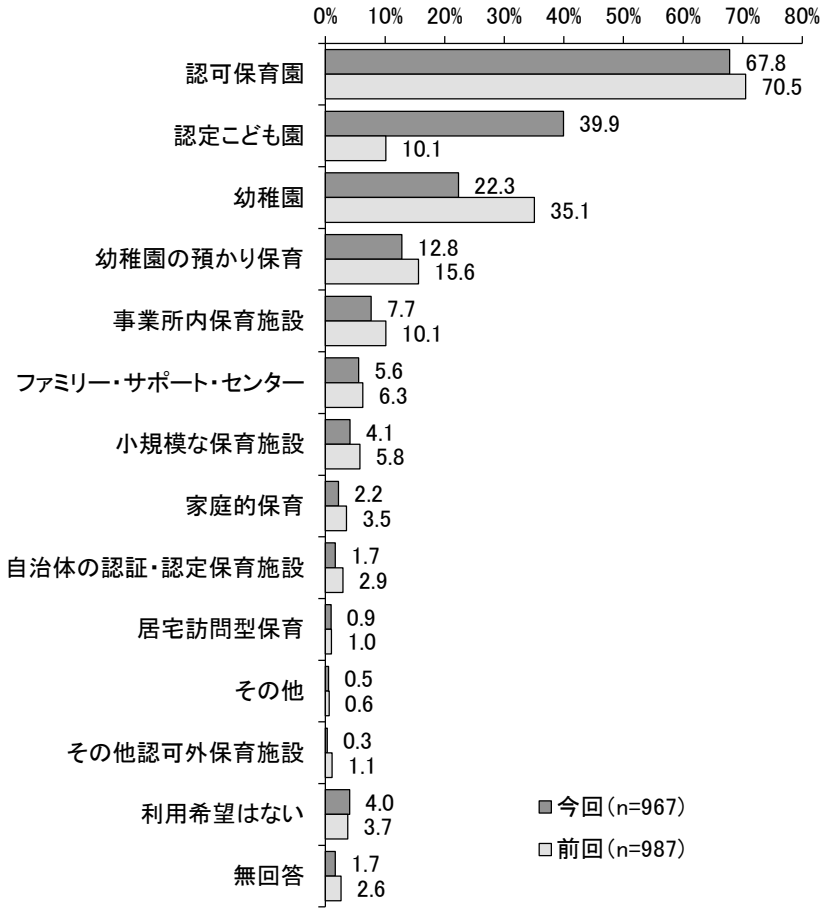


Ⅱ-７．平日の保育・教育状況の希望について

問31　(1) すべての方におたずねします。現在、利用している、利用していないに関わらず、宛名のお子さんの平日の保育・教育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（○はいくつでも）

○ 定期的に利用したい保育・教育事業について「認可保育園」が 67.8%で最も高く、次いで「認定こども園」（39.9%）、「幼稚園」（22.3%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「認定こども園」の割合が大きく増加し、「幼稚園」の割合が減少しています。

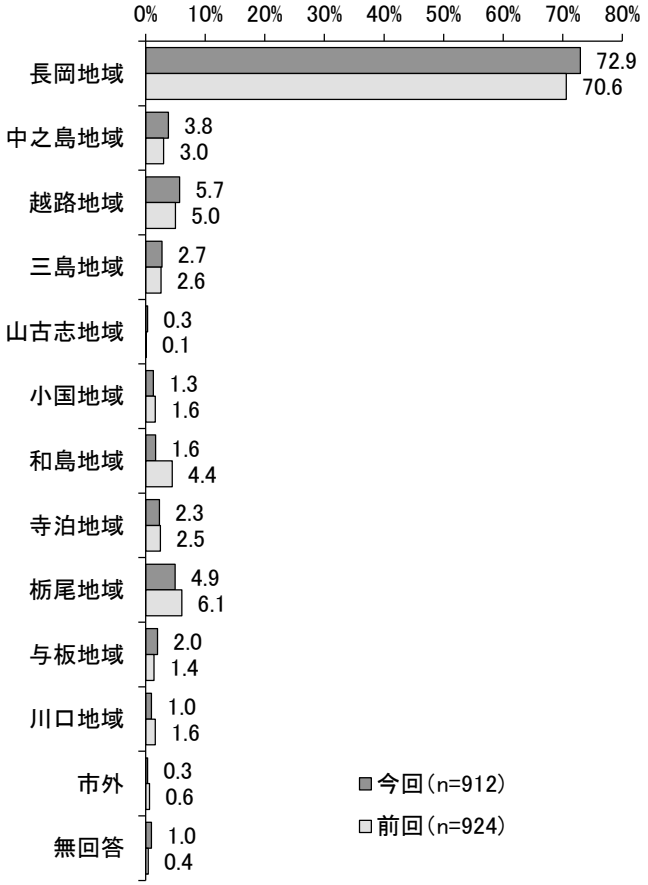


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	認可保育園	認定こども園	幼稚園	幼稚園の預かり保育	事業所内保育施設	ファミリー・サポート・センター	小規模な保育施設	家庭的保育	自治体の認証・認定保育施設	居宅訪問型保育	その他認可外保育施設	その他	利用希望はない	無回答
全体	967	67.8	39.9	22.3	12.8	7.7	5.6	4.1	2.2	1.7	0.9	0.3	0.5	4.0	1.7
0歳	192	75.5	45.8	27.1	14.1	10.4	5.7	9.9	3.1	1.6	0.5	0.0	2.1	7.3	0.0
1歳	132	70.5	40.2	29.5	12.1	9.1	3.0	5.3	3.8	3.8	1.5	0.8	0.0	7.6	0.0
2歳	69	71.0	37.7	26.1	17.4	14.5	8.7	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4
3歳	195	60.5	39.0	20.0	11.8	4.1	5.6	3.1	1.0	2.1	2.6	0.5	0.0	2.1	2.1
4歳	159	71.7	40.9	19.5	9.4	6.9	6.3	1.3	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0	1.3	1.9
5歳	189	64.0	34.4	17.5	14.3	6.3	6.3	2.1	2.1	0.5	0.0	0.5	0.0	3.2	1.6

問 31 付問（2） （1）で「1.」～「12.」（平日の保育・教育事業を利用したい）と答えた方にお聞きします。
利用したい保育・教育事業の実施場所はどこですか。（○は１つ）

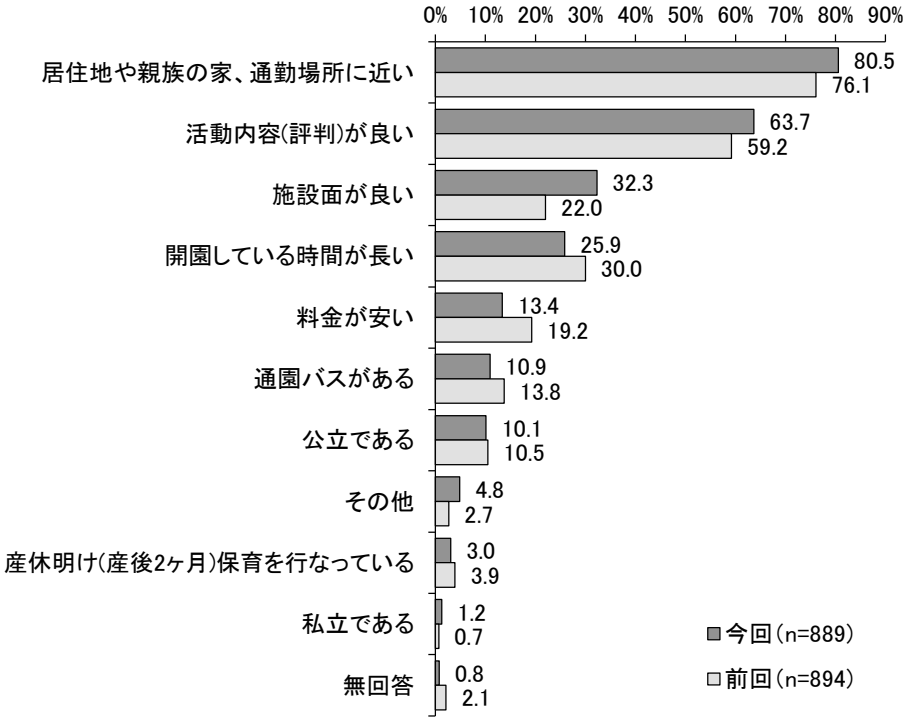
○ 利用したい保育・教育事業の実施場所は、以下のとおりとなっています。



問 31 付問（3）（1）で「1.」「2.」「4.」（保育園、幼稚園、認定こども園）と答えた方にお聞きします。
園を選ぶ時に、何に重点を置きますか。（○は 3 つまで）

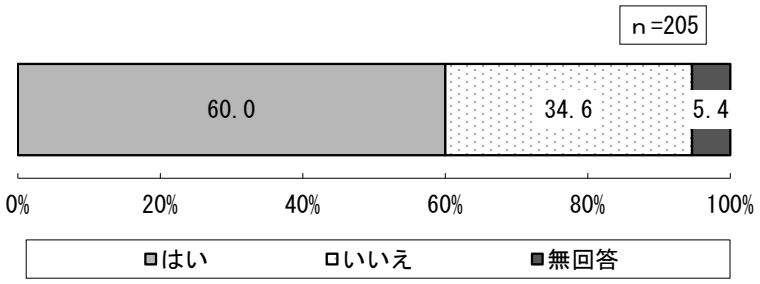
○ 保育園、幼稚園、認定こども園を選ぶ時に重点に置くことについて、「居住地や親族の家、通勤場所に近い」が 80.5%で最も高く、次いで「活動内容（評判）が良い」（63.7%）、「施設面が良い」（32.3%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「施設面が良い」の割合が増加しています。



問 31 付問（4）	（1）で「2.」（幼稚園）または「3.」（幼稚園の預かり保育）に○をつけ、かつ「1.」、「4.」～「12.」（幼稚園以外の保育・教育事業）にも○をつけた方にお聞きします。 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は１つ）

○ 幼稚園と幼稚園以外の保育・教育事業の利用を希望している人に、特に幼稚園の利用を強く希望するかどうかうかがったところ、「はい」が 60.0%、「いいえ」が 34.6%となっています。



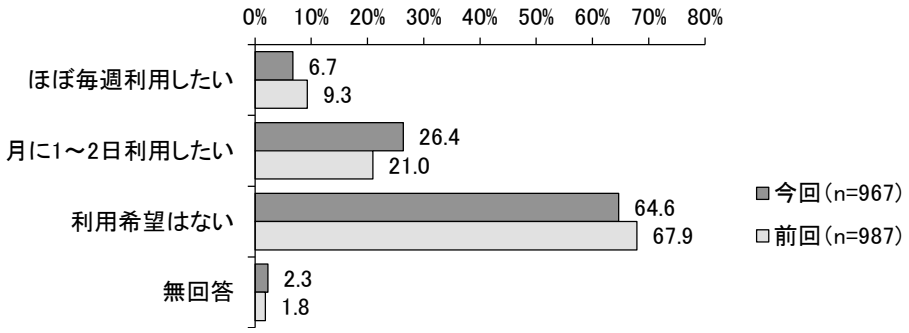
Ⅱ-８．土曜日・休日の保育の希望について

問32 宛名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日の定期的な保育・教育事業（一時的な利用や親族・知人による預かりは除きます）の利用希望が現在ありますか。現在の利用状況に関係なく、お答えください。当てはまる番号１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

①土曜日

○ 土曜日の定期的な保育・教育事業の利用希望について、「利用希望はない」が 64.6％で最も高く、次いで「月に 1～2 日利用したい」（26.4％）、「ほぼ毎週利用したい」（6.7％）となっています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「月に 1～2 日利用したい」が増加しています。



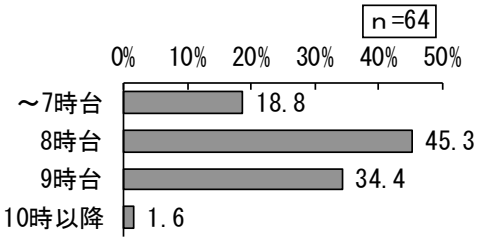
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	ほぼ毎週利用したい	月に1～2日利用したい	利用希望はない	無回答
全体	967	6.7	26.4	64.6	2.3
0歳	192	7.8	27.1	61.5	3.6
1歳	132	8.3	30.3	59.8	1.5
2歳	69	4.3	27.5	66.7	1.4
3歳	195	9.2	25.1	64.1	1.5
4歳	159	7.5	22.6	69.2	0.6
5歳	189	2.6	27.5	67.2	2.6

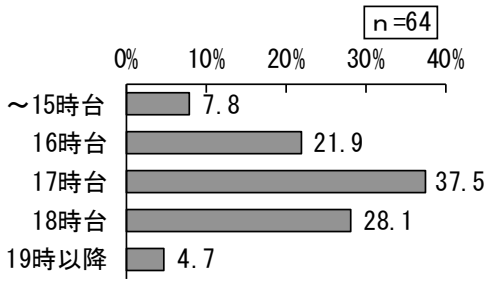
【ほぼ毎週利用したい人の利用希望時間】

○ ほぼ毎週利用したい人の利用希望時間帯について、開始時間では「8 時台」の割合が最も高く、終了時間では「17 時台」の割合が最も高くなっています。

＜何時から＞



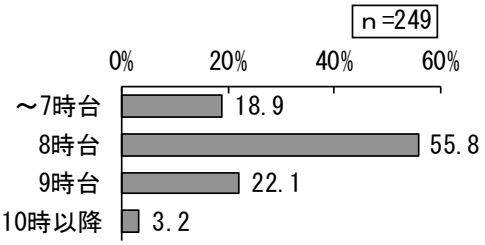
＜何時まで＞



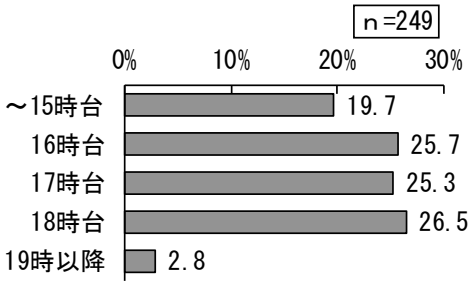
【月に 1～2 日利用したい人の利用希望時間】

○ 月に 1～2 日利用したい人の利用希望時間帯について、開始時間では「8 時台」の割合が最も高く、終了時間では「18 時台」の割合が最も高くなっています。

＜何時から＞



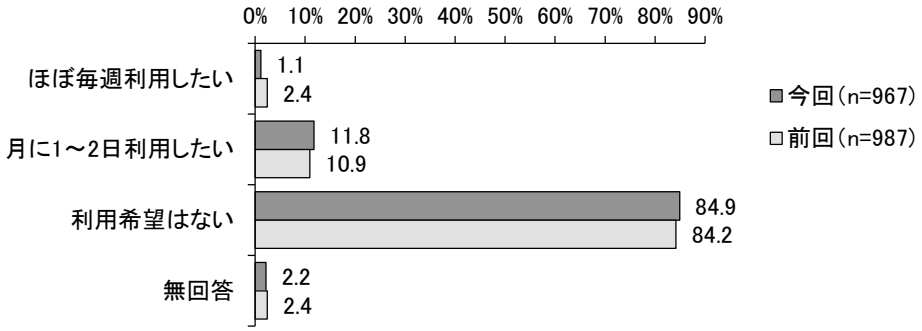
＜何時まで＞



	ほぼ毎週		月に 1～2 日	
	何時から	何時まで	何時から	何時まで
平均	8:21	16:53	8:17	16:17
最大値	10:00	19:00	13:00	20:00
最小値	7:00	5:00	6:30	5:00

②日曜日・祝日

○ 日曜日・祝日の定期的な保育・教育事業の利用希望について、「利用希望はない」が 84.9%で最も高く、次いで「月に 1～2 日利用したい」（11.8%）、「ほぼ毎週利用したい」（1.1%）となっています。



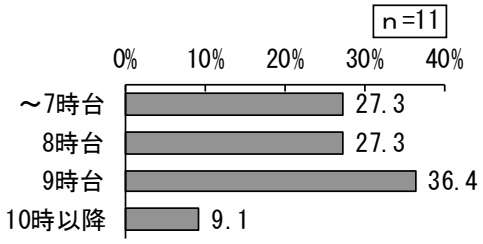
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	ほぼ毎週利用したい	月に1～2日利用したい	利用希望はない	無回答
全体	967	1.1	11.8	84.9	2.2
0歳	192	2.1	12.0	82.8	3.1
1歳	132	1.5	16.7	81.8	0.0
2歳	69	1.4	8.7	87.0	2.9
3歳	195	1.5	10.8	85.1	2.6
4歳	159	0.6	10.1	88.7	0.6
5歳	189	0.0	11.6	86.2	2.1

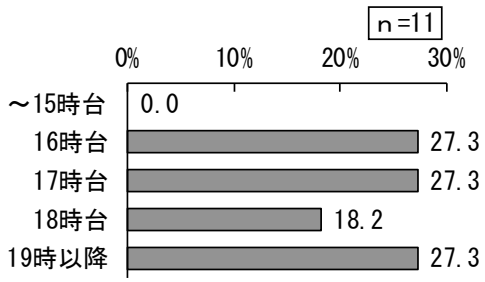
【ほぼ毎週利用したい人の利用希望時間】

○ ほぼ毎週利用したい人の利用希望時間帯は、以下のとおりです。

＜何時から＞



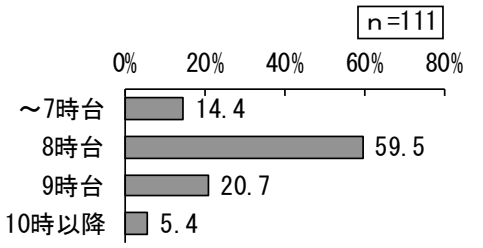
＜何時まで＞



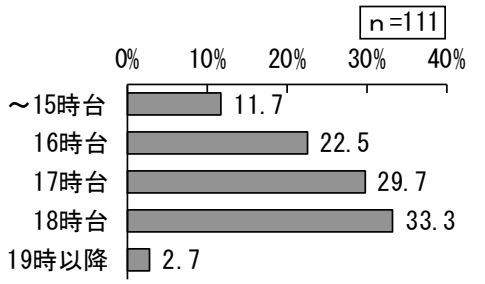
【月に 1～2 日利用したい人の利用希望時間】

○ 月に 1～2 日利用したい人の利用希望時間帯は、以下のとおりです。

＜何時から＞



＜何時まで＞

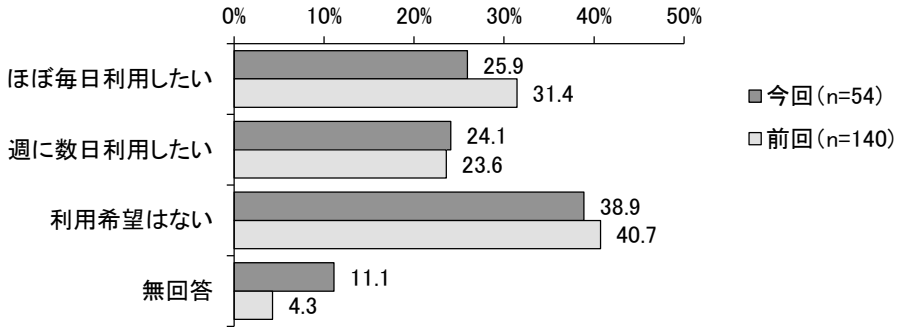


	ほぼ毎週		月に 1～2 日	
	何時から	何時まで	何時から	何時まで
平均	8:26	17:32	8:18	16:56
最大値	10:00	19:00	10:00	20:00
最小値	7:00	16:00	6:30	12:00

問33 幼稚園を利用されている方にお聞きします。
宛名のお子さんについて、長期休暇期間に教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

○ 幼稚園利用者の長期休暇期間の利用希望について、「利用希望はない」が 38.9％で最も高く、次いで「ほぼ毎日利用したい」（25.9％）、「週に数日利用したい」（24.1％）となっています。

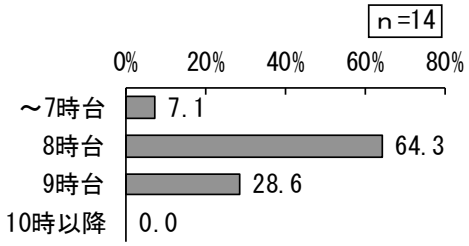
○ 前回調査の結果と比較すると、「ほぼ毎日利用したい」の割合が減少しています。



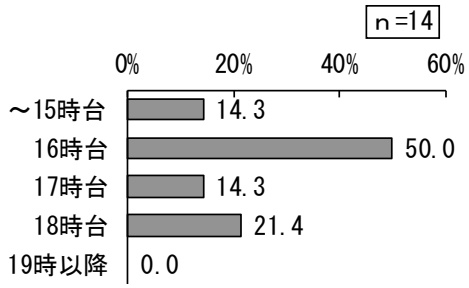
【ほぼ毎日利用したい人の利用希望時間】

○ ほぼ毎日利用したい人の利用希望時間帯は、以下のとおりです。

＜何時から＞



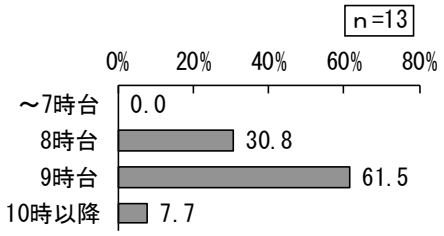
＜何時まで＞



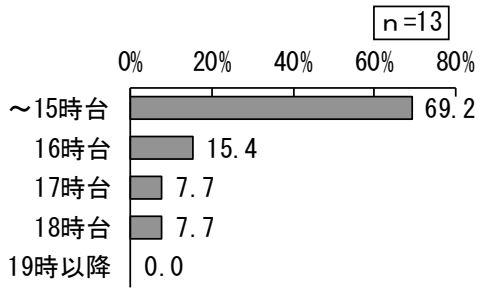
【週に数日利用したい人の利用希望時間】

○ 週に数日利用したい人の利用希望時間帯は、以下のとおりです。

＜何時から＞



＜何時まで＞



	ほぼ毎日		週に数日	
	何時から	何時まで	何時から	何時まで
平均	8:23	16:30	8:50	15:27
最大値	9:00	18:30	10:00	18:00
最小値	7:30	15:00	8:00	13:00

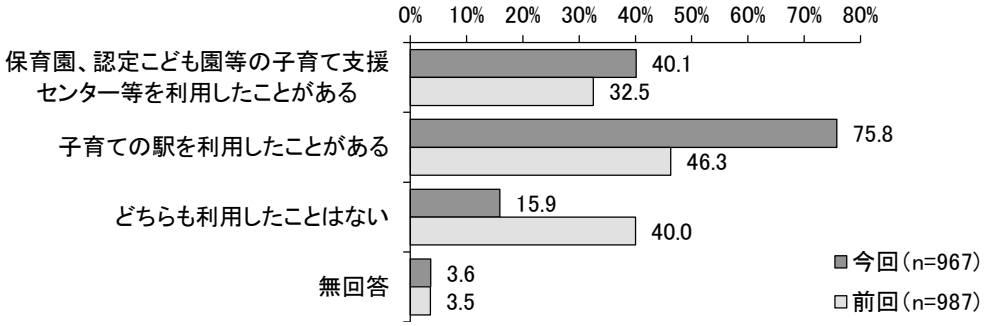
Ⅱ-９．地域の子育て支援事業の利用状況について

問34 地域の子育て支援事業を利用したことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

○ 地域の子育て支援事業の利用状況について、「子育ての駅を利用したことがある」が75.8%、「保育園、認定こども園等の子育て支援センター等を利用したことがある」が40.1%、「どちらも利用したことはない」が15.9%となっています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「子育ての駅を利用したことがある」が大きく増加し、「どちらも利用したことがない」が大きく減少しています。

○ 年齢別にみると、0 歳では他の年齢に比べて「どちらも利用したことはない」の割合が高くなっています。

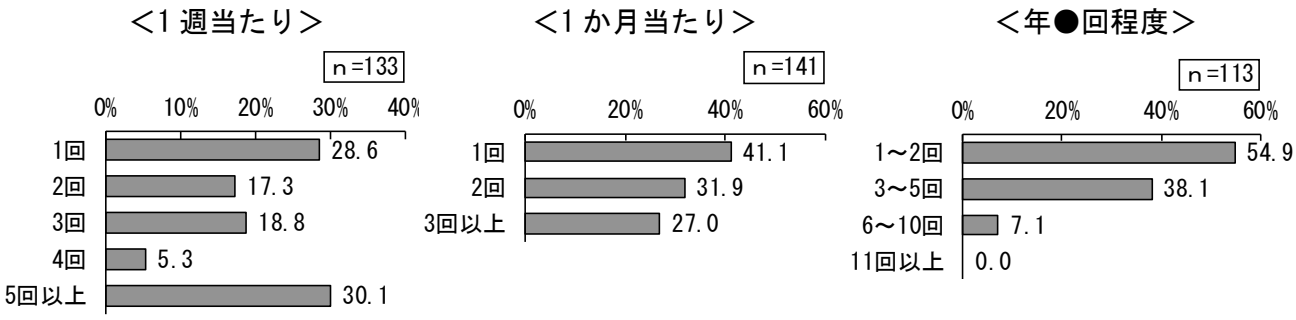


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	保育園、認定こども園等の子育て支援センター等を利用したことがある	子育ての駅を利用したことがある	どちらも利用したことはない	無回答
全体	967	40.1	75.8	15.9	3.6
0歳	192	33.3	64.1	25.5	4.2
1歳	132	43.9	84.8	9.8	2.3
2歳	69	40.6	82.6	8.7	4.3
3歳	195	41.0	81.5	9.7	4.6
4歳	159	40.3	77.4	17.0	1.9
5歳	189	43.4	73.0	19.0	3.7

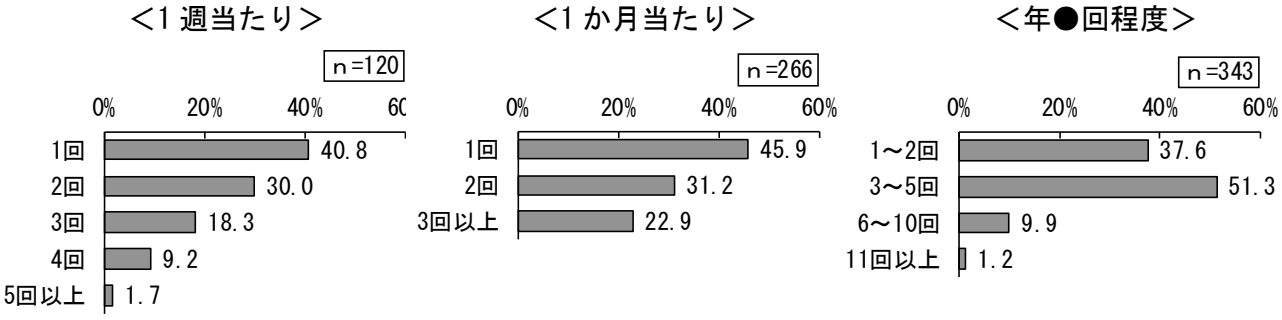
【保育園、認定こども園等の子育て支援センター等の利用回数】

○ 保育園、認定こども園等の子育て支援センター等を利用している人の利用回数は、以下のとおりです。



【子育ての駅の利用回数】

○ 子育ての駅を利用している人の利用回数は、以下のとおりです。



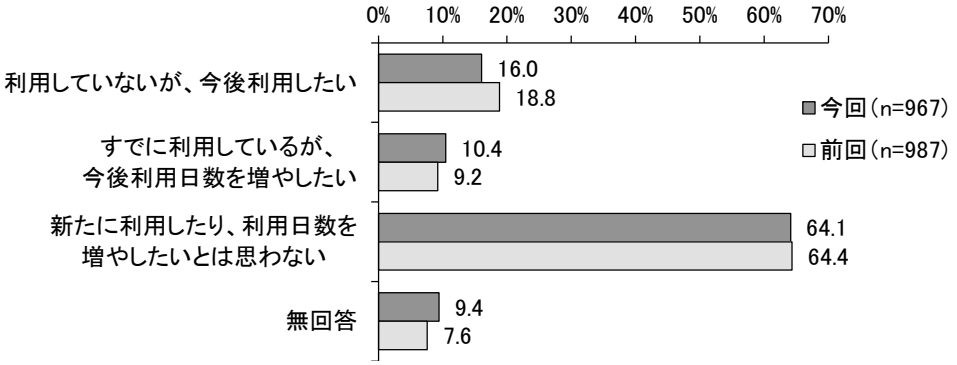
	保育園、認定こども園等			子育ての駅		
	1 週当たり	1 か月あたり	年●回程度	1 週当たり	1 か月あたり	年●回程度
平均	2.90 回	2.31 回	2.75 回	1.98 回	2.04 回	3.54 回
最大値	6.00 回	20.00 回	10.00 回	5.00 回	20.00 回	20.00 回
最小値	0.00 回	1.00 回	0.00 回	0.00 回	0.00 回	1.00 回

問35 地域の子育て支援事業の利用希望についておたずねします。それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

①保育園、認定こども園等の子育て支援センター等

○ 保育園、認定こども園等の子育て支援センター等の利用希望について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない」が 64.1%、「利用していないが、今後利用したい」が 16.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 10.4%となっています。

○ 年齢別にみると、0 歳では他の年齢に比べて「利用していないが、今後利用したい」の割合が高くなっています。

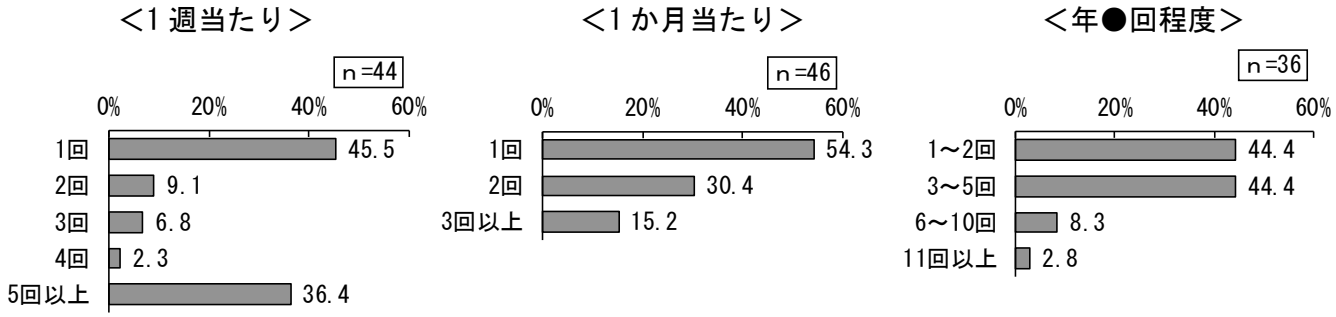


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
全体	967	16.0	10.4	64.1	9.4
0歳	192	35.9	18.2	38.5	7.3
1歳	132	16.7	12.9	61.4	9.1
2歳	69	8.7	11.6	71.0	8.7
3歳	195	10.8	8.2	68.2	12.8
4歳	159	10.7	8.2	76.1	5.0
5歳	189	10.6	5.8	73.0	10.6

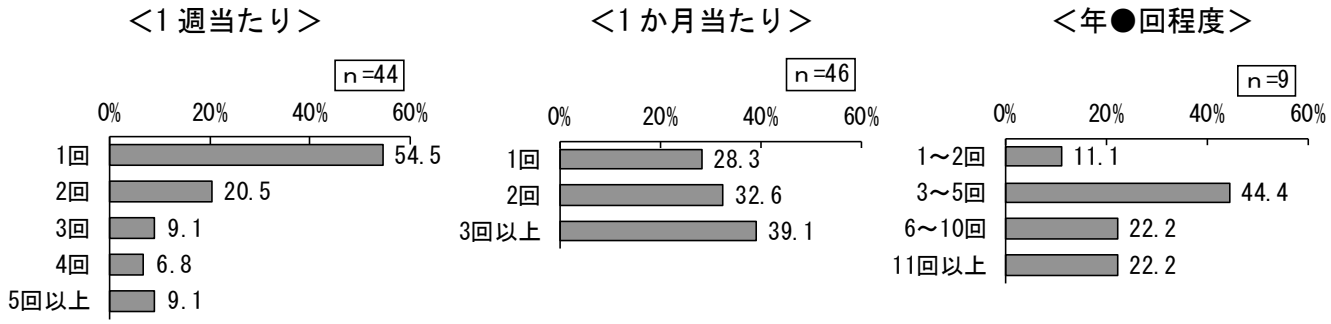
【利用していないが、今後利用したい人の利用希望回数】

○ 現在利用していないが、今後利用したい人の利用希望回数は、以下のとおりです。



【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の利用希望回数】

○ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の利用希望回数は、以下のとおりです。



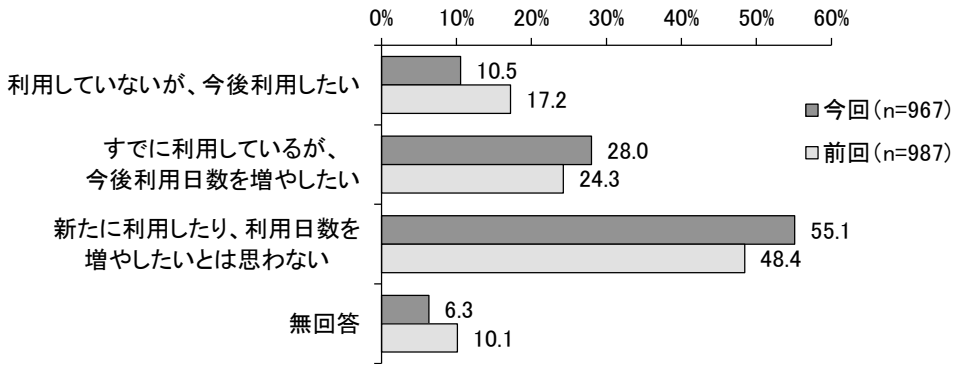
	今後利用したい			今後利用日数をふやしたい		
	1 週当たり	1 か月あたり	年●回程度	さらに 1 週当たり	1 か月あたり	年●回程度
平均	2.82 回	2.15 回	3.33 回	1.98 回	2.65 回	6.22 回
最大値	7.00 回	20.00 回	12.00 回	6.00 回	10.00 回	12.00 回
最小値	1.00 回	1.00 回	1.00 回	1.00 回	1.00 回	2.00 回

②子育ての駅について

○ 子育ての駅の利用希望について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない」が 55.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 28.0%、「利用していないが、今後利用したい」が 10.5%となっています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない」の割合が増加し、「利用していないが、今後利用したい」の割合が減少しています。

○ 年齢別にみると、0 歳では他の年齢に比べて「利用していないが、今後利用したい」の割合が高くなっています。



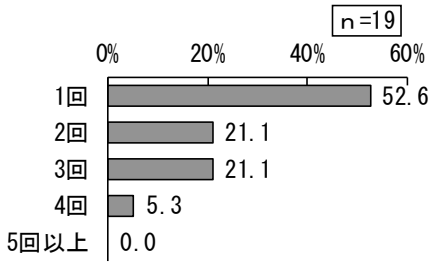
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
全体	967	10.5	28.0	55.1	6.3
0歳	192	21.9	34.9	38.0	5.2
1歳	132	7.6	34.8	53.8	3.8
2歳	69	7.2	30.4	55.1	7.2
3歳	195	5.1	28.7	57.4	8.7
4歳	159	8.8	23.3	62.9	5.0
5歳	189	10.1	19.0	64.6	6.3

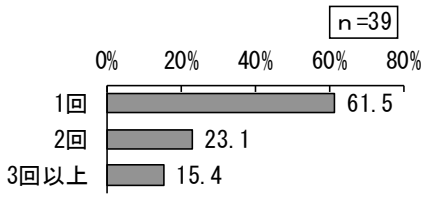
【利用していないが、今後利用したい人の利用希望回数】

○ 現在利用していないが、今後利用したい人の利用希望回数は、以下のとおりです。

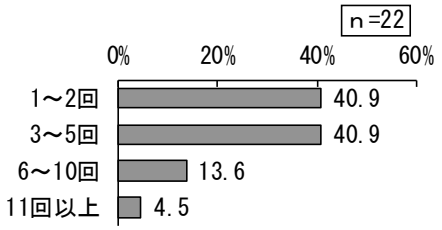
＜1 週当たり＞



＜1 か月当たり＞



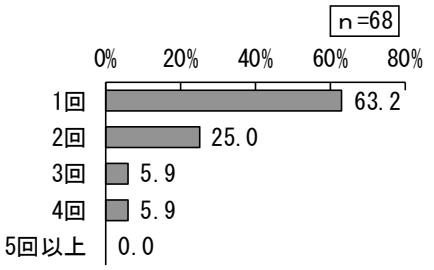
＜年●回程度＞



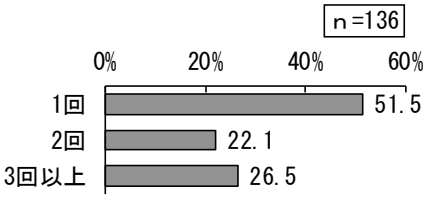
【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の利用希望回数】

○ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の利用希望回数は、以下のとおりです。

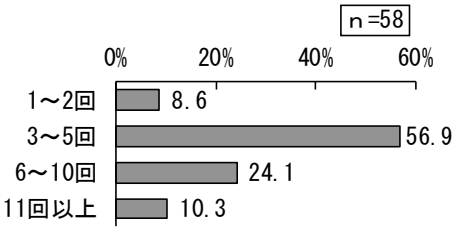
＜1 週当たり＞



＜1 か月当たり＞



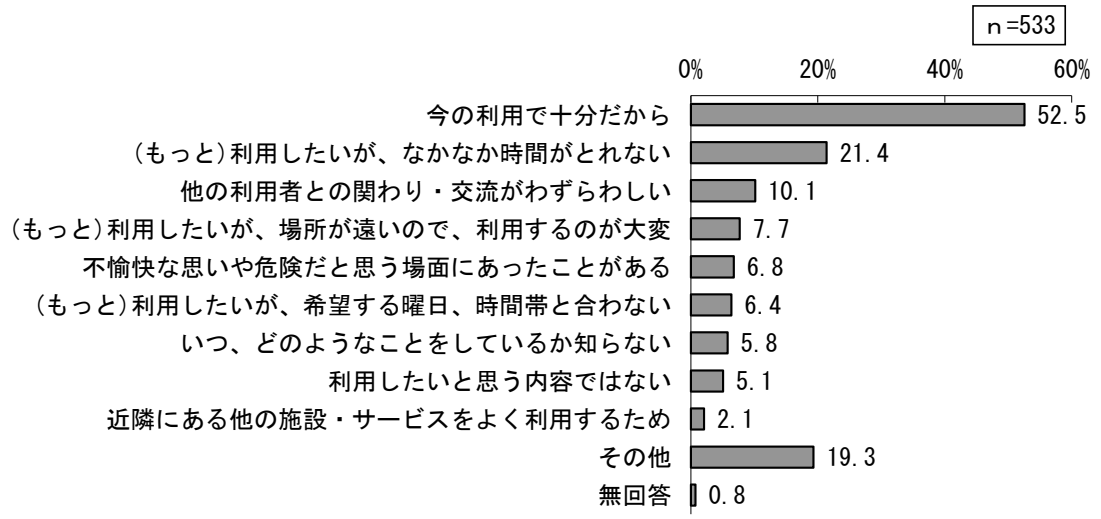
＜年●回程度＞



	今後利用したい			今後利用日数を増やしたい		
	1 週当たり	1 か月あたり	年●回程度	さらに 1 週当たり	1 か月あたり	年●回程度
平均	1.80 回	1.69 回	3.86 回	1.54 回	2.04 回	6.33 回
最大値	4.00 回	8.00 回	12.00 回	4.00 回	10.00 回	48.00 回
最小値	1.00 回	1.00 回	1.00 回	1.00 回	1.00 回	1.00 回

問36 問35の＜子育ての駅＞で、「3.」（新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない）と答えた方にお聞きします。
新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない理由は何ですか。（○はいくつでも）

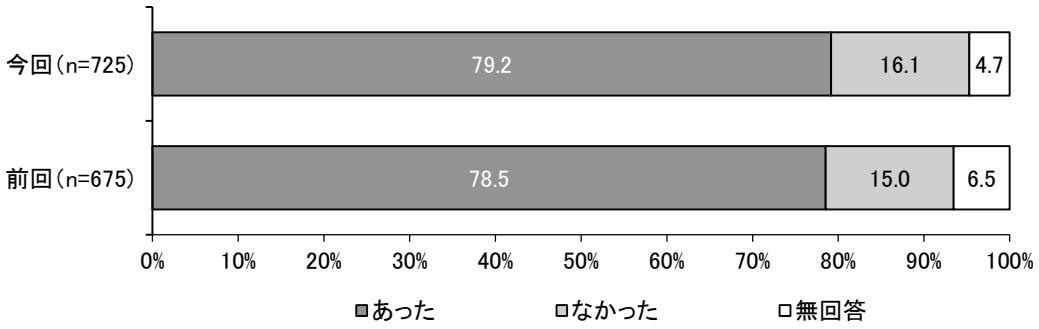
○ 今後、子育ての駅を新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わないと回答した人に、その理由をうかがったところ、「今の利用で十分だから」が52.5%で最も高く、次いで「(もっと)利用したいが、なかなか時間がとれない」(21.4%)、「その他」(19.3%)と続いています。



Ⅱ-１０．お子さんが病気の時の対応について

問37　(1) 問 28（平日の定期的な保育・教育の事業）で「1.」（利用している）と答えた保護者の方にお聞きします。利用していない方は、問 39 にお進みください。
この１年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（○は１つ）

○ 子どもが病気やけがで定期的な保育・教育事業を利用できなかったことの有無について、「あった」が 79.2%、「なかった」が 16.1%となっています。

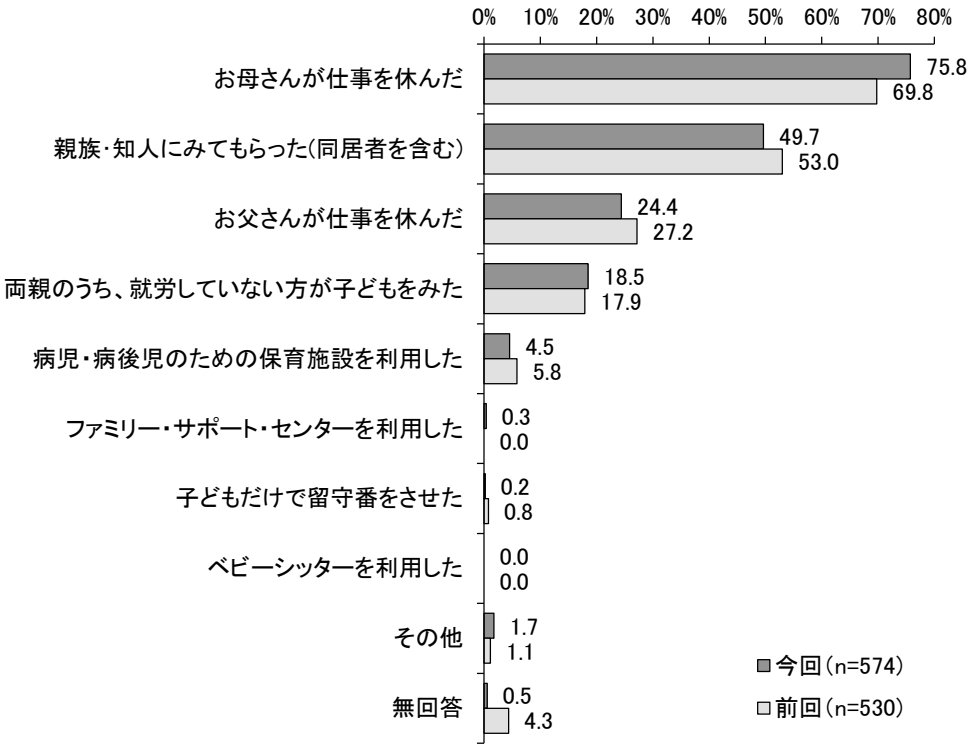


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	あった	なかった	無回答
全体	725	79.2	16.1	4.7
0歳	37	73.0	21.6	5.4
1歳	80	86.3	8.8	5.0
2歳	43	90.7	7.0	2.3
3歳	194	79.4	15.5	5.2
4歳	157	79.0	18.5	2.5
5歳	187	72.2	20.9	7.0

問 37 付問（2） 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している保育・教育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行なった対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）

○ 子どもが病気やけがで保育・教育事業を利用できなかったときの対処方法について、「お母さんが仕事を休んだ」が 75.8％で最も高く、次いで「親族・知人にみてもらった」（49.7％）、「お父さんが仕事を休んだ」（24.4％）と続いています。



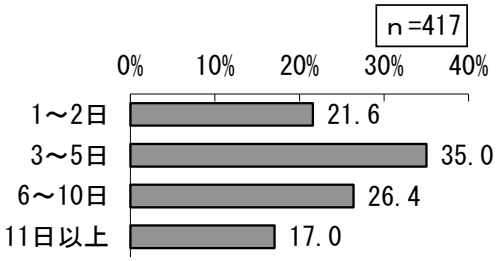
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	お母さんが仕事を休んだ	親族・知人にみてもらった	お父さんが仕事を休んだ	両親のうち、就労していない方が子どもをみた	病児・病後児のための保育施設を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	子どもだけで留守番をさせた	ベビーシッターを利用した	その他	無回答
全体	574	75.8	49.7	24.4	18.5	4.5	0.3	0.2	0.0	1.7	0.5
0歳	27	88.9	44.4	33.3	11.1	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	3.7
1歳	69	92.8	66.7	24.6	2.9	7.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2歳	39	79.5	53.8	20.5	10.3	2.6	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
3歳	154	74.7	43.5	25.3	20.8	5.8	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0
4歳	124	70.2	48.4	18.5	20.2	1.6	0.8	0.8	0.0	0.8	0.8
5歳	135	72.6	51.1	25.9	21.5	3.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7

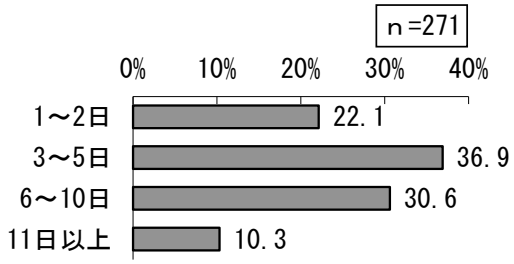
【1 年間に行った対処方法の日数】

○ それぞれの対処方法の日数は、以下のとおりです。

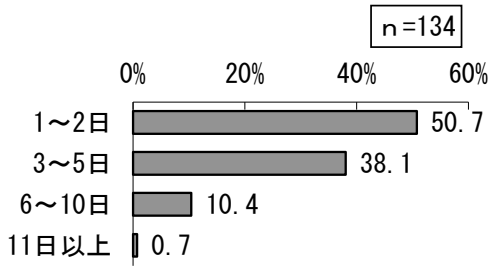
＜母親＞



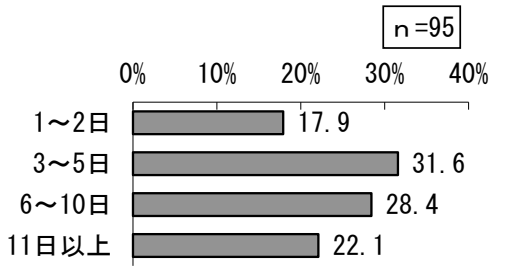
＜親族・知人＞



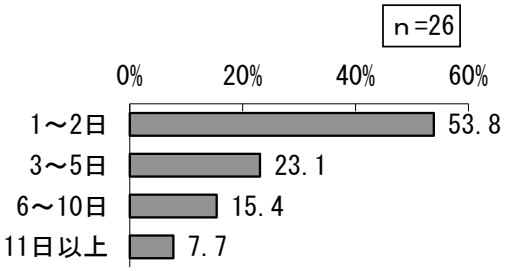
＜父親＞



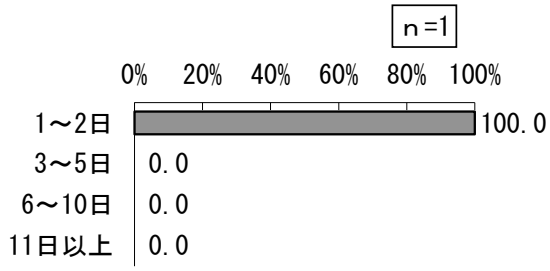
＜両親のうち就労していない方＞



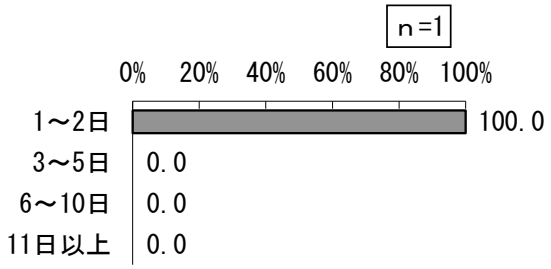
＜病児・病後児保育施設＞



＜ファミサポ＞



＜子どもだけで留守番＞



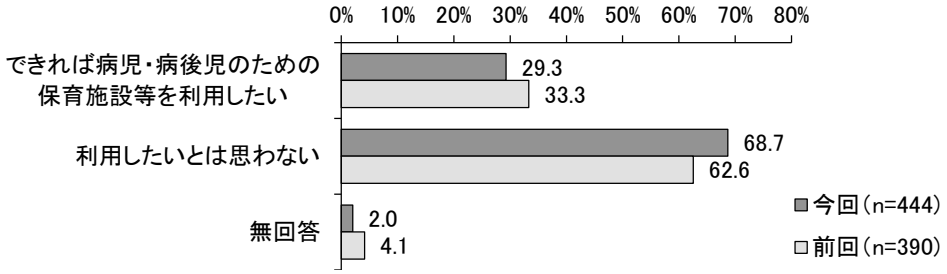
＜ベビーシッター＞

※回答者なし

	母親	親族・知人	父親	両親のうち、就労していない方	病児・病後児のための保育施設	ファミサポ	子どもだけで留守番	ベビーシッター
平均	7.38 日	7.08 日	3.19 日	8.73 日	4.35 日	2.00 日	1.00 日	－
最大値	50.00 日	60.00 日	20.00 日	35.00 日	20.00 日	2.00 日	1.00 日	－
最小値	1.00 日	1.00 日	1.00 日	1.00 日	1.00 日	2.00 日	1.00 日	－

問38 問37-(2)で「1.」「2.」（お父さんまたはお母さんが仕事を休んだ）と答えた方にお聞きします。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまるもの１つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

○ 父親または母親が仕事を休んだ人の病児・病後児保育の利用意向について、「利用したいとは思わない」が 68.7%、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」が 29.3%となっています。

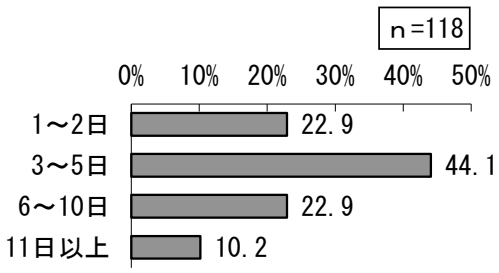


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全体	444	29.3	68.7	2.0
0歳	24	37.5	62.5	0.0
1歳	64	40.6	59.4	0.0
2歳	32	28.1	71.9	0.0
3歳	119	27.7	69.7	2.5
4歳	88	28.4	71.6	0.0
5歳	100	24.0	72.0	4.0

【できれば利用したい人の希望日数】

○ できれば病児・病後児保育を利用したい人の希望日数は、以下のとおりです。



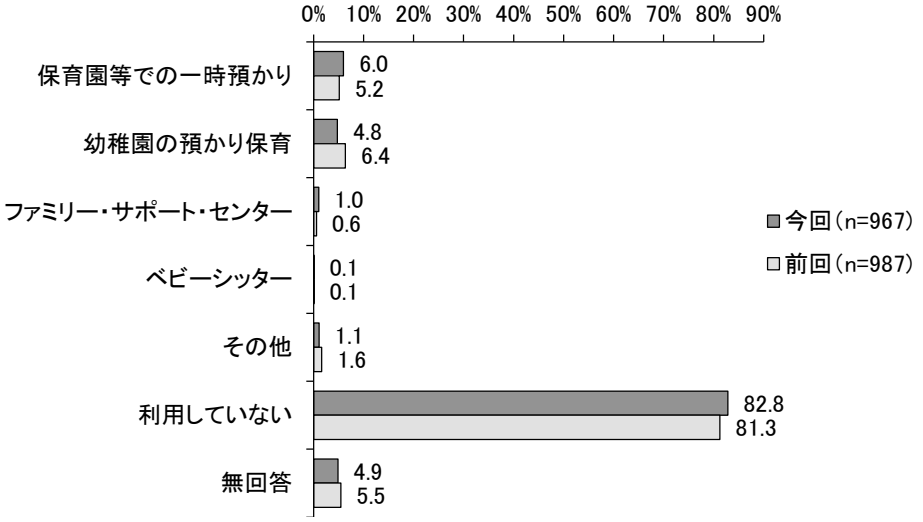
	できれば利用したい日数
平均	6.75 日
最大値	50.00 日
最小値	1.00 日

Ⅱ-１１．お子さんの一時預かりについて

問39 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありましたか。あった場合は、当てはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

○ 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業について、「利用していない」が82.8%、「保育園等での一時預かり」が6.0%、「幼稚園の預かり保育」が4.8%となっています。

○ 年齢別にみると、5歳では他の年齢に比べて「幼稚園の預かり保育」の割合がやや高くなっています。



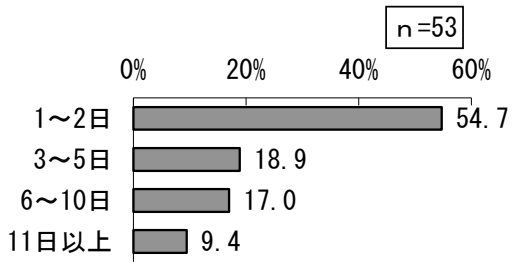
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	保育園等での一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全体	967	6.0	4.8	1.0	0.1	1.1	82.8	4.9
0歳	192	5.7	1.0	1.6	0.0	0.5	85.4	6.8
1歳	132	9.8	0.8	1.5	0.0	3.0	84.1	3.0
2歳	69	7.2	0.0	2.9	0.0	2.9	84.1	2.9
3歳	195	5.6	7.2	0.0	0.0	0.5	83.1	4.1
4歳	159	5.7	5.7	1.3	0.0	0.0	81.8	5.7
5歳	189	2.6	10.6	0.0	0.0	0.5	82.5	3.7

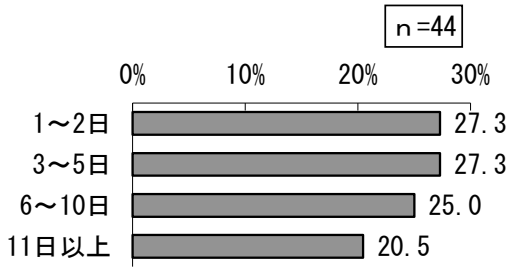
【不定期に利用している事業の利用日数】

○ 不定期に利用している事業のそれぞれの利用日数は、以下のとおりです。

＜保育園等での一時預かり＞

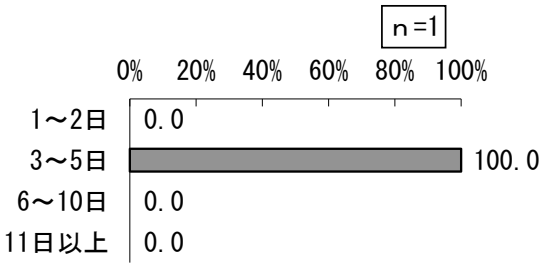


＜幼稚園の預かり保育＞

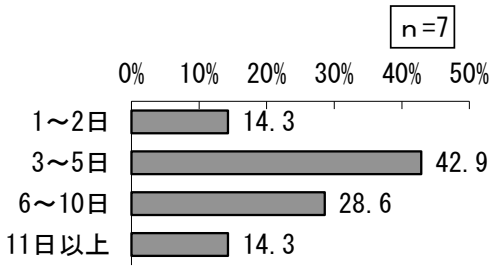


＜ファミサポ＞

＜ベビーシッター＞



＜その他＞

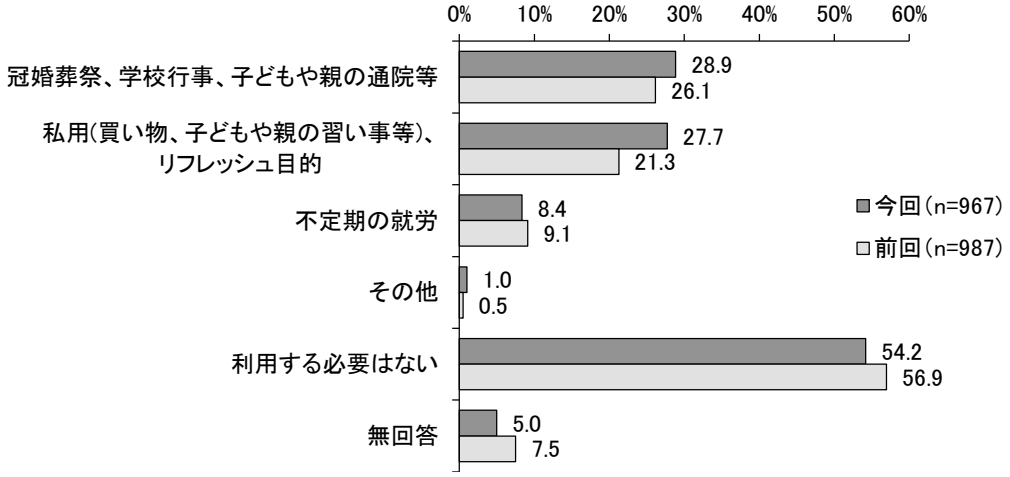


	保育園等での一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミサポ	ベビーシッター	その他
平均	5.45 日	11.20 日	4.78 日	3.00 日	13.71 日
最大値	48.00 日	90.00 日	15.00 日	3.00 日	60.00 日
最小値	1.00 日	1.00 日	1.00 日	3.00 日	2.00 日

問40 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。

○ 私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望について、「利用する必要はない」が 54.2%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（28.9%）、「私用、リフレッシュ目的」（27.7%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「私用、リフレッシュ目的」の割合が増加しています。



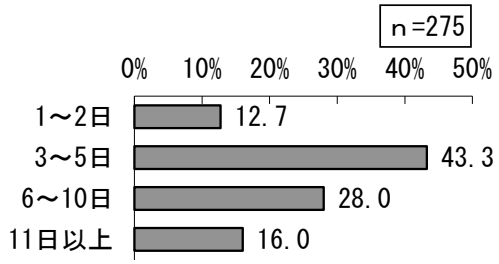
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	私用(買い物、子どもや親の習い事等)、リフレッシュ目的	不定期の就労	その他	利用する必要はない	無回答
全体	967	28.9	27.7	8.4	1.0	54.2	5.0
0歳	192	31.3	27.6	8.9	1.0	53.1	6.8
1歳	132	34.1	33.3	9.1	0.8	53.8	1.5
2歳	69	20.3	24.6	5.8	2.9	58.0	1.4
3歳	195	28.2	28.7	10.3	1.0	51.8	4.6
4歳	159	23.9	25.2	7.5	1.9	56.0	6.9
5歳	189	30.7	25.4	6.9	0.0	55.6	4.8

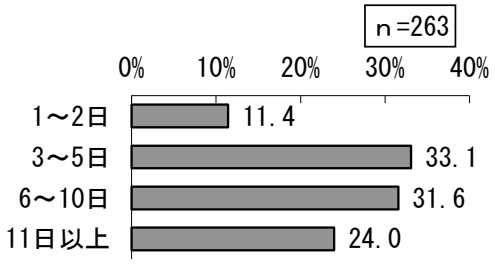
【目的別の利用希望日数】

○ 目的ごとの利用希望日数は、以下のとおりです。

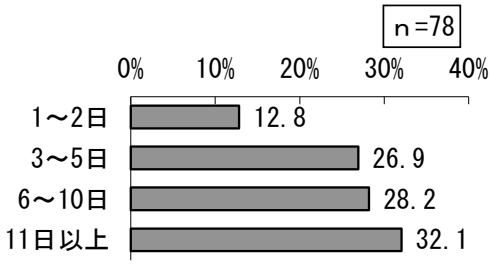
＜冠婚葬祭、学校行事等＞



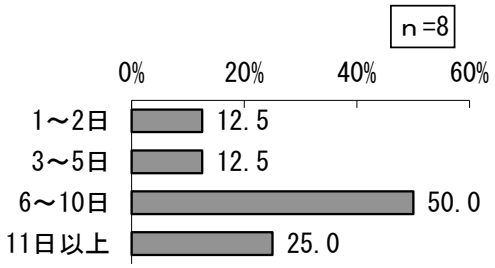
＜私用、リフレッシュ目的＞



＜不定期の就労＞



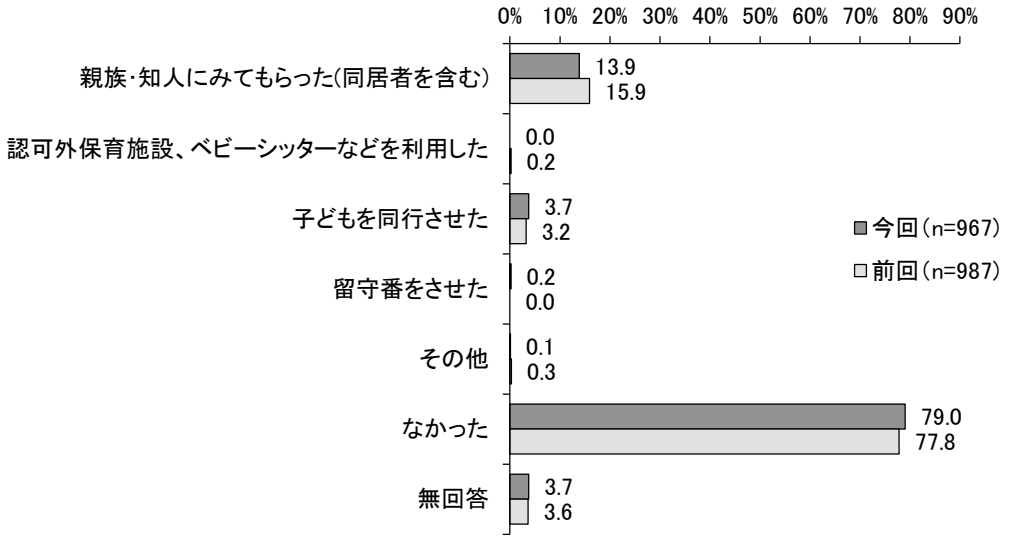
＜その他＞



	冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	私用、リフレッシュ目的	不定期の就労	その他
平均	7.37 日	8.90 日	12.58 日	10.13 日
最大値	60.00 日	90.00 日	80.00 日	24.00 日
最小値	1.00 日	1.00 日	1.00 日	2.00 日

問41 この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

○ 保護者の用事により子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったことの有無について、「なかった」が 79.0%、「親族・知人にみてもらった」が 13.9%、「子どもを同行させた」が 3.7%となっています。



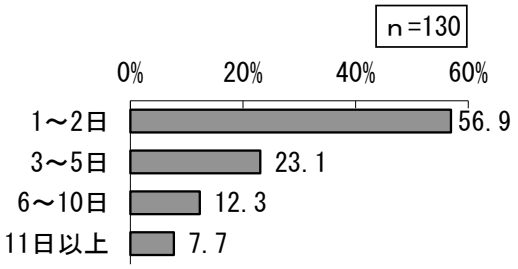
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	親族･知人にみてもらった(同居者を含む)	子どもを同行させた	留守番をさせた	認可外保育施設、ベビーシッターなどを利用した	その他	なかった	無回答
全体	967	13.9	3.7	0.2	0.0	0.1	79.0	3.7
0歳	192	7.3	2.6	0.5	0.0	0.0	83.3	6.3
1歳	132	15.2	6.1	0.0	0.0	0.8	76.5	1.5
2歳	69	14.5	2.9	0.0	0.0	0.0	81.2	2.9
3歳	195	11.3	4.1	0.5	0.0	0.0	83.1	2.6
4歳	159	14.5	2.5	0.0	0.0	0.0	79.2	3.8
5歳	189	21.2	3.7	0.0	0.0	0.0	73.5	2.6

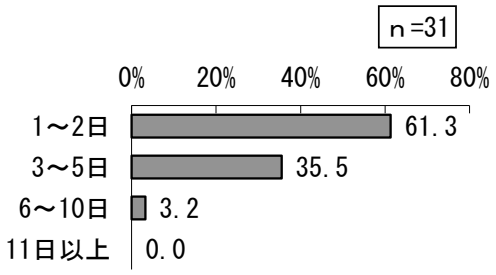
【1 年間の対処日数】

○ それぞれの対処日数は、以下のとおりです。

＜親族・知人＞



＜子どもを同行＞



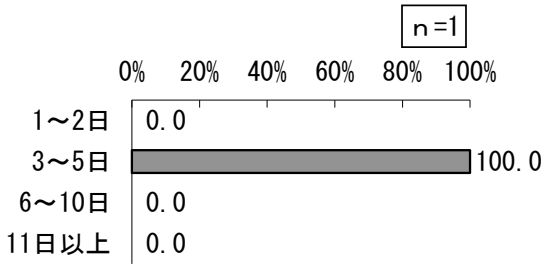
＜留守番＞

※回答者なし

＜認可外保育施設等＞

※回答者なし

＜その他＞



	親族・知人にみてもらった	子どもを同行させた	留守番をさせた	認可外保育施設、ベビーシッターなど	その他
平均	4.90 日	2.48 日	－	－	5.00 日
最大値	60.00 日	6.00 日	－	－	5.00 日
最小値	1.00 日	1.00 日	－	－	5.00 日

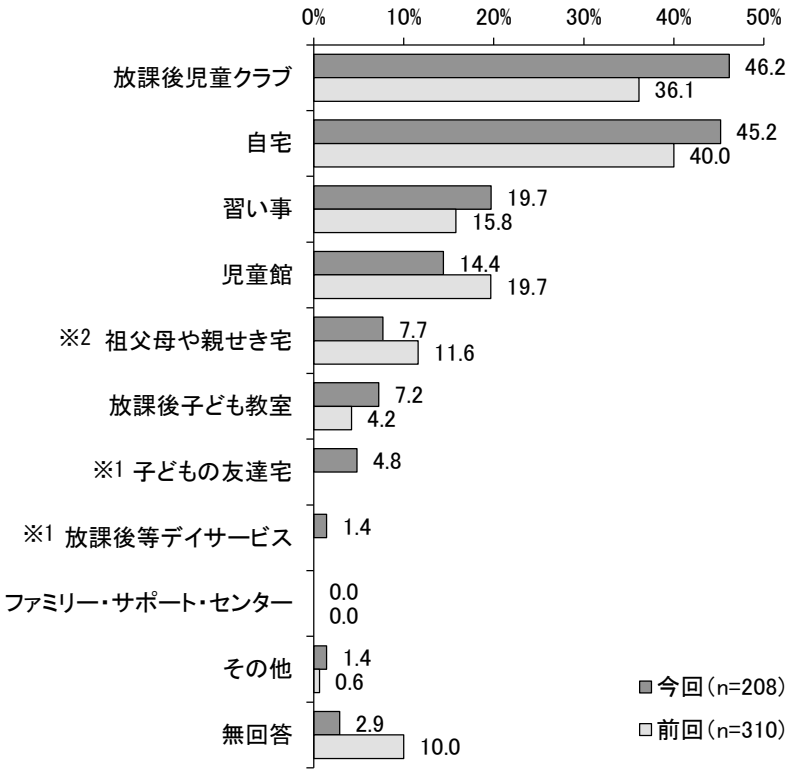
Ⅱ-１２．小学校就学後の放課後の過ごし方について（対象：5 歳以上）

問42 宛名のお子さんについて、小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（1～3 年生）と高学年（4～6 年生）、それぞれについてご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

①低学年（1～3 年生）の時

○ 小学校入学後、低学年のうちに放課後の時間を過ごさせたい場所について、「放課後児童クラブ」が 46.2%で最も高く、次いで「自宅」（45.2%）、「習い事」（19.7%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「放課後児童クラブ」の割合が増加しています。



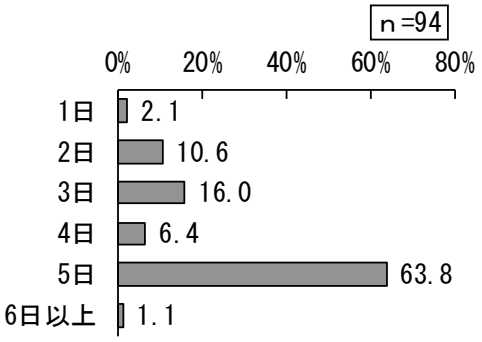
※1 前回調査には選択肢なし

※2 前回調査は「祖父母宅や知人・友人宅」

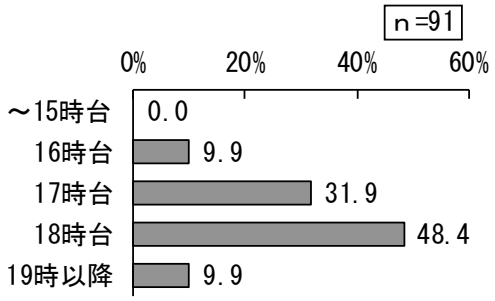
【各場所の希望日数】

○ 各場所の週当たりの希望日数は、以下のとおりです。

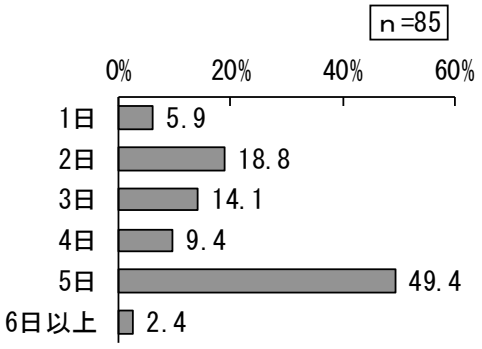
＜放課後児童クラブ＞



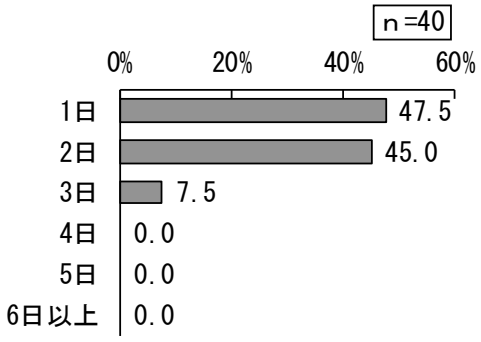
（下校から●時まで）



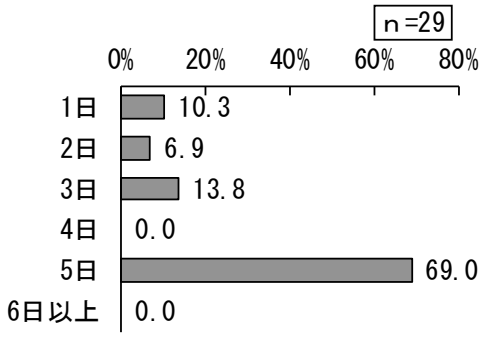
＜自宅＞



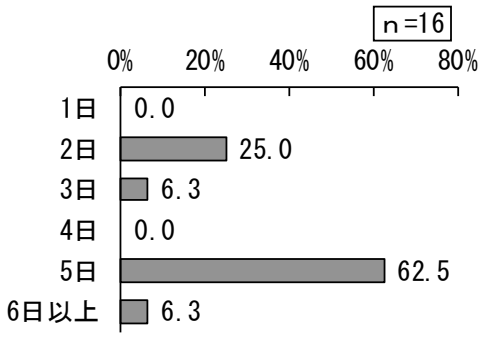
＜習い事＞



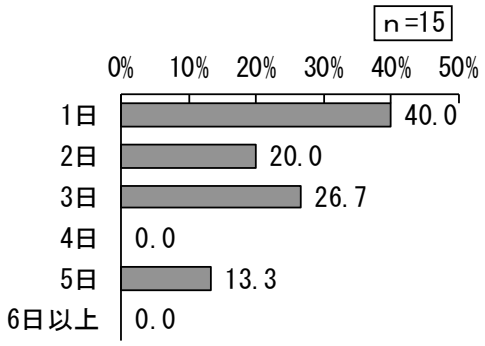
＜児童館＞



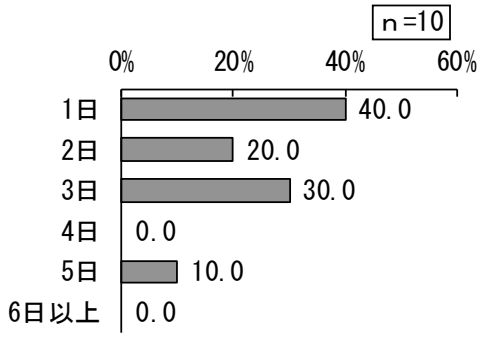
＜祖父母や親せき宅＞



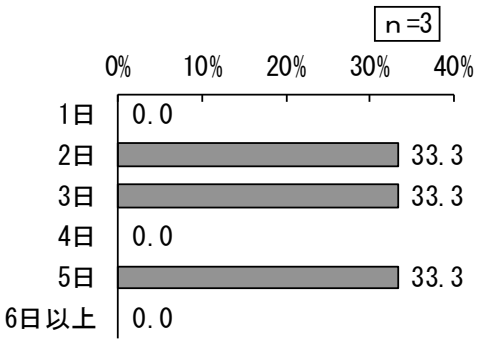
＜放課後子ども教室＞



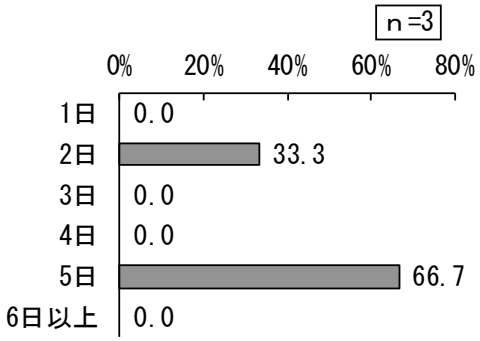
＜子どもの友達宅＞



＜放課後等デイサービス＞



＜その他＞

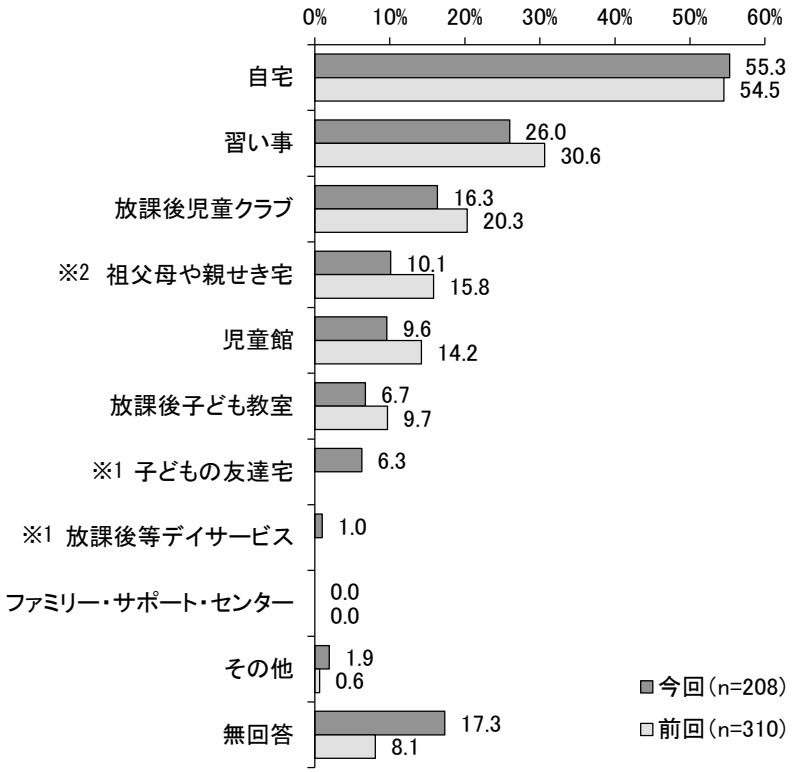


※「ファミリー・サポート・センター」回答はないため、利用日数もなし。

	放課後児童クラブ	下校から●時まで	自宅	習い事	児童館	祖父母や親せき宅	放課後子ども教室	子どもの友達宅	放課後等デイサービス	ファミサポ	その他
平均	4.22 日	17:35	3.86 日	1.60 日	4.10 日	4.19 日	2.27 日	2.20 日	3.33 日	－	4.00 日
最大値	6.00 日	19:00	7.00 日	3.00 日	5.00 日	6.00 日	5.00 日	5.00 日	5.00 日	－	5.00 日
最小値	1.00 日	16:00	1.00 日	1.00 日	1.00 日	2.00 日	1.00 日	1.00 日	2.00 日	－	2.00 日

②高学年（4～6 年生）の時

○ 小学校入学後、高学年になったら放課後の時間を過ごさせたい場所について、「自宅」が 55.3%で最も高く、次いで「習い事」（26.0%）、「放課後児童クラブ」（16.3%）と続いています。



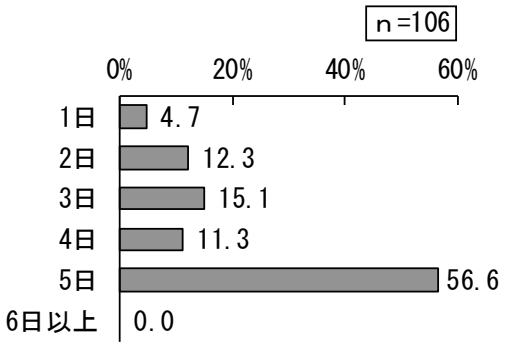
※1 前回調査には選択肢なし

※2 前回調査は「祖父母宅や知人・友人宅」

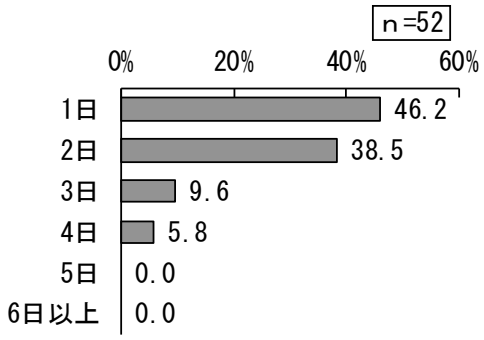
【各場所の希望日数】

○ 各場所の週当たりの希望日数は、以下のとおりです。

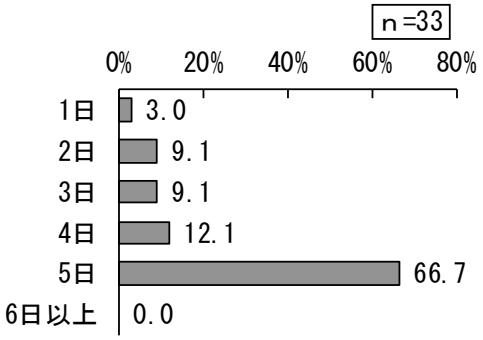
＜自宅＞



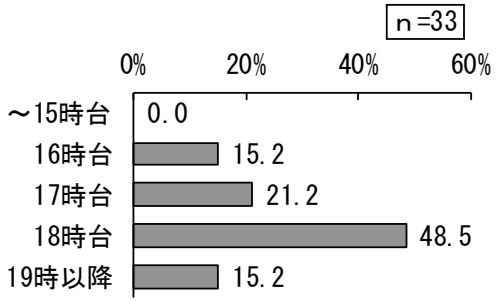
＜習い事＞



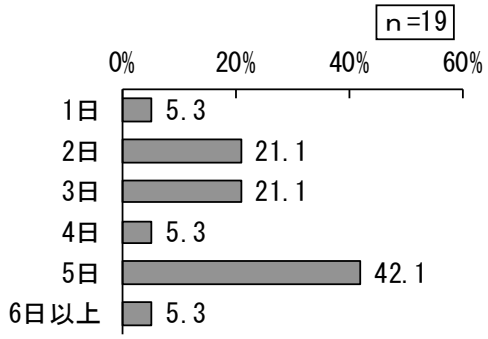
＜放課後児童クラブ＞



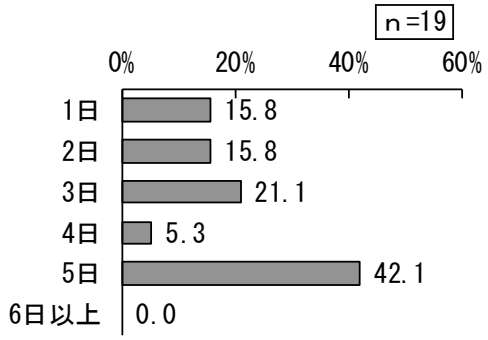
（下校から●時まで）



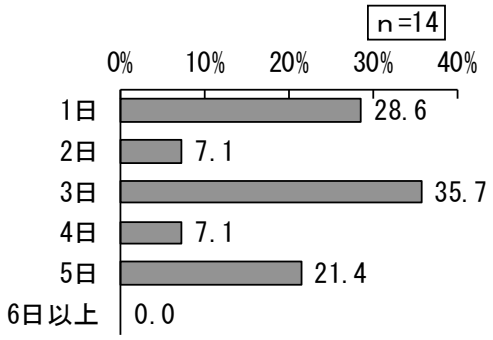
＜祖父母や親せき宅＞



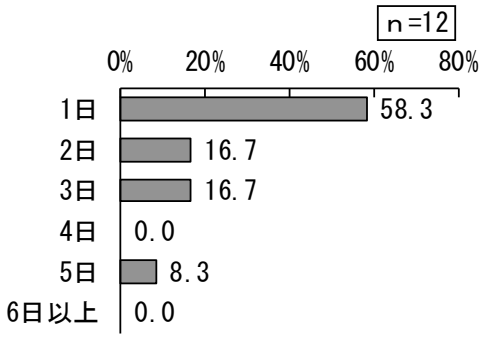
＜児童館＞



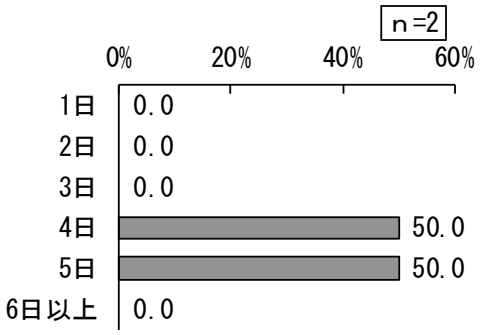
＜放課後子ども教室＞



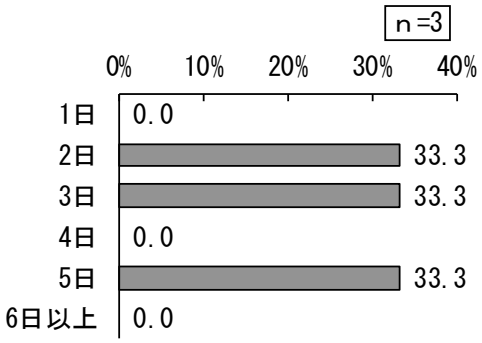
＜子どもの友達宅＞



＜放課後等デイサービス＞



＜その他＞



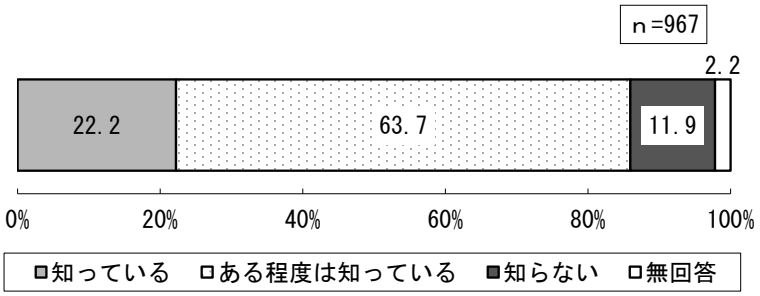
※「ファミリー・サポート・センター」回答はないため、利用日数もなし。

	自宅	習い事	放課後児童クラブ	下校から●時まで	祖父母や親せき宅	児童館	放課後子ども教室	子どもの友達宅	放課後等デイサービス	ファミサポ	その他
平均	4.03 日	1.75 日	4.30 日	17:39	3.74 日	3.42 日	2.86 日	1.83 日	4.50 日	－	3.33 日
最大値	5.00 日	4.00 日	5.00 日	19:00	6.00 日	5.00 日	5.00 日	5.00 日	5.00 日	－	5.00 日
最小値	1.00 日	1.00 日	1.00 日	16:00	1.00 日	1.00 日	1.00 日	1.00 日	4.00 日	－	2.00 日

Ⅱ-１３．子どもの発達について

問43 子どもの発達障害の内容について知っていますか。（○は１つ）

○ 子どもの発達障害の内容について、「ある程度は知っている」が 63.7%、「知っている」が 22.2%、「知らない」が 11.9%となっています。

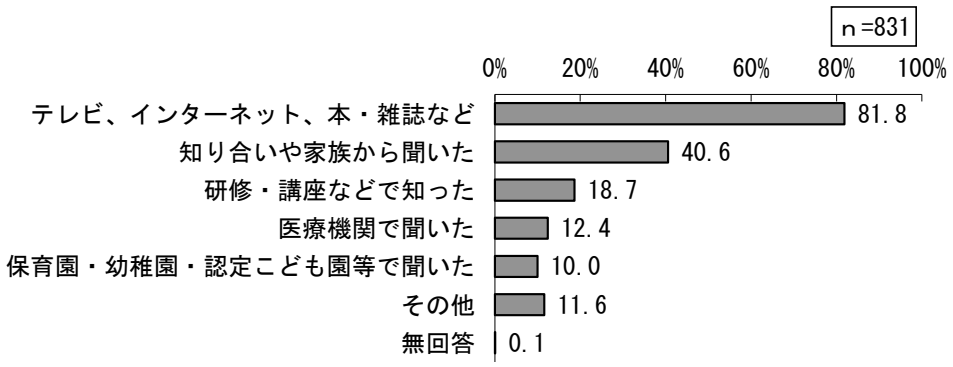


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	知っている	ある程度は知っている	知らない	無回答
全体	967	22.2	63.7	11.9	2.2
0歳	192	15.1	64.1	18.8	2.1
1歳	132	25.0	65.2	9.8	0.0
2歳	69	20.3	66.7	11.6	1.4
3歳	195	21.0	65.6	9.2	4.1
4歳	159	23.9	63.5	10.1	2.5
5歳	189	28.0	59.3	11.6	1.1

問44 問43で「1.」「2.」（知っている、ある程度は知っている）と答えた方にお聞きします。
それはどのような機会に知りましたか。（○はいくつでも）

○ 発達障害を知った機会について、「テレビ、インターネット、本・雑誌など」が81.8%で最も高く、次いで「知り合いや家族から聞いた」（40.6%）、「研修・講座などで知った」（18.7%）と続いています。

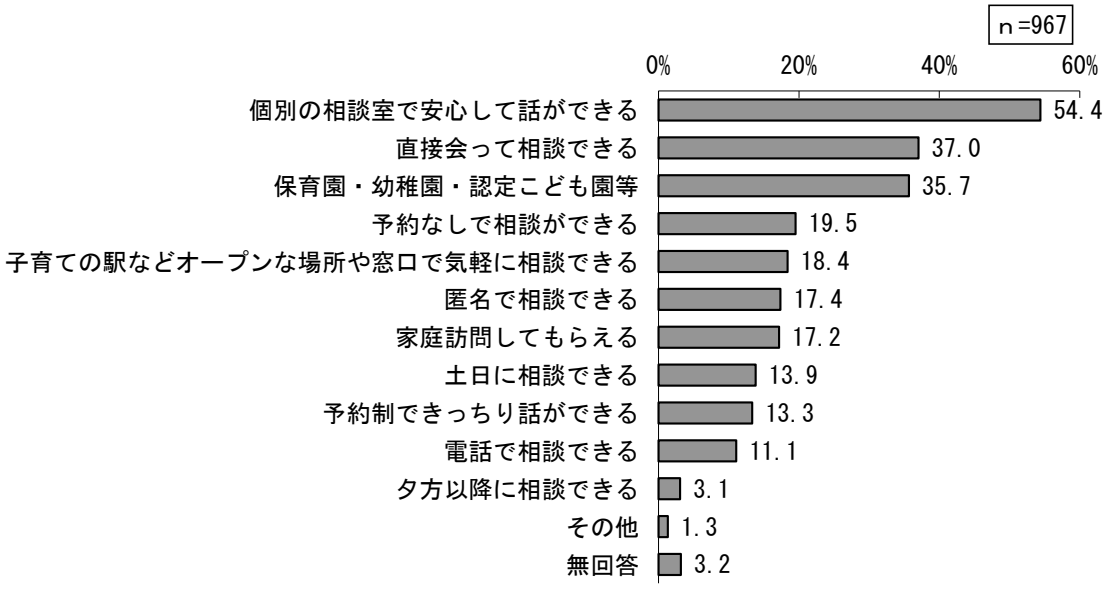


■年齢別　　単位：n（人）、項目（%）

	（n）	テレビ、インターネット、本・雑誌など	知り合いや家族から聞いた	研修・講座などで知った	医療機関で聞いた	保育園・幼稚園・認定こども園等で聞いた	その他	無回答
全体	831	81.8	40.6	18.7	12.4	10.0	11.6	0.1
0歳	152	83.6	38.2	19.7	10.5	5.3	8.6	0.0
1歳	119	81.5	37.0	18.5	8.4	8.4	17.6	0.0
2歳	60	88.3	43.3	15.0	16.7	15.0	8.3	0.0
3歳	169	80.5	45.0	18.9	14.2	10.7	11.2	0.0
4歳	139	79.1	41.0	17.3	13.7	12.2	10.8	0.7
5歳	165	81.8	40.0	18.8	13.9	9.7	13.3	0.0

問45 子どもの発達に関する不安（言葉や行動など）を相談するとしたら、どのような場所・機会なら相談しやすいですか。（○は３つまで）

○ 子どもの発達に関する不安を相談しやすい場所や機会について、「個別の相談室で安心して話ができる」が 54.4%で最も高く、次いで「直接会って相談できる」（37.0%）、「保育園・幼稚園・認定こども園等」（35.7%）と続いています。



Ⅱ-１４．子育て支援について

問46 下記の「1.」～「12.」のサービスを知っていたり、これまでに利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。
（サービスの種類ごとに、「はい」→1、「いいえ」→2 のどちらかに○を１つ）

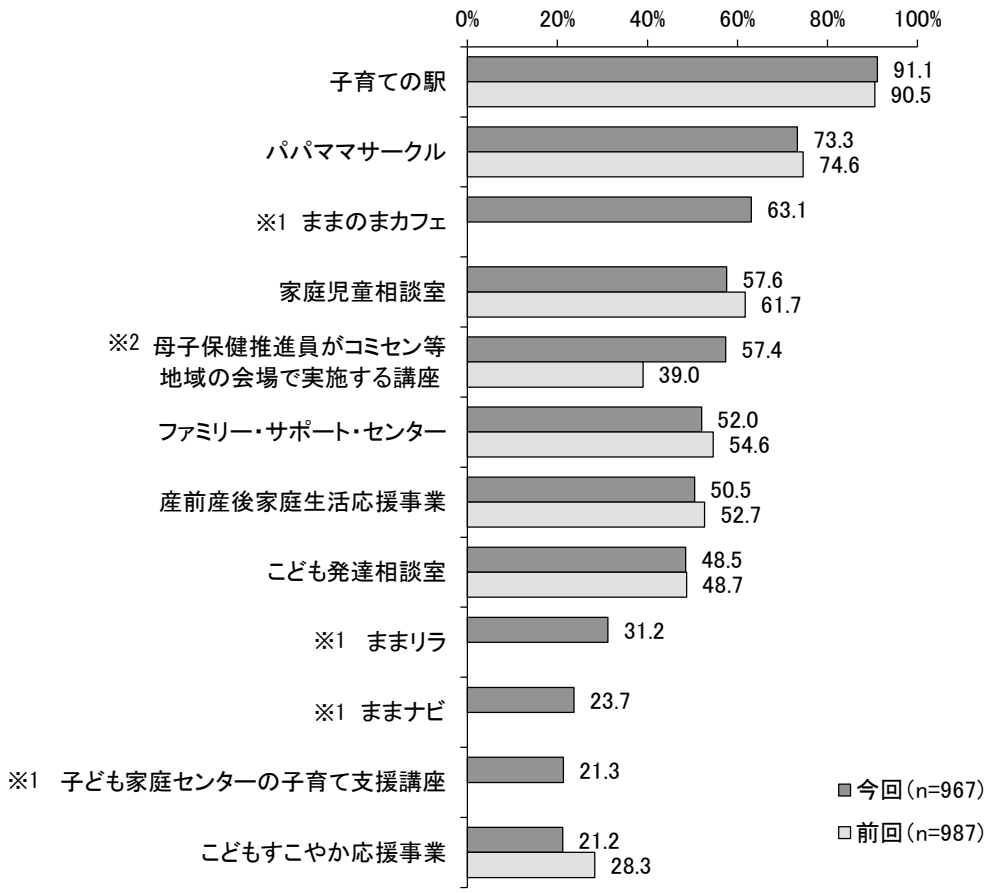
※各サービスにおいて「はい」と回答した人の割合

①知っている

○ 知っている子育て支援サービスについて、「子育ての駅」が 91.1％で最も高く、次いで「パパママサークル」（73.3％）、「ままのまカフェ」（63.1％）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「母子保健推進員がコミセン等地域の会場で実施する講座」の割合が大きく増加しています。

○ 年齢別にみると、0 歳では他の年齢に比べて「ままのまカフェ」、「ままリラ」、「ままナビ」の割合が高くなっています。4 歳、5 歳では他の年齢に比べて「こども発達相談室」の割合が高くなっています。



※1 前回調査には選択肢なし

※2 前回調査は「母子保健推進員の育児講座」

■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

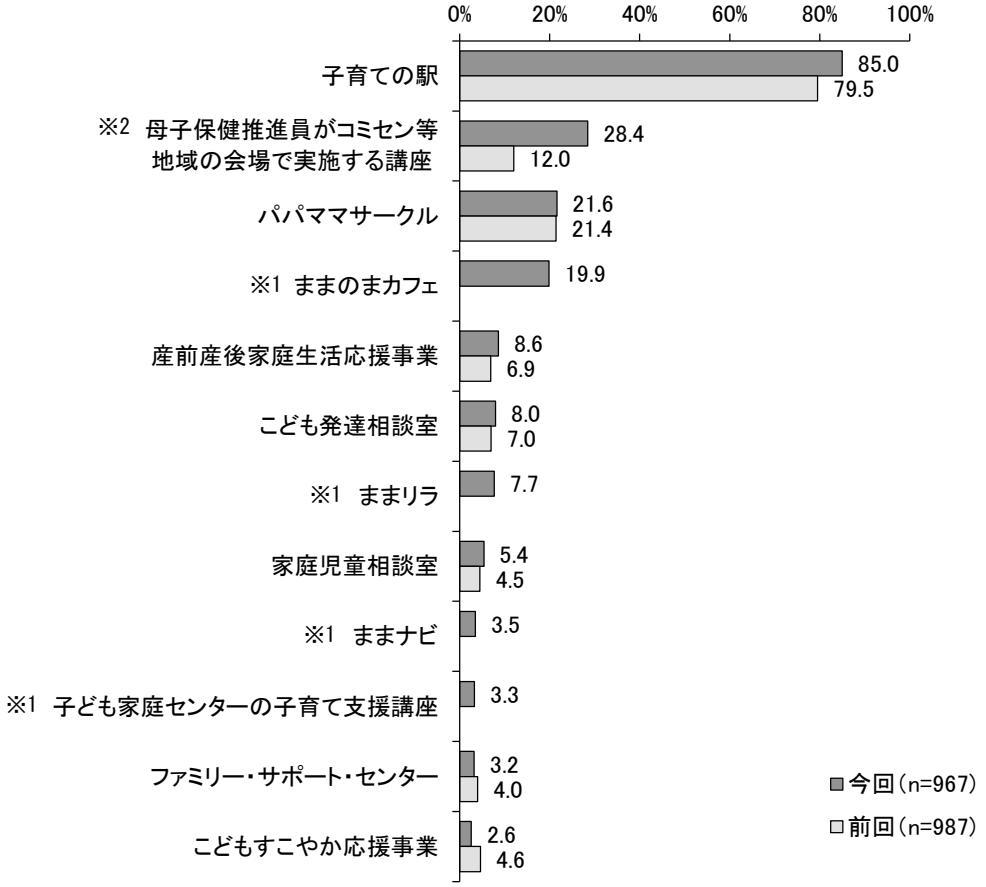
	（ｎ）	子育ての駅	パパママサークル	ままのまカフェ	家庭児童相談室	母子保健推進員がコミセン等地域の会場で実施する講座	ファミリー・サポート・センター
全体	967	91.1	73.3	63.1	57.6	57.4	52.0
0歳	192	93.8	78.1	79.2	52.6	62.5	45.8
1歳	132	92.4	81.1	68.2	57.6	55.3	49.2
2歳	69	92.8	78.3	82.6	56.5	63.8	53.6
3歳	195	89.2	76.4	59.5	60.0	52.8	53.8
4歳	159	89.9	67.3	49.1	59.7	54.1	54.1
5歳	189	89.9	65.6	51.9	59.3	59.3	56.1

	（ｎ）	産前産後家庭生活応援事業	こども発達相談室	ままリラ	ままナビ	子ども家庭センターの子育て支援講座	こどもすこやか応援事業
全体	967	50.5	48.5	31.2	23.7	21.3	21.2
0歳	192	54.2	32.8	51.0	38.0	20.3	17.7
1歳	132	50.0	40.9	38.6	25.8	17.4	13.6
2歳	69	60.9	44.9	40.6	18.8	17.4	27.5
3歳	195	54.9	52.8	25.6	17.4	21.0	17.9
4歳	159	44.0	57.9	20.1	23.9	23.3	23.9
5歳	189	45.5	57.7	19.0	16.9	25.4	28.6

②これまでに利用したことがある

○ 利用したことがある子育て支援サービスについて、「子育ての駅」が 85.0%で最も高く、次いで「母子保健推進員がコミセン等地域の会場で実施する講座」（28.4%）、「パパママサークル」（21.6%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「母子保健推進員がコミセン等地域の会場で実施する講座」の割合が大きく増加しています。



※1 前回調査には選択肢なし

※2 前回調査は「母子保健推進員の育児講座」

■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	子育ての駅	母子保健推進員がコミセン等地域の会場で実施する講座	パパママサークル	ままのまカフェ	産前産後家庭生活応援事業	こども発達相談室
全体	967	85.0	28.4	21.6	19.9	8.6	8.0
0歳	192	82.8	30.7	22.4	23.4	9.4	2.6
1歳	132	90.9	26.5	25.0	19.7	9.8	3.0
2歳	69	89.9	31.9	17.4	31.9	5.8	7.2
3歳	195	86.7	25.1	22.6	17.9	9.2	8.7
4歳	159	83.6	28.3	18.9	15.1	8.2	12.6
5歳	189	83.1	30.7	23.8	19.6	7.9	13.2

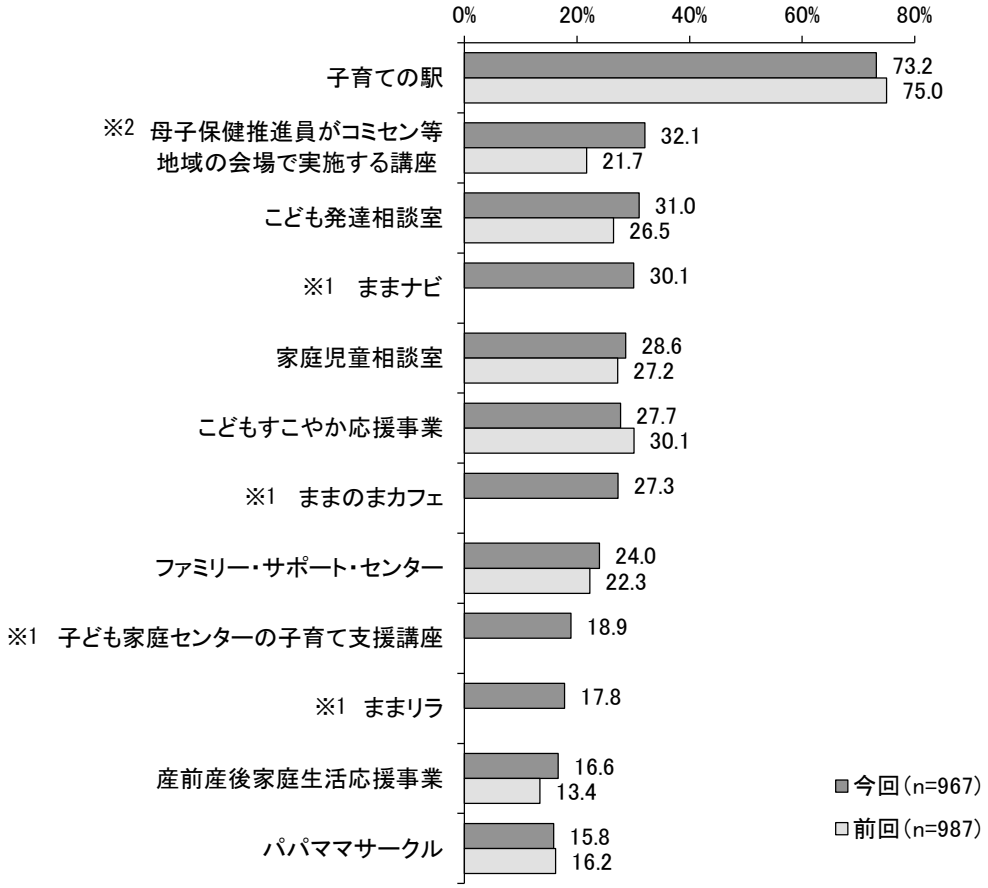
	（ｎ）	ままリラ	家庭児童相談室	ままナビ	子ども家庭センターの子育て支援講座	ファミリー・サポート・センター	こどもすこやか応援事業
全体	967	7.7	5.4	3.5	3.3	3.2	2.6
0歳	192	15.6	4.2	7.8	3.1	3.6	0.5
1歳	132	12.9	7.6	3.8	4.5	6.1	0.8
2歳	69	7.2	5.8	1.4	5.8	2.9	4.3
3歳	195	5.1	4.6	3.1	1.5	1.5	2.6
4歳	159	4.4	8.2	2.5	3.8	1.9	3.1
5歳	189	2.6	4.2	1.1	3.2	3.2	5.3

③今後利用したい

○ 今後利用したい子育て支援サービスについて、「子育ての駅」が 73.2%で最も高く、次いで「母子保健推進員がコミセン等地域の会場で実施する講座」（32.1%）、「こども発達相談室」（31.0%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「母子保健推進員がコミセン等地域の会場で実施する講座」の割合が増加しています。

○ 年齢別にみると、0 歳では他の年齢に比べて、「母子保健推進員がコミセン等地域の会場で実施する講座」、「ままナビ」をはじめ、多くの事業で高い割合となっています。



※1 前回調査には選択肢なし

※2 前回調査は「母子保健推進員の育児講座」

■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

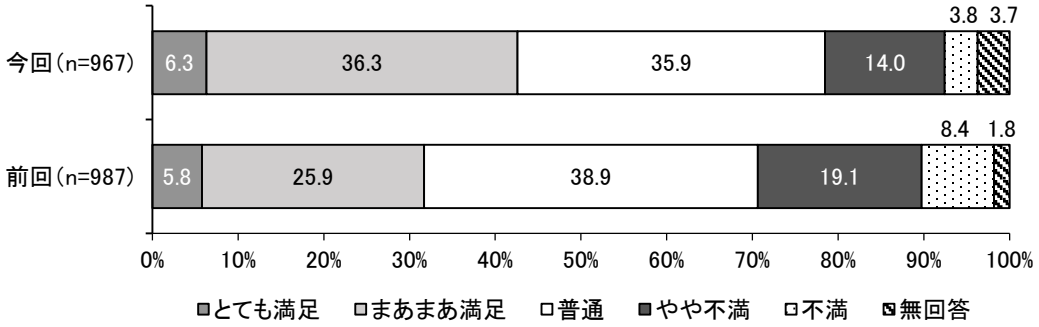
	（ｎ）	子育ての駅	母子保健推進員がコミセン等地域の会場で実施する講座	こども発達相談室	ままナビ	家庭児童相談室	こどもすこやか応援事業
全体	967	73.2	32.1	31.0	30.1	28.6	27.7
0歳	192	80.7	55.2	35.9	51.6	35.4	37.0
1歳	132	80.3	35.6	28.8	33.3	23.5	24.2
2歳	69	84.1	33.3	30.4	29.0	23.2	31.9
3歳	195	72.8	23.6	32.3	24.6	28.2	25.6
4歳	159	67.3	23.3	31.4	25.2	32.1	28.3
5歳	189	62.4	24.3	28.6	20.1	27.5	23.3

	（ｎ）	ままのまカフェ	ファミリー・サポート・センター	子ども家庭センターの子育て支援講座	ままリラ	産前産後家庭生活応援事業	パパママサークル
全体	967	27.3	24.0	18.9	17.8	16.6	15.8
0歳	192	45.8	32.8	27.1	37.5	27.6	26.0
1歳	132	30.3	21.2	22.0	15.9	17.4	17.4
2歳	69	29.0	15.9	17.4	18.8	8.7	18.8
3歳	195	20.0	23.6	12.8	10.8	12.3	12.3
4歳	159	23.9	20.8	18.9	13.8	16.4	10.7
5歳	189	19.0	24.3	16.9	11.6	12.2	12.7

問47 長岡市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号１つに○をつけ、その理由をご記入ください。

○ 長岡市の子育て環境や支援の満足度について、「まあまあ満足」が 36.3%で最も高く、「とても満足」（6.3%）と合わせた『満足』は 42.6%となっています。「やや不満」（14.0%）と「不満」（3.8%）を合わせた『不満』は 17.8%、「普通」は 35.9%となっています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「まあまあ満足」の割合が増加し、「やや不満」、「不満」の割合が減少しています。



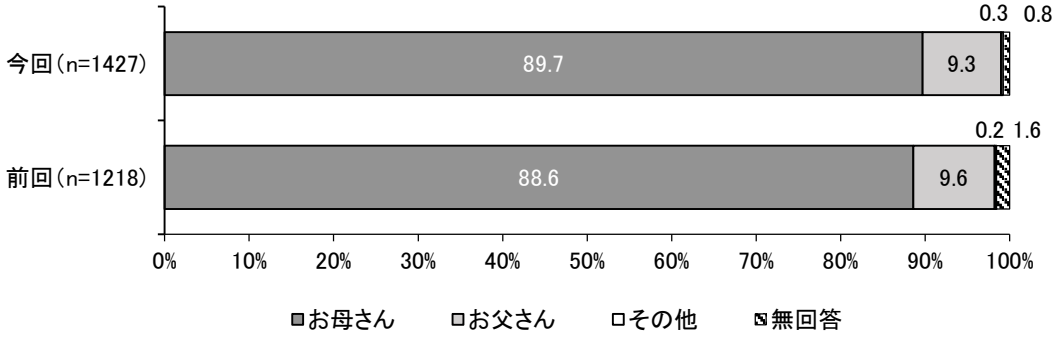
子育て支援に関する市の施策に関するご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。

Ⅲ　調査結果【小学生保護者】

Ⅲ－１．回答者について

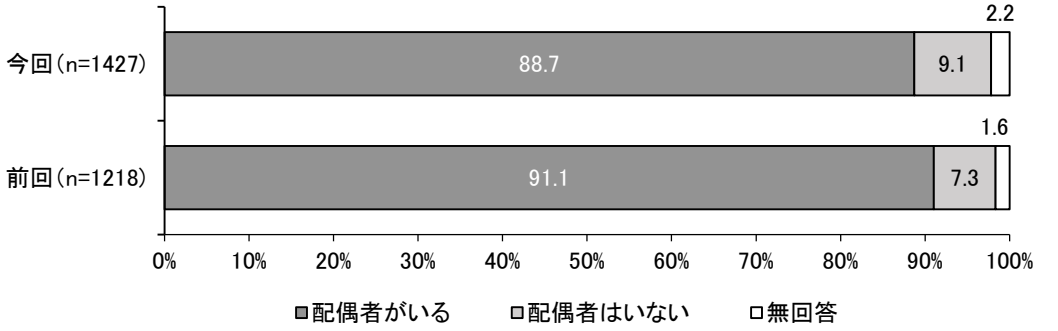
問1 ご回答いただく方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。
（○は１つ）

○ 本調査の回答者は、「お母さん」が 89.7%、「お父さん」が 9.3%、「その他」が 0.3%となっています。



問2 配偶関係についてお答えください。（○は１つ）

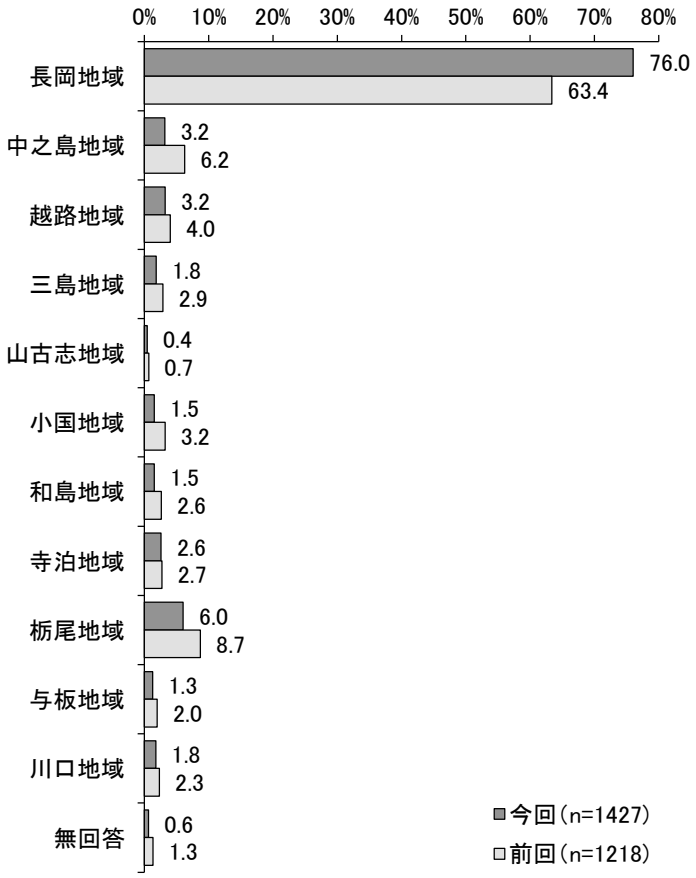
○ 回答者の配偶者の有無について、「配偶者がいる」が 88.7%、「配偶者はいない」が 9.1%となっています。



Ⅲ－２．宛名のお子さんとご家族の状況について

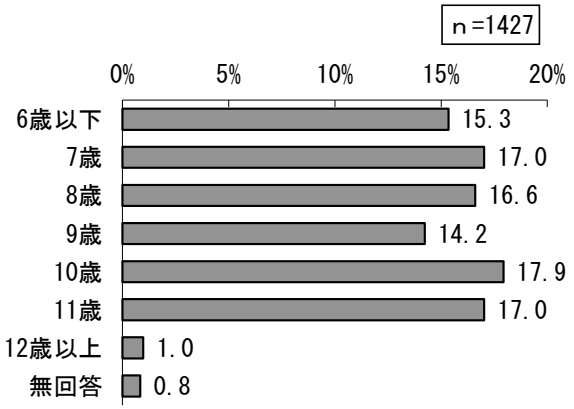
問3 現在、宛名のお子さんが住んでいる地域はどちらですか。（○は１つ）

○ 居住地区について、「長岡地域」が 76.0％で全体の７割半ばを占めています。



問4 対象のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

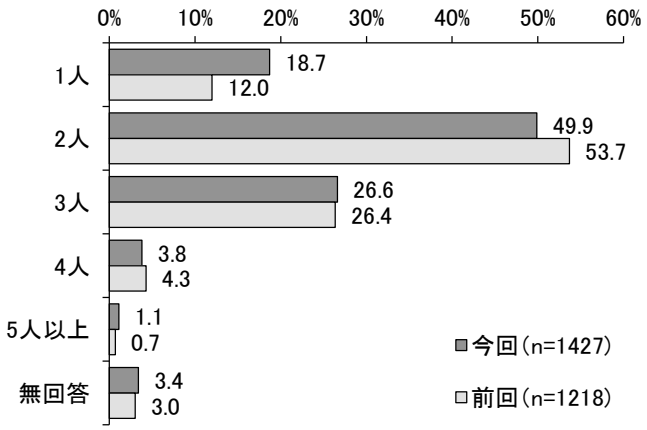
○ 子どもの年齢について、「10 歳（平成 19 年 4 月から平成 20 年 3 月生まれ）」が 17.9%で最も高く、次いで「7 歳（平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月生まれ）」、「11 歳（平成 18 年 4 月から平成 19 年 3 月生まれ）」（各 17.0%）と続いています。



問5 対象のお子さんの兄弟姉妹について、対象のお子さん本人を含んだ人数をご記入ください。2 人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生まれた年と月をご記入ください。

○ 兄弟姉妹の人数について、「2 人」が 49.9%で最も高く、次いで「3 人」（26.6%）、「1 人」（18.7%）と続いています。

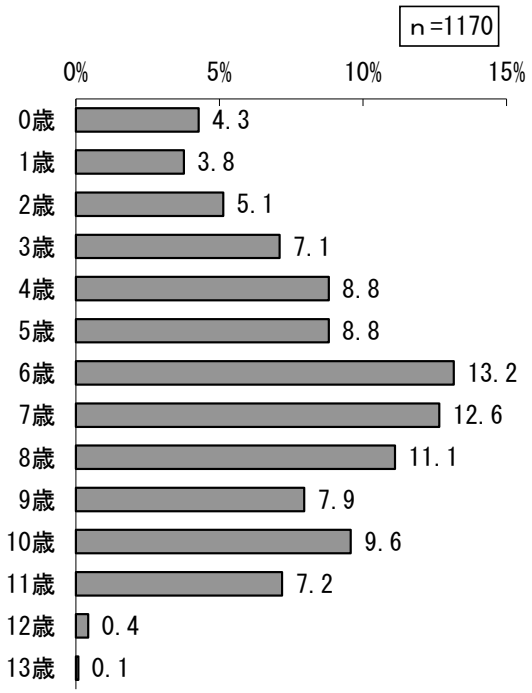
○ 前回調査の結果と比較すると、「1 人」の割合が増加しています。



	兄弟姉妹の人数
平均	2.16 人
最大値	7.00 人
最小値	0.00 人

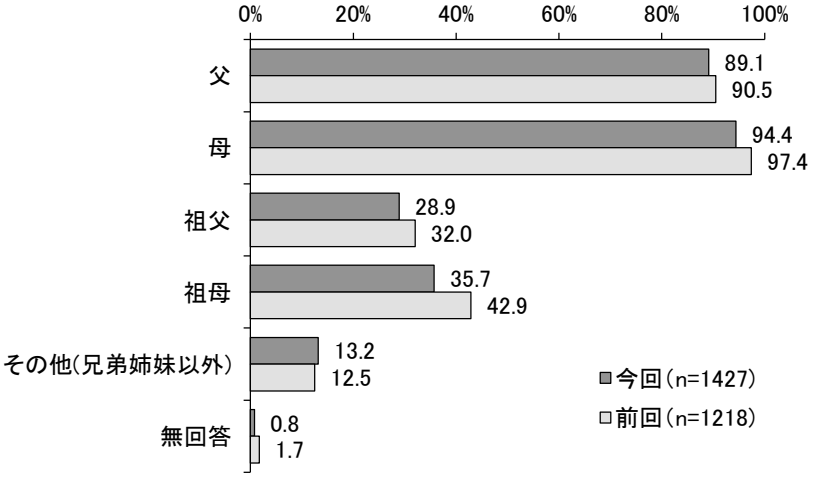
【末子の年齢】

○ 末子の年齢について、「6 歳」が 13.2%で最も高く、次いで「7 歳」（12.6%）、「8 歳」（11.1%）と続いています。



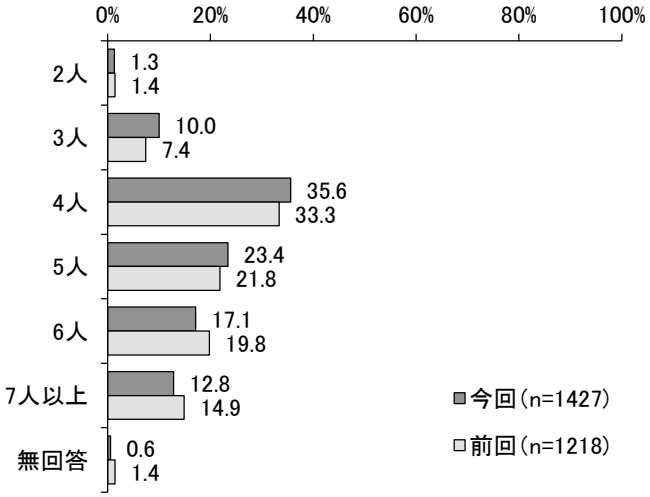
問6 対象のお子さんと同居している方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。（○はいくつでも）

○ 同居している人について、「母」が 94.4%、「父」が 89.1%、「祖母」が 35.7%、「祖父」が 28.9%となっています。



問7 対象のお子さんも含み、同居しているご家族は全員で何人ですか。

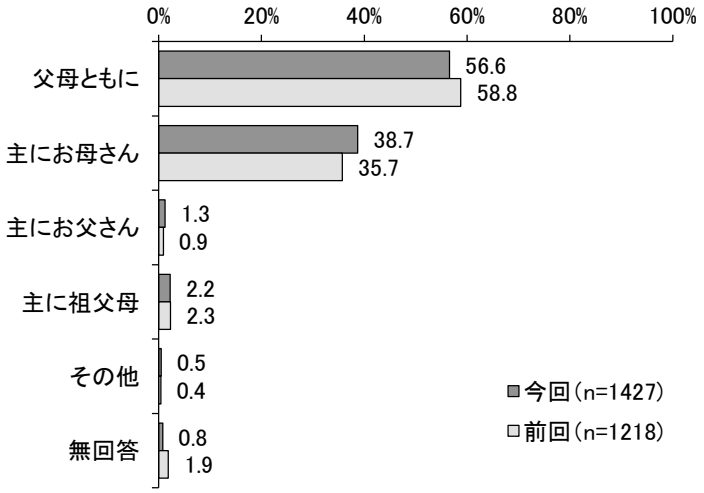
○ 同居している家族の人数は、「4 人」が 35.6%で最も高く、次いで「5 人」（23.4%）、「6 人」（17.1%）と続いています。



	同居している家族の人数
平均	4.87 人
最大値	9.00 人
最小値	0.00 人

問8 対象のお子さんの子育て（教育を含む）の役割を担っている方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。（○は１つ）

○ 子育て（教育を含む）の役割を担っている人について、「父母ともに」が 56.6%、「主にお母さん」が 38.7%となっています。

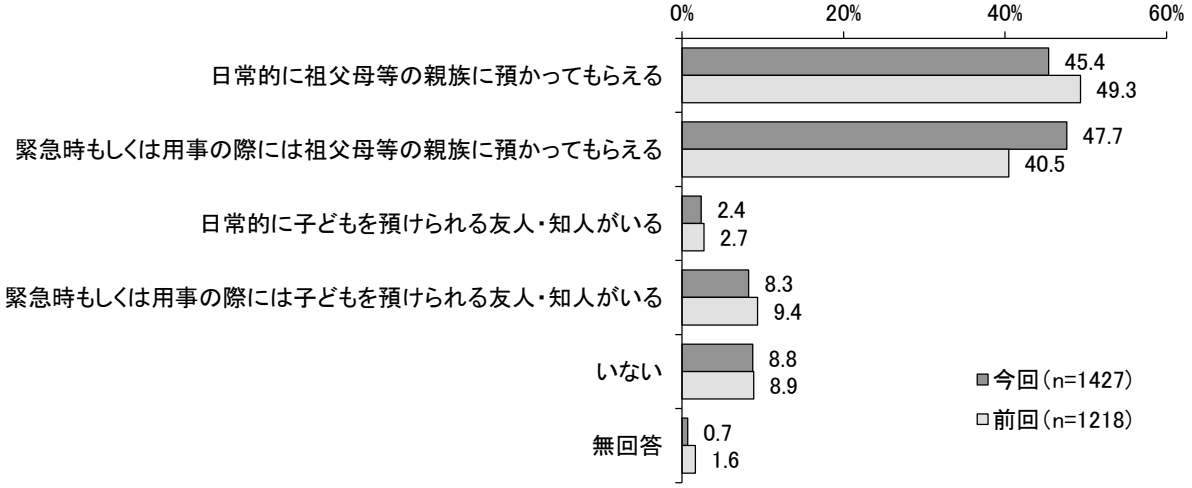


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	父母ともに	主にお母さん	主にお父さん	主に祖父母	その他	無回答
全体	1427	56.6	38.7	1.3	2.2	0.5	0.8
6歳以下	219	59.4	37.4	1.4	1.4	0.0	0.5
7歳	243	60.1	34.6	0.8	3.7	0.0	0.8
8歳	237	61.6	34.2	1.7	2.1	0.0	0.4
9歳	203	46.8	46.8	1.5	3.4	1.0	0.5
10歳	256	53.9	39.1	2.0	2.7	1.6	0.8
11歳	243	56.0	42.0	0.4	0.4	0.4	0.8

問9 日頃、対象のお子さんを預かってもらえる人はいますか。（○はいくつでも）

○ 日頃、子どもを預かってもらえる人の有無について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が 47.7%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」（45.4%）、「いない」（8.8%）と続いています。

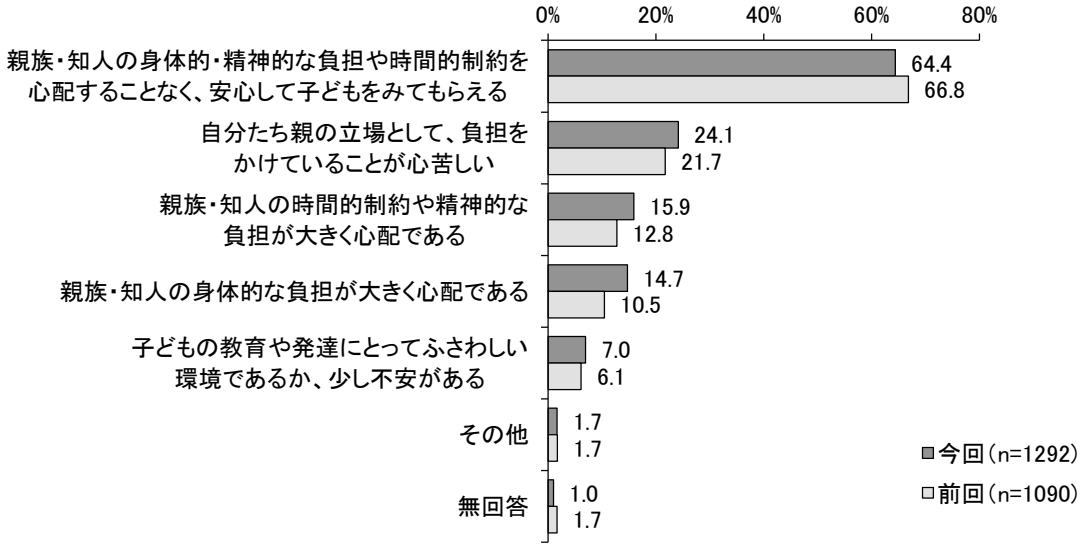


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	いない	無回答
全体	1427	45.4	47.7	2.4	8.3	8.8	0.7
6歳以下	219	42.5	48.9	1.4	7.3	11.0	0.5
7歳	243	44.4	51.4	2.5	9.1	7.0	0.4
8歳	237	43.9	51.9	1.3	8.4	8.0	0.0
9歳	203	49.8	42.9	3.4	4.9	7.9	1.5
10歳	256	53.9	39.8	3.5	9.8	8.2	0.4
11歳	243	39.9	51.0	2.1	8.6	9.9	0.8

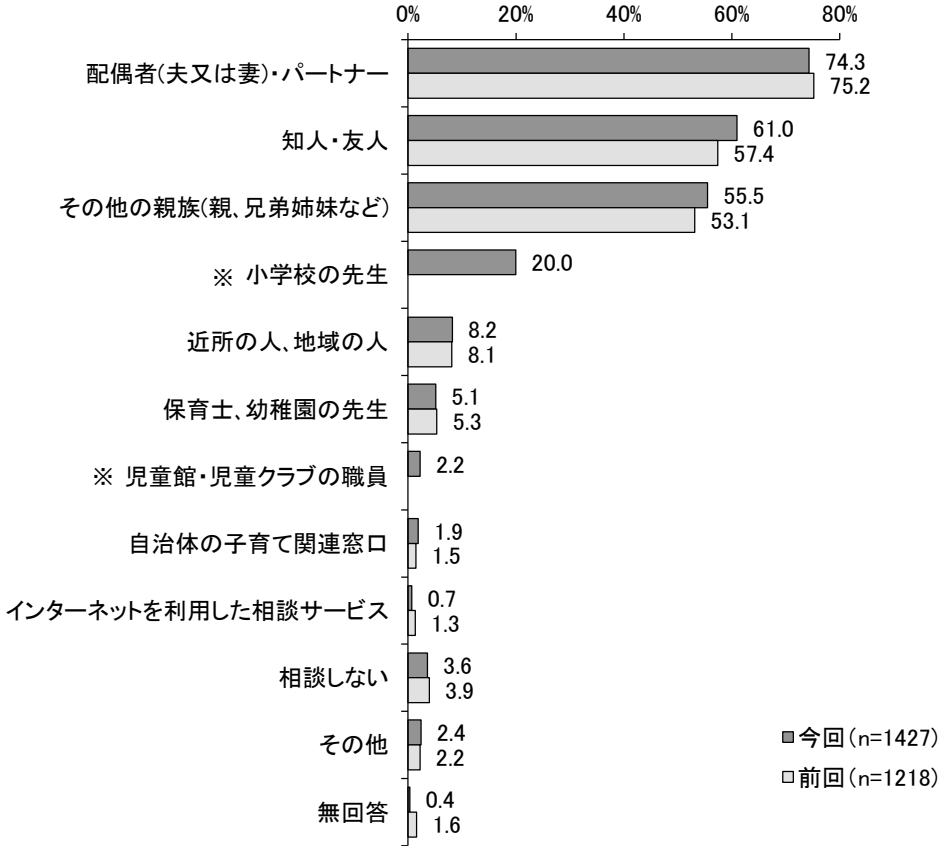
問10 問９で「1.～4.」（預かってもらえる人がいる）と答えた方にお聞きします。
お子さんを預かってもらう状況についてお答えください。（○はいくつでも）

○ 子どもを預かってもらえる親族・知人がいる人に、預かってもらう状況についてうかがったところ、「親族・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 64.4％で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（24.1％）、「親族・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」（15.9％）と続いています。



問11 子育てに関する悩みや不安を誰に相談していますか。（○はいくつでも）

○ 子育てに関する悩みや不安の相談相手について、「配偶者・パートナー」が 74.3%で最も高く、次いで「知人・友人」（61.0%）、「その他の親族」（55.5%）と続いています。



※前回調査には選択肢なし

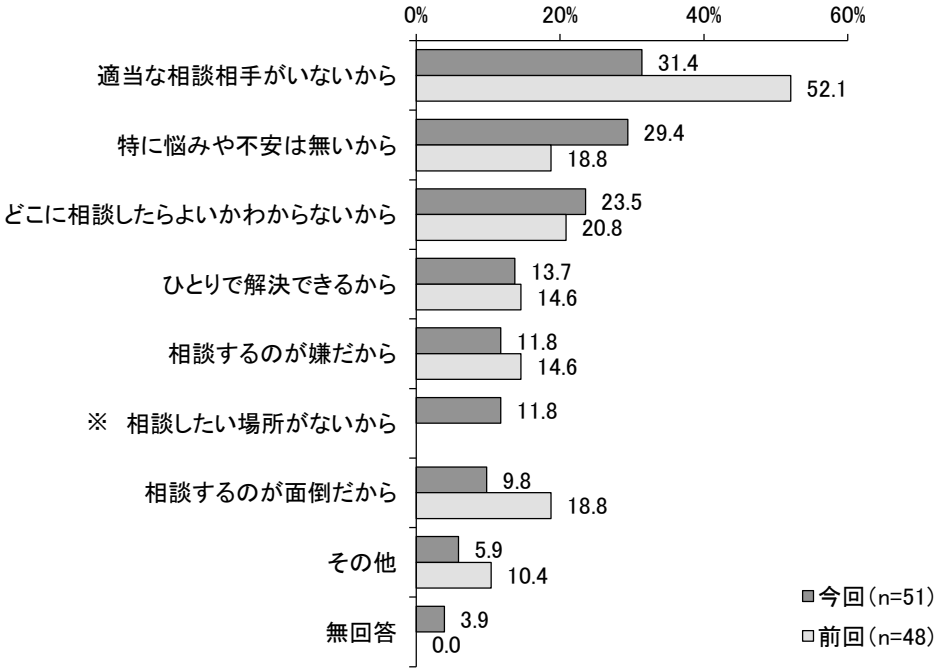
■年齢別　　単位：n（人）、項目（%）

	（n）	配偶者（夫又は妻）・パートナー	その他の親族（親、兄弟姉妹など）	近所の人、地域の人	知人・友人	保育士、幼稚園の先生	小学校の先生	児童館・児童クラブの職員	自治体の子育て関連窓口	インターネットを利用した相談サービス	相談しない	その他	無回答
全体	1427	74.3	55.5	8.2	61.0	5.1	20.0	2.2	1.9	0.7	3.6	2.4	0.4
6歳以下	219	79.9	56.6	8.7	55.3	5.9	21.9	1.4	1.8	0.0	2.7	2.3	0.0
7歳	243	76.1	61.3	7.0	61.7	7.0	21.4	3.3	2.5	2.5	2.1	2.9	0.4
8歳	237	80.2	55.3	5.9	61.2	7.2	19.4	5.1	1.3	0.0	4.2	1.7	0.0
9歳	203	70.0	56.7	10.8	57.6	5.4	19.7	2.5	2.0	0.0	4.9	3.0	0.5
10歳	256	75.0	51.6	8.2	63.3	2.7	21.9	1.2	2.7	0.8	3.1	2.0	0.4
11歳	243	66.7	51.9	9.1	65.0	2.9	17.3	0.4	1.2	0.8	3.7	2.9	0.4

問12 問11で「10.」（相談しない）と答えた方にお聞きします。
相談しないのはなぜですか。（○はいくつでも）

○ 子育てに関する悩みや不安を「相談しない」と回答した人に、その理由をうかがったところ、「適当な相談相手がいないから」が31.4%で最も高く、次いで「特に悩みや不安は無いから」（29.4%）、「どこに相談したらよいかわからないから」（23.5%）と続いています。

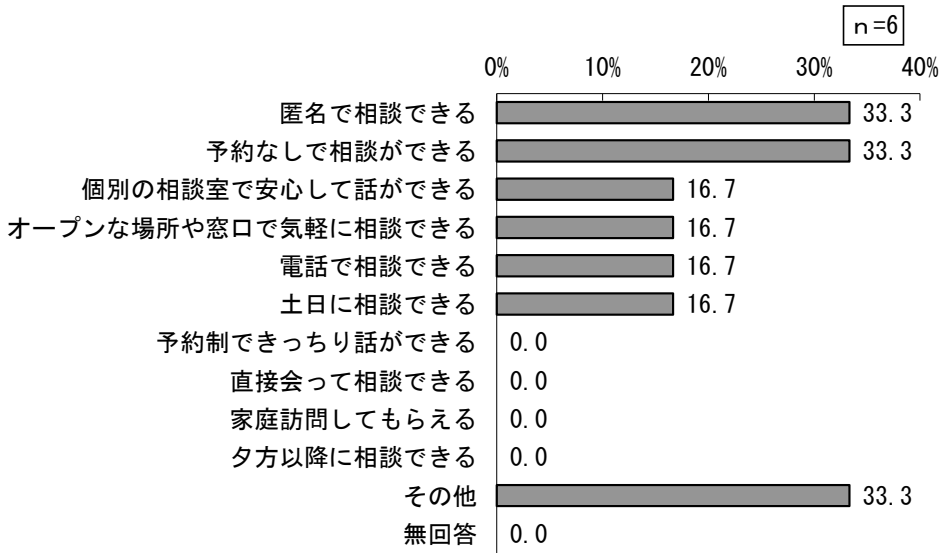
○ 前回調査の結果と比較すると、「適当な相談相手がいないから」、「相談するのが面倒だから」の割合が減少し、「特に悩みや不安が無いから」の割合が増加しています。



※前回調査には選択肢なし

問13 問 12 で「7.」（相談したい場所がない）と答えた方にお聞きします。
どのような所だったら、相談しやすいと思いますか。（○は 3 つまで）

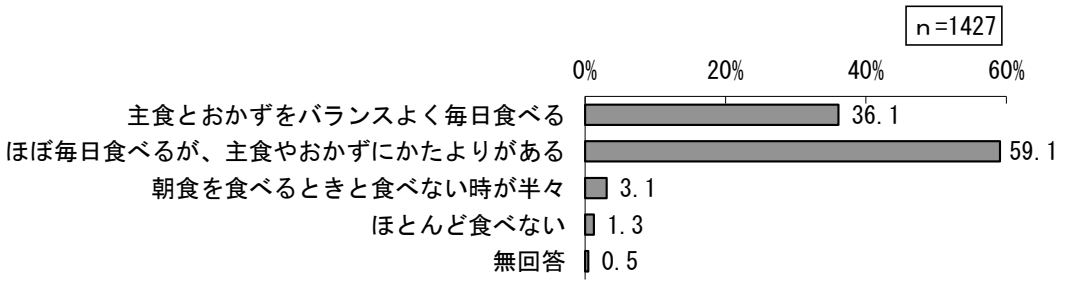
○ 子育てに関する悩みや不安を「相談したい場所がない」と回答した人に、相談しやすい所についてうかがったところ、以下のとおりとなっています。



Ⅲ-３．お子さんの生活について

問14 対象のお子さんは、どのように朝食をとっていますか。（○は１つ）

○ 子どもの朝食の摂取状況について、「ほぼ毎日食べるが、主食やおかずにかたよりがある」が 59.1％で最も高く、次いで「主食とおかずをバランスよく毎日たべる」（36.1％）、「朝食を食べるときと食べない時が半々」（3.1％）と続いています。



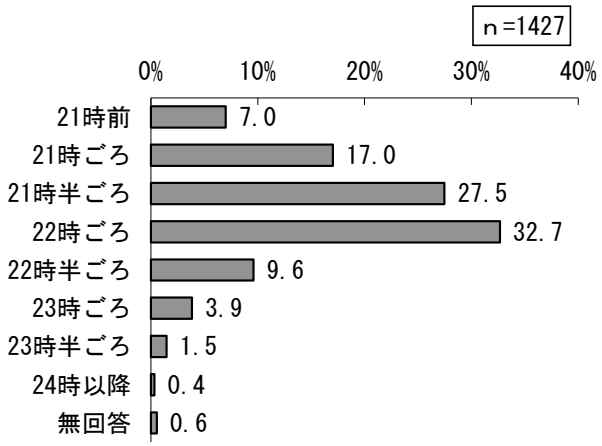
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	主食とおかずをバランスよく毎日食べる	ほぼ毎日食べるが、主食やおかずにかたよりがある	朝食を食べるときと食べない時が半々	ほとんど食べない	無回答
全体	1427	36.1	59.1	3.1	1.3	0.5
6歳以下	219	33.3	63.5	1.8	0.9	0.5
7歳	243	30.9	65.4	2.9	0.8	0.0
8歳	237	38.4	58.2	1.7	1.7	0.0
9歳	203	36.9	57.6	3.0	1.5	1.0
10歳	256	35.2	57.0	5.5	1.6	0.8
11歳	243	42.0	54.3	2.1	1.2	0.4

問15 対象のお子さんは平日の夜、何時ごろに寝ていますか。（○は１つ）

○ 子どもの平日の就寝時間は、「22 時ごろ」が 32.7%で最も高く、次いで「21 時半ごろ」（27.5%）、「21 時ごろ」（17.0%）と続いています。

○ 年齢別にみると、6 歳以下、7 歳では他の年齢に比べて「21 時ごろ」の割合が高く、10 歳では「22 時ごろ」、11 歳では「22 時半ごろ」、「23 時ごろ」の割合が他の年齢に比べて高くなっています。

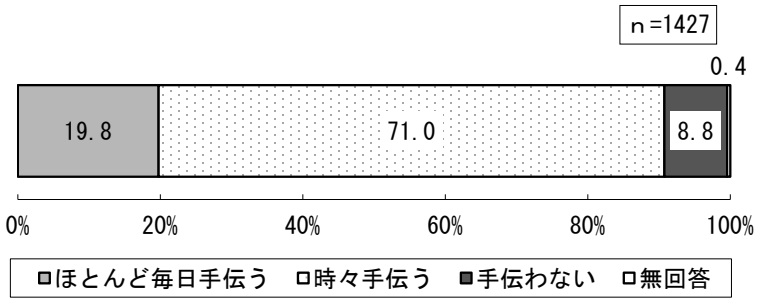


■年齢別　　単位：n（人）、項目（%）

	（n）	21時前	21時ごろ	21時半ごろ	22時ごろ	22時半ごろ	23時ごろ	23時半ごろ	24時以降	無回答
全体	1427	7.0	17.0	27.5	32.7	9.6	3.9	1.5	0.4	0.6
6歳以下	219	15.1	30.1	36.1	16.4	1.4	0.0	0.5	0.0	0.5
7歳	243	9.1	27.2	30.9	29.2	2.5	1.2	0.0	0.0	0.0
8歳	237	9.7	21.1	30.4	29.1	6.8	2.5	0.0	0.0	0.4
9歳	203	4.4	11.3	35.5	34.5	10.3	3.0	0.0	0.0	1.0
10歳	256	1.2	8.2	22.3	44.5	15.2	4.7	2.3	0.8	0.8
11歳	243	2.9	5.3	14.4	38.7	20.2	11.5	5.3	1.2	0.4

問16 対象のお子さんは家でお手伝いをしますか。（○は１つ）

○ 子どもの家でのお手伝いの状況について、「時々手伝う」が 71.0%、「ほとんど毎日手伝う」が 19.8%、「手伝わない」が 8.8%となっています。

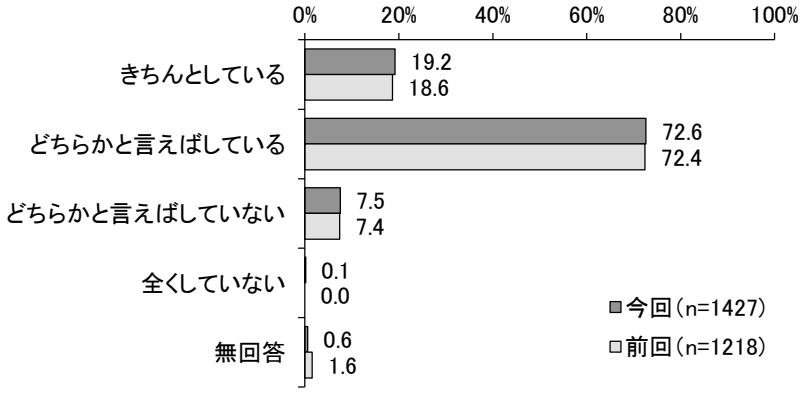


■年齢別　　単位：n（人）、項目（%）

	（n）	ほとんど毎日手伝う	時々手伝う	手伝わない	無回答
全体	1427	19.8	71.0	8.8	0.4
6歳以下	219	16.9	74.9	8.2	0.0
7歳	243	22.6	67.9	9.5	0.0
8歳	237	18.1	75.9	5.9	0.0
9歳	203	17.7	71.4	10.3	0.5
10歳	256	21.1	68.4	9.4	1.2
11歳	243	18.9	70.8	9.9	0.4

問17 家庭生活において、対象のお子さんに対してきちんとしつけをしていると思いますか。
（○は１つ）

○ 子どもをきちんとしつけていると思うかどうかについて、「どちらかと言えばしている」が 72.6%で最も高く、「きちんとしている」が 19.2%、「どちらかと言えばしていない」が 7.5%となっています。

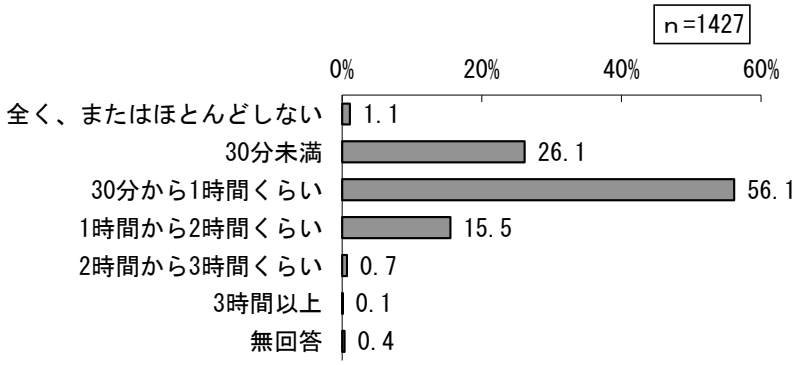


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	きちんとしている	どちらかと言えばしている	どちらかと言えばしていない	全くしていない	無回答
全体	1427	19.2	72.6	7.5	0.1	0.6
6歳以下	219	22.4	71.2	6.4	0.0	0.0
7歳	243	18.5	72.8	8.2	0.0	0.4
8歳	237	16.5	75.9	7.6	0.0	0.0
9歳	203	23.2	69.0	7.4	0.0	0.5
10歳	256	18.4	73.8	5.9	0.4	1.6
11歳	243	18.1	72.0	9.1	0.4	0.4

問18 対象のお子さんは、平日に家庭学習（宿題を含む）をだいたいどのくらいしますか。
（○は１つ）

○ 平日の家庭学習について、「30 分から 1 時間くらい」が 56.1%で最も高く、次いで「30 付未満」（26.1%）、「1 時間から 2 時間くらい」（15.5%）と続いています。
○ 年齢別にみると、6 歳以下、7 歳では他の年齢に比べて「30 分未満」の割合が高く、11 歳では「1 時間から 2 時未満」の割合が他の年齢に比べて高くなっています。



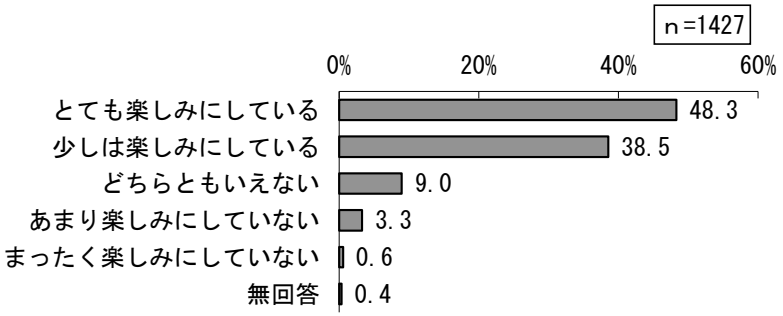
■年齢別　　単位：n（人）、項目（%）

	（n）	全く、またはほとんどしない	30分未満	30分から1時間くらい	1時間から2時間くらい	2時間から3時間くらい	3時間以上	無回答
全体	1427	1.1	26.1	56.1	15.5	0.7	0.1	0.4
6歳以下	219	0.9	52.5	41.1	5.5	0.0	0.0	0.0
7歳	243	1.2	44.4	45.7	8.6	0.0	0.0	0.0
8歳	237	0.0	20.3	70.9	8.9	0.0	0.0	0.0
9歳	203	1.0	18.2	61.6	18.2	0.5	0.0	0.5
10歳	256	3.1	14.1	62.1	18.4	1.6	0.0	0.8
11歳	243	0.4	9.9	55.1	31.7	2.1	0.4	0.4

問19 宛名のお子さんは、学校に行くのを楽しみにしていますか。（○は１つ）

○ 子どもが学校に行くのを楽しみにしているかどうかについて、「とても楽しみにしている」が 48.3%で最も高く、「少しは楽しみにしている」（38.5%）を合わせた『楽しみにしている』は 86.8%となっています。

○ 年齢別にみると、6 歳以下で「とても楽しみにしている」の割合が高くなっています。



■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

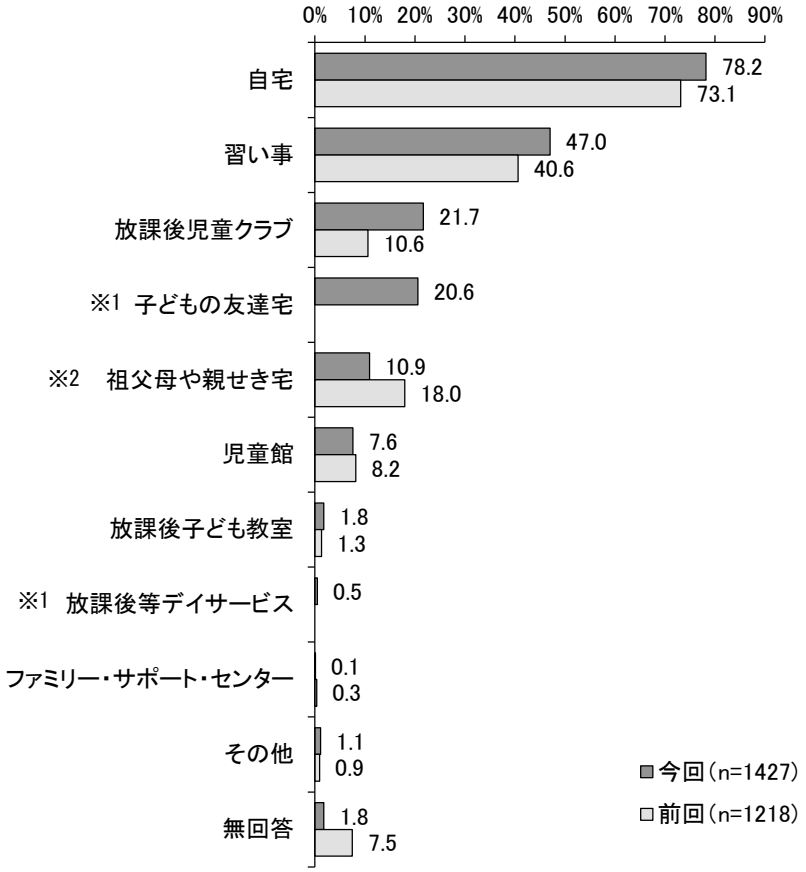
	（ｎ）	とても楽しみにしている	少しは楽しみにしている	どちらともいえない	あまり楽しみにしていない	まったく楽しみにしていない	無回答
全体	1427	48.3	38.5	9.0	3.3	0.6	0.4
6歳以下	219	61.6	32.9	4.1	1.4	0.0	0.0
7歳	243	54.7	33.7	7.4	3.7	0.4	0.0
8歳	237	51.5	37.1	8.9	2.1	0.4	0.0
9歳	203	46.3	37.4	11.8	3.4	0.5	0.5
10歳	256	37.5	47.3	9.0	4.7	0.8	0.8
11歳	243	41.6	40.7	12.3	3.7	1.2	0.4

問20 ① 対象のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのように過ごされていますか。
② 希望としては、対象のお子さんをどのように過ごさせたいですか。

①現在

○ 現在の放課後の過ごし方について、「自宅」が 78.2%で最も高く、次いで「習い事」(47.0%)、「放課後児童クラブ」（21.7%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「放課後児童クラブ」の割合が増加し、「祖父母や親せき宅」の割合が減少しています。



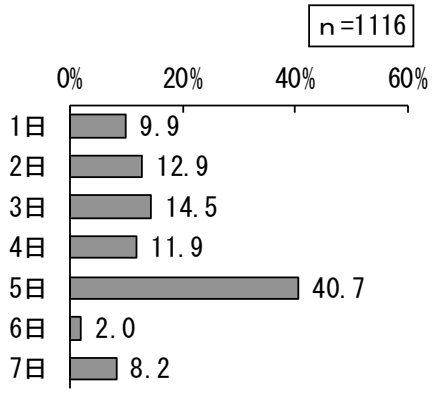
※1 前回調査には選択肢なし

※2 前回調査は「祖父母宅や知人・友人宅」

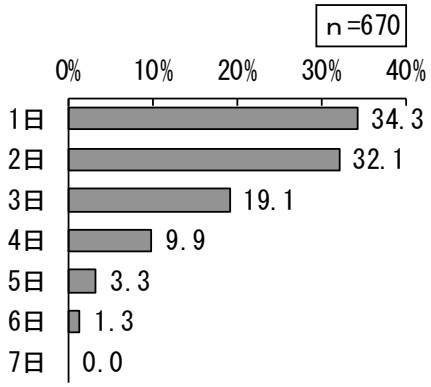
【日数・時間】

○ 各場所の日数及び放課後児童クラブの時間は、以下の通りです。

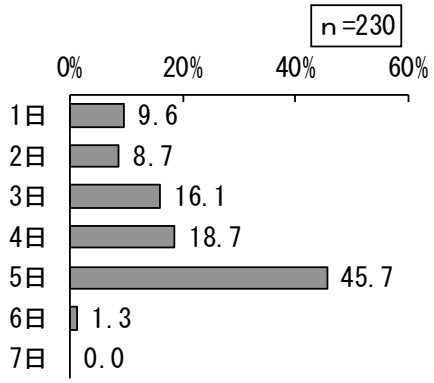
＜自宅＞



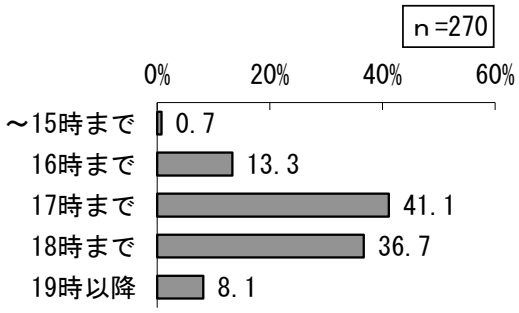
＜習い事＞



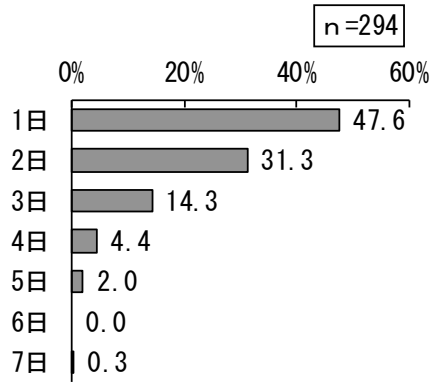
＜放課後児童クラブ＞



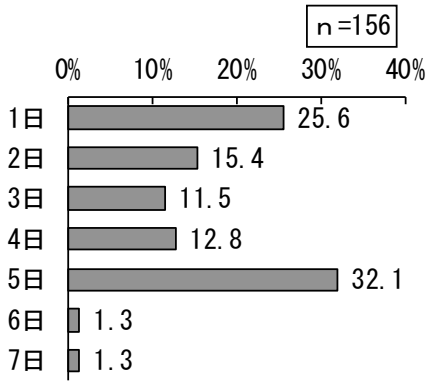
（下校から●時まで）



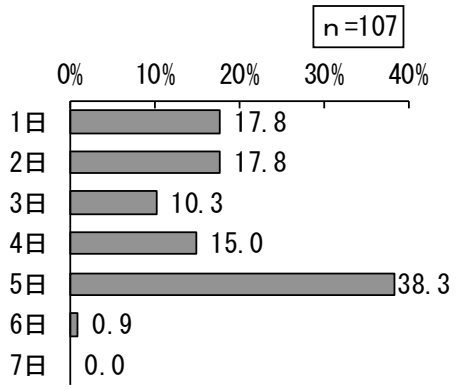
＜子どもの友達宅＞



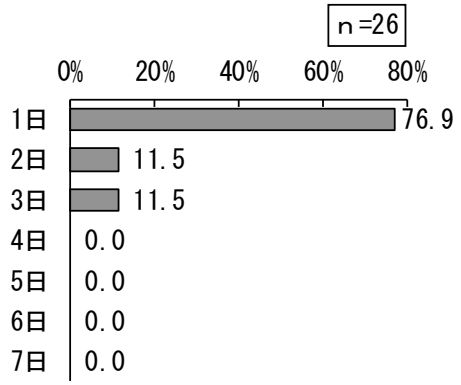
＜祖父母や親せき宅＞



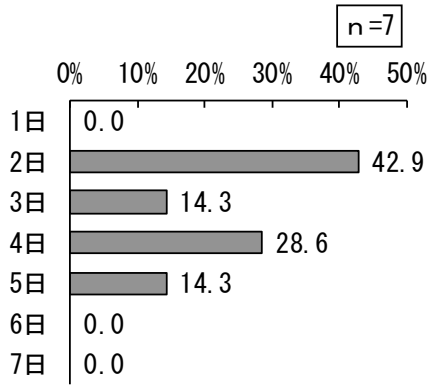
＜児童館＞



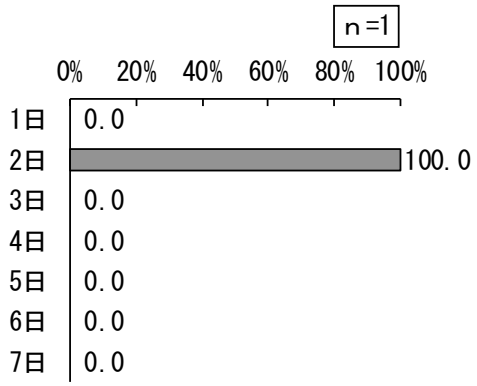
＜放課後子ども教室＞



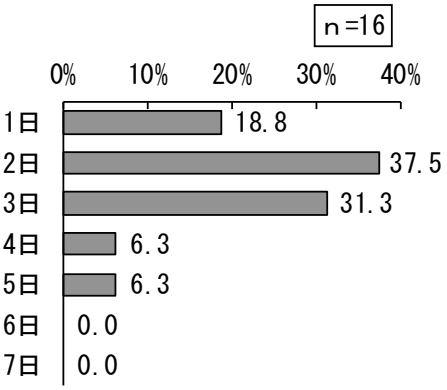
＜放課後等デイサービス＞



＜ファミリー・サポート・センター＞



＜その他＞

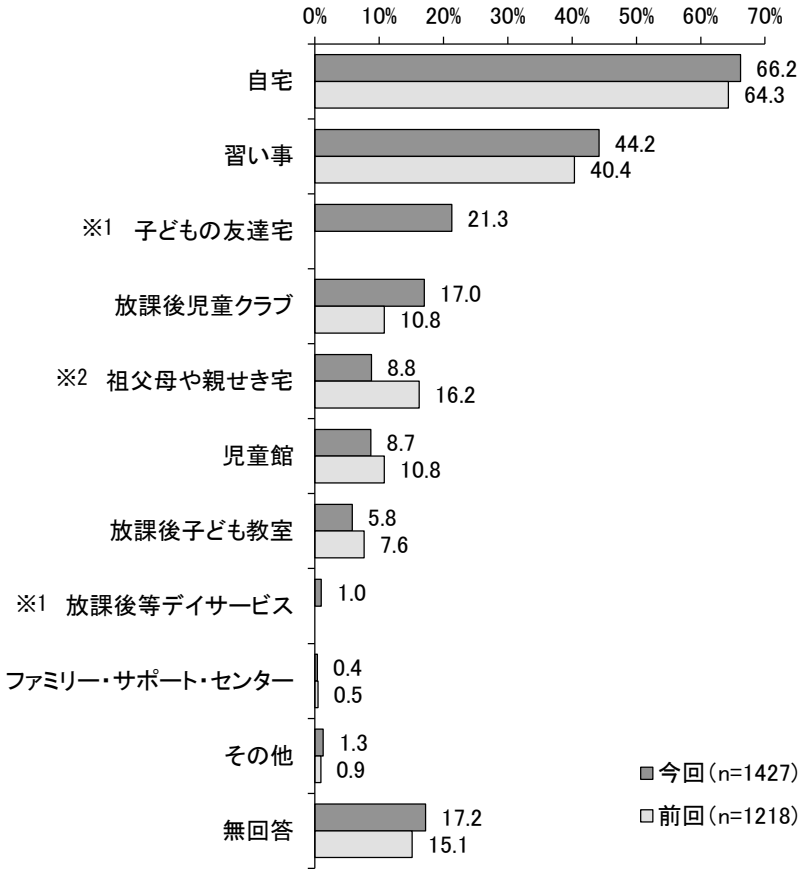


	自宅	習い事	放課後児童クラブ	下校から●時	子どもの友達宅	祖父母や親せき宅	児童館	放課後子ども教室	放課後等デイサービス	ファミサポ	その他
平均	3.99日	2.20日	3.86日	17:24	1.83日	3.19日	3.41日	1.35日	3.14日	2.00日	2.44日
最大値	7.00日	6.00日	6.00日	21:00	7.00日	7.00日	6.00日	3.00日	5.00日	2.00日	5.00日
最小値	1.00日	1.00日	1.00日	13:00	1.00日	1.00日	1.00日	1.00日	2.00日	2.00日	1.00日

②希望

○ 希望する放課後の過ごし方について、「自宅」が 66.2%で最も高く、次いで「習い事」（44.2%）、「子どもの友達宅」（21.3%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「放課後児童クラブ」の割合が増加し、「祖父母や親せき宅」の割合が減少しています。



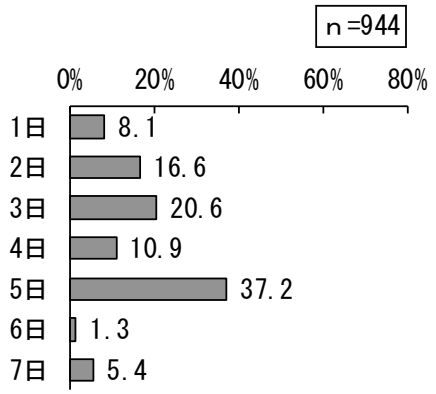
※1 前回調査には選択肢なし

※2 前回調査は「祖父母宅や知人・友人宅」

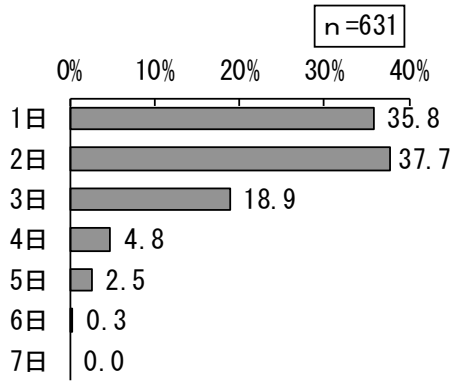
【日数・時間】

○ 各場所の希望日数及び放課後児童クラブの希望時間は、以下の通りです。

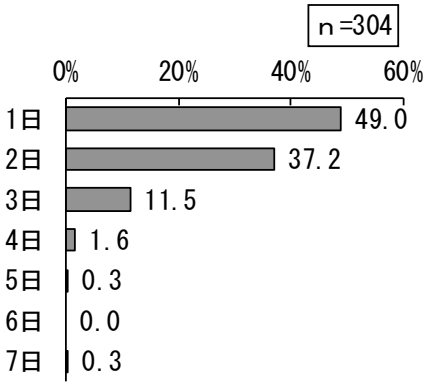
＜自宅＞



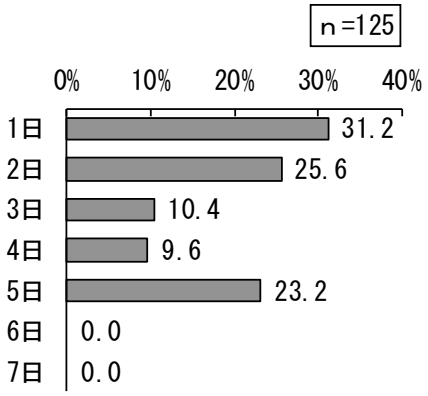
＜習い事＞



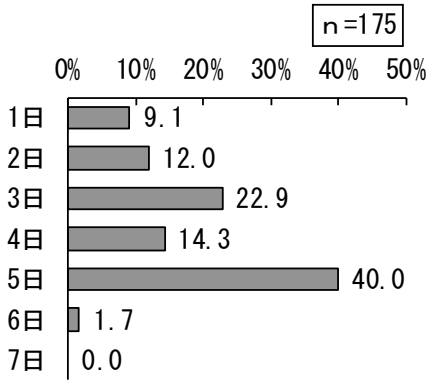
＜子どもの友達宅＞



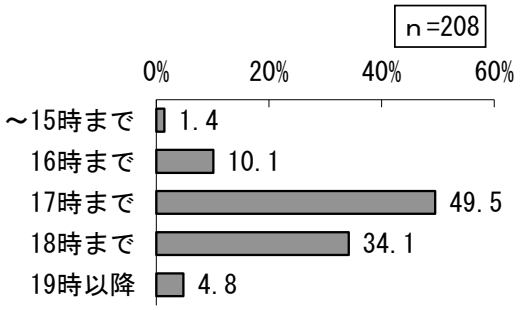
＜祖父母や親せき宅＞



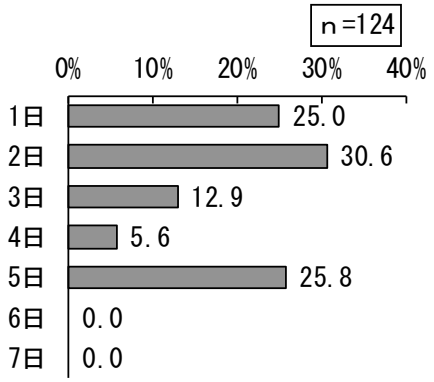
＜放課後児童クラブ＞



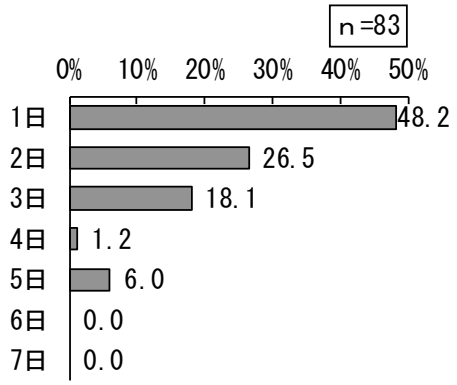
（下校から●時まで）



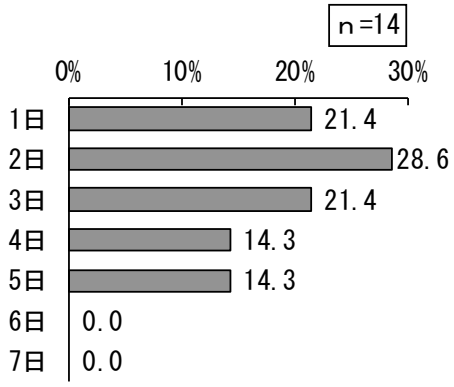
＜児童館＞



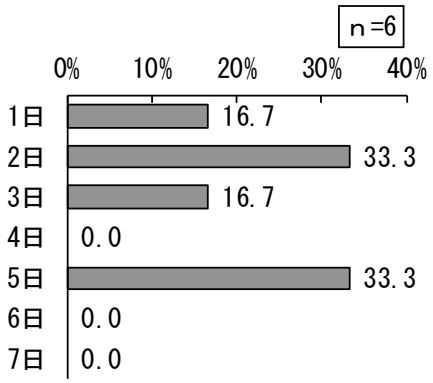
＜放課後子ども教室＞



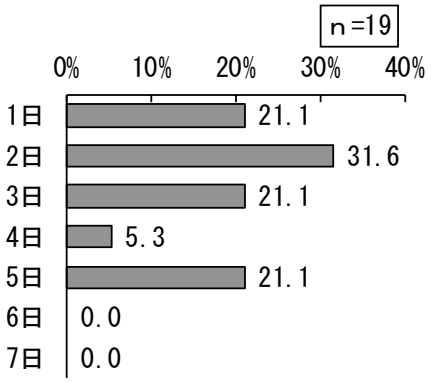
＜放課後等デイサービス＞



＜ファミリー・サポート・センター＞



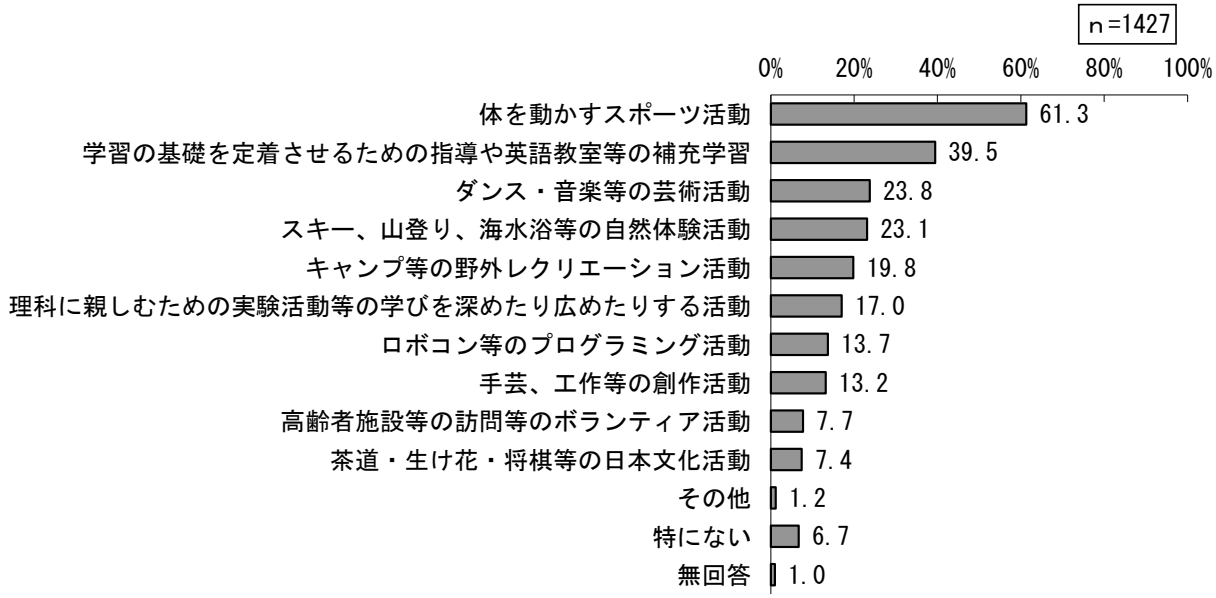
＜その他＞



	自宅	習い事	子どもの友達宅	放課後児童クラブ	下校から●時	祖父母や親せき宅	児童館	放課後子ども教室	放課後等デイサービス	ファミサポ	その他
平均	3.78日	2.01日	1.68日	3.69日	17:20	2.68日	2.77日	1.90日	2.71日	3.00日	2.74日
最大値	7.00日	6.00日	7.00日	6.00日	21:00	5.00日	5.00日	5.00日	5.00日	5.00日	5.00日
最小値	1.00日	1.00日	1.00日	1.00日	15:00	1.00日	1.00日	1.00日	1.00日	1.00日	1.00日

問21 今後学校以外の活動で、対象のお子さんに参加させたい活動は何ですか。
（○は主なものを３つまで）

○ 学校以外の活動で子どもに参加させたい活動について、「体を動かすスポーツ活動」が61.3%で最も高く、次いで「学習の基礎を定着させるための指導や英語教室等の補充学習」（39.5%）、「ダンス・音楽等の芸術活動」（23.8%）と続いています。



■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

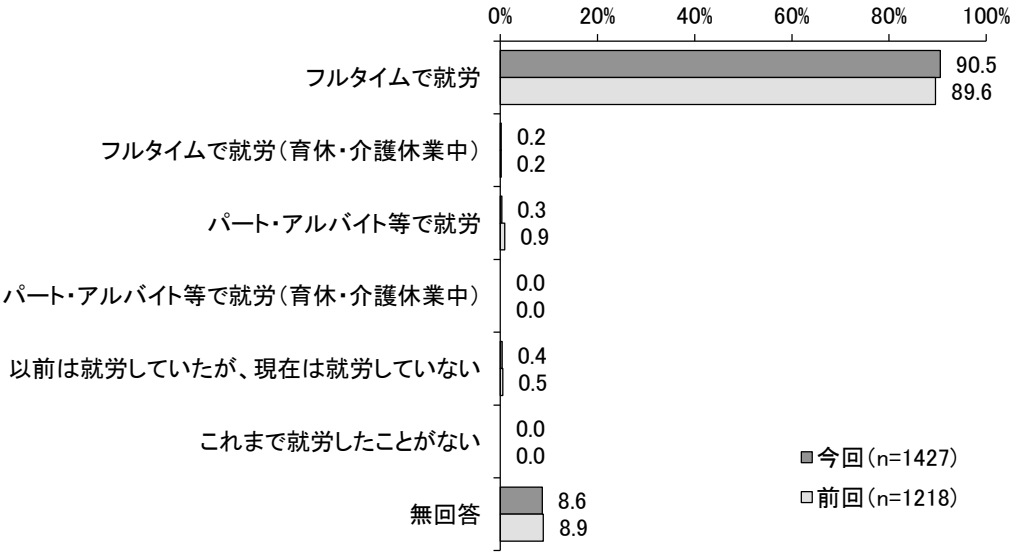
	（ｎ）	体を動かすスポーツ活動	学習の基礎を定着させるための指導や英語教室等の補充学習	ダンス・音楽等の芸術活動	スキー、山登り、海水浴等の自然体験活動	キャンプ等の野外レクリエーション活動	理科に親しむための実験活動等の学びを深めたり広めたりする活動	ロボコン等のプログラミング活動	手芸、工作等の創作活動	高齢者施設等の訪問等のボランティア活動	茶道・生け花・将棋等の日本文化活動	その他	特にない	無回答
全体	1427	61.3	39.5	23.8	23.1	19.8	17.0	13.7	13.2	7.7	7.4	1.2	6.7	1.0
6歳以下	219	69.9	37.0	30.6	29.2	22.4	15.1	10.5	15.1	7.8	5.9	0.5	1.8	0.0
7歳	243	64.6	40.7	23.0	23.5	21.8	17.3	12.8	11.1	5.3	7.4	0.8	7.0	0.8
8歳	237	65.4	37.6	24.9	19.4	18.1	19.0	20.3	13.9	7.6	7.6	0.8	4.2	3.0
9歳	203	56.7	35.5	26.6	22.7	20.7	18.7	14.8	15.3	8.9	9.4	1.5	8.4	1.0
10歳	256	54.3	48.4	22.3	24.2	18.0	14.8	14.5	14.1	9.0	6.6	1.2	8.2	0.0
11歳	243	57.6	35.8	17.3	21.4	19.8	18.9	10.7	9.9	7.8	8.2	2.1	9.9	0.0

Ⅲ-４．父親や母親の就労について

問22 （1）対象のお子さんの、ご両親の就労についての状況をおたずねします。
（○はそれぞれに１つ）

①父親

○ 父親の就労状況について、「フルタイムで就労」が 90.5%となっています。

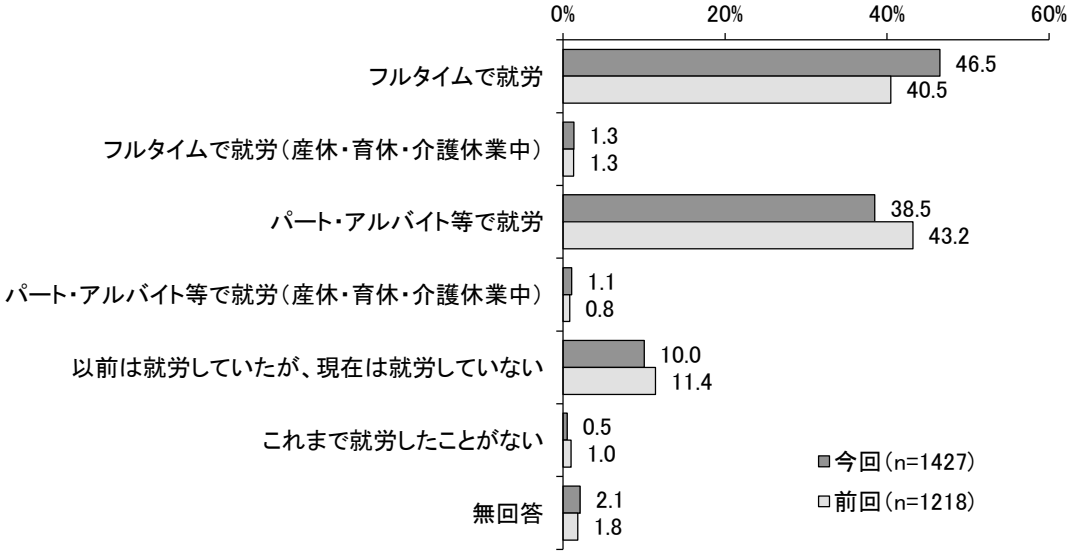


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	フルタイムで就労	フルタイムで就労（育休・介護休業中）	パート・アルバイト等で就労	パート・アルバイト等で就労（育休・介護休業中）	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	1427	90.5	0.2	0.3	0.0	0.4	0.0	8.6
6歳以下	219	90.4	0.0	0.5	0.0	0.9	0.0	8.2
7歳	243	90.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	9.5
8歳	237	92.8	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	6.3
9歳	203	88.7	1.0	0.5	0.0	0.5	0.0	9.4
10歳	256	92.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8
11歳	243	89.7	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	9.5

②母親

○ 母親の就労状況について、「フルタイムで就労」が 46.5%、「パート・アルバイト等で就労」が 38.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 10.0%となっています。



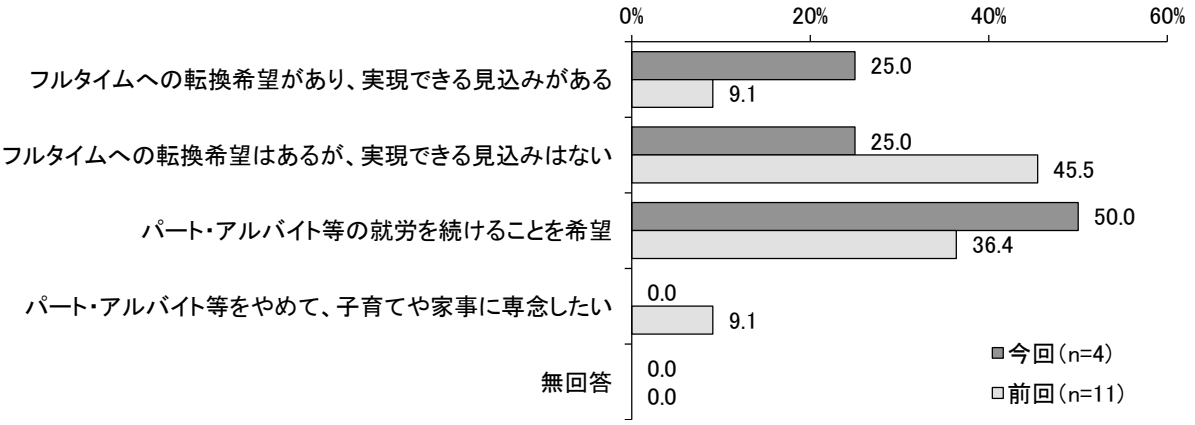
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	フルタイムで就労	フルタイムで就労（育休・介護休業中）	パート・アルバイト等で就労	パート・アルバイト等で就労（育休・介護休業中）	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	1427	46.5	1.3	38.5	1.1	10.0	0.5	2.1
6歳以下	219	42.0	2.3	42.0	0.5	11.4	0.5	1.4
7歳	243	42.0	2.9	37.4	2.1	12.8	1.2	1.6
8歳	237	40.9	1.7	40.1	2.5	10.5	0.4	3.8
9歳	203	52.2	0.5	36.0	0.0	8.9	0.0	2.5
10歳	256	52.7	0.4	36.7	0.8	7.0	0.4	2.0
11歳	243	48.1	0.4	39.9	0.4	9.9	0.4	0.8

問 22（2）（1）で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で就労している）と答えた方にお聞きします。
フルタイムへの転換希望はありますか。（○はお父さんとお母さんにそれぞれ１つ）

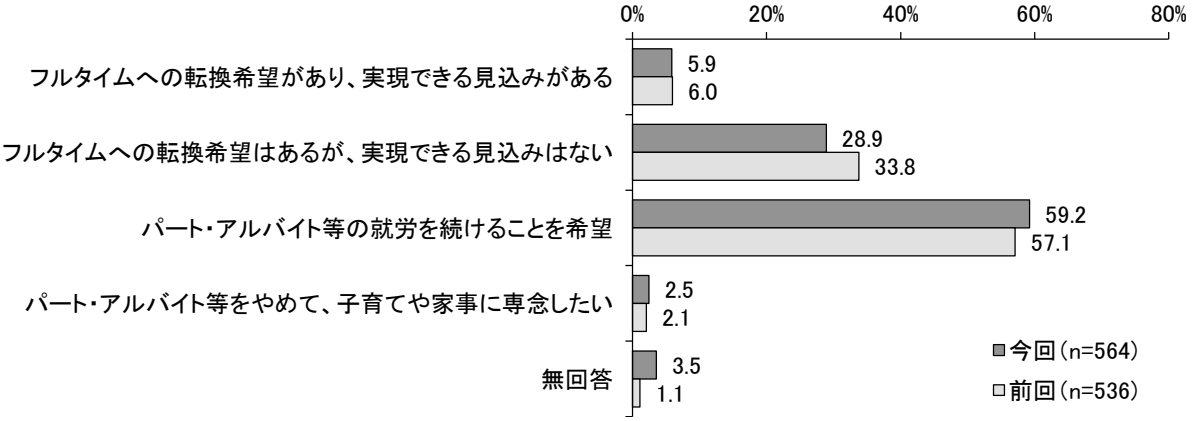
①父親

○ パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、以下のとおりとなっています。



②母親

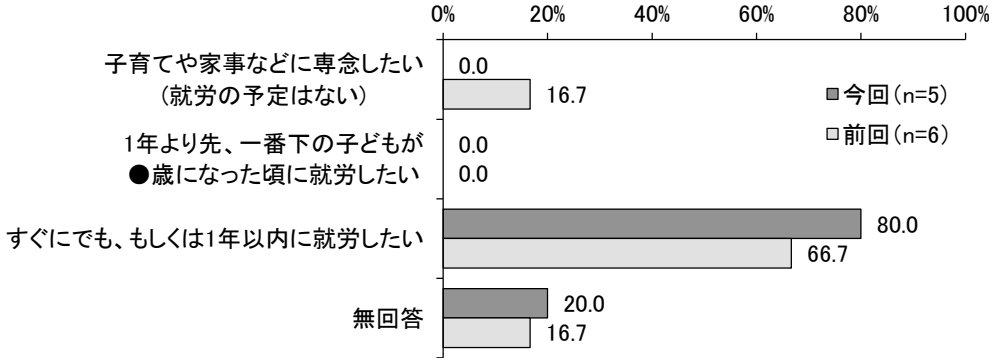
○ パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望について、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 59.2％で最も高く、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（28.9％）、「転換希望があり、実現できる見込みがある」（5.9％）と続いています。



問23 問 22-(1) で「5.」「6.」（現在またはこれまで就労していない）と答えた方にお聞きします。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

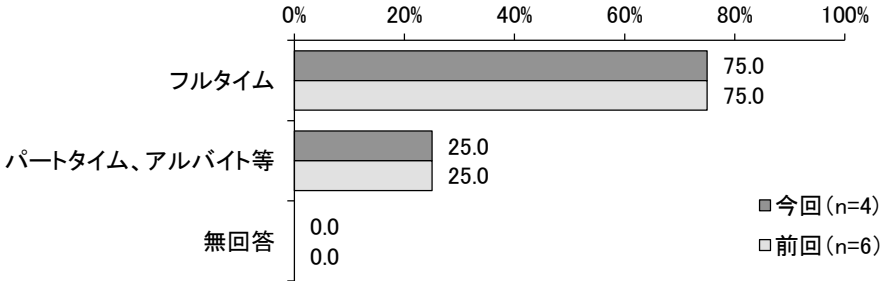
①父親

○ 現在就労していない父親の就労意向は、以下のとおりとなっています。



【希望する就労形態】

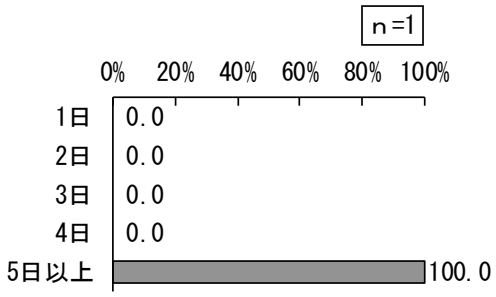
○ 「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」と回答した人に、希望する就労形態をうかがったところ、以下のとおりとなっています。



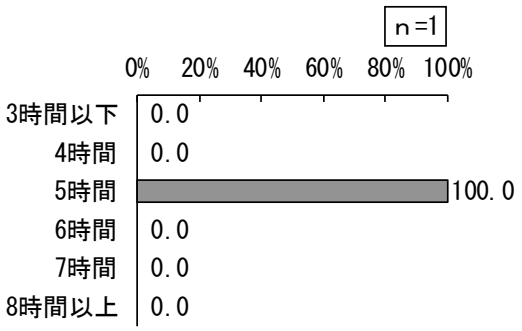
【パートタイム、アルバイト等の日数・時間】

○ 「パートタイム、アルバイト等」での就労を希望する人に、希望する日数、時間をうかがったところ、以下のとおりとなっています。

＜1 週あたり日数＞



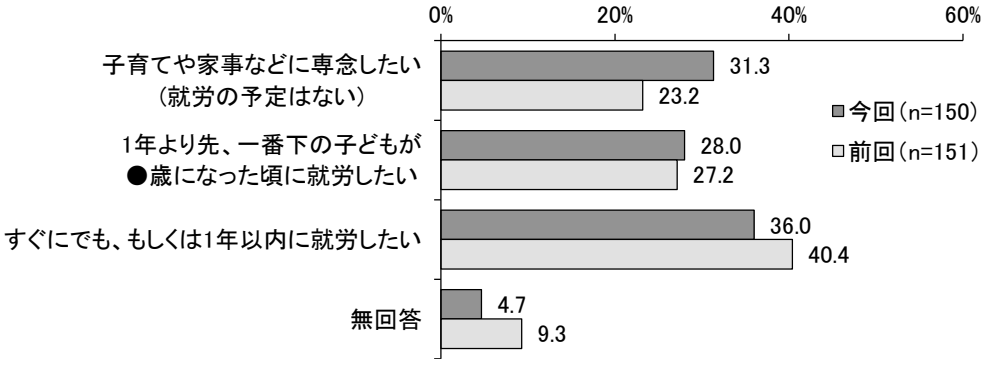
＜1 日あたり時間＞



	1 週あたり日数	1 日あたり時間
平均	5.00 日	5.00 時間
最大値	5.00 日	5.00 時間
最小値	5.00 日	5.00 時間

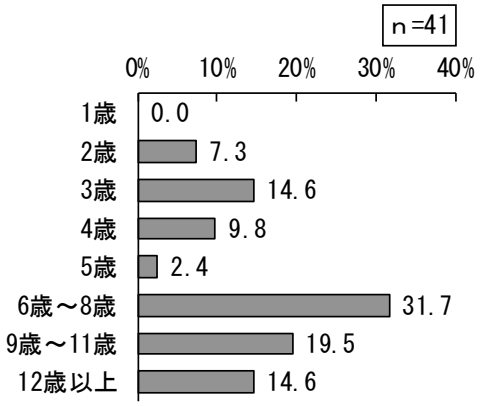
②母親

○ 現在就労していない父親の就労意向について、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 36.0%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい」（31.3%）、「1 年より先、一番下の子どもが●歳になった頃に就労したい」（28.0%）と続いています。



【「子どもが●歳」の子どもの年齢】

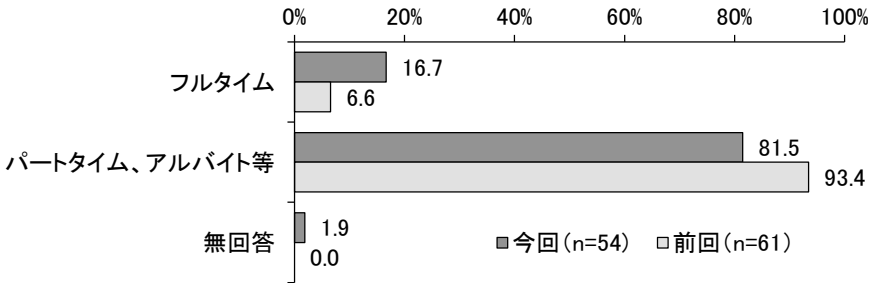
○ 「1 年より先、一番下の子どもが●歳になった頃に就労したい」場合の子どもの年齢について、「6～8 歳」が 31.7%で最も高く、次いで「9～11 歳」（19.5%）、「3 歳」、「12 歳以上」（各 14.6%）と続いています。



	子どもの年齢
平均	7.15 歳
最大値	15.00 歳
最小値	2.00 歳

【希望する就労形態】

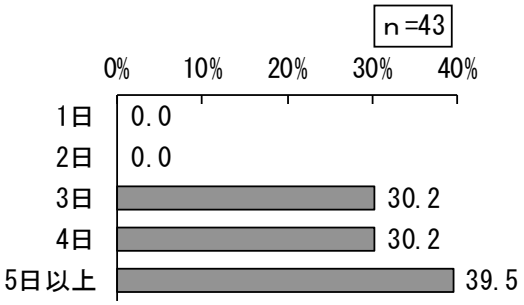
○ 「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」と回答した人に、希望する就労形態をうかがったところ、「パートタイム、アルバイト等」が 81.5%、「フルタイム」が 16.7%となっています。



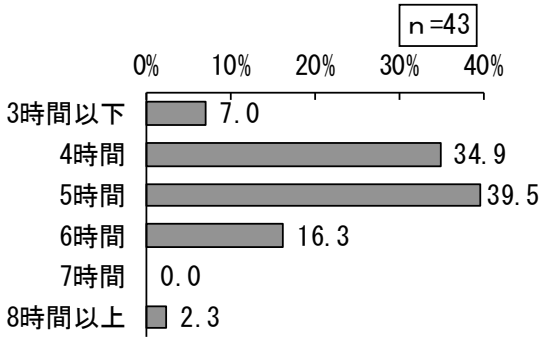
【パートタイム、アルバイト等の日数・時間】

○ 「パートタイム、アルバイト等」での就労を希望する人に、希望する日数、時間をうかがったところ、週当たり日数は「5 日以上」、1 日当たり時間は「5 時間」が最も高くなっています。

＜1 週あたり日数＞



＜1 日あたり時間＞

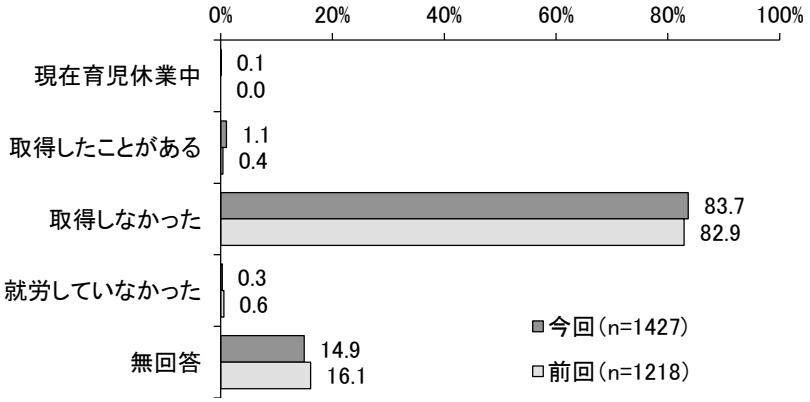


	1 週あたり日数	1 日あたり時間
平均	4.09 日	4.74 時間
最大値	5.00 日	8.00 時間
最小値	3.00 日	3.00 時間

問24 これまでに育児休業を取得したことがありますか。取得したことがある方は、その期間（産休期間は除きます）はどのくらいですか。当てはまる番号それぞれ１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

①父親

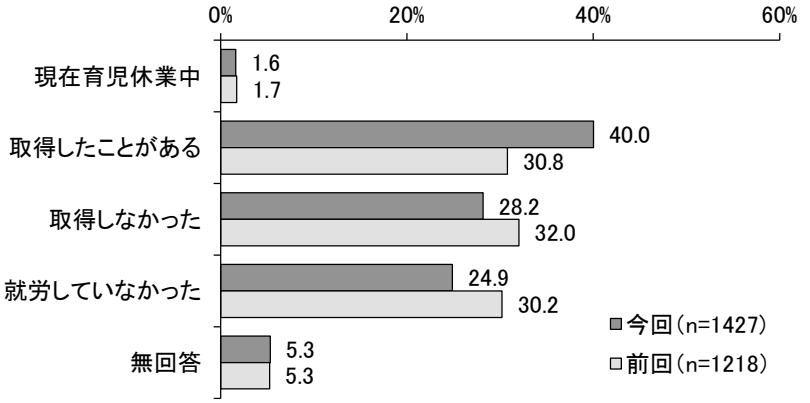
○ 父親の育児休業の取得状況について、「取得しなかった」が 83.7%、「取得したことがある」が 1.1%となっています。



②母親

○ 母親の育児休業の取得状況について、「取得したことがある」が 40.0%で最も高く、次いで「取得しなかった」（28.2%）、「就労していなかった」（24.9%）となっています。

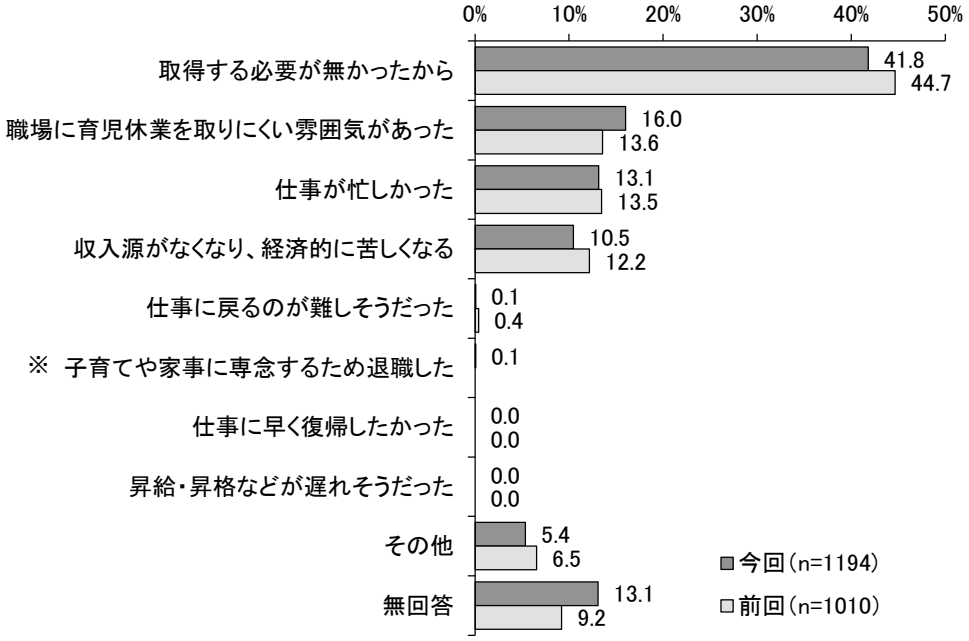
○ 前回調査の結果と比較すると、「取得したことがある」の割合が増加し、「就労していなかった」の割合が減少しています。



問25 問24で「3.」（取得しなかった）と答えた方にお聞きします。
取得しなかった理由はなんですか。（○は該当するそれぞれに１つ）

①父親

○ 父親が育児休業を取得しなかった理由について、「取得する必要が無かったから」が41.8％で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（16.0％）、「仕事が忙しかった」（13.1％）と続いています。

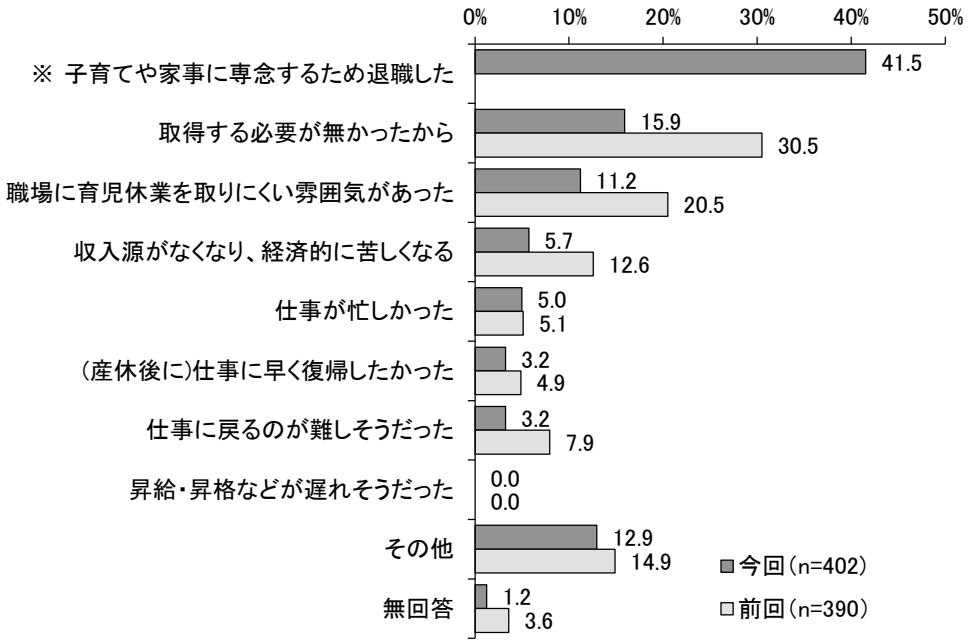


※前回調査には選択肢なし

②母親

○ 母親が育児休業を取得しなかった理由について、「子育てや家事に専念するため退職した」が 41.5%で最も高く、次いで「取得する必要が無かったから」（15.9%）、「その他」（12.9%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、今回調査で新たに追加された「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が高く、「取得する必要が無かったから」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が減少しています。

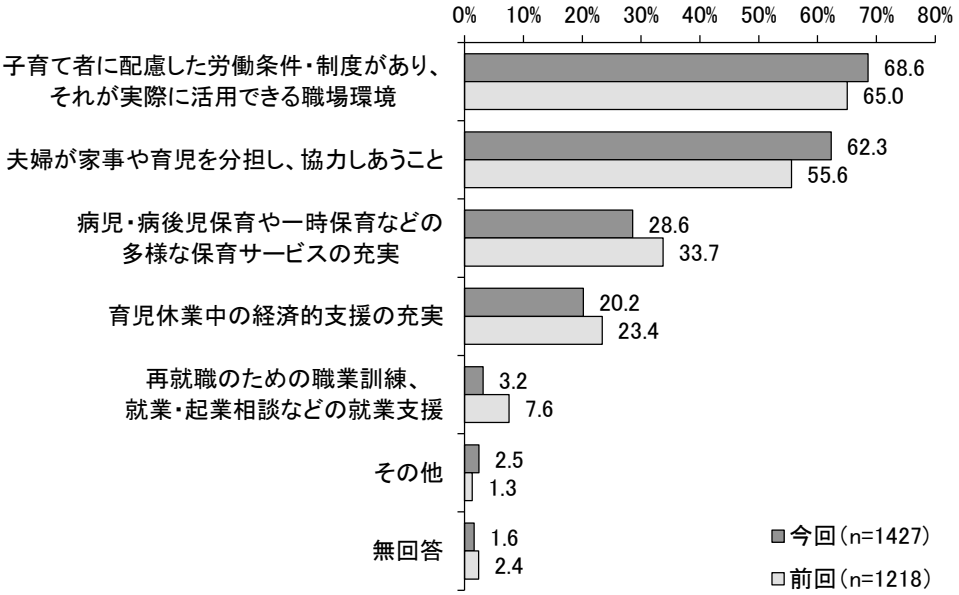


※前回調査には選択肢なし

問26 保護者にとって子どもを育てながら、働くために特にどんなことが必要だと思いますか。現在就労していない方もお答えください。（○は２つまで）

○ 子どもを育てながら働くために必要なことについて、「子育て者に配慮した労働条件・制度があり、それが実際に活用できる職場環境」が 68.6％で最も高く、次いで「夫婦が家事や育児を分担し、協力しあうこと」（62.3％）、「病児・病後児保育や一時保育などの多様な保育サービスの充実」（28.6％）と続いています。

○ 前回調査の結果と比べると、「夫婦が家事や育児を分担し、協力しあうこと」の割合が増加し、「病児・病後児保育や一時保育などの多様な保育サービスの充実」の割合が減少しています。



Ⅲ-５．生活の中のバランスについて

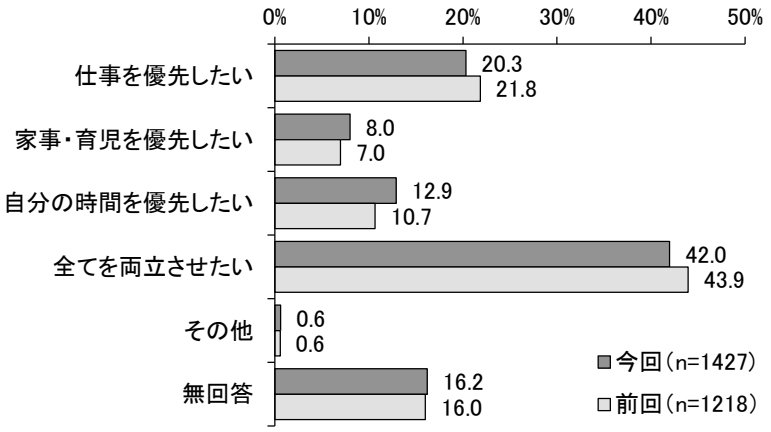
※お父さん又はお母さんがいない場合は、それぞれへの質問にはお答えいただく必要はありません。

問27 生活の中での「仕事」「家事・育児」「自分の時間（趣味など）」について、希望する優先度、現実の優先度、それぞれ一番近いものはどれですか。（○はお父さんとお母さんにそれぞれ１つ）

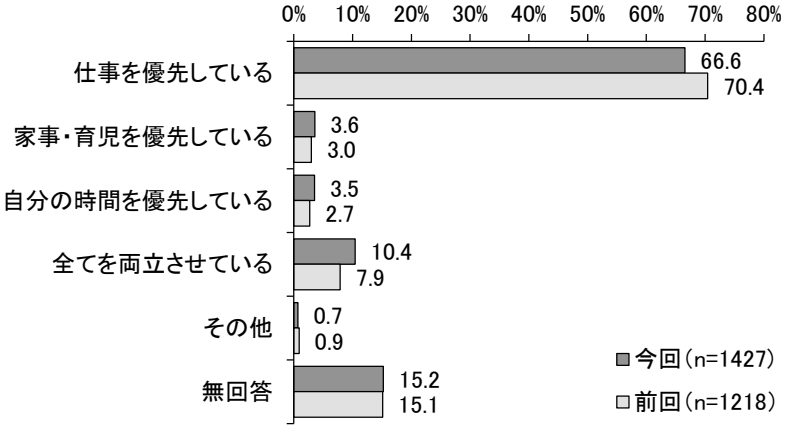
①父親

○ 父親の仕事、家事・育児、自分の時間の優先順位について、希望では「全てを両立させたい」が 42.0%で最も高く、現実では「仕事を優先している」が 66.6%で最も高くなっています。

＜希望＞



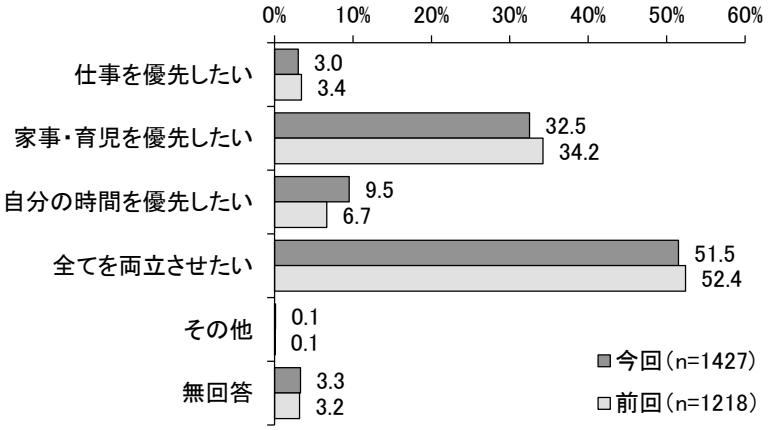
＜現実＞



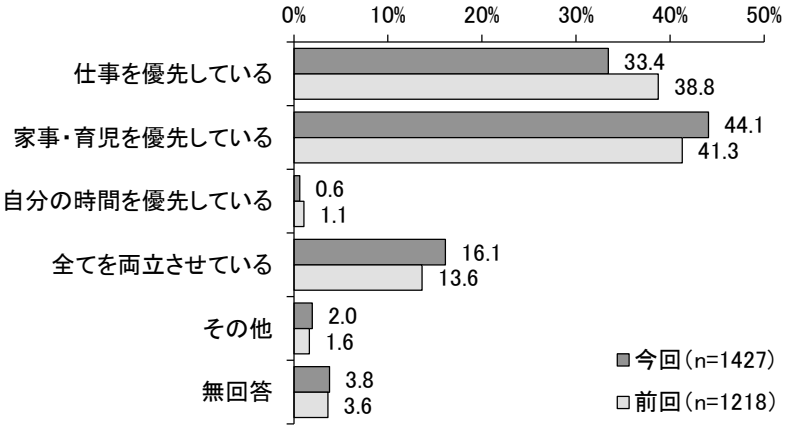
②母親

○ 母親の仕事、家事・育児、自分の時間の優先順位について、希望では「全てを両立させたい」が 51.5%、「家事・育児を優先したい」が 32.5%、現実では「家事・育児を優先している」が 44.1%、「仕事を優先している」が 33.4%となっています。

＜希望＞

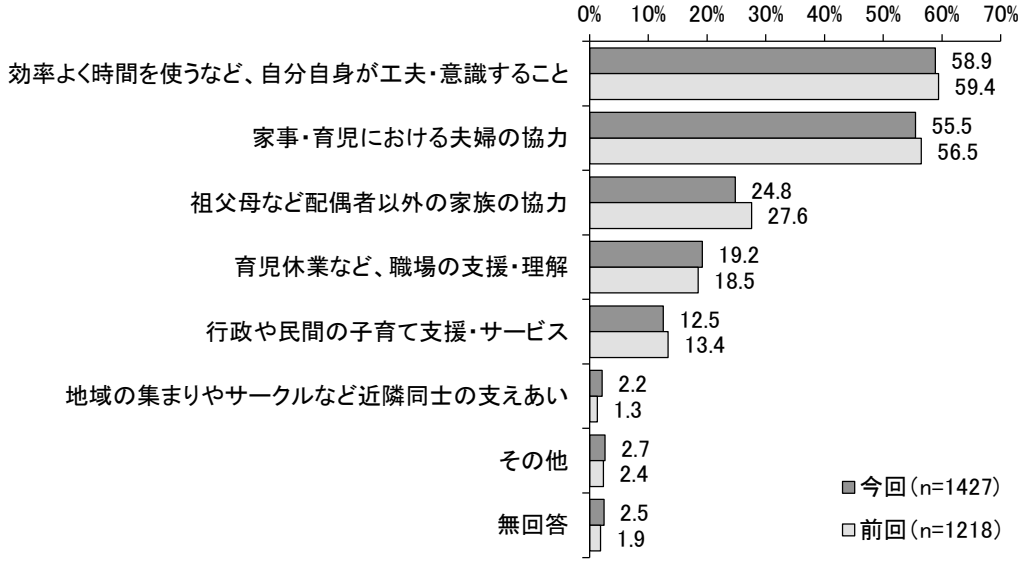


＜現実＞



問28 現在の生活において、「仕事」「家事・育児」「自分の時間（趣味など）」のバランスをうまくとるために必要なことは何だと思いますか。（○は主なものを２つまで）

○ 仕事、家事・育児、自分の時間のバランスをうまくとるために必要なことについて、「効率よく時間を使うなど、自分自身が工夫・意識すること」が 58.9％で最も高く、次いで「家事・育児における夫婦の協力」（55.5％）、「祖父母など配偶者以外の家族の協力」（24.8％）と続いています。

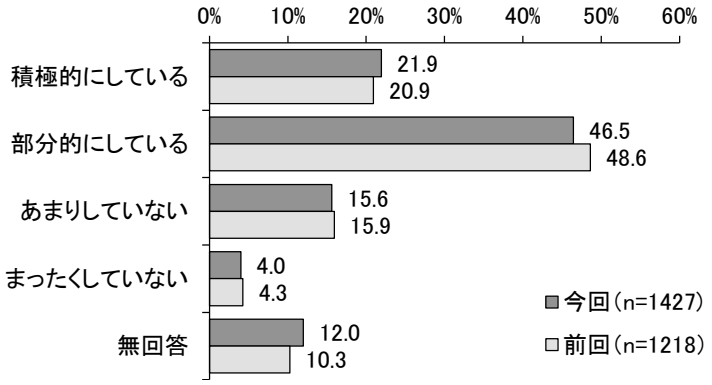


Ⅲ-６．父親の家事・育児について

※問 29、問 30 に関しては、必ずお父さんの考えをお書きください。
　お父さんがいない場合は、お答えいただく必要はありません。

問29 お父さんは、どのように家事・育児をしていますか。（○は１つ）

○ 父親の家事・育児の状況について、「部分的にしている」が 46.5%で最も高く、次いで「積極的にしている」（21.9%）、「あまりしていない」（15.6%）と続いています。

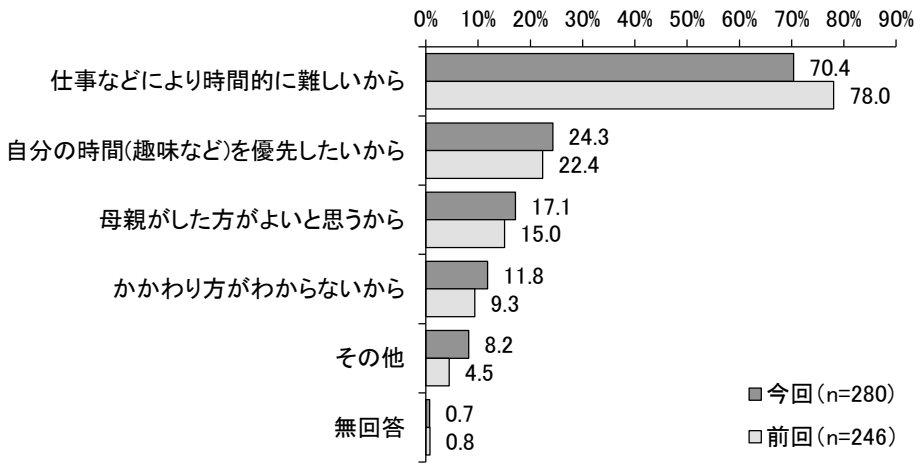


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	積極的にしている	部分的にしている	あまりしていない	まったくしていない	無回答
全体	1427	21.9	46.5	15.6	4.0	12.0
6歳以下	219	22.8	46.6	16.0	3.7	11.0
7歳	243	23.9	47.7	14.0	2.5	11.9
8歳	237	27.0	46.4	13.5	2.1	11.0
9歳	203	17.2	46.8	17.2	5.9	12.8
10歳	256	20.7	42.2	19.1	5.5	12.5
11歳	243	21.0	48.1	14.4	4.5	11.9

問30 問29で「3.」「4.」（あまり、まったくしていない）と答えた方にお聞きします。
お父さんが家事・育児を（あまり）していないのはなぜですか。（○はいくつでも）

○ 父親が家事を（あまり）していないと回答した人に、その理由をうかがったところ、「仕事などにより時間的に難しいから」が70.4%で最も高く、次いで「自分の時間（趣味など）を優先したいから」（24.3%）、「母親がした方がよいと思うから」（17.1%）と続いています。

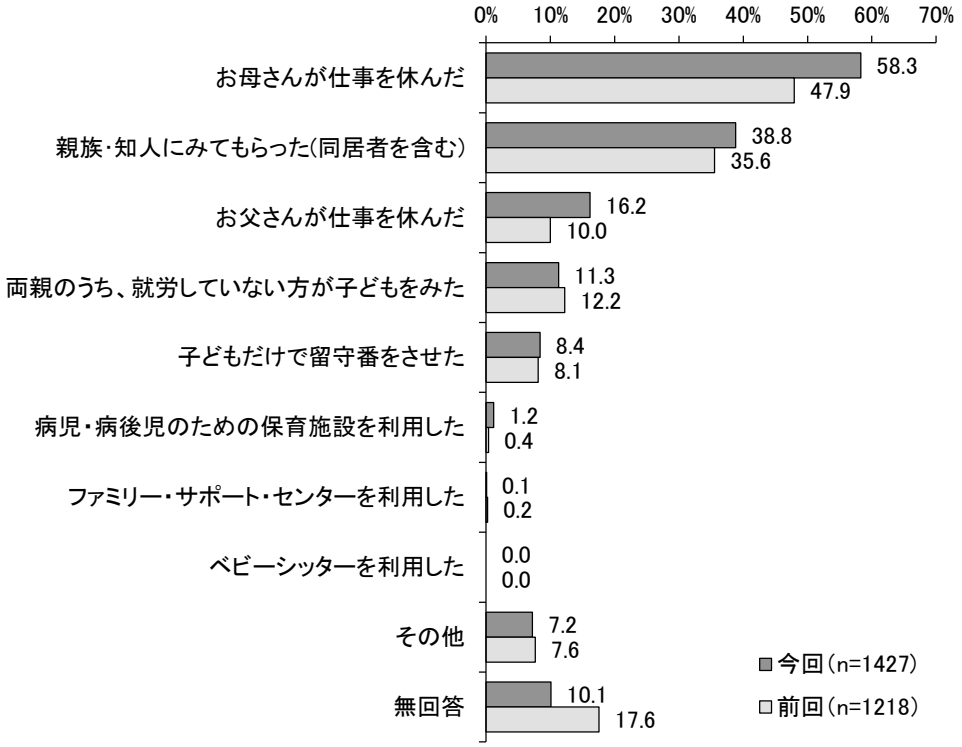


Ⅲ-７．お子さんが病気の時の対応について

問31 対象のお子さんが病気やけがで学校等を休んだ場合に、この１年間に行なった対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）

○ 子どもが病気やけがで学校等を休んだ場合の対処方法について、「お母さんが仕事を休んだ」が 58.3%で最も高く、次いで「親族・知人にみてもらった」（38.8%）、「お父さんが仕事を休んだ」（16.2%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「お母さんが仕事を休んだ」、「お父さんが仕事を休んだ」の割合が増加しています。



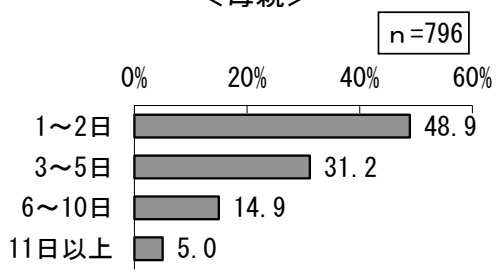
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	お母さんが仕事を休んだ	親族・知人にみてもらった（同居者を含む）	お父さんが仕事を休んだ	両親のうち、就労していない方が子どもをみた	子どもだけで留守番をさせた	病児・病後児のための保育施設を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	ベビーシッターを利用した	その他	無回答
全体	1427	58.3	38.8	16.2	11.3	8.4	1.2	0.1	0.0	7.2	10.1
6歳以下	219	62.1	45.7	21.9	12.3	1.8	1.4	0.0	0.0	4.1	9.6
7歳	243	59.3	41.6	18.9	17.3	4.9	1.2	0.0	0.0	7.0	6.6
8歳	237	55.3	37.6	18.1	11.4	5.9	2.1	0.0	0.0	8.9	12.2
9歳	203	60.1	38.4	13.3	9.9	8.9	0.5	0.0	0.0	6.9	10.8
10歳	256	60.2	39.8	15.6	8.2	9.8	1.2	0.4	0.0	7.8	9.0
11歳	243	53.5	30.0	9.9	9.9	17.3	0.4	0.0	0.0	7.8	12.3

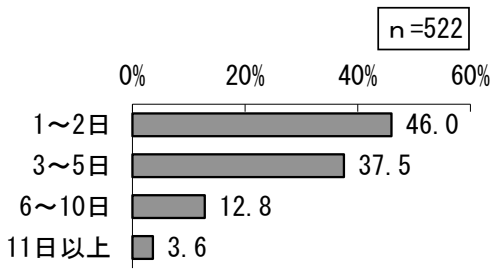
【1 年間の対処日数】

○ 対処方法ごとの日数は、以下のとおりです。

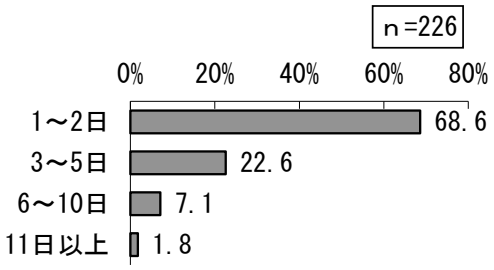
＜母親＞



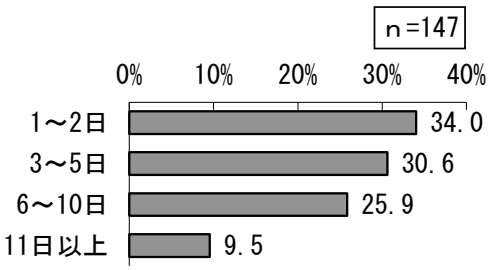
＜親族・知人＞



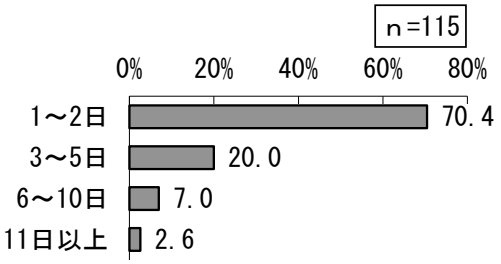
＜父親＞



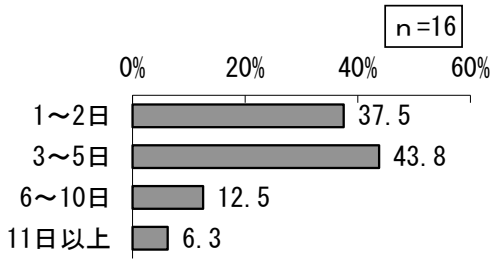
＜両親のうち、就労していない方＞



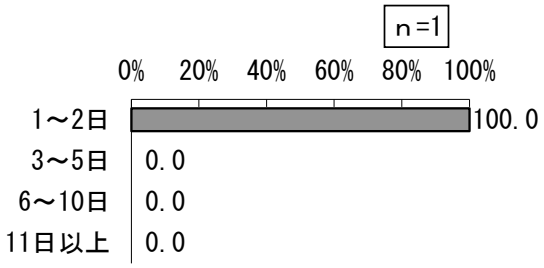
＜留守番＞



＜病児・病後児保育施設＞



＜ファミサポ＞



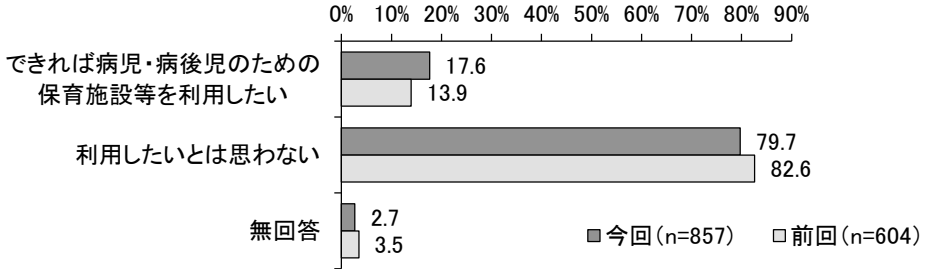
＜ベビーシッター＞

※回答者なし

	母親	親族・知人	父親	両親のうち、就労していない方	子どもだけで留守番	病児・病後児のための保育施設	ファミサポ	ベビーシッター
平　均	4.34 日	4.00 日	2.68 日	5.71 日	3.68 日	5.69 日	2.00 日	－
最大値	90.00 日	60.00 日	20.00 日	30.00 日	90.00 日	35.00 日	2.00 日	－
最小値	1.00 日	1.00 日	1.00 日	1.00 日	1.00 日	1.00 日	2.00 日	－

問32 問31で「1.」「2.」（お父さんまたはお母さんが仕事を休んだ）と答えた方にお聞きします。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまるもの１つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

○ 父親または母親が仕事を休んだ人の病児・病後児保育の利用意向について、「利用したいとは思わない」が 79.7%、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」が 17.6%となっています。

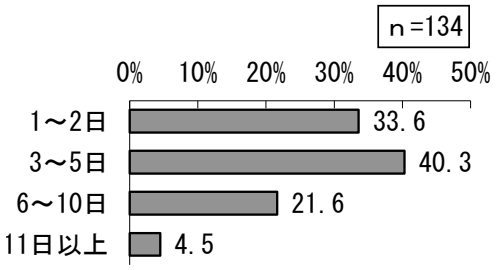


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全体	857	17.6	79.7	2.7
6歳以下	143	23.1	74.1	2.8
7歳	153	22.2	75.8	2.0
8歳	135	22.2	76.3	1.5
9歳	124	14.5	82.3	3.2
10歳	156	11.5	85.3	3.2
11歳	130	12.3	83.8	3.8

【できれば利用したい人の希望日数】

○ できれば病児・病後児保育を利用したい人の希望日数は、以下のとおりです。

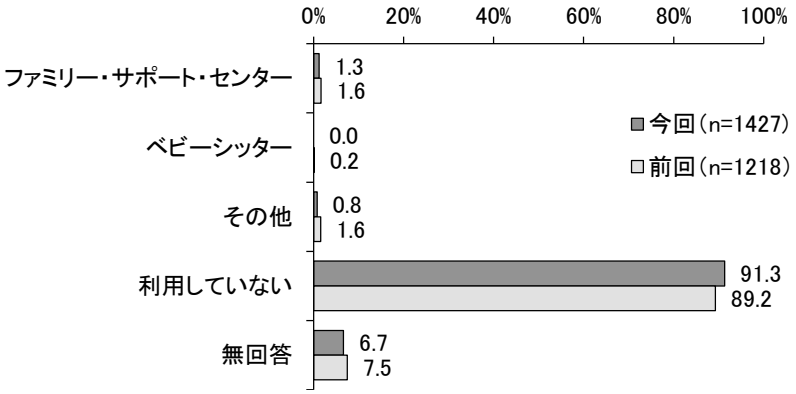


	できれば利用したい日数
平　均	4.75 日
最大値	30.00 日
最小値	1.00 日

Ⅲ-８．お子さんの一時預かりについて

問33 対象のお子さんについて、病気などのため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありましたか。あった場合は、当てはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

○ 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業について、「利用していない」が91.3%、「ファミリー・サポート・センター」が1.3%となっています。

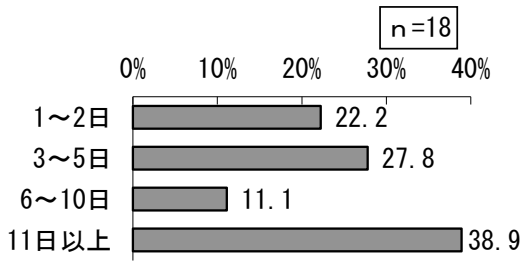


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

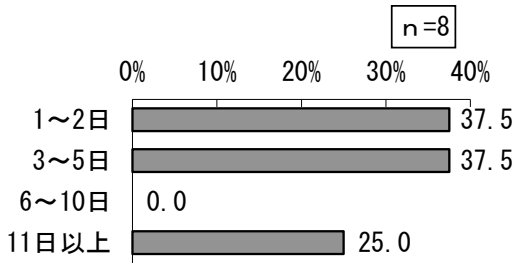
	（ｎ）	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全体	1427	1.3	0.0	0.8	91.3	6.7
6歳以下	219	1.4	0.0	0.9	88.6	9.1
7歳	243	2.1	0.0	0.0	91.8	6.2
8歳	237	0.8	0.0	1.7	91.6	5.9
9歳	203	1.5	0.0	1.0	90.6	6.9
10歳	256	1.2	0.0	0.8	92.6	5.5
11歳	243	0.8	0.0	0.4	92.2	6.6

■不定期に利用している事業の年間利用日数

＜ファミサポ＞



＜その他＞



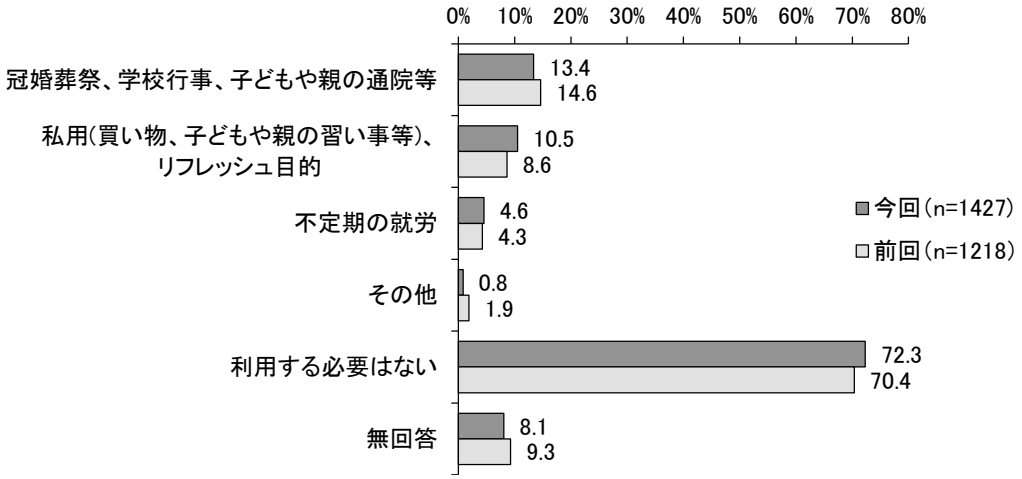
＜ベビーシッター＞

※回答者なし

	ファミサポ	その他	ベビーシッター
平均	15.56 日	6.25 日	－
最大値	60.00 日	20.00 日	－
最小値	1.00 日	1.00 日	－

問34 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。

○ 私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望について、「利用する必要はない」が 72.3%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（13.4%）、「私用、リフレッシュ目的」（10.5%）と続いています。

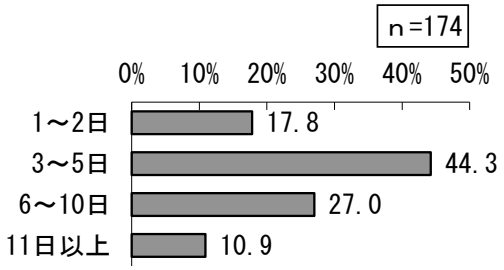


■年齢別　　単位：n（人）、項目（%）

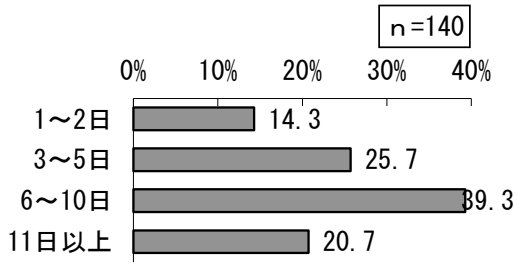
	（n）	冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	私用（買い物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的	不定期の就労	その他	利用する必要はない	無回答
全体	1427	13.4	10.5	4.6	0.8	72.3	8.1
6歳以下	219	21.0	15.5	4.6	0.5	62.6	9.1
7歳	243	11.9	11.1	6.6	1.2	69.1	9.9
8歳	237	13.9	11.0	3.8	0.4	68.8	11.0
9歳	203	9.9	9.4	4.4	1.5	77.3	6.4
10歳	256	11.7	5.9	4.7	0.8	78.5	6.3
11歳	243	12.3	10.7	3.7	0.8	77.0	5.3

■私用等による事業の利用希望日数

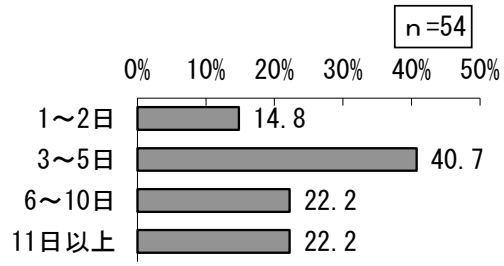
＜冠婚葬祭、学校行事等＞



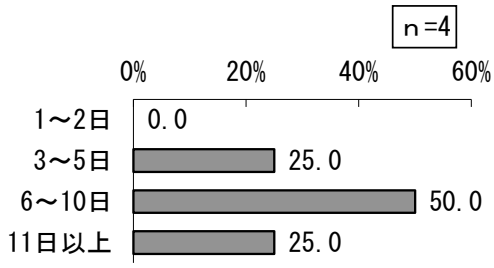
＜私用、リフレッシュ目的＞



＜不定期の就労＞



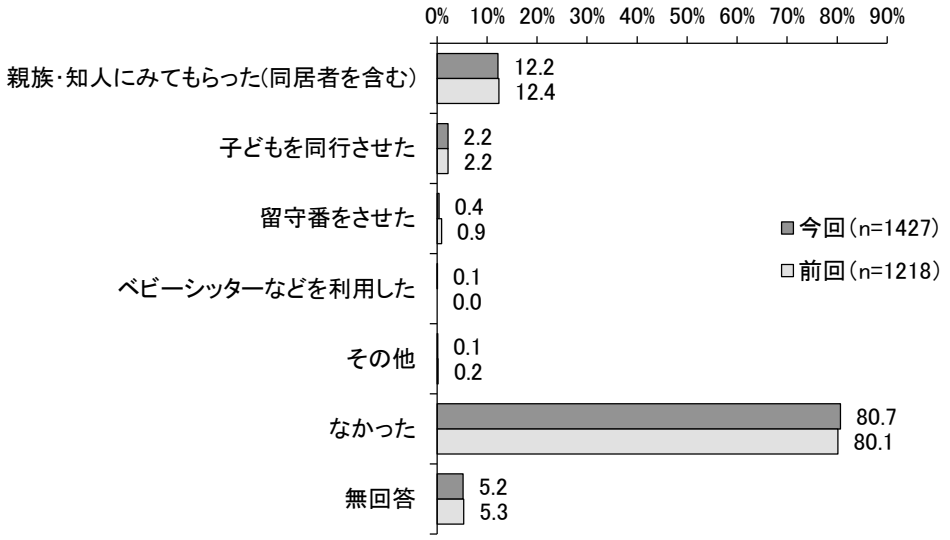
＜その他＞



	冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	私用、リフレッシュ目的	不定期の就労	その他
平均	6.74 日	7.81 日	12.26 日	8.75 日
最大値	60.00 日	30.00 日	90.00 日	12.00 日
最小値	1.00 日	1.00 日	1.00 日	3.00 日

問35 この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、対象のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

○ 保護者の用事により子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったことの有無について、「なかった」が 80.7%、「親族・知人にみてもらった」が 12.2%、「子どもを同行させた」が 2.2%となっています。



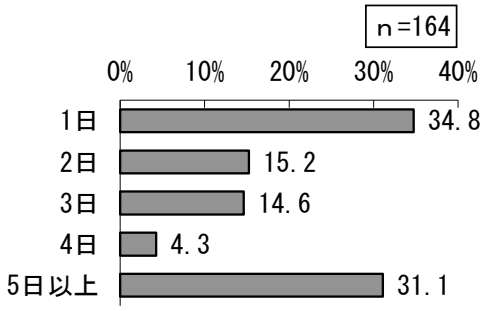
■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	親族･知人にみてもらった(同居者を含む)	子どもを同行させた	留守番をさせた	ベビーシッターなどを利用した	その他	なかった	無回答
全体	1427	12.2	2.2	0.4	0.1	0.1	80.7	5.2
6歳以下	219	14.2	2.7	0.0	0.0	0.0	77.2	6.8
7歳	243	16.0	3.3	0.4	0.0	0.0	76.1	5.8
8歳	237	12.7	1.7	0.4	0.0	0.0	78.9	6.3
9歳	203	14.3	1.0	0.5	0.5	0.5	82.3	2.5
10歳	256	8.6	2.0	0.0	0.0	0.4	86.3	3.1
11歳	243	8.6	2.1	1.2	0.0	0.0	82.7	5.8

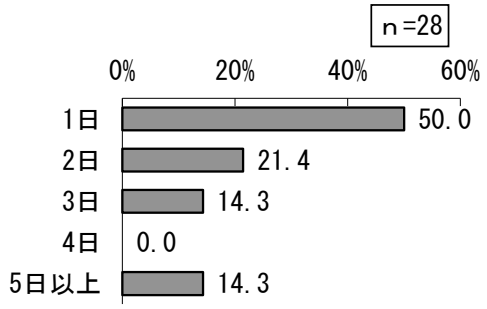
【1 年間の対処日数】

○ それぞれの対処日数は、以下のとおりです。

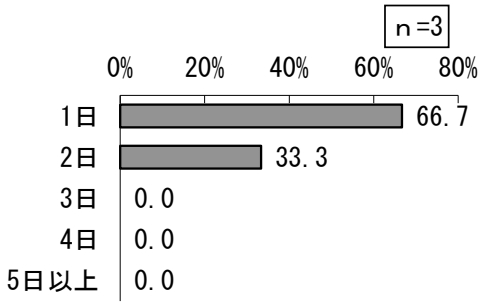
＜親族・知人＞



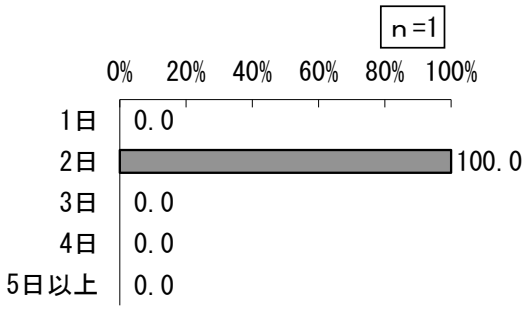
＜子どもを同行＞



＜留守番＞



＜ベビーシッター＞



＜その他＞

※回答者なし

	親族・知人	子どもを同行させた	留守番をさせた	ベビーシッター	その他
平均	4.32 日	2.71 日	1.33 日	2.00 日	－
最大値	26.00 日	20.00 日	2.00 日	2.00 日	－
最小値	1.00 日	1.00 日	1.00 日	2.00 日	－

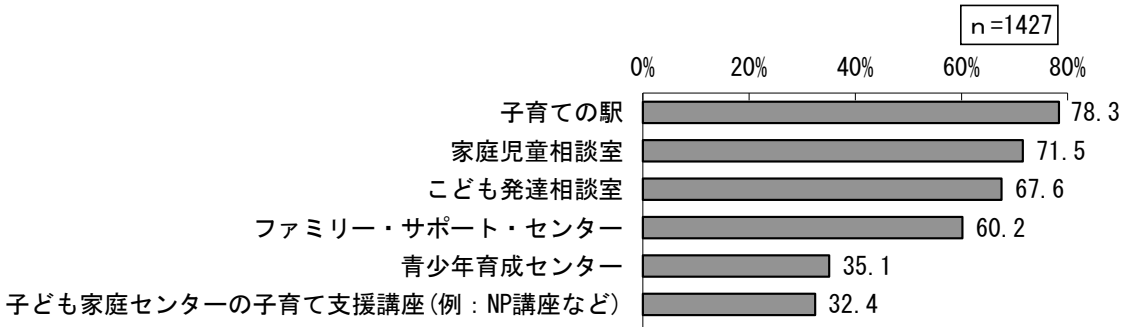
Ⅲ-９．子育て支援について

問36 下記の「1.」～「6.」のサービスを知っていたり、これまでに利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。
（サービスの種類ごとに、「はい」→1、「いいえ」→2 のどちらかに○を１つ）

※各サービスにおいて「はい」と回答した人の割合

①知っている

○ 知っている子育て支援サービスについて、「子育ての駅」が 78.3%で最も高く、次いで「家庭児童相談室」（71.5%）、「こども発達相談室」（67.6%）と続いています。

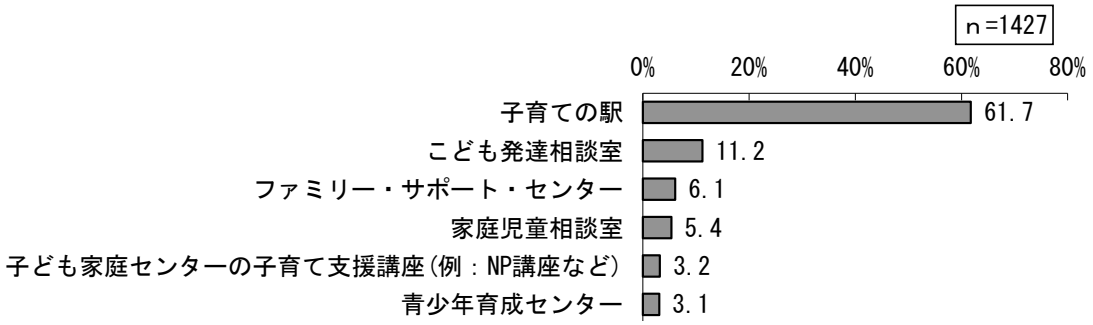


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	子育ての駅	家庭児童相談室	こども発達相談室	ファミリー・サポート・センター	青少年育成センター	子ども家庭センターの子育て支援講座
全体	1427	78.3	71.5	67.6	60.2	35.1	32.4
6歳以下	219	82.6	71.2	66.2	63.5	34.7	30.1
7歳	243	82.7	71.6	70.0	62.1	29.2	32.5
8歳	237	81.9	71.7	67.1	60.3	40.1	35.9
9歳	203	77.8	69.5	68.5	55.2	42.9	34.5
10歳	256	75.8	73.4	68.0	60.2	27.0	30.5
11歳	243	70.4	71.2	66.3	59.7	36.2	31.3

②これまでに利用したことがある

○ 利用したことがある子育て支援サービスについて、「子育ての駅」が 61.7%で最も高く、次いで「こども発達相談室」（11.2%）、「ファミリー・サポート・センター」（6.1%）と続いています。

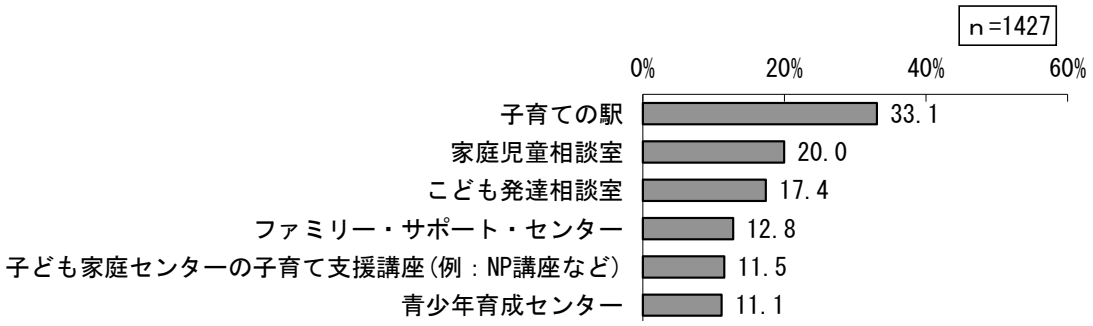


■年齢別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	子育ての駅	こども発達相談室	ファミリー・サポート・センター	家庭児童相談室	子ども家庭センターの子育て支援講座	青少年育成センター
全体	1427	61.7	11.2	6.1	5.4	3.2	3.1
6歳以下	219	71.2	15.1	4.6	3.2	0.9	3.2
7歳	243	65.4	13.2	7.0	5.3	4.1	0.8
8歳	237	69.2	10.1	5.1	5.1	5.5	7.6
9歳	203	62.1	9.9	9.4	6.9	3.0	2.5
10歳	256	57.0	10.5	5.9	6.3	3.5	2.7
11歳	243	49.0	9.5	5.3	6.2	2.5	1.6

③今後利用したい

○ 今後利用したい子育て支援サービスについて、「子育ての駅」が 33.1%で最も高く、次いで「家庭児童相談室」（20.0%）、「こども発達相談室」（17.4%）と続いています。



■年齢別　　単位：n（人）、項目（%）

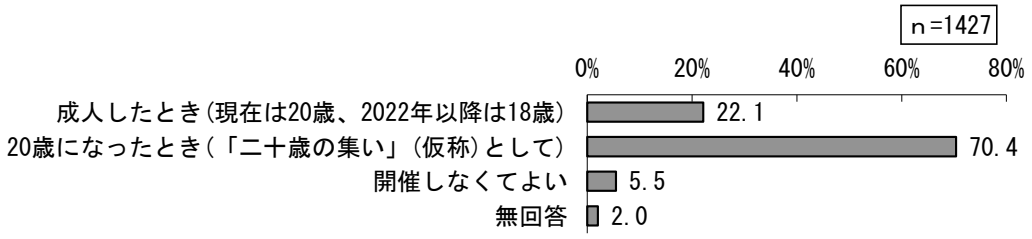
	（n）	子育ての駅	家庭児童相談室	こども発達相談室	ファミリー・サポート・センター	子ども家庭センターの子育て支援講座	青少年育成センター
全体	1427	33.1	20.0	17.4	12.8	11.5	11.1
6歳以下	219	47.5	21.0	17.8	14.2	7.8	11.4
7歳	243	44.0	28.0	21.4	16.9	17.3	12.3
8歳	237	39.7	20.3	20.7	15.6	13.5	15.2
9歳	203	35.5	22.2	20.2	13.8	12.8	10.8
10歳	256	17.6	16.8	14.5	9.4	12.1	9.4
11歳	243	18.5	12.8	11.5	8.2	6.2	7.8

Ⅲ-１０．成人式について

長岡市の成人式は現在、満年齢 20 歳のときに地域ごとに実施していますが、2022 年から成人年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられることを踏まえてお答えください。

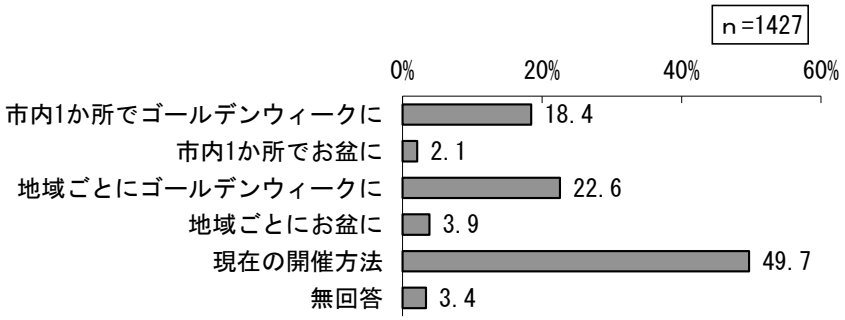
問37 成人式は、いつ開催するのがよいですか。（○は１つ）

○ 成人式の開催時期について、「20 歳になったとき」が 70.4%、「成人したとき」が 22.1%、「開催しなくてよい」が 5.5%となっています。



問38 成人式は、どのように開催するのがよいですか。（○は１つ）

○ 成人式の開催方法について、「現在の開催方法」が 49.7%で最も高く、次いで「地域ごとにゴールデンウィークに」(22.6%)、「市内 1 か所でゴールデンウィークに」(18.4%)と続いています。

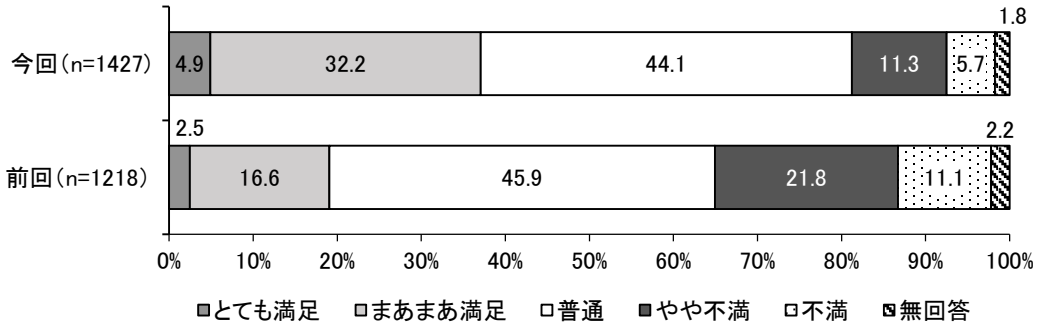


Ⅲ-１１．長岡市の子育て支援について

問39 長岡市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号１つに○をつけ、その理由をご記入ください。

○ 長岡市の子育て環境や支援の満足度について、「普通」が 44.1%で最も高くなっています。「とても満足」（4.9%）と「まあまあ満足」（32.2%）を合わせた『満足』は 37.1%、「やや不満」（11.3%）と「不満」（5.7%）を合わせた『不満』は 17.0%となっています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「まあまあ満足」の割合が増加し、「やや不満」、「不満」の割合が減少しています。



子育て支援に関する市の施策に関するご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。

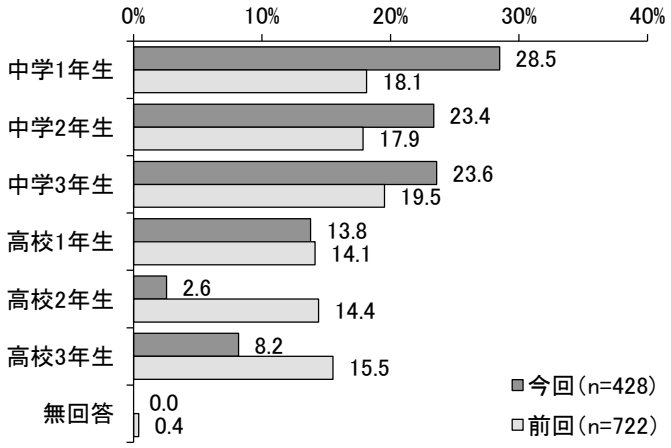
Ⅳ　調査結果【中学生・高校生本人】

Ⅳ-１．回答者について

問1 あなたは何年生ですか。（○は１つ）

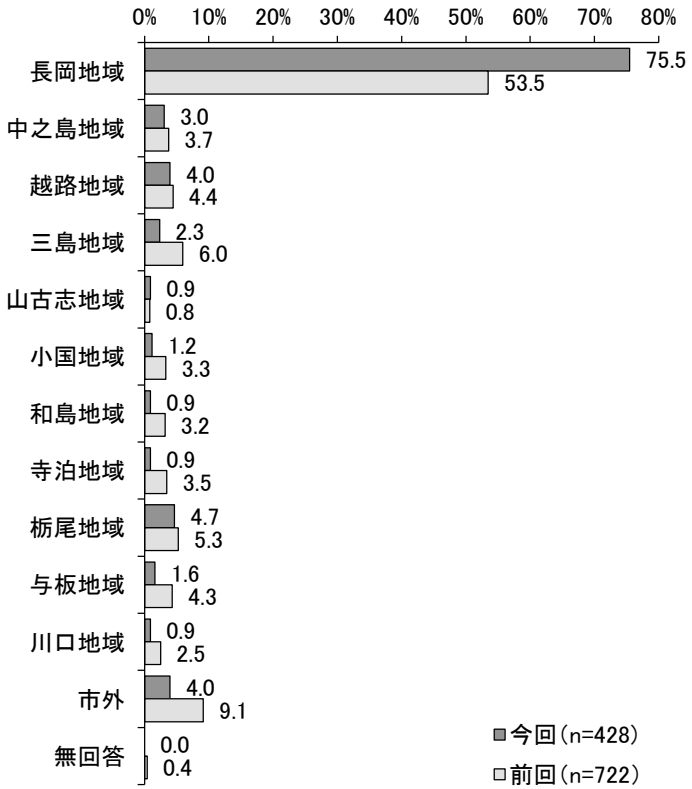
○ 回答者の学年は、「中学１年生」が 28.5％で最も高く、次いで「中学３年生」（23.6％）、「中学２年生」（23.4％）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「中学１年生」、「中学２年生」の割合が増加し、「高校２年生」、「高校３年生」の割合が減少しています。



問2 現在住んでいる地域はどちらですか。（○は１つ）

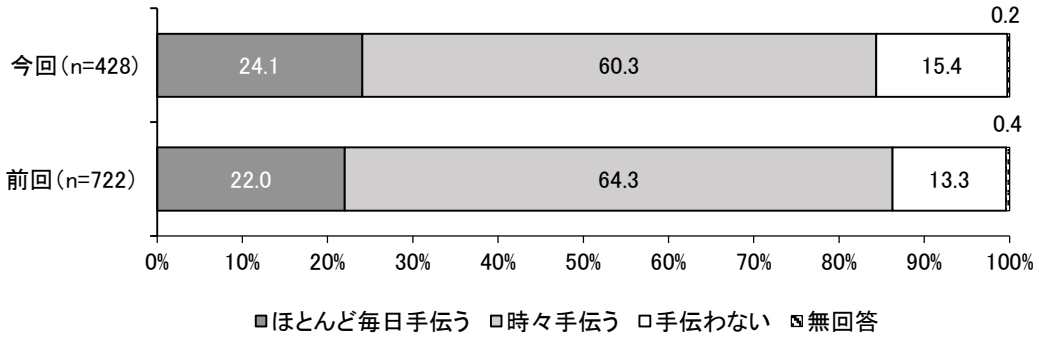
○ 回答者の居住地区は「長岡地域」が 75.5%となっています。
○ 前回調査の結果と比較すると、「長岡地域」の割合が大きく増加しています。



Ⅳ-２．日常生活について

問3 あなたは、家で手伝いをしますか。（○は１つ）

○ 家での手伝いについて、「時々手伝う」が 60.3%、「ほとんど毎日手伝う」が 24.1%、「手伝わない」が 15.4%となっています。

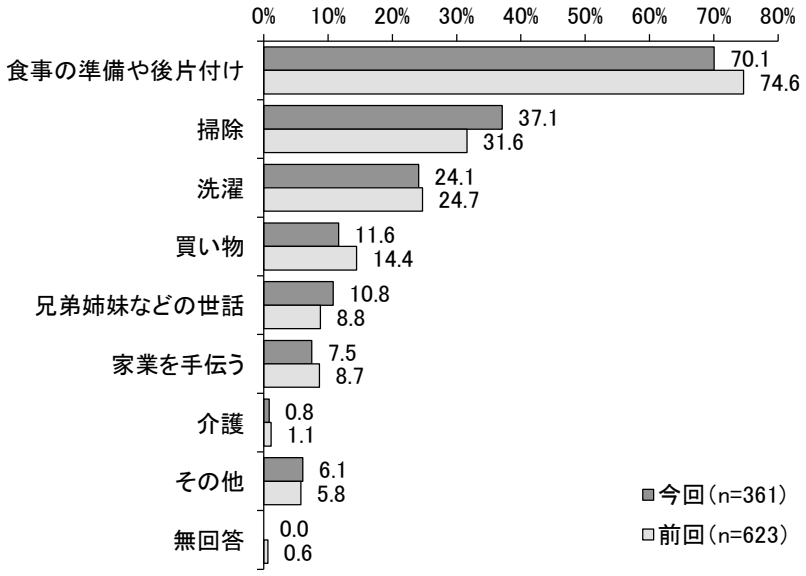


■学年別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	ほとんど毎日手伝う	時々手伝う	手伝わない	無回答
全体	428	24.1	60.3	15.4	0.2
中学1年生	122	22.1	61.5	16.4	0.0
中学2年生	100	27.0	58.0	15.0	0.0
中学3年生	101	24.8	61.4	13.9	0.0
高校1年生	59	22.0	66.1	11.9	0.0
高校2年生	11	18.2	72.7	9.1	0.0
高校3年生	35	25.7	45.7	25.7	2.9

問4 問３で「1.」「2.」（手伝う）を選んだ方へおたずねします。
どんなことを手伝いますか。（○は主なものを２つまで）

○ 手伝いの内容について、「食事の準備や後片付け」が 70.1%で最も高く、次いで「掃除」（37.1%）、「洗濯」（24.1%）と続いています。



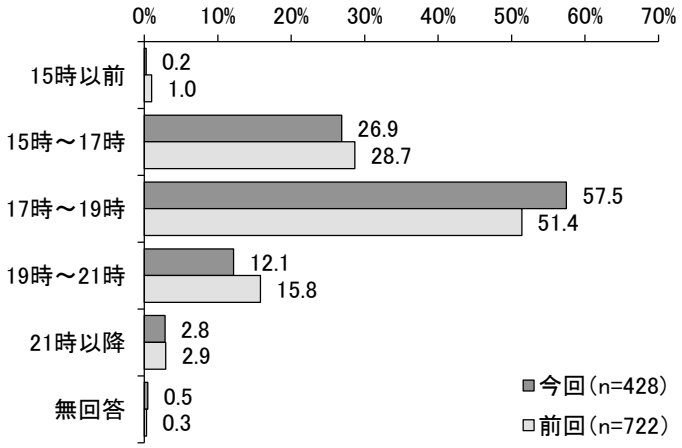
■学年別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	食事の準備や後片付け	掃除	洗濯	買い物	兄弟姉妹などの世話	家業を手伝う	介護	その他	無回答
全体	361	70.1	37.1	24.1	11.6	10.8	7.5	0.8	6.1	0.0
中学1年生	102	68.6	33.3	24.5	8.8	12.7	11.8	1.0	4.9	0.0
中学2年生	85	67.1	36.5	17.6	17.6	10.6	5.9	1.2	8.2	0.0
中学3年生	87	73.6	41.4	25.3	8.0	10.3	5.7	1.1	5.7	0.0
高校1年生	52	69.2	42.3	23.1	11.5	13.5	7.7	0.0	5.8	0.0
高校2年生	10	70.0	40.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
高校3年生	25	76.0	28.0	48.0	16.0	4.0	0.0	0.0	8.0	0.0

問5 平日の帰宅時間は何時頃ですか。（○は１つ）

○ 平日の帰宅時間について、「17 時～19 時」が 57.5％で最も高く、次いで「15 時～17 時」（26.9％）、「19 時～21 時」（12.1％）と続いています。

○ 学年別にみると、中学 3 年生では「15 時～17 時」の割合が最も高く、高校 1、2 年生では「19 時～21 時」の割合が最も高くなっています。



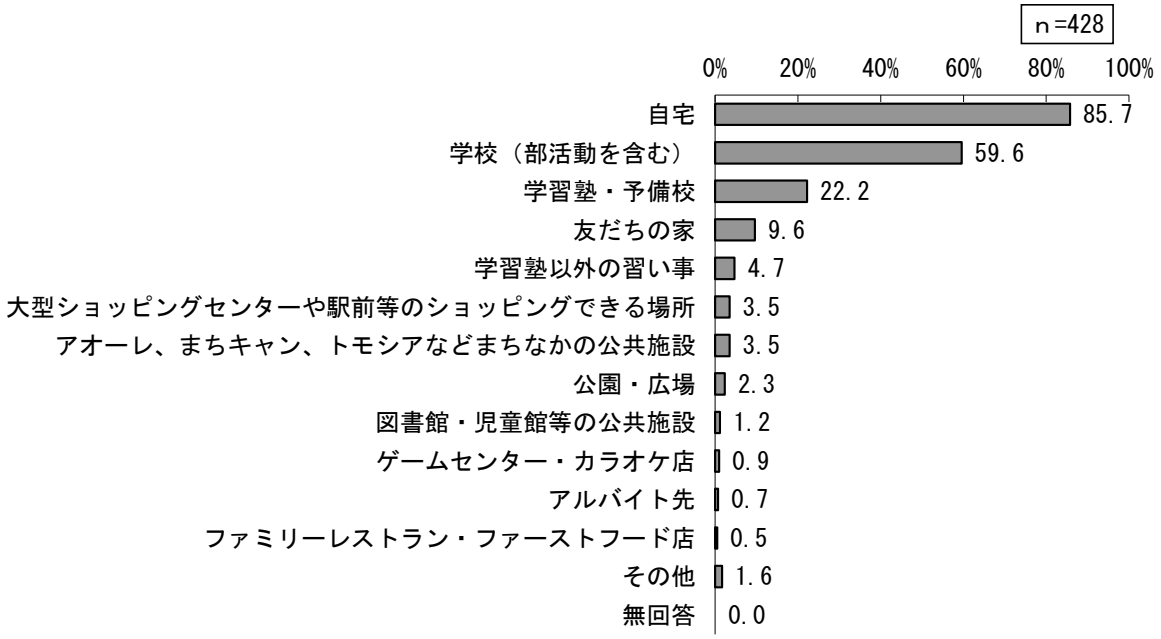
■学年別　　単位：ｎ（人）、項目（％）

	（ｎ）	15時以前	15時～17時	17時～19時	19時～21時	21時以降	無回答
全体	428	0.2	26.9	57.5	12.1	2.8	0.5
中学1年生	122	0.8	7.4	91.0	0.8	0.0	0.0
中学2年生	100	0.0	11.0	84.0	4.0	1.0	0.0
中学3年生	101	0.0	85.1	12.9	1.0	1.0	0.0
高校1年生	59	0.0	5.1	33.9	54.2	6.8	0.0
高校2年生	11	0.0	18.2	36.4	45.5	0.0	0.0
高校3年生	35	0.0	11.4	40.0	25.7	17.1	5.7

問6 あなたは放課後どこにいることが多いですか。（○は主なものを３つまで）

○ 放課後の居場所について、「自宅」が 85.7％で最も高く、次いで「学校（部活動を含む）」（59.6％）、「学習塾・予備校」（22.2％）と続いています。

○ 学年別にみると、中学３年では他の学年に比べて「学習塾・予備校」の割合が高くなっています。また、中学生では高校生に比べて「友だちの家」の割合が高く、高校生では、中学生に比べて「まちなかの公共施設」の割合が高くなっています。



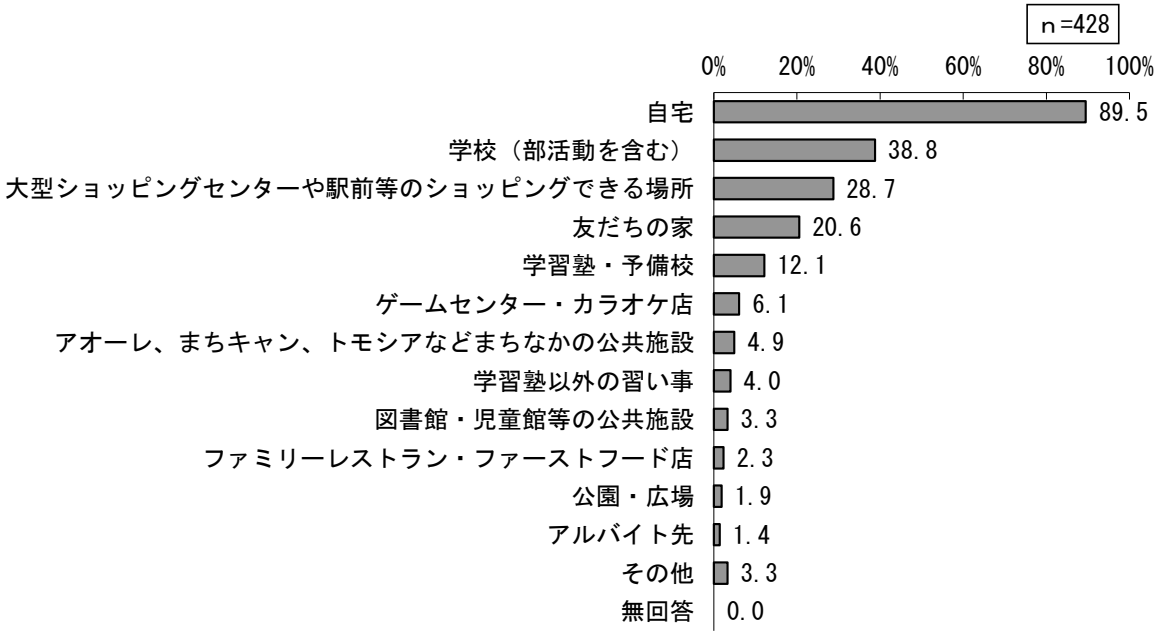
■学年別　　単位：n（人）、項目（%）

	（n）	自宅	学校（部活動を含む）	学習塾・予備校	友だちの家	学習塾以外の習い事	大型ショッピングセンターや駅前等のショッピングできる場所	アオーレ、まちキャン、トモシアなどまちなかの公共施設	公園・広場	図書館・児童館等の公共施設	ゲームセンター・カラオケ店	アルバイト先	ファミリーレストラン・ファーストフード店	その他	無回答
全体	428	85.7	59.6	22.2	9.6	4.7	3.5	3.5	2.3	1.2	0.9	0.7	0.5	1.6	0.0
中学1年生	122	91.8	79.5	12.3	11.5	8.2	1.6	0.8	1.6	0.8	0.0	0.0	0.8	0.8	0.0
中学2年生	100	86.0	73.0	19.0	15.0	7.0	2.0	1.0	6.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
中学3年生	101	98.0	16.8	38.6	8.9	2.0	1.0	0.0	2.0	0.0	1.0	1.0	0.0	2.0	0.0
高校1年生	59	67.8	66.1	15.3	1.7	1.7	11.9	11.9	0.0	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0
高校2年生	11	63.6	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
高校3年生	35	65.7	57.1	31.4	5.7	0.0	8.6	14.3	0.0	5.7	2.9	5.7	0.0	8.6	0.0

問7 あなたは土日・祝日どこにいることが多いですか。（○は主なものを３つまで）

○ 土日・祝日の居場所について、「自宅」が 89.5%で最も高く、次いで「学校（部活動を含む）」（38.8%）、「大型ショッピングセンターや駅前等のショッピングできる場所」（28.7%）と続いています。

○ 学年別にみると、中学３年では「学習塾・予備校」、高校２年生では「ゲームセンター・カラオケ店」、高校３年生では「まちなかの公共施設」の割合が、他の学年に比べて高くなっています。

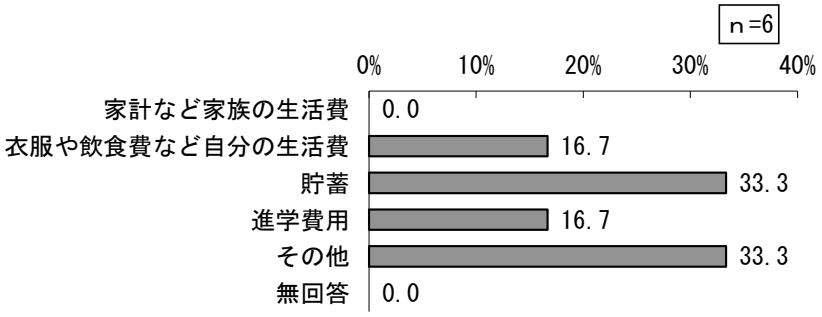


■学年別　　単位：n（人）、項目（%）

	（n）	自宅	学校（部活動を含む）	大型ショッピングセンターや駅前等のショッピングできる場所	友だちの家	学習塾・予備校	ゲームセンター・カラオケ店	アオーレ、まちキャン、トモシアなどまちなかの公共施設	学習塾以外の習い事	図書館・児童館等の公共施設	ファミリーレストラン・ファーストフード店	公園・広場	アルバイト先	その他	無回答
全体	428	89.5	38.8	28.7	20.6	12.1	6.1	4.9	4.0	3.3	2.3	1.9	1.4	3.3	0.0
中学1年生	122	93.4	47.5	34.4	30.3	1.6	4.1	4.1	4.9	3.3	0.8	0.0	0.0	1.6	0.0
中学2年生	100	90.0	58.0	28.0	24.0	7.0	1.0	2.0	5.0	5.0	1.0	6.0	0.0	4.0	0.0
中学3年生	101	97.0	1.0	32.7	16.8	33.7	9.9	2.0	5.0	2.0	4.0	1.0	1.0	6.9	0.0
高校1年生	59	76.3	54.2	23.7	13.6	1.7	10.2	8.5	1.7	0.0	5.1	1.7	1.7	0.0	0.0
高校2年生	11	90.9	45.5	9.1	0.0	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
高校3年生	35	74.3	34.3	14.3	5.7	20.0	5.7	17.1	0.0	8.6	0.0	0.0	11.4	2.9	0.0

問8 問６、問７で「12.」（アルバイト先）と答えた方にお聞きします。
アルバイトで得た収入の主な使い道は何ですか。（○は１つ）

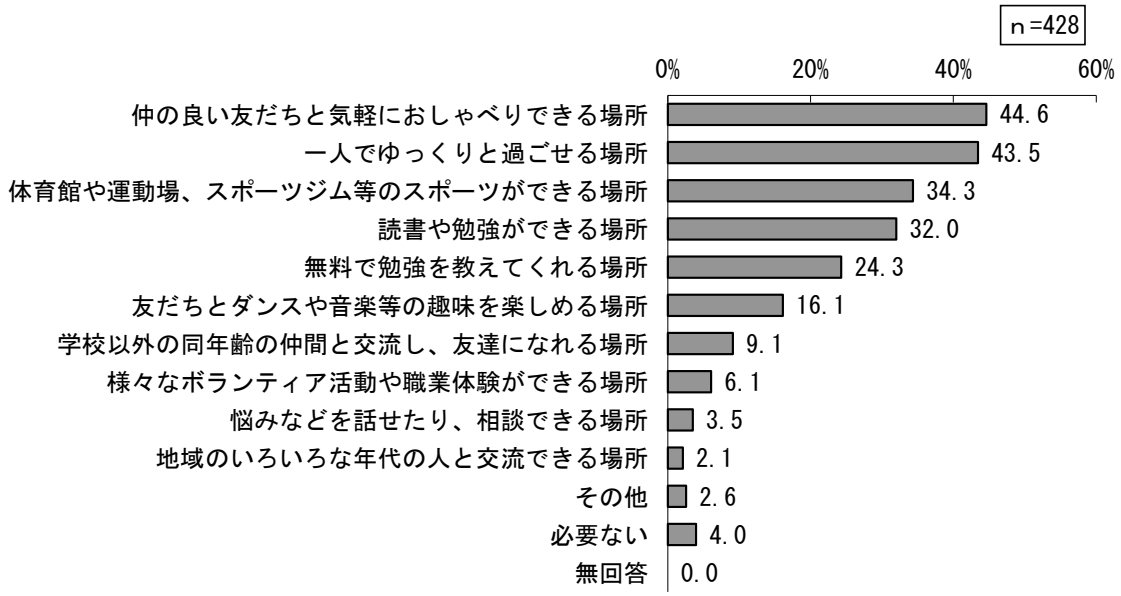
○ アルバイトをしている人に主な使い道をうかがったところ、以下のとおりとなっています。



問9 放課後や休日を過ごすにはどういう場所やサービスがあればよいと思いますか。
（○は主なものを３つまで）

○ 放課後や休日を過ごすのにあればよいと思う場所やサービスについて、「仲の良い友だちと気軽におしゃべりできる場所」が 44.6%で最も高く、次いで「一人でゆっくりと過ごせる場所」（43.5%）、「体育館や運動場、スポーツジム等のスポーツができる場所」（34.3%）と続いています。

○ 学年別にみると、高校 2、3 年生では「読書や勉強ができる場所」の割合が最も高くなっています。



■学年別　　単位：n（人）、項目（%）

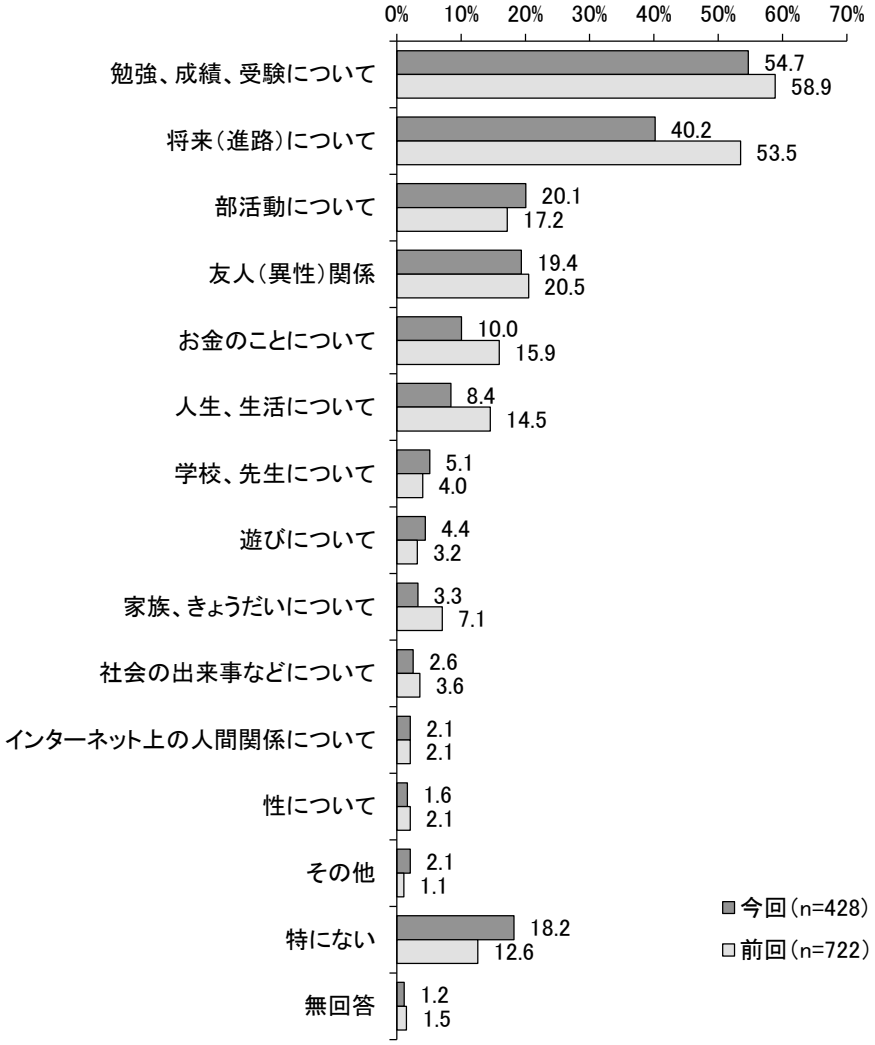
	（n）	仲の良い友だちと気軽におしゃべりできる場所	一人でゆっくりと過ごせる場所	体育館や運動場、スポーツジム等のスポーツができる場所	読書や勉強ができる場所	無料で勉強を教えてくれる場所	友だちとダンスや音楽等の趣味を楽しめる場所	学校以外の同年齢の仲間と交流し、友達になれる場所	様々なボランティア活動や職業体験ができる場所	悩みなどを話せたり、相談できる場所	地域のいろいろな年代の人と交流できる場所	その他	必要ない	無回答
全体	428	44.6	43.5	34.3	32.0	24.3	16.1	9.1	6.1	3.5	2.1	2.6	4.0	0.0
中学1年生	122	49.2	41.0	37.7	23.8	25.4	13.9	7.4	5.7	7.4	3.3	2.5	4.9	0.0
中学2年生	100	48.0	42.0	30.0	26.0	24.0	18.0	15.0	6.0	3.0	2.0	2.0	5.0	0.0
中学3年生	101	38.6	49.5	34.7	35.6	28.7	18.8	9.9	7.9	2.0	2.0	4.0	2.0	0.0
高校1年生	59	45.8	45.8	42.4	37.3	22.0	11.9	8.5	0.0	0.0	1.7	1.7	1.7	0.0
高校2年生	11	36.4	27.3	27.3	54.5	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
高校3年生	35	37.1	40.0	22.9	51.4	17.1	17.1	0.0	11.4	2.9	0.0	2.9	5.7	0.0

Ⅳ-３．考えや意識について

問10 最近、よく考えることや困っていることはありますか。（○は主なものを３つまで）

○ 最近、よく考えることや困っていることについて、「勉強、成績、受験について」が 54.7%で最も高く、次いで「将来（進路）について」（40.2%）、「部活動について」（20.1%）と続いています。

○ 学年別にみると、特に中学３年生で「勉強、成績、受験について」、「将来（進路）について」の割合が高くなっています。中学１年生では他の学年に比べ「友人（異性）関係」の割合が高くなっています。



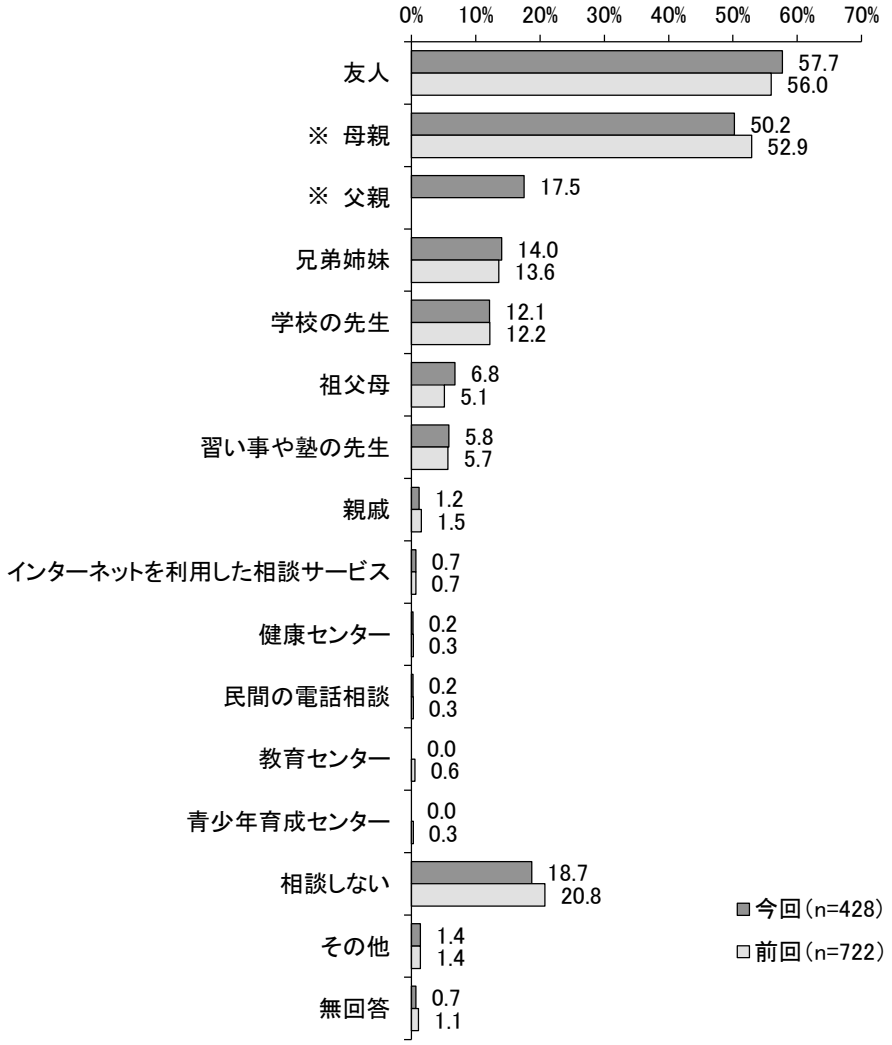
■学年別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	勉強、成績、受験について	将来（進路）について	部活動について	友人（異性）関係	お金のことについて	人生、生活について	学校、先生について	遊びについて
全体	428	54.7	40.2	20.1	19.4	10.0	8.4	5.1	4.4
中学1年生	122	48.4	23.0	27.9	27.9	9.0	4.9	7.4	6.6
中学2年生	100	52.0	40.0	30.0	18.0	10.0	9.0	4.0	4.0
中学3年生	101	71.3	58.4	0.0	16.8	9.9	10.9	5.9	2.0
高校1年生	59	54.2	40.7	32.2	11.9	3.4	5.1	3.4	1.7
高校2年生	11	18.2	45.5	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1
高校3年生	35	48.6	45.7	5.7	20.0	25.7	20.0	2.9	8.6

	（ｎ）	家族、きょうだいについて	社会の出来事などについて	インターネット上の人間関係について	性について	その他	特にない	無回答
全体	428	3.3	2.6	2.1	1.6	2.1	18.2	1.2
中学1年生	122	4.9	1.6	4.1	1.6	2.5	16.4	3.3
中学2年生	100	4.0	5.0	0.0	2.0	1.0	20.0	0.0
中学3年生	101	3.0	3.0	3.0	1.0	4.0	13.9	1.0
高校1年生	59	1.7	0.0	1.7	1.7	0.0	22.0	0.0
高校2年生	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0
高校3年生	35	0.0	2.9	0.0	2.9	2.9	17.1	0.0

問11 あなたは、悩みや不安を誰に相談しますか。（○はいくつでも）

○ 悩みや不安の相談相手について、「友人」が 57.7％で最も高く、次いで「母親」（50.2％）、「父親」（17.5％）と続いています。



※前回調査は「両親」

■学年別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

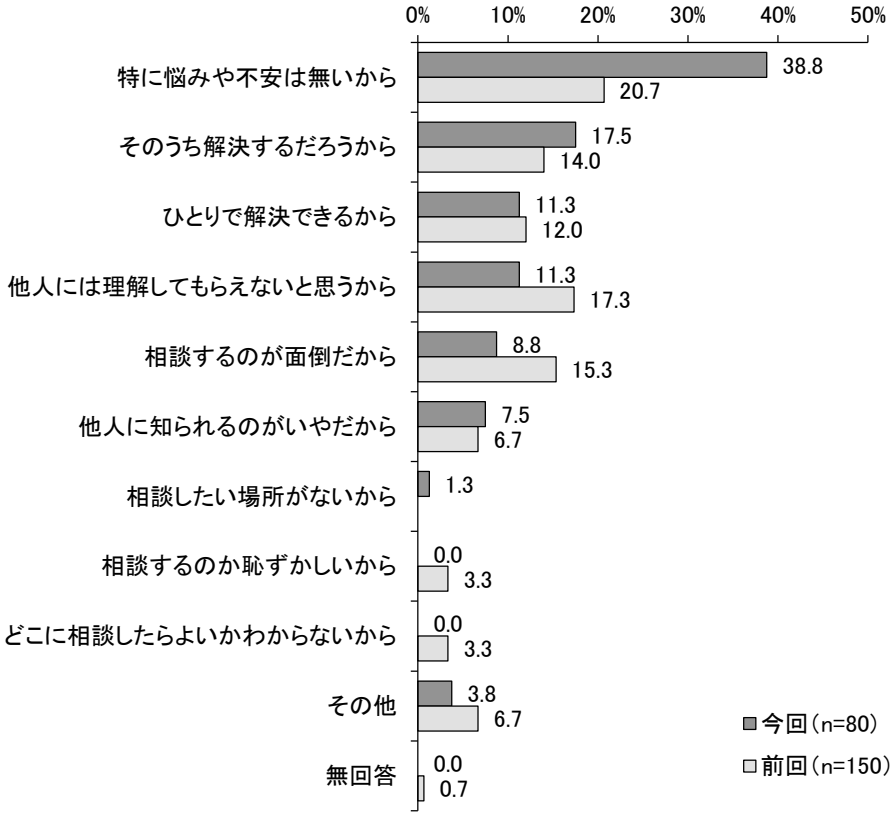
	（ｎ）	友人	母親	父親	兄弟姉妹	学校の先生	祖父母	習い事や塾の先生	親戚
全体	428	57.7	50.2	17.5	14.0	12.1	6.8	5.8	1.2
中学1年生	122	55.7	47.5	11.5	13.1	10.7	9.0	1.6	0.8
中学2年生	100	52.0	45.0	17.0	11.0	20.0	4.0	6.0	0.0
中学3年生	101	61.4	51.5	23.8	15.8	11.9	8.9	9.9	3.0
高校1年生	59	62.7	55.9	20.3	11.9	6.8	6.8	3.4	1.7
高校2年生	11	63.6	63.6	36.4	0.0	9.1	9.1	18.2	0.0
高校3年生	35	60.0	57.1	11.4	28.6	5.7	0.0	8.6	0.0

	（ｎ）	インターネットを利用した相談サービス	健康センター	民間の電話相談	教育センター	青少年育成センター	相談しない	その他	無回答
全体	428	0.7	0.2	0.2	0.0	0.0	18.7	1.4	0.7
中学1年生	122	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.8	0.8	1.6
中学2年生	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.0	2.0	1.0
中学3年生	101	2.0	0.0	1.0	0.0	0.0	12.9	1.0	0.0
高校1年生	59	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.9	0.0	0.0
高校2年生	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0
高校3年生	35	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	14.3	5.7	0.0

問12 問 11 で「14.」（相談しない）と答えた方にお聞きします。
→それ以外の方は問 14 へ
相談しないのはなぜですか。（○は１つ）

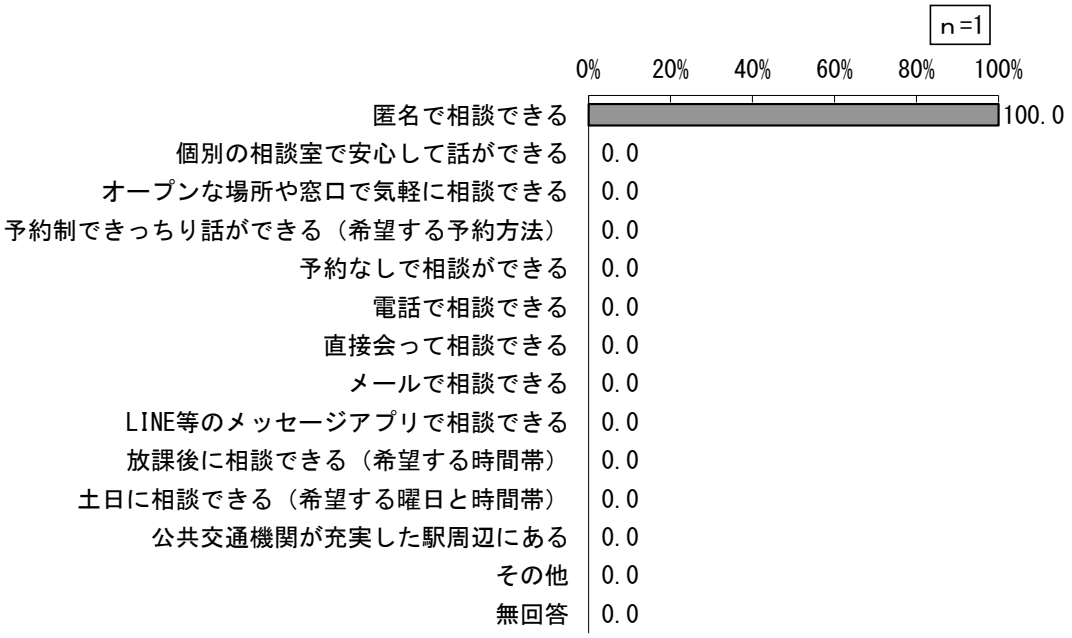
○ 悩みや不安を「相談しない」と回答した人に、その理由をうかがったところ、「特に悩みや不安は無いから」が 38.8%で最も高く、次いで「そのうち解決するだろうから」（17.5%）、「ひとりで解決できるから」「他人には理解してもらえないと思うから」（各 11.3%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「特に悩みや不安は無いから」の割合が増加し、「他人には理解してもらえないと思うから」、「相談するのが面倒だから」の割合が減少しています。



問13 問 12 で「9.」（相談したい場所がない）と答えた方にお聞きします。
どのような所だったら、相談しやすいと思いますか。（○は 3 つまで）

○ 相談しない理由として「相談したい場所がない」と回答した人に、相談しやすい場所についてうかがったところ、以下のとおりとなっています。

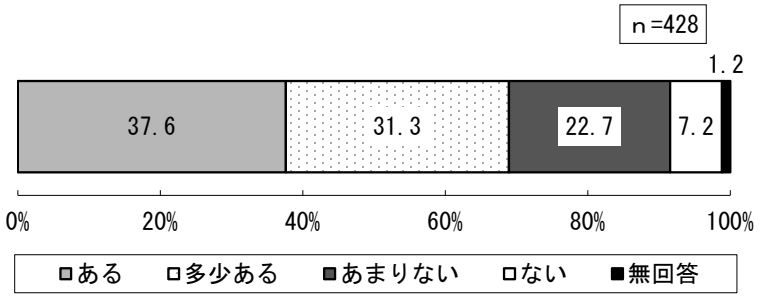


Ⅳ-４．未来のあなたについて

問14 あなたは、自分の人生における仕事や家庭を持つ・持たないなどの将来を思い描くことがありますか。（○は１つ）

○ 将来を思い描くことについて、「ある」が 37.6%、「多少ある」が 31.3%、「あまりない」が 22.7%、「ない」が 7.2%となっています。

○ 学年別にみると、高校３年生で「ある」の割合が高くなっています。



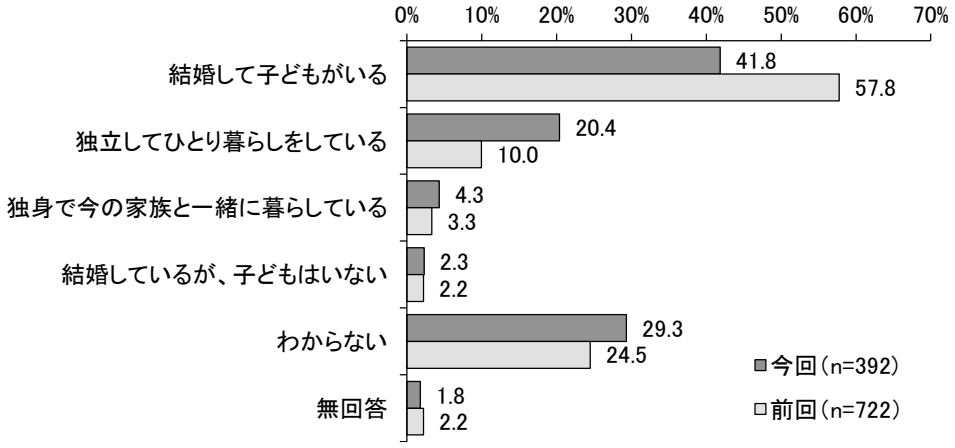
■学年別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	ある	多少ある	あまりない	ない	無回答
全体	428	37.6	31.3	22.7	7.2	1.2
中学1年生	122	24.6	32.8	32.0	9.0	1.6
中学2年生	100	33.0	35.0	21.0	10.0	1.0
中学3年生	101	43.6	33.7	15.8	5.9	1.0
高校1年生	59	42.4	28.8	23.7	5.1	0.0
高校2年生	11	36.4	36.4	18.2	9.1	0.0
高校3年生	35	71.4	11.4	14.3	0.0	2.9

問15 問14で「1.」「2.」「3.」（ない以外）と答えた方にお聞きします。
将来のあなたを思い浮かべたとき、次のどれに最も近いと思いますか。
「4.」（子どもがいる）と思う場合は人数をご記入ください。（○は１つ）

○ 思い浮かべる将来で最も近いものについて、「結婚して子どもがいる」が41.8%で最も高く、次いで「わからない」（29.3%）、「独立してひとり暮らしをしている」（20.4%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「独立してひとり暮らしをしている」の割合が増加し、「結婚して子どもがいる」の割合が減少しています。

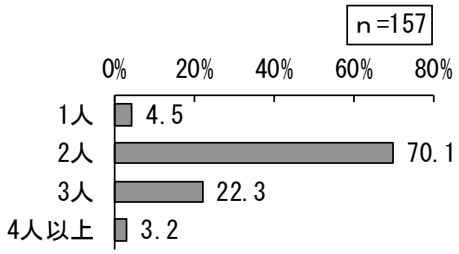


■学年別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	独身で今の家族と一緒に暮らしている	独立してひとり暮らしをしている	結婚しているが、子どもはいない	結婚して子どもがいる	わからない	無回答
全体	392	4.3	20.4	2.3	41.8	29.3	1.8
中学1年生	109	2.8	18.3	0.9	35.8	37.6	4.6
中学2年生	89	4.5	19.1	4.5	38.2	33.7	0.0
中学3年生	94	5.3	21.3	0.0	48.9	23.4	1.1
高校1年生	56	3.6	25.0	3.6	37.5	30.4	0.0
高校2年生	10	10.0	30.0	20.0	30.0	0.0	10.0
高校3年生	34	5.9	17.6	0.0	61.8	14.7	0.0

【子どもの人数】

○ 「結婚して子どもがいる」と回答した人に、子どもの人数をうかがったところ、「2人」の割合が最も高くなっています。

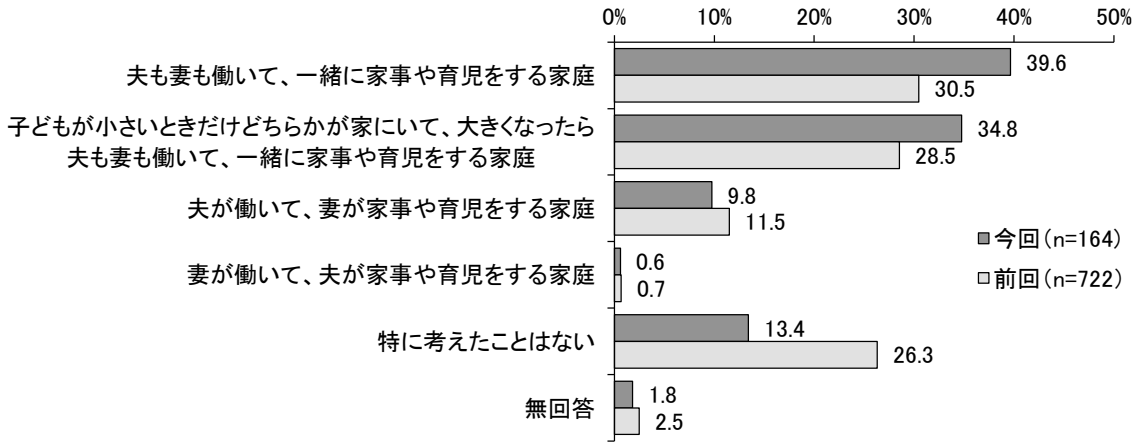


	子どもの人数
平均	2.25人
最大値	5.00人
最小値	1.00人

問16 問15で「4.」（子どもがいる）と答えた方にお聞きします。
あなたは、将来どんな家庭を作りたいですか。（○は１つ）

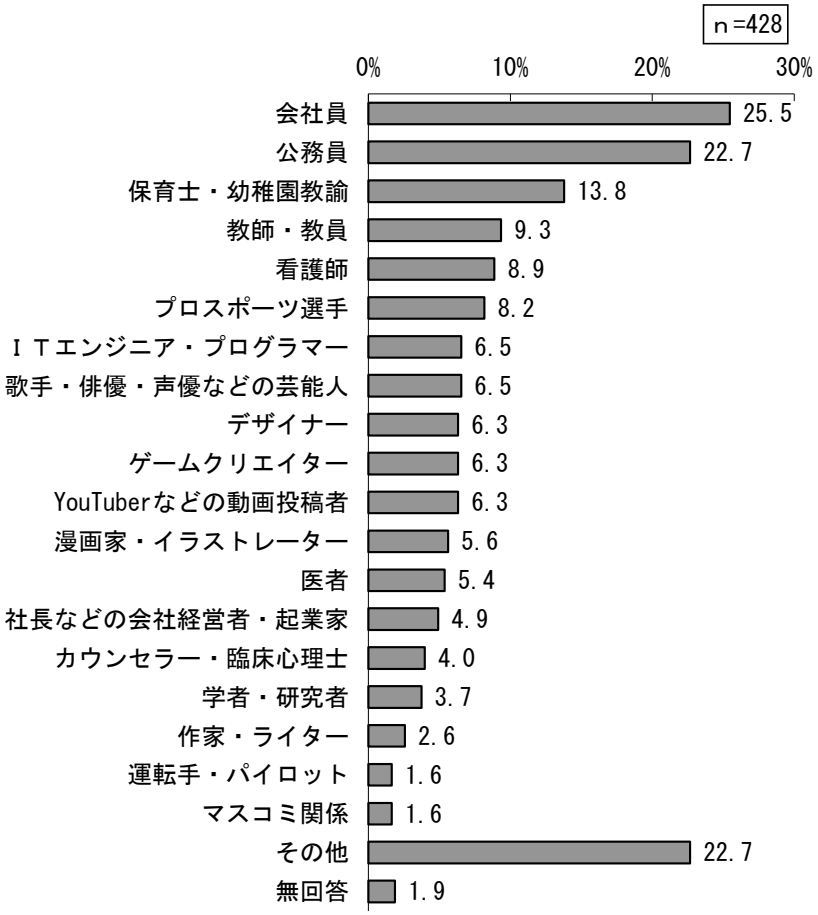
○ 「結婚して子どもがいる」と回答した人に、どんな家庭をつくりたいかうかがったところ、「夫も妻も働いて、一緒に家事や育児をする家庭」が39.6%で最も高く、次いで「子どもが小さいときだけどちらかが家にいて、大きくなったら夫も妻も働いて、一緒に家事や育児をする家庭」（34.8%）、「特に考えたことはない」（13.4%）と続いています。

○ 前回調査の結果と比較すると、「夫も妻も働いて、一緒に家事や育児をする家庭」の割合が増加し、「特に考えたことはない」の割合が減少しています。



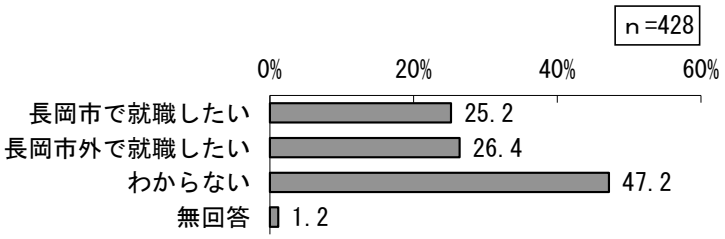
問17 将来つきたい職業は何ですか。（○は３つまで）

○ 将来つきたい職業について、「会社員」が 25.5％で最も高く、次いで「公務員」、「その他」（各 22.7％）と続いています。



問18 将来長岡市で就職したいと思いますか。（○は１つ）

○ 将来、長岡市で就職したいと思うかどうかについて、「わからない」が 47.2%、「長岡市外で就職したい」が 26.4%、「長岡市で就職したい」が 25.2%となっています。



■学年別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

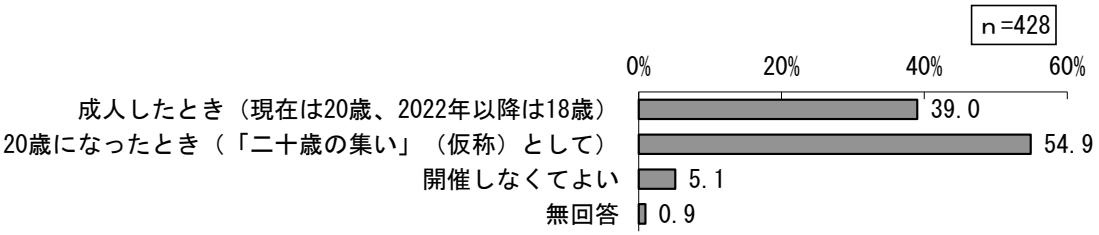
	（ｎ）	長岡市で就職したい	長岡市外で就職したい	わからない	無回答
全体	428	25.2	26.4	47.2	1.2
中学1年生	122	25.4	27.9	45.1	1.6
中学2年生	100	31.0	23.0	46.0	0.0
中学3年生	101	26.7	25.7	46.5	1.0
高校1年生	59	16.9	23.7	59.3	0.0
高校2年生	11	18.2	27.3	54.5	0.0
高校3年生	35	20.0	37.1	37.1	5.7

Ⅳ-５．成人式について

長岡市の成人式は現在、満年齢 20 歳のときに地域ごとに実施していますが、2022 年から成人年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられることを踏まえてお答えください。

問19 成人式は、いつ開催するのがよいですか。（○は１つ）

○ 成人式の開催時期について、「20 歳になったとき」が 54.9%、「成人したとき」が 39.0%、「開催しなくてよい」が 5.1%となっています。

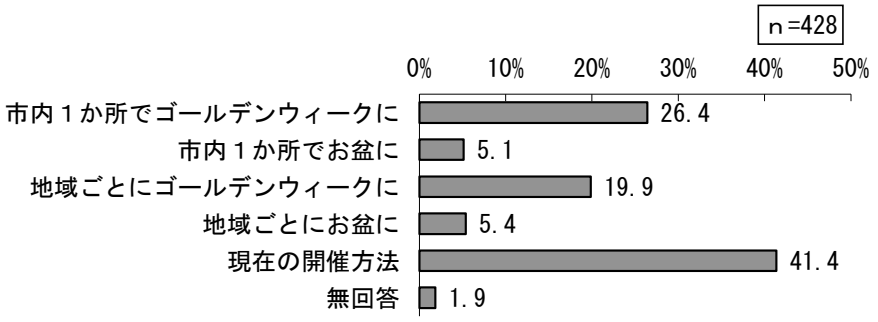


■学年別　　単位：n（人）、項目（%）

	（n）	成人したとき（現在は20歳、2022年以降は18歳）	20歳になったとき（「二十歳の集い」（仮称）として）	開催しなくてよい	無回答
全体	428	39.0	54.9	5.1	0.9
中学1年生	122	49.2	43.4	6.6	0.8
中学2年生	100	39.0	53.0	7.0	1.0
中学3年生	101	29.7	63.4	5.9	1.0
高校1年生	59	42.4	57.6	0.0	0.0
高校2年生	11	36.4	54.5	9.1	0.0
高校3年生	35	25.7	71.4	0.0	2.9

問20 成人式は、どのように開催するのがよいですか。（○は１つ）

○ 成人式の開催方法について、「現在の開催方法」が 41.4%で最も高く、次いで「市内 1 か所でゴールデンウィークに」(26.4%)、「地域ごとにゴールデンウィークに」(19.9%) と続いています。



■学年別　　単位：ｎ（人）、項目（%）

	（ｎ）	市内１か所でゴールデンウィークに	市内１か所でお盆に	地域ごとにゴールデンウィークに	地域ごとにお盆に	現在の開催方法	無回答
全体	428	26.4	5.1	19.9	5.4	41.4	1.9
中学1年生	122	20.5	6.6	18.9	5.7	45.9	2.5
中学2年生	100	23.0	5.0	25.0	5.0	38.0	4.0
中学3年生	101	29.7	5.0	18.8	5.0	40.6	1.0
高校1年生	59	30.5	3.4	16.9	6.8	42.4	0.0
高校2年生	11	27.3	0.0	27.3	0.0	45.5	0.0
高校3年生	35	40.0	5.7	14.3	5.7	34.3	0.0

市に対し、「長岡市がこんなまちになったらいいな」など、市の施策に関するご意見やご要望がありましたら自由にご記入ください。

Ⅴ　考察

「長岡市子育て・育ち“あい”プラン策定に関するニーズ調査」への考察

新潟県立大学人間生活学部子ども学科
小池由佳

はじめに

本考察は、平成 30 年度に長岡市が実施した「長岡市子育て・育ち“あい”プラン策定に関するニーズ調査」結果によるものである。詳細な結果は報告書に委ね、ここでは考察及び計画策定に対する期待を中心に述べる。

Ⅰ　教育・保育施設及び地域子育て支援事業

１．定期的な教育・保育の量の確保

本事業計画は、子ども・子育て支援法に基づく行政計画であり、長岡市で必要とされる教育・保育ニーズを把握することを目的のひとつとしている。未就学児の保護者を対象とした調査結果では、前回調査（平成 26 年）より、就労している保護者が増加傾向にある。子育て世代には、出産・子育てをきっかけに退職している母親（39.4%）の存在があるが、子どもが一定程度の年齢になれば再就職したいという意向が高い。また、その際の働き方であるが、パート・アルバイト等での復帰を希望する声も高い。子どもの年齢が低いうちは、子どもとの時間を確保できるような働き方を希望していることがわかる。

教育・保育の量の確保と同時に、保護者の多様な働き方に対応できる体制づくりも期待される。

２．質の確保

教育・保育について、利用実態及び希望においても、保育所・認定こども園の利用希望の高さがうかがえる結果であった。この背景には、乳児保育ニーズの高まりや、保育所・幼稚園等の認定こども園への移行がある。一方、幼稚園を利用する保護者の 6 割が、幼稚園であることをその選択理由として挙げており、保護者の幼児教育への期待がうかがえる結果である。就学前児童への教育・保育の役割として、教育ニーズに応えることも質の確保につながる。

保育所・幼稚園への評価（問 30）をみると、保育料及び授業料以外のすべての項目において、満足している層が 8～9 割を占めていることが明らかになった。特に満足度が高いのは「食事」であり、6 割が「大変満足」と回答している。食は発達期にある子どもの基礎づくりにつながるものであるが、核家族や共働き家庭で育つ子どもの増加に伴い、食が整えられていない子どもたちの存在もうかがえる。保育・教育における食の提供、そのあり方は食育も含めて、質の向上につながる。

食事も含めて、保育内容に関わるものの評価が高かった一方で、やや満足傾向が低かったのが、保護者支援に関わる内容である。保育・教育に関わる人材は、子どもの保育だけでなく、保護者支援もその役割として位置づけられている。保護者理解や具体的な支援方法など、いかに質を高めるかが課題である。

Ⅱ　次代の親の育成、子どもの健やかな成長支援

１．将来の家庭観・職業観

中高生を対象とした調査結果では、将来の家庭像として、将来「結婚して子どもがいる」という家庭観を持っている子どもが４割程度であるのに対し、「わからない」や「独立してひとり暮らし」なども２割程度見られた。今日の社会の特徴である、家族の多様化があることを受けての結果と思われる。子どもの数については、２～３人との回答が高い結果であった。子育てのイメージがもてる中高生は、子どもを複数持ちたいと思っていることに着目したい。

仕事と子育てのあり方についても、子どもが小さい時をどのように過ごすかはあるものの、家族が共に仕事と子育てを担うイメージを持っている。あくまで中高生段階での見解ではあるが、これを可能とする社会をいかに構築するか、であろう。

職業観として、会社員や公務員が上位になっているが、保育士・幼稚園教諭が３位、看護師が５位であった。中高生の関心を現実につなげていくことも、保育や医療現場の人材不足の解消の一歩ではないだろうか。

２．相談しやすい体制づくり

中高生たちの悩みごとについて、悩みや考えていることはあるものの、友人や家族に相談したり、時間的な解決で解消したりしていると思われる結果であった。インフォーマルな社会資源が活用できる体制が整っていることは望ましいことである。一方、少数派であるが、考えていることとして「お金のこと」「家族、きょうだいのこと」があった。具体的な内容まで把握できないので、どのような内容かは不明であるが、長岡市が同時期に行った「長岡市子育て世帯の生活に関する調査」において、１割強の経済的困窮状況にあると思われる家庭があることうを踏まえると、同じような傾向がうかがえることが推察される。子どもの発達段階や学年によって生じるであろう悩みとは違い、生活のこと、家族のことは、近親者が相談相手になりづらく、また時間の経過とともに解決できることでもない。むしろ、時間の経過が事を深刻にすることも懸念される。なお、調査結果には含まれていないが、考えていることとして「お金のこと」を挙げた中高生のうち、「相談しない」と回答したのは２割、「家族、きょうだいのこと」は、挙げた中高生がごくわずかではあったものの、その全員が「相談しない」との結果であった。

３．子どもの居場所づくり

放課後や休日の過ごし方として、何かを体験するというよりは、人とのゆるやかな関わりを持ちつつ、個人の思いを実現できるような居場所が求められていることがうかがえる。「ひとりでゆっくりと過ごせる場所」へのニーズがあることも興味深い。複数の子どもの存在が前提となる子どもの居場所では、経験や体験ができる場所を考えるが、それが子どものニーズと合っているのかを今一度考える必要があるのではないか。「そこに居る」ことができる場として機能するなかで、体験や遊びが生まれてくるという流れができることが期待される。

４．望ましい生活習慣の形成・定着

小学生保護者対象の調査結果より、全般としては望ましい生活習慣が形成されていると言えるだろう。

なお、先にも挙げた「長岡市子育て世帯の生活に関する調査」では、生活習慣が整っている定義として、「朝食を毎日バランスよく食べ、起床・就寝時間が概ね決まっている」ことを基準として分析を行っている。その結果、生活習慣が整っていると判断できたのは、67.5%（小学生のみ抽出）であった。本調査においても、朝食は食べているが、そのメニューに偏りがあるとの回答が高い割合であった。朝食、そして睡眠時間の確保といった子どもの成長の要となる生活習慣をいかに形成できるか。子育て世帯の生活のあり方は、保護者の努力も求められるが、子どもの生活習慣を形成できるような社会・地域づくりも同時に進めていきたい。

Ⅲ　子育て支援の充実

１．子育て支援事業のあり方

長岡市は「子育ての駅」を核とした、地域子育て支援事業に積極的に取り組んできた。その効果もあり、事業年数の長い事業については、その認知度も利用度も高く、今後の利用意向も高くなっている。子育て支援ニーズは、社会状況が変われば、求められる内容も変化する。親子といっても、どのような年齢・月齢層の親子を想定するのか、支援の内容も、親子関係の構築から子ども（乳児）についての理解、保護者、特に母親の心身のケアまで多岐に渡る。近年はじめられた事業については、ニーズの変化をとらえた新事業のため、認知度や利用状況も今後の展開が期待されるところである。また、これら事業の展開では、「子育ての駅」の有効活用が欠かせない。居場所としての役割を担いつつ、利用者が「『子育ての駅』に行けば何とかなる」と思えるシステムづくりを期待したい。

加えて、多くの事業が認知度と利用度が低くても、利用意向は利用度を上回る傾向があるなかで、「パパママサークル」は、認知度や利用度は一定程度あるが、利用度と利用意向がほぼ同じという結果であった。すでに利用している人は今後も利用したいと認識しているが、その存在を知ったとしても、利用したいという意向につながっていないことを示している。父親、母親が主体的に子どもの存在をきっかけにつながり、活動を展開することは、子育て支援のキーワードである「共感性」による相互サポートを高め、「当事者」ニーズを把握するためにも大事な観点である。長岡市では、子ども・子育て会議の公募委員が核となって、新たなつながりと活動を始めている。このような活動が地域で浸透していくことで、当事者主体の子育て支援の展開が広まっていくことを期待したい。

２.子育てと仕事の両立支援

父親の就労割合に変化がみられない一方で、母親の就労割合が前回調査よりも高く、現在就労していない母親にも就労意向が見られた。子育てと仕事の両立は、保護者にとって、悩みでもあり不安でもある。家庭内での支え合いに加えて、職場である企業等の理解がなければ両立は成立しない。調査結果全般において、長岡市での子育ては、父親や近親者のサポートがあるなかで営まれていることがうかがえる結果であった。その一方、父親が育児休暇を取得しなかった理由として、「取りにくい雰囲気」や「所得の減少」が挙げられていた。子育てと仕事を夫婦で担いたいという思いの実現は、勤労者の生活全体の質を高め、結果として、仕事にも効果的に機能する。「みんなで子育て」の「みんな」には、地域住民はもちろんのこと、企業等も含まれることを、ここで記しておく。

Ⅳ　まとめ

本調査結果全体をとおして感じたことは、長岡市の子育て環境がソーシャル・サポート・ネットワークの観点から構築されていることである。

ソーシャル・サポートとは「フォーマルなサービスであれインフォーマルなものであれ、また専門的な援助であれ、非専門的な援助であれ、社会的な支援」（田中 2000）のことを指している。行政が提供するサービスだけでなく、近親者や地域住民等を巻き込みつつ、また、子育て支援に求められる「専門性」と「共感性」をそれぞれが担いながら、子育て環境を構築していることが伝わってきた。

ソーシャル・サポートの観点から子育て環境を構築することは、子どもや子育てを他人事にしない、「みんなで子育て」という観点にもつながる。今後も長岡市らしさを生かした、互いの立場を尊重し、つながりのなかでの子育て環境の構築を期待したい。

一方で、子育てと仕事の両立支援については、課題が見える結果であった。前回調査の考察でも指摘されているとおりである。子どもの生活習慣や、将来への展望も好評価とは言い切れない結果であった。子育て世代が子どもと関わり、仕事での役割を果たすことができることで、将来の展望も明るいものとなる。両立支援について、グッドプラクティスの共有や、完璧を目指すのではなく、できることから始めるといった取り組みの積み重ねを期待したい。

最後に長岡市のスローガン「育つよろこび　育てる幸せ　みんなで子育てするまち　長岡」を改めて確認しておきたい。子ども支援、子育て支援は、子ども自身が育つ喜びを実感し、保護者等が子どもの存在そのものや、育てることへの幸せを感じることができ、それを支える多様な大人の存在があって成り立っている。子どもが育つ環境を整えるのは、大人の責務である。計画策定のプロセスが、そのことを確認できる過程となることを期待している。

・田中尚(2000)「第 6 章　ソーシャル・サポート・システム」野村豊子・北島英治・田中尚・福島廣子編『ソーシャルワーク・入門』有斐閣　149p

Ⅵ　調査票

Ⅰ　就学前児童保護者用

【就学前児童保護者用】

長岡市子育て・育ち“あい”プラン
策定に関するニーズ調査票

保護者各位

調査のお願い

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、本市では、子ども・子育て支援を推進するため、平成27年度に「長岡市子育て・育ち“あい”プラン」を策定し、計画的な取り組みを実施しています。来年度、この計画が最終年度を迎えることから、現行計画の見直しを行い、次期計画を策定いたします。

本調査は、次期計画の策定にあたり皆様のご意見を反映した計画とするために実施するもので、就学前のお子さんがいらっしゃる方にご協力をお願いしています。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月
長岡市教育委員会

回答期限　12月10日（月）まで

【 調査に関する問い合わせ先 】

長岡市教育委員会子ども未来部

子ども家庭課子育て支援係

電話：0258-39-2300　電話受付時間（平日8：30－17：15）
FAX　：0258-39-2605
Mail：kodomo@city.nagaoka.lg.jp

アンケート調査について

・この調査は、市内にお住まいの就学前のお子さんを無作為または、各園ごとに抽出し、その保護者の方にご協力をお願いするものです。

・ご回答いただいた内容は、子ども・子育て支援施策の検討のみに利用させていただき、それ以外の目的には利用いたしません。

・調査は無記名のため、個人が特定されることは決してありません。また、ご回答いただいた内容は、実際の施設やサービスの利用の可否などには一切影響ありません。

調査票のご記入にあたってのお願い

1．この調査は、宛名のお子さん、または調査票をお配りしたお子さんを対象にしています。保護者の方がご記入ください。

2．お父さん、お母さんがいない場合は、それぞれへの質問には答える必要はありません。

3．ご記入は、鉛筆または黒のボールペンでお願いします。

4．お答えは調査票の該当する項目の番号を〇印で囲んでください。
また、［　　］には数字をご記入ください。
時間は、24時間制（例：午後8時→20時）でご記入ください。

5．この調査票及び返信用封筒には、お名前を記入していただく必要はありません。

6．調査票の記入が終わりましたら、12月10日（月）までに以下の方法でご提出ください。

〇郵送で届いた方（0～2歳）　…　同封の返信用封筒に入れて封をし、郵送にて提出してください（切手は不要です）

〇保育園、幼稚園、認定こども園等経由でお願いしている方　…　同封の返信用封筒に入れて封をし、担任の先生に提出してください

回答者についておたずねします

問１ ご回答いただく方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。（○は１つ）

1. お母さん
2. お父さん
3. その他（　　）

問２ 配偶関係についてお答えください。（○は１つ）

1. 配偶者がいる
2. 配偶者はいない

宛名のお子さんとご家族の状況についておたずねします

問３ 現在宛名のお子さんが住んでいる地域はどちらですか。（○は１つ）

1. 長岡地域
2. 中之島地域
3. 越路地域
4. 三島地域
5. 山古志地域
6. 小国地域
7. 和島地域
8. 寺泊地域
9. 栃尾地域
10. 与板地域
11. 川口地域

問４ 宛名のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

平成　　年　　月　生まれ

問５ お子さんの兄弟姉妹について、お子さん本人を含んだ人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生まれた年と月をご記入ください。

兄弟姉妹　　人

末子の生年月日　平成　　年　　月　生まれ

問６ 宛名のお子さんと同居している方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。（○はいくつでも）

1. 父
2. 母
3. 祖父
4. 祖母
5. その他（兄弟姉妹以外）

問７ 宛名のお子さんも含み、同居しているご家族は全員で何人ですか。

　　人

問８ 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）の役割を担っている方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。（○は１つ）

1. 父母ともに
2. 主にお母さん
3. 主にお父さん
4. 主に祖父母
5. その他（　　）

問９ 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。（○はいくつでも）

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いない

問１０ **問９で「1.」～「4.」（預かってもらえる人がいる）と答えた方にお聞きします。**

お子さんを預かってもらう状況についてお答えください。（○はいくつでも）

1. 親族・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 親族・知人の身体的な負担が大きく心配である
3. 親族・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（　　）

問１１ 子育てに関する悩みや不安を誰に相談していますか。（○はいくつでも）

1. 配偶者（夫又は妻）・パートナー
2. その他の親族（親、兄弟姉妹など）
3. 近所の人、地域の人
4. 知人・友人
5. 保育士、幼稚園の先生
6. 自治体の子育て関連窓口
7. インターネットを利用した相談サービス
8. 相談しない
9. その他（　　）

問１２　**問 11 で「8.」（相談しない）と答えた方にお聞きします。**

→それ以外の方は問 14 へ

相談しないのはなぜですか。（○はいくつでも）

1. 特に悩みや不安は無いから
2. ひとりで解決できるから
3. 適当な相談相手がいないから
4. 相談するのが嫌だから
5. 相談するのが面倒だから
6. どこに相談したらよいかわからないから
7. 相談したい場所がないから
8. その他（　　）

問１３　**問 12 で「7.」（相談したい場所がない）と答えた方にお聞きします。**

→それ以外の方は問 14 へ

どのような所だったら、相談しやすいと思いますか。（○は３つまで）

1. 匿名で相談できる
2. 個別の相談室で安心して話ができる
3. オープンな場所や窓口で気軽に相談できる
4. 予約制できっちり話ができる（希望する予約方法：　　）
5. 予約なしで相談ができる
6. 電話で相談できる
7. 直接会って相談できる
8. 家庭訪問してもらえる
9. 夕方以降に相談できる（希望する時間帯：　　）
10. 土日に相談できる（希望する曜日と時間帯：　　）
11. その他（　　）

お父さんやお母さんの就労についておたずねします

※お父さん又はお母さんがいない場合は、それぞれへの質問にはお答えいただく必要はありません。

問１４（１）宛名のお子さんの、ご両親の就労についての状況をおたずねします。

（○はそれぞれに１つ）

お父さん	1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない
お母さん	1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない

※フルタイム…１週５日程度・１日８時間程度の就労

パート・アルバイト等…「フルタイム」以外の就労

（２）**（１）で「3.」、「4.」（パート・アルバイト等で就労している）と答えた方にお聞きします。**

フルタイムへの転換希望はありますか。（○は該当するそれぞれに１つ）

お父さん	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい
お母さん	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい

問１５ **問 14（1）で「5.」「6.」（現在またはこれまで就労していない）と答えた方にお聞きします。**

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

お父さん	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2. １年より先、一番下の子どもが □ 歳になった頃に就労したい 3. すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい →希望する就労形態（ア．フルタイム イ．パートタイム、アルバイト等 →1 週あたり□ 日 1 日あたり□ 時間）
お母さん	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2. １年より先、一番下の子どもが □ 歳になった頃に就労したい 3. すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい →希望する就労形態（ア．フルタイム イ．パートタイム、アルバイト等 →1 週あたり□ 日 1 日あたり□ 時間）

問１６ これまでに育児休業を取得したことがありますか。

（○はそれぞれに１つ）

お父さん	1. 現在育児休業中	→問 22 へ
	2. 取得したことがある	→問 18 へ
	3. 取得しなかった	→問 17 へ
	4. 就労していなかった	→問 23 へ
お母さん	1. 現在育児休業中	→問 22 へ
	2. 取得したことがある	→問 18 へ
	3. 取得しなかった	→問 17 へ
	4. 就労していなかった	→問 23 へ

問１７ **問 16 で「3.」（取得しなかった）と答えた方にお聞きします。**

取得しなかった理由は何ですか。　（○は該当するそれぞれに１つ）

お父さん	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入源がなくなり、経済的に苦しくなる 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 取得する必要が無かった 9. その他（　　）
お母さん	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入源がなくなり、経済的に苦しくなる 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 取得する必要が無かった 9. その他（　　）

→回答後、問 23 へ

問１８ **問 16 で「2.」（取得したことがある）と答えた方にお聞きします。**

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

（○は該当するそれぞれに１つ）

お父さん	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 育児休業中に離職した　→問 23 へ
お母さん	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 育児休業中に離職した　→問 23 へ

問 19～問 21 は、問 18 で「1.」（育児休業取得後、職場に復帰した）と答えた方にお聞きします。

問１９ 育児休業から職場に復帰したのは、保育園等の年度初めの入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

（○は該当するそれぞれに１つ）

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育園等に入園した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園等に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

お父さん	1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった
お母さん	1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問２０ 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

お父さん	① 実際の取得期間	□ 歳 □□ か月
	② 希望の取得期間	□ 歳 □□ か月
お母さん	① 実際の取得期間	□ 歳 □□ か月
	② 希望の取得期間	□ 歳 □□ か月

問２１ **問20で、実際の復帰と希望が異なる方にお聞きします。**

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

（○は該当するそれぞれに１つ）

（１）希望より「早く」復帰した方

お父さん	1. 希望する保育園等に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせたため 5. その他（　　）
お母さん	1. 希望する保育園等に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせたため 5. その他（　　）

（２）希望より「遅く」復帰した方

お父さん	1. 希望する保育園等に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他（　　）
お母さん	1. 希望する保育園等に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他（　　）

問２２ 問 16 で「1.」（現在育児休業中）と答えた方にお聞きします。

お子さんが１歳になったときに必ず利用できる保育園等があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育園等があっても１歳になる前に復帰しますか。

（○は該当するそれぞれに１つ）

お父さん	1. １歳になるまで育児休業を取得したい 2. １歳になる前に復帰したい
お母さん	1. １歳になるまで育児休業を取得したい 2. １歳になる前に復帰したい

問２３ 保護者にとって、子どもを育てながら働くために、特にどんなことが必要だと思いますか。現在就労していない方もお答えください。（○は２つまで）

1. 夫婦が家事や育児を分担し、協力しあうこと
2. 育児休業中の経済的支援の充実
3. 病児・病後児保育や一時保育などの多様な保育サービスの充実
4. 子育て者に配慮した労働条件・制度があり、それが実際に活用できる職場環境
5. 再就職のための職業訓練、就業・企業相談などの就業支援
6. その他（　　）

お父さんの家事・育児についておたずねします

※問 24～25 に関しては、必ずお父さんの考えをお書きください。
お父さんがいない場合は、お答えいただく必要はありません。

問２４ お父さんは、どのように家事・育児をしていますか。（○は１つ）

1. 積極的にしている
2. 部分的にしている
3. あまりしていない
4. まったくしていない

問２５ 問 24 で「3.」、「4.」（家事・育児を（あまり）していない）と答えた方にお聞きします。

お父さんが家事・育児を（あまり）していないのはなぜですか。（○はいくつで

1. 母親がした方がよいと思うから
2. かかわり方がわからないから
3. 仕事などにより時間的に難しいから
4. 自分の時間（趣味など）を優先したいから
5. その他（　　）

「生活」の中のバランスについておたずねします。就業の有無にかかわらずお答えください。

※お父さん又はお母さんがいない場合は、それぞれへの質問にはお答えいただく必要はありません。

問２６ 生活の中での「仕事」「家事・育児」「自分の時間（趣味など）」について、希望する優先度、現実の優先度、それぞれ一番近いものはどれですか。

（○はそれぞれに１つ）

	希望の優先度	現実の優先度
お父さん	1. 仕事を優先したい 2. 家事・育児を優先したい 3. 自分の時間を優先したい 4. 全てを両立させたい 5. その他（　　）	1. 仕事を優先している 2. 家事・育児を優先している 3. 自分の時間を優先している 4. 全てを両立させている 5. その他（　　）
お母さん	1. 仕事を優先したい 2. 家事・育児を優先したい 3. 自分の時間を優先したい 4. 全てを両立させたい 5. その他（　　）	1. 仕事を優先している 2. 家事・育児を優先している 3. 自分の時間を優先している 4. 全てを両立させている 5. その他（　　）

問２７ 現在の生活において、「仕事」「家事・育児」「自分の時間（趣味など）」のバランスをうまくとるために必要なことは何だと思いますか。

（○は主なものを２つまで）

1. 効率よく時間を使うなど、自分自身が工夫・意識すること
2. 家事・育児における夫婦の協力
3. 祖父母など配偶者以外の家族の協力
4. 行政や民間の子育て支援・サービス
5. 育児休業など、職場の支援・理解
6. 地域の集まりやサークルなど近隣同士の支えあい
7. その他（　　）

対象のお子さんについて、平日の保育・教育状況について現状をおたずねします

問２８（１）宛名のお子さんは現在、保育園や幼稚園などの「定期的な保育・教育事業」を利用されていますか。　（○は１つ○）

1. 利用している　⇒問 28－(2)へ　　2. 利用していない　⇒問 31 へ

（２）**問 28（１）で「1.」（利用している）と答えた方にお聞きします。**
宛名のお子さんは、平日どのような保育・教育事業を利用していますか。年間を通じて、「定期的に」利用している事業をお答えください。
（○はいくつでも）

1. 公立認可保育園
2. 私立認可保育園
3. 公立幼稚園
4. 私立幼稚園
5. 幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
6. 認定こども園
7. 家庭的保育
（他者の家庭等で子どもを保育する事業）
8. 事業所内保育施設
（企業が主に従業員用に運営する施設）
9. その他認可外保育施設
10. 自治体の認証・認定保育施設
（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
11. ファミリー・サポート・センター
12. 居宅訪問型保育
（他者が子どもの家庭で保育する事業）
13. その他（　　）

※保育園とは？
保護者が共働き等により家にいないため、保育を必要とする 0～5 歳児に対して保育を行なう施設です。

※幼稚園とは？
満 3～5 歳児に対して学校教育を行なう施設です。

※認定こども園とは？
幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設です。長岡市内に 15 園あります。

※ファミリー・サポート・センターとは？
子育てのお手伝いをしたい人（提供会員）と、お手伝いを頼みたい人（依頼会員）がそれぞれ会員となり、地域で子育ての助け合いを有償で行う会員組織です。具体的には保育園、幼稚園などへの送迎、保育園や幼稚園などの開始前、終了後にお子さんを預かるなどの援助があります。

（３）平日に定期的に利用している保育・教育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。
時間は必ず、24 時間制でお答えください。（例）０８時～１８時

①現状	1 週当たり □ 日 1 日当たり □□ 時間 （□□ 時～ □□ 時）	②希望	1 週当たり □ 日 1 日当たり □□ 時間 （□□ 時～ □□ 時）

（４）利用している保育・教育事業の実施場所はどこですか。（○は１つ）

1. 長岡地域
2. 中之島地域
3. 越路地域
4. 三島地域
5. 山古志地域
6. 小国地域
7. 和島地域
8. 寺泊地域
9. 栃尾地域
10. 与板地域
11. 川口地域
12. 市外（　　）

問２９　**通園バスを利用されていない方にお聞きします。**
自宅からの片道の通園時間はどのくらいですか。（○は１つ）

1. 5 分未満
2. 5 分以上 10 分未満
3. 10 分以上 20 分未満
4. 20 分以上 30 分未満
5. 30 分以上 40 分未満
6. 40 分以上

問３０ **現在、お子さんが保育園、幼稚園に通っている方にお聞きします。**

宛名のお子さんが通う保育園、幼稚園に対してどのように感じていますか。

（○は 1～13 のそれぞれに１つ）

項目	大変満足	ほぼ満足	やや不満	大変不満
1 施設・環境（園舎・園庭、玩具など）	1	2	3	4
2 保育士（教諭）の配置状況（人員体制）	1	2	3	4
3 子どもへの接し方･日常の遊び(保育内容)	1	2	3	4
4 行事（保育参観や運動会など）	1	2	3	4
5 食事	1	2	3	4
6 病気やけがの時の対応	1	2	3	4
7 保護者への情報伝達	1	2	3	4
8 悩みごとなどへの相談対応	1	2	3	4
9 保護者の要望・意見への対応	1	2	3	4
10 利用者間のネットワークづくり	1	2	3	4
11 安全対策	1	2	3	4
12 衛生対策	1	2	3	4
13 保育料または授業料	1	2	3	4

宛名のお子さんの平日の保育・教育について、希望をおたずねします

問３１ （１）すべての方におたずねします。現在、利用している、利用していないに関わらず、宛名のお子さんの平日の保育・教育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（○はいくつでも）

1. 認可保育園
2. 幼稚園
3. 幼稚園の預かり保育
   （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
4. 認定こども園
5. 小規模な保育施設
   （国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね 6～19 人のもの）
6. 家庭的保育
   （他者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設
   （企業が主に従業員用に運営する施設）
8. その他認可外保育施設
9. 自治体の認証・認定保育施設
   （認可保育園ではないが、自治体が認証･認定した施設）
10. ファミリー・サポート・センター
11. 居宅訪問型保育
    （他者が子どもの家庭で保育する事業）
12. その他（　　）
13. 利用希望はない

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

（２）**（１）で「1.」～「12.」（平日の保育・教育事業を利用したい）と答えた方にお聞きします。**

利用したい保育・教育事業の実施場所はどこですか。（○は１つ）

1. 長岡地域
2. 中之島地域
3. 越路地域
4. 三島地域
5. 山古志地域
6. 小国地域
7. 和島地域
8. 寺泊地域
9. 栃尾地域
10. 与板地域
11. 川口地域
12. 市外（　　）

（３）**（１）で「1.」「2.」「4.」（保育園、幼稚園、認定こども園）と答えた方にお聞きします。**

園を選ぶ時に、何に重点を置きますか。（○は３つまで）

1. 活動内容（評判）が良い
2. 開園している時間が長い
3. 産休明け（産後２ヶ月）保育を行なっている
4. 通園バスがある
5. 居住地や親族の家、通勤場所に近い
6. 公立である
7. 私立である
8. 施設面が良い
9. 料金が安い
10. その他（　　）

（4）**（1）で「2.」（幼稚園）または「3.」（幼稚園の預かり保育）に○をつけ、かつ「1.」、「4.」～「12.」（幼稚園以外の教育・保育事業）にも○をつけた方にお聞きします。**

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は１つ）

1. はい　　2. いいえ

宛名のお子さんの土曜日・休日の保育について、希望をおたずねします

問３２　宛名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日の定期的な保育・教育事業（一時的な利用や親族・知人による預かりは除きます）の利用希望が現在ありますか。現在の利用状況に関係なく、お答えください。当てはまる番号１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

■土曜日

1. ほぼ毎週利用したい
（利用希望時間□□時□□分から□□時□□分まで）
2. 月に 1～2 日利用したい
（利用希望時間□□時□□分から□□時□□分まで）
3. 利用希望はない

■日曜日・祝日

1. ほぼ毎週利用したい
（利用希望時間□□時□□分から□□時□□分まで）
2. 月に 1～2 日利用したい
（利用希望時間□□時□□分から□□時□□分まで）
3. 利用希望はない

問３３　幼稚園を利用されている方にお聞きします。

宛名のお子さんについて、長期休暇期間に教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

※この事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. ほぼ毎日利用したい
（利用希望時間□□時□□分から□□時□□分まで）
2. 週に数日利用したい
（利用希望時間□□時□□分から□□時□□分まで）
3. 利用希望はない

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についておたずねします

問３４　地域の子育て支援事業を利用したことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

1. 保育園、認定こども園等の子育て支援センター等を利用したことがある
（1 週あたり□回　もしくは 1 ヶ月あたり□回　もしくは年□回程度）
2. 子育ての駅を利用したことがある
（1 週あたり□回　もしくは 1 ヶ月あたり□回　もしくは年□回程度）
3. どちらも利用したことはない

※子育て支援センターとは？

主に園の中にあり、親子で遊ぶことのできる場所です。育児不安についての相談･指導、利用者の交流やサークル支援活動など様々な行事を通して地域全体の子育てを支援しています。

※子育ての駅とは？

「てくてく」「ちびっこ広場」「ぐんぐん」など、市内 13 か所に設置された、保育士や子育てコンシェルジュのいる子育て支援施設で、単なる遊び場ではなく、保育、相談対応や情報提供などを行っています。

問３５ 地域の子育て支援事業の利用希望についておたずねします。それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

＜保育園、認定こども園等の子育て支援センター等について＞

1. 利用していないが、今後利用したい

（1週あたり □ 回　もしくは1ヶ月あたり □ 回　もしくは年 □ 回程度）

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

（更に1週あたり □ 回　もしくは1ヶ月あたり □ 回　もしくは年 □ 回程度）

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

＜子育ての駅について＞

1. 利用していないが、今後利用したい

（1週あたり □ 回　もしくは1ヶ月あたり □ 回　もしくは年 □ 回程度）

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

（更に1週あたり □ 回　もしくは1ヶ月あたり □ 回　もしくは年 □ 回程度）

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない　**→問 36 へ**

問３６ 問 35 の＜子育ての駅＞で、「3.」（新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない）と答えた方にお聞きします。

新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない理由は何ですか。

（○はいくつでも）

1. いつ、どのようなことをしているか知らない
2. （もっと）利用したいが、場所が遠いので、利用するのが大変
3. （もっと）利用したいが、希望する曜日、時間帯と合わない
4. （もっと）利用したいが、なかなか時間がとれない
5. 利用したいと思う内容ではない
6. 不愉快な思いや危険だと思う場面にあったことがある
7. 他の利用者との関わり・交流がわずらわしい
8. 近隣にある他の施設・サービスをよく利用するため
   （具体的な施設名：　　）
9. 今の利用で十分だから
10. その他（　　）

宛名のお子さんが、現在、保育園、幼稚園、認定こども園、認可外保育施設等に通っている方へ、宛名のお子さんが病気の時の対応についておたずねします

問３７ （１）問 28（平日の定期的な保育・教育の事業）で「1.」（利用している）と答えた保護者の方にお聞きします。利用していない方は、問 39 にお進みください。

この１年間に、宛名のお子さんが病気や怪我で通常の事業が利用できなかったことはありますか。（○は１つ）

1. あった　⇒　問 37－(2) へ　　2. なかった　⇒　問 39 へ

（２）宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している保育・教育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行なった対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）

1. お父さんが仕事を休んだ	□□	日
2. お母さんが仕事を休んだ	□□	日
3. 親族･知人にみてもらった（同居者を含む）	□□	日
4. 両親のうち、就労していない方が子どもをみた	□□	日
5. 病児・病後児のための保育施設（※）を利用した	□□	日
6. ベビーシッターを利用した	□□	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□	日
8. 子どもだけで留守番をさせた	□□	日
9. その他（　　）		

※病児・病後児のための保育施設とは？

児童が発熱等の急な病気となった場合、専用スペース等において看護師等により一時的に保育する病院・保育園等の施設や、保育中に体調不良となった児童を看護師等により緊急的な対応を行なう保育園の医務室等の施設です。保育園・幼稚園児から小学生までが利用することができます。

現在、長岡市内には、病児･病後児保育施設が２箇所、病後児保育施設が５箇所あります。

問３８ 問 37-(2)で「1.」「2.」(お父さんまたはお母さんが仕事を休んだ) と答えた方にお聞きします。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまるもの１つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい　□□ 日
2. 利用したいとは思わない

すべての方へ、お子さんの一時預かりについておたずねします

問３９ 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありましたか。あった場合は、当てはまるものすべてに○をつけ、1 年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

1. 保育園等での一時預かり　□□ 日
（私用など理由を問わずに、保育園などで一時的に子どもを保育する事業）
2. 幼稚園の預かり保育　□□ 日
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ）
3. ファミリー・サポート・センター　□□ 日
4. ベビーシッター　□□ 日
5. その他（　　）　□□ 日
6. 利用していない

問４０ 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。
※この事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 私用（買い物、子どもや親の習い事等)、リフレッシュ目的　□□ 日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等　□□ 日
3. 不定期の就労　□□ 日
4. その他（　　）　□□ 日
5. 利用する必要はない

問４１ この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この 1 年間の対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字)。

1. 親族･知人にみてもらった（同居者を含む）　□□ 泊
2. 認可外保育施設、ベビーシッターなどを利用した　□□ 泊
3. 子どもを同行させた　□□ 泊
4. 留守番をさせた　□□ 泊
5. その他（　　）　□□ 泊
6. なかった

宛名のお子さんが 5 歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についておたずねします。

問４２ 宛名のお子さんについて、小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（１～３年生）と高学年（４～６年生）、それぞれについてご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

■低学年（１～３年生）の時

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母や親せき宅	週		日くらい
3. 子どもの友達宅	週		日くらい
4. 習い事	週		日くらい
5. 児童館　※１	週		日くらい
6. 放課後児童クラブ　※２	週		日くらい
	⇒下校から		時まで
7. 放課後子ども教室　※３	週		日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい
9. 放課後等デイサービス　※４	週		日くらい
10. その他（　　）	週		日くらい

■高学年（４～６年生）の時

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母や親せき宅	週		日くらい
3. 子どもの友達宅	週		日くらい
4. 習い事	週		日くらい
5. 児童館　※１	週		日くらい
6. 放課後児童クラブ　※２	週		日くらい
	⇒下校から		時まで
7. 放課後子ども教室　※３	週		日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい
9. 放課後等デイサービス　※４	週		日くらい
10. その他（　　）	週		日くらい

※１　**児童館：**いろいろな年齢の子どもたちが自由に遊んだり、行事に参加する中で情操豊かで健全な児童を育てることを目的とした施設です。

※２　**放課後児童クラブ：**昼間保護者が仕事や病気などの理由により不在になる家庭の小学生を対象に、保護者が迎えに来るまでの間、遊んだり、学んだりしながら児童の健全育成を図る事業です。

※３　**放課後子ども教室：**地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校やコミュニティセンターで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※４　**放課後等デイサービス：**発達に心配のある就学後の子ども（小学生から高校生まで）を対象とした障害児向けの通所支援サービスです。放課後や休日、夏休みなどの長期休暇において、生活能力向上や集団生活への適応のための支援を行います。

子どもの発達についておたずねします

問４３ 子どもの発達障害の内容について知っていますか。（○は１つ）

1. 知っている
2. ある程度は知っている
3. 知らない

問４４ **問 43 で「1.」「2.」（知っている、ある程度は知っている）と答えた方にお聞きします。**

それはどのような機会に知りましたか。（○はいくつでも）

1. テレビ、インターネット、本・雑誌など
2. 知り合いや家族から聞いた
3. 保育園・幼稚園・認定こども園等で聞いた
4. 医療機関で聞いた
5. 研修・講座などで知った
6. その他（　　）

問４５ 子どもの発達に関する不安（言葉や行動など）を相談するとしたら、どのような場所・機会なら相談しやすいですか。（○は３つまで）

1. 匿名で相談できる
2. 個別の相談室で安心して話ができる
3. 子育ての駅などオープンな場所や窓口で気軽に相談できる
4. 保育園・幼稚園・認定こども園等
5. 予約制できっちり話ができる（希望する予約方法：　　）
6. 予約なしで相談ができる
7. 電話で相談できる
8. 直接会って相談できる
9. 家庭訪問してもらえる
10. 夕方以降に相談できる（希望する時間帯：　　）
11. 土日に相談できる（希望する曜日と時間帯：　　）
12. その他（　　）

子育て支援についておたずねします

問４６ 下記の「1.」～「12.」のサービスを知っていたり、これまでに利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。
（サービスの種類ごとに、「はい」→１、「いいえ」→２のどちらかに○を１つ）

サービスの種類	知っている		これまでに利用したことがある		今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 家庭児童相談室（子どもと家庭の困りごとに関する相談窓口）	1	2	1	2	1	2
2. パパママサークル	1	2	1	2	1	2
3. 子育ての駅	1	2	1	2	1	2
4. ままリラ（妊産婦の心身や育児に関する相談窓口）	1	2	1	2	1	2
5. ままナビ（保育士から具体的な育児方法について学ぶ場）	1	2	1	2	1	2
6. ままのまカフェ（子育ての駅や地域のコミュニティセンターにおいて、母子保健推進員が開催する茶話会と相談会）	1	2	1	2	1	2
7. ファミリー・サポート・センター（会員制による一時預かりを中心とした相互援助活動）	1	2	1	2	1	2
8. こども発達相談室（子どもの発達不安に関する相談窓口）	1	2	1	2	1	2
9. こどもすこやか応援事業（保育園･幼稚園における、子どもの発達に関する相談窓口）	1	2	1	2	1	2
10. 母子保健推進員がコミセン等地域の会場で実施する講座（例：離乳食講座、親子体操など）」	1	2	1	2	1	2
11. 産前産後家庭生活応援事業（妊産婦が家事などを事業者に委託する際の費用を助成）	1	2	1	2	1	2
12. 子ども家庭センターの子育て支援講座（例：NP講座など）	1	2	1	2	1	2

問４７ 長岡市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけ、その理由をご記入ください。

とても満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
1	2	3	4	5

＜理由＞

子育て支援に関する市の施策に関するご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。

項目数が多いにもかかわらず調査にご協力いただき、
大変ありがとうございました。

【小学校児童保護者用】

長岡市子育て・育ち“あい”プラン
策定に関するニーズ調査票

保護者各位

調査のお願い

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、本市では、子ども・子育て支援を推進するため、平成27年度に「長岡市子育て・育ち“あい”プラン」を策定し、計画的な取り組みを実施しています。来年度、この計画が最終年度を迎えることから、現行計画の見直しを行い、次期計画を策定いたします。

本調査は、次期計画の策定にあたり皆様のご意見を反映した計画とするために実施するもので、小学生のお子さんがいらっしゃる方にご協力をお願いしています。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月
長岡市教育委員会

回答期限　12月10日（月）まで

【 調査に関する問い合わせ先 】

長岡市教育委員会子ども未来部

子ども家庭課子育て支援係

電話：0258-39-2300　電話受付時間（平日8：30－17：15）
FAX ：0258-39-2605
Mail：kodomo@city.nagaoka.lg.jp

アンケート調査について

・この調査は、市内にお住まいの小学生のお子さんを各小学校のクラス単位で抽出し、その保護者の方にご協力をお願いするものです。

・ご回答いただいた内容は、子ども・子育て支援施策の検討のみに利用させていただき、それ以外の目的には利用いたしません。

・調査は無記名のため、個人が特定されることは決してありません。また、ご回答いただいた内容は、実際の施設やサービスの利用の可否などには一切影響ありません。

調査票のご記入にあたってのお願い

1．この調査は、調査票をお配りしたお子さんを対象にしています。保護者の方がご記入ください。

2．お父さん、お母さんがいない場合は、それぞれへの質問には答える必要はありません。

3．ご記入は、鉛筆または黒のボールペンでお願いします。

4．お答えは調査票の該当する項目の番号を〇印で囲んでください。
また、［　　］には数字をご記入ください。
時間は、24時間制（例：午後8時→20時）でご記入ください。

5．この調査票及び返信用封筒には、お名前を記入していただく必要はありません。

6．調査票のご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ封をして、
12月10日（月）までに、学校の先生にお渡しください。

回答者についておたずねします

問１ ご回答いただく方はどなたですか。続柄は対象のお子さんからみた関係です。（○は１つ）

1. お母さん
2. お父さん
3. その他（　　）

問２ 配偶関係についてお答えください。（○は１つ）

1. 配偶者がいる
2. 配偶者はいない

宛名のお子さんとご家族の状況についておたずねします

問３ 現在、対象のお子さんが住んでいる地域はどちらですか。（○は１つ）

1. 長岡地域
2. 中之島地域
3. 越路地域
4. 三島地域
5. 山古志地域
6. 小国地域
7. 和島地域
8. 寺泊地域
9. 栃尾地域
10. 与板地域
11. 川口地域

問４ 対象のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

平成　　年　　月　生まれ

問５ 対象のお子さんの兄弟姉妹について、対象のお子さん本人を含んだ人数をご記入ください。２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生まれた年と月をご記入ください。

兄弟姉妹　　人

末子の生年月日　平成　　年　　月生まれ

問６ 対象のお子さんと同居している方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。（○はいくつでも）

1. 父
2. 母
3. 祖父
4. 祖母
5. その他（兄弟姉妹以外）

問７ 対象のお子さんも含み、同居しているご家族は全員で何人ですか。

　　人

問８ 対象のお子さんの子育て（教育を含む）の役割を担っている方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。（○は１つ）

1. 父母ともに
2. 主にお母さん
3. 主にお父さん
4. 主に祖父母
5. その他（　　）

問９ 日頃、対象のお子さんを預かってもらえる人はいますか。（○はいくつでも）

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いない

問１０ **問 9 で「1.～4.」（預かってもらえる人がいる）と答えた方にお聞きします**

お子さんを預かってもらう状況についてお答えください。（○はいくつでも）

1. 親族・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 親族・知人の身体的な負担が大きく心配である
3. 親族・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（　　）

問１１ 子育てに関する悩みや不安を誰に相談していますか。（○はいくつでも）

1. 配偶者（夫又は妻）・パートナー
2. その他の親族（親、兄弟姉妹など）
3. 近所の人、地域の人
4. 知人・友人
5. 保育士、幼稚園の先生
6. 小学校の先生
7. 児童館・児童クラブの職員
8. 自治体の子育て関連窓口
9. インターネットを利用した相談サービス
10. 相談しない
11. その他（　　）

問１２ **問 11 で「10.」（相談しない）と答えた方にお聞きします。**

→それ以外の方は問 14 へ

相談しないのはなぜですか。（○はいくつでも）

1. 特に悩みや不安は無いから
2. ひとりで解決できるから
3. 適当な相談相手がいないから
4. 相談するのが嫌だから
5. 相談するのが面倒だから
6. どこに相談したらよいかわからないから
7. 相談したい場所がないから
8. その他（　　）

問１３ **問 12 で「7.」（相談したい場所がない）と答えた方にお聞きします。**

どのような所だったら、相談しやすいと思いますか。（○は３つまで）

1. 匿名で相談できる
2. 個別の相談室で安心して話ができる
3. オープンな場所や窓口で気軽に相談できる
4. 予約制できっちり話ができる（希望する予約方法：　　）
5. 予約なしで相談ができる
6. 電話で相談できる
7. 直接会って相談できる
8. 家庭訪問してもらえる
9. 夕方以降に相談できる（希望する時間帯：　　）
10. 土日に相談できる（希望する曜日と時間帯：　　）
11. その他（　　）

対象のお子さんの生活についておたずねします

問１４ 対象のお子さんは、どのように朝食をとっていますか。（○は１つ）

1. 主食とおかずをバランスよく毎日食べる
2. ほぼ毎日食べるが、主食やおかずにかたよりがある
3. 朝食を食べるときと食べない時が半々
4. ほとんど食べない

問１５ 対象のお子さんは平日の夜、何時ごろに寝ていますか。（○は１つ）

1. 21 時前
2. 21 時ごろ
3. 21 時半ごろ
4. 22 時ごろ
5. 22 時半ごろ
6. 23 時ごろ
7. 23 時半ごろ
8. 24 時以降

問１６ 対象のお子さんは家でお手伝いをしますか。（○は１つ）

1. ほとんど毎日手伝う
2. 時々手伝う
3. 手伝わない

問１７ 家庭生活において、対象のお子さんに対してきちんとしつけをしていると思いますか。（○は１つ）

1. きちんとしている
2. どちらかと言えばしている
3. どちらかと言えばしていない
4. 全くしていない

問１８ 対象のお子さんは、平日に家庭学習（宿題を含む）をだいたいどのくらいしますか。（○は１つ）

1. 全く、またはほとんどしない
2. 30 分未満
3. 30 分から 1 時間くらい
4. 1 時間から 2 時間くらい
5. 2 時間から 3 時間くらい
6. 3 時間以上

問１９ 宛名のお子さんは、学校に行くのを楽しみにしていますか。（○は１つ）

1. とても楽しみにしている
2. 少しは楽しみにしている
3. どちらともいえない
4. あまり楽しみにしていない
5. まったく楽しみにしていない

問２０

① 対象のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのように過ごされていますか。

② 希望としては、対象のお子さんをどのように過ごさせたいですか。

	① ＜ 現状 ＞	② ＜ 希望 ＞
1. 自宅	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
2. 祖父母や親せき宅	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
3. 子どもの友達宅	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
4. 習い事	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
5. 児童館　※１	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
6. 放課後児童クラブ　※２	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
	⇒下校から □□ 時まで	⇒下校から □□ 時まで
7. 放課後子ども教室　※３	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
9. 放課後等デイサービス　※４	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
10. その他（　　）	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい

※１　児童館とは？

いろいろな年齢の子どもたちが自由に遊んだり、行事に参加する中で情操豊かで健全な児童を育てることを目的とした施設です。

※２　放課後児童クラブとは？

昼間保護者が仕事や病気などの理由により不在になる家庭の小学生を対象に、保護者が迎えに来るまでの間、遊んだり、学んだりしながら児童の健全育成を図る事業です。

※３　放課後子ども教室とは？

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校やコミュニティセンターで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※４　放課後等デイサービスとは？

発達に心配のある就学後の子ども（小学生から高校生まで）を対象とした障害児向けの通所支援サービスです。放課後や休日、夏休みなどの長期休暇において、生活能力向上や集団生活への適応のための支援を行います。

問２１　今後学校以外の活動で、対象のお子さんに参加させたい活動は何ですか。

（○は主なものを３つまで）

1. 理科に親しむための実験活動等の学びを深めたり広めたりする活動
2. 学習の基礎を定着させるための指導や英語教室等の補充学習
3. ロボコン等のプログラミング活動
4. ダンス・音楽等の芸術活動
5. 茶道・生け花・将棋等の日本文化活動
6. 体を動かすスポーツ活動
7. 手芸、工作等の創作活動
8. キャンプ等の野外レクリエーション活動
9. スキー、山登り、海水浴等の自然体験活動
10. 高齢者施設等の訪問等のボランティア活動
11. その他（　　）
12. 特にない

お父さんやお母さんの就労についておたずねします

※お父さん又はお母さんがいない場合は、それぞれへの質問にはお答えいただく必要はありません。

問２２（１）対象のお子さんの、ご両親の就労についての状況をおたずねします。

（○はそれぞれに１つ）

お父さん	1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない
お母さん	1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない

※フルタイム…１週５日程度・１日８時間程度の就労

パート・アルバイト等…「フルタイム」以外の就労

（2）**（1）で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で就労している）と答えた方にお聞きします。**

フルタイムへの転換希望はありますか。（○はお父さんとお母さんにそれぞれ１つ）

お父さん	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい
お母さん	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい

問２３ **問 22-(1) で「5.」「6.」（現在またはこれまで就労していない）と答えた方にお聞きします。**

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

お父さん	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2. １年より先、一番下の子どもが □ 歳になった頃に就労したい 3. すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい →希望する就労形態（ア．フルタイム イ．パートタイム、アルバイト等 →1 週あたり□ 日 1 日あたり□ 時間）
お母さん	1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2. １年より先、一番下の子どもが □ 歳になった頃に就労したい 3. すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい →希望する就労形態（ア．フルタイム イ．パートタイム、アルバイト等 →1 週あたり□ 日 1 日あたり□ 時間）

問２４ これまでに育児休業を取得したことがありますか。取得したことがある方はその期間（産休期間は除きます）はどのくらいですか。当てはまる番号それぞれ１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

お父さん	1. 現在育児休業中　（ 期間 □ 年 □ ヶ月 ） 2. 取得したことがある（ 期間 □ 年 □ ヶ月 ） 3. 取得しなかった 4. 就労していなかった
お母さん	1. 現在育児休業中　（ 期間 □ 年 □ ヶ月 ） 2. 取得したことがある（ 期間 □ 年 □ ヶ月 ） 3. 取得しなかった 4. 就労していなかった

問２５ **問 24 で「3.」（取得しなかった）と答えた方にお聞きします。**

取得しなかった理由はなんですか。（○は該当するそれぞれに１つ）

お父さん	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入源がなくなり、経済的に苦しくなる 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 取得する必要が無かったから 9. その他（　　）
お母さん	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入源がなくなり、経済的に苦しくなる 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 取得する必要が無かったから 9. その他（　　）

問２６ 保護者にとって子どもを育てながら、働くために特にどんなことが必要だと思いますか。現在就労していない方もお答えください。（○は２つまで）

1. 夫婦が家事や育児を分担し、協力しあうこと
2. 育児休業中の経済的支援の充実
3. 病児・病後児保育や一時保育などの多様な保育サービスの充実
4. 子育て者に配慮した労働条件・制度があり、それが実際に活用できる職場環境
5. 再就職のための職業訓練、就業・企業相談などの就業支援
6. その他（　　）

「生活」の中のバランスについておたずねします。就業の有無にかかわらずお答えください。

※お父さん又はお母さんがいない場合は、それぞれへの質問にはお答えいただく必要はありません。

問２７ 生活の中での「仕事」「家事・育児」「自分の時間（趣味など）」について、希望する優先度、現実の優先度、それぞれ一番近いものはどれですか。

（○はお父さんとお母さんにそれぞれ１つ）

	希望の優先度	現実の優先度
お父さん	1. 仕事を優先したい 2. 家事・育児を優先したい 3. 自分の時間を優先したい 4. 全てを両立させたい 5. その他（　　）	1. 仕事を優先している 2. 家事・育児を優先している 3. 自分の時間を優先している 4. 全てを両立させている 5. その他（　　）
お母さん	1. 仕事を優先したい 2. 家事・育児を優先したい 3. 自分の時間を優先したい 4. 全てを両立させたい 5. その他（　　）	1. 仕事を優先している 2. 家事・育児を優先している 3. 自分の時間を優先している 4. 全てを両立させている 5. その他（　　）

問２８ 現在の生活において、「仕事」「家事・育児」「自分の時間（趣味など）」のバランスをうまくとるために必要なことは何だと思いますか。

（○は主なものを２つまで）

1. 効率よく時間を使うなど、自分自身が工夫・意識すること
2. 家事・育児における夫婦の協力
3. 祖父母など配偶者以外の家族の協力
4. 行政や民間の子育て支援・サービス
5. 育児休業など、職場の支援・理解
6. 地域の集まりやサークルなど近隣同士の支えあい
7. その他（　　）

お父さんの家事・育児についておたずねします

※問 29、問 30 に関しては、必ずお父さんの考えをお書きください。
お父さんがいない場合は、お答えいただく必要はありません。

問２９ お父さんは、どのように家事・育児をしていますか。（○は１つ）

1. 積極的にしている
2. 部分的にしている
3. あまりしていない
4. まったくしていない

問３０ **問 29 で「3.」「4.」（あまり、まったくしていない）と答えた方にお聞きします。**

お父さんが家事・育児を（あまり）していないのはなぜですか。

（○はいくつでも）

1. 母親がした方がよいと思うから
2. かかわり方がわからないから
3. 仕事などにより時間的に難しいから
4. 自分の時間（趣味など）を優先したいから
5. その他（　　）

対象のお子さんが病気の時の対応についておたずねします

問３１ 対象のお子さんが病気やけがで学校等を休んだ場合に、この１年間に行なった対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）

1. お父さんが仕事を休んだ　□□ 日
2. お母さんが仕事を休んだ　□□ 日
3. 親族･知人にみてもらった（同居者を含む）　□□ 日
4. 両親のうち、就労していない方が子どもをみた　□□ 日
5. 病児・病後児のための保育施設（※）を利用した　□□ 日
6. ベビーシッターを利用した　□□ 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した　□□ 日
8. 子どもだけで留守番をさせた　□□ 日
9. その他（　　）

※病児・病後児のための保育施設とは？

児童が発熱等の急な病気となった場合、専用スペース等において看護師等により一時的に保育する病院・保育園等の施設や、保育中に体調不良となった児童を看護師等により緊急的な対応を行なう保育園の医務室等の施設です。保育園・幼稚園児から小学生までが利用することができます。

現在、長岡市内には、病児・病後児保育施設が２箇所、病後児保育施設が５箇所ありま

問３２ **問 31 で「1.」「2.」（お父さんまたはお母さんが仕事を休んだ）と答えた方にお聞きします。**その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまるもの１つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい　□□ 日
2. 利用したいとは思わない

すべての方へ、お子さんの一時預かりについておたずねします

問３３ 対象のお子さんについて、病気などのため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありましたか。あった場合は当てはまるものすべてに○をつけ、１年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1. ファミリー・サポート・センター　□□ 日
2. ベビーシッター　□□ 日
3. その他（　　）　□□ 日
4. 利用していない

問３４ 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。
※この事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 私用（買い物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的　□□ 日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等　□□ 日
3. 不定期の就労　□□ 日
4. その他（　　）　□□ 日
5. 利用する必要はない

問３５ この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、対象のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□ないに数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 親族･知人にみてもらった（同居者を含む）　□□ 泊
2. ベビーシッターなどを利用した　□□ 泊
3. 子どもを同行させた　□□ 泊
4. 留守番をさせた　□□ 泊
5. その他（　　）　□□ 泊
6. なかった

子育て支援についておたずねします

問３６ 下記の「1.」～「6.」のサービスを知っていたり、これまでに利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。
（サービスの種類ごとに、「はい」→１、「いいえ」→２のどちらかに○を１つ）

サービスの種類	知っている		これまでに利用したことがある		今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 子育ての駅	1	2	1	2	1	2
2. ファミリー・サポート・センター（会員制による一時預かりを中心とした相互援助活動）	1	2	1	2	1	2
3. 家庭児童相談室（子どもと家庭の困りごとに関する相談窓口）	1	2	1	2	1	2
4. こども発達相談室（子どもの発達不安に関する相談窓口）	1	2	1	2	1	2
5. 子ども家庭センターの子育て支援講座（例：NP講座など）	1	2	1	2	1	2
6. 青少年育成センター	1	2	1	2	1	2

成人式についておたずねします

長岡市の成人式は現在、満年齢２０歳のときに地域ごとに実施していますが、２０２２年から成人年齢が２０歳から１８歳に引き下げられることを踏まえてお答えください。

問３７ 成人式は、いつ開催するのがよいですか。（○は１つ）

1. 成人したとき（現在は 20 歳、2022 年以降は 18 歳）
2. 20 歳になったとき（「二十歳の集い」（仮称）として）
3. 開催しなくてよい

※成人年齢が１８歳になっても、飲酒、喫煙等については２０歳になるまで法律で禁じられています。

問３８ 成人式は、どのように開催するのがよいですか。（○は１つ）

1. 市内１か所でゴールデンウィークに
2. 市内１か所でお盆に
3. 地域ごとにゴールデンウィークに
4. 地域ごとにお盆に
5. 現在の開催方法（地域ごとにゴールデンウィーク（5/3･･･長岡、越路、栃尾、川口、小国）またはお盆（8/14･･･山古志、8/15･･･与板、中之島、和島、三島、寺泊）に開催）

※地域･･･市町村合併前の市町村単位

長岡市の子育て支援についての満足度をお聞かせください。

問３９ 長岡市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号１つに○をつけ、その理由をご記入ください。

とても満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
1	2	3	4	5

＜理由＞

子育て支援に関する市の施策に関するご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。

項目数が多いにもかかわらず調査にご協力いただき、
大変ありがとうございました。

【中学生・高校生用】

長岡市子育て・育ち“あい”プラン
策定のための意識調査票

中学生・高校生の皆さんへ

調査のお願い

学校や家庭生活等で充実した日々を送っておられることと思います。

さて、本市では、子どもの健やかな成長と子育て家庭への支援を推進するため、平成27年度に「長岡市子育て・育ち“あい”プラン」を策定し、計画的な取り組みを実施しています。来年度、この計画が最終年度を迎えることから、現行計画の見直しを行い、次期計画を策定いたします。

計画策定にあたっては中学生・高校生の皆さんの声を反映し、より長岡市の実態に合った計画とするために、皆さんに意識調査をお願いすることにいたしましたので、どうかご協力くださるようお願いいたします。

平成30年11月
長岡市教育委員会

回答期限　12月10日（月）まで

【 調査に関する問い合わせ先 】

長岡市教育委員会子ども未来部

子ども家庭課子育て支援係

電話：0258-39-2300　電話受付時間（平日8：30－17：15）
FAX　：0258-39-2605
Mail：kodomo@city.nagaoka.lg.jp

アンケート調査について

・この調査は、市内の中学校・高等学校の生徒の皆さんに、各学校のクラス単位でご協力をお願いするものです。

・ご回答いただいた内容は、子ども・子育て支援施策の検討のみに利用させていただき、それ以外の目的には利用いたしません。また、学校の先生が回答を見ることもありません。

・調査は無記名のため、個人が特定されることは決してありません。また、ご回答いただいた内容は、実際の施設やサービスの利用の可否などには一切影響ありません。

調査票のご記入にあたってのお願い

1. あなたについてお聞きしますので、あなたの考えをご記入ください。
2. ご記入は、鉛筆または黒のボールペンでお願いします。
3. お答えは調査票の該当する項目の番号を〇印で囲んでください。
   また、［　　］には数字をご記入ください。
   時間は、24時間制（例：午後8時→20時）でご記入ください。
4. この調査票及び返信用封筒には、お名前を記入していただく必要はありません。
5. 調査票の記入が終わりましたら、12月10日（月）までに以下の方法でご提出ください。

   〇中学生の方　…　同封の返信用封筒に入れて封をし、担任の先生に提出

   〇高校生の方　…　同封の返信用封筒に入れて封をし、郵送にて提出
   （切手は不要です）

あなた自身についておたずねします

問1 あなたは何年生ですか。（○は１つ）

1. 中学１年生
2. 中学２年生
3. 中学３年生
4. 高校１年生
5. 高校２年生
6. 高校３年生

問2 現在住んでいる地域はどちらですか。（○は１つ）

1. 長岡地域
2. 中之島地域
3. 越路地域
4. 三島地域
5. 山古志地域
6. 小国地域
7. 和島地域
8. 寺泊地域
9. 栃尾地域
10. 与板地域
11. 川口地域
12. 市外

あなたの日常生活についておたずねします

問3 あなたは、家で手伝いをしますか。（○は１つ）

1. ほとんど毎日手伝う
2. 時々手伝う
3. 手伝わない

問4 問３で「1.」「2.」（手伝う）を選んだ方へおたずねします。
どんなことを手伝いますか。（○は主なものを２つまで）

1. 食事の準備や後片付け
2. 掃除
3. 洗濯
4. 介護
5. 兄弟姉妹などの世話
6. 買い物
7. 家業を手伝う
8. その他（　　）

問5 平日の帰宅時間は何時頃ですか。（○は１つ）

1. 15 時以前
2. 15 時～17 時
3. 17 時～19 時
4. 19 時～21 時
5. 21 時以降

問6 あなたは放課後どこにいることが多いですか。（○は主なものを３つまで）

1. 自宅
2. 友だちの家
3. 学校（部活動を含む）
4. ゲームセンター・カラオケ店
5. ファミリーレストラン・ファーストフード店
6. 大型ショッピングセンターや駅前等のショッピングできる場所
7. アオーレ、まちキャン、トモシアなどまちなかの公共施設
8. 図書館・児童館等の公共施設
9. 公園・広場
10. 学習塾・予備校
11. 学習塾以外の習い事
12. アルバイト先
13. その他（　　）

問7 あなたは土日・祝日どこにいることが多いですか。
（○は主なものを３つまで）

1. 自宅
2. 友だちの家
3. 学校（部活動を含む）
4. ゲームセンター・カラオケ店
5. ファミリーレストラン・ファーストフード店
6. 大型ショッピングセンターや駅前等のショッピングできる場所
7. アオーレ、まちキャン、トモシアなどまちなかの公共施設
8. 図書館・児童館等の公共施設
9. 公園・広場
10. 学習塾・予備校
11. 学習塾以外の習い事
12. アルバイト先
13. その他（　　）

問8 問６、問７で「12.」（アルバイト先）と答えた方にお聞きします。
アルバイトで得た収入の主な使い道は何ですか。（○は１つ）

1. 家計など家族の生活費
2. 衣服や飲食費など自分の生活費
3. 貯蓄
4. 進学費用
5. その他（　　）

問９ 放課後や休日を過ごすにはどういう場所やサービスがあればよいと思いますか。（○は主なものを３つまで）

1. 一人でゆっくりと過ごせる場所
2. 読書や勉強ができる場所
3. 無料で勉強を教えてくれる場所
4. 仲の良い友だちと気軽におしゃべりできる場所
5. 友だちとダンスや音楽等の趣味を楽しめる場所
6. 体育館や運動場、スポーツジム等のスポーツができる場所
7. 学校以外の同年齢の仲間と交流し、友達になれる場所
8. 地域のいろいろな年代の人と交流できる場所
9. 悩みなどを話せたり、相談できる場所
10. 様々なボランティア活動や職業体験ができる場所
11. その他（　　）
12. 必要ない

あなたのお考えや意識についていろいろとおたずねします

問１０ 最近、よく考えることや困っていることはありますか。
（○は主なものを３つまで）

1. 友人（異性）関係
2. 将来（進路）について
3. 勉強、成績、受験について
4. 学校、先生について
5. 遊びについて
6. 部活動について
7. 性について
8. 人生、生活について
9. お金のことについて
10. 家族、きょうだいについて
11. 社会の出来事などについて
12. インターネット上の人間関係について
13. その他（　　）
14. 特にない

問１１ あなたは、悩みや不安を誰に相談しますか。（○はいくつでも）

1. 父親
2. 母親
3. 祖父母
4. 兄弟姉妹
5. 親戚
6. 友人
7. 学校の先生
8. 習い事や塾の先生
9. 教育センター
10. 健康センター
11. 青少年育成センター
12. インターネットを利用した相談サービス
13. 民間の電話相談
14. 相談しない
15. その他（　　）

問１２ **問 11 で「14.」（相談しない）と答えた方にお聞きします。**

→それ以外の方は問 14 へ

相談しないのはなぜですか。（○は１つ）

1. 特に悩みや不安は無いから
2. ひとりで解決できるから
3. そのうち解決するだろうから
4. 他人には理解してもらえないと思うから
5. 他人に知られるのがいやだから
6. 相談するのか恥ずかしいから
7. 相談するのが面倒だから
8. どこに相談したらよいかわからないから
9. 相談したい場所がないから
10. その他（　　）

問１３ **問 12 で「9.」（相談したい場所がない）と答えた方にお聞きします。**

どのような所だったら、相談しやすいと思いますか。（○は３つまで）

1. 匿名で相談できる
2. 個別の相談室で安心して話ができる
3. オープンな場所や窓口で気軽に相談できる
4. 予約制できっちり話ができる（希望する予約方法：　　）
5. 予約なしで相談ができる
6. 電話で相談できる
7. 直接会って相談できる
8. メールで相談できる
9. LINE等のメッセージアプリで相談できる
10. 放課後に相談できる（希望する時間帯：　　）
11. 土日に相談できる（希望する曜日と時間帯：　　）
12. 公共交通機関が充実した駅周辺にある
13. その他（　　）

未来のあなたについておたずねします

問１４ あなたは、自分の人生における仕事や家庭を持つ・持たないなどの将来を思い描くことがありますか。（○は１つ）

1. ある
2. 多少ある
3. あまりない
4. ない

問１５ **問 14 で「1.」「2.」「3.」（ない以外）と答えた方にお聞きします。**
将来のあなたを思い浮かべたとき、次のどれに最も近いと思いますか。
「4.」（子どもがいる）と思う場合は人数をご記入ください。（○は１つ）

1. 独身で今の家族と一緒に暮らしている
2. 独立してひとり暮らしをしている
3. 結婚しているが、子どもはいない
4. 結婚して子どもがいる　　人
5. わからない

問１６ **問 15 で「4.」（子どもがいる）と答えた方にお聞きします。**
あなたは、将来どんな家庭を作りたいですか。（○は１つ）

1. 夫も妻も働いて、一緒に家事や育児をする家庭
2. 子どもが小さいときだけどちらか一方が家にいて、子どもが大きくなったら夫も妻も働いて、一緒に家事や育児をする家庭
3. 夫が働いて、妻が家事や育児をする家庭
4. 妻が働いて、夫が家事や育児をする家庭
5. 特に考えたことはない

問１７ 将来つきたい職業は何ですか。（○は３つまで）

1. 公務員
2. 会社員
3. 教師・教員
4. 保育士・幼稚園教諭
5. 医者
6. 看護師
7. プロスポーツ選手
8. ＩＴエンジニア・プログラマー
9. 学者・研究者
10. 社長などの会社経営者・起業家
11. カウンセラー・臨床心理士
12. デザイナー
13. ゲームクリエイター
14. 歌手・俳優・声優などの芸能人
15. 漫画家・イラストレーター
16. 作家・ライター
17. 運転手・パイロット
18. マスコミ関係
19. YouTuberなどの動画投稿者
20. その他（　　）

問１８ 将来長岡市で就職したいと思いますか。（○は１つ）

1. 長岡市で就職したい
2. 長岡市外で就職したい
3. わからない

成人式についておたずねします

長岡市の成人式は現在、満年齢２０歳のときに地域ごとに実施していますが、２０２２年から成人年齢が２０歳から１８歳に引き下げられることを踏まえてお答えください。

問１９ 成人式は、いつ開催するのがよいですか。（○は１つ）

1. 成人したとき（現在は 20 歳、2022 年以降は 18 歳）
2. 20 歳になったとき（「二十歳の集い」（仮称）として）
3. 開催しなくてよい

※成人年齢が１８歳になっても、飲酒、喫煙等については２０歳になるまで法律で禁じられています。

問２０ 成人式は、どのように開催するのがよいですか。（○は１つ）

1. 市内１か所でゴールデンウィークに
2. 市内１か所でお盆に
3. 地域ごとにゴールデンウィークに
4. 地域ごとにお盆に
5. 現在の開催方法（地域ごとにゴールデンウィーク（5/3･･･長岡、越路、栃尾、川口、小国）またはお盆（8/14･･･山古志、8/15･･･与板、中之島、和島、三島、寺泊）に開催）

市に対し、「長岡市がこんなまちになったらいいな」など、市の施策に関するご意見やご要望がありましたら自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、大変ありがとうございました。

長岡市子育て・育ち“あい”プラン
策定に関するニーズ調査　報告書

平成 31 年 3 月

発　行：長岡市教育委員会

編　集：長岡市教育委員会子ども未来部子ども家庭課
〒940-0084
新潟県長岡市幸町 2 丁目 1 番 1 号
さいわいプラザ 4 階
TEL 0258-39-2300　FAX 0258-39-2605